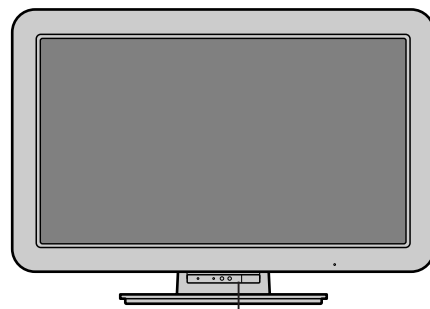
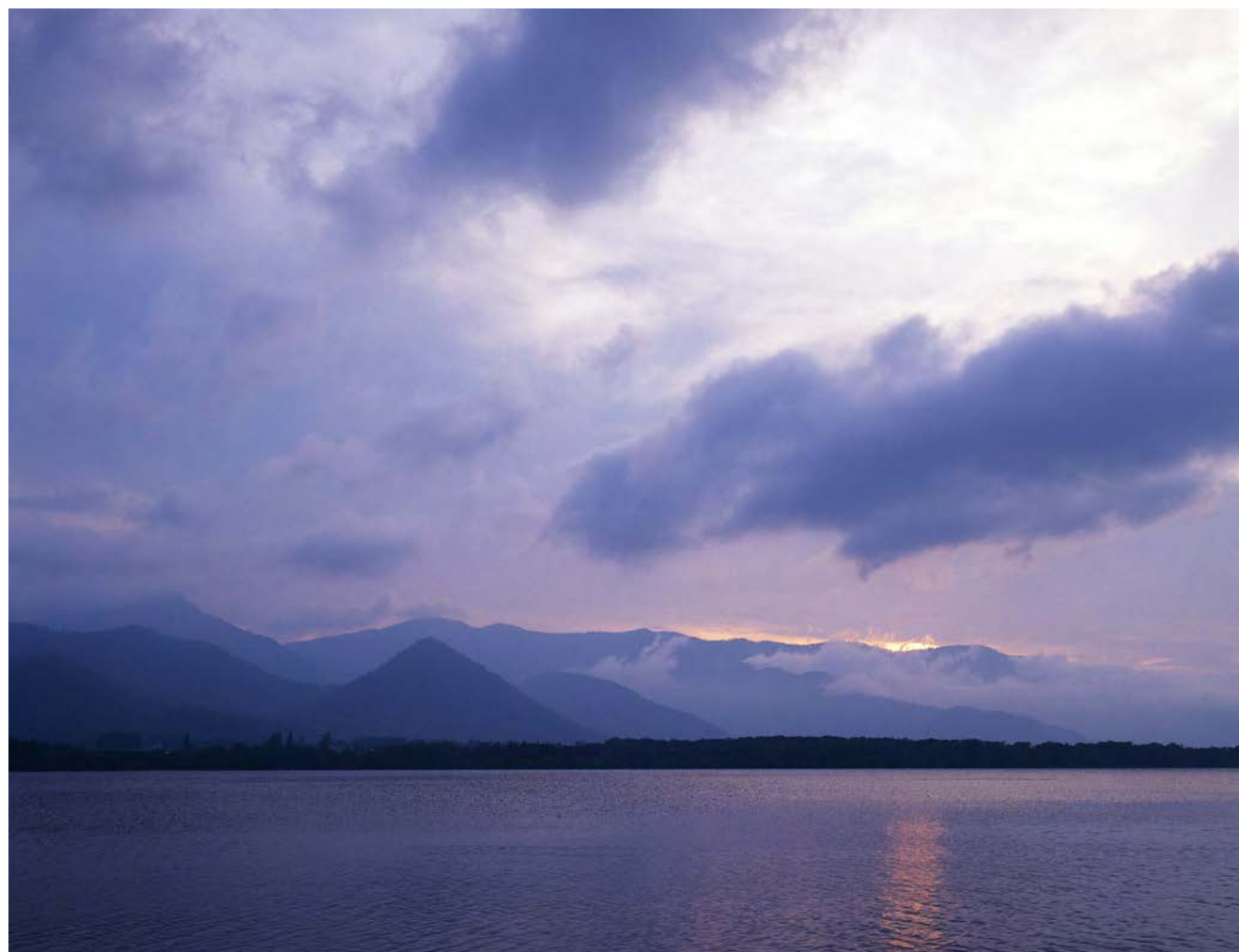
取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

品番 LCD-27HR100
LCD-32HR100

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに8～13ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。この取扱説明書は上記の機種の共用です。製品の品番は前面の表示でご確認ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

品番

保証書は必ずお受け取りください。

上手に使って上手に節電

このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

はじめに

お買い上げいただき、ありがとうございます。

本機の特長

HDD（ハードディスク）レコーダー搭載

テレビ本体に160GB（ギガバイト）のHDD（ハードディスク）レコーダーを搭載しました。
面倒な接続なしに、ハイビジョン番組などを手軽に録画・再生できます。

高輝度・高精細液晶パネル搭載

水平1,366×垂直768ピクセルの高精細液晶パネルを搭載。
デジタルハイビジョン放送の高画質を存分に再現します。

タイムドメインスピーカー搭載

音の波形を時間領域（タイムドメイン）で解析することにより生まれた、タイムドメインスピーカーを搭載。お部屋を満たすリアルで自然な音をお楽しみください。

多彩な映像を映し出す マルチメディア・液晶テレビ

D4映像入力端子(3系統)、HDMI入力端子、i.LINK端子(2系統)などの接続端子を装備。
ハイビジョン機器などの多彩な機器を接続できます。

デジカメ端子＆静止画再生機能

デジカメ端子にデジタルカメラを接続して静止画像を大画面で再生できます。静止画像を内蔵HDDにコピーすれば、カメラの接続なしにスライド再生などが楽しめます。

ご注意ください

- CS放送のSKY PerfecTV!（スカイパーフェクTV!）は受信できません。
- 本機は110度CSデジタル放送の蓄積型データサービスには対応していません。
- 本機は地上デジタル放送で予定されている移動受信、携帯受信、地上デジタル音声放送には対応していません。
- デジタル放送では、放送電波やデータ記憶媒体によって内蔵ソフトウェアをバージョンアップすることにより、受信機の機能や性能を改善できるようになっています（ダウンロード機能）。改善の内容によっては操作方法や操作画面が変更されることがあり、その場合はお手元のカタログや取扱説明書の表記と実際の機器の表示や動作が異なる場合が発生します。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関して、当社は何ら責任を負うものではありません。

2つの画面を同時に楽しめる・2画面機能

地上デジタル放送とBSデジタル放送、デジタル放送と地上アナログ放送、デジタル放送とDVDの再生画面というふうに、2つの画面を同時に楽しめます。

見たい番組や入力を手軽に選べる・何みるガイド

地上アナログ放送やBS、110度CS、地上デジタル放送、入力画面、HDDなどを一覧表示して、カーソルボタンで選べる「何みるガイド」を搭載。リモコンの何みる？ボタンを押すと表示されます。

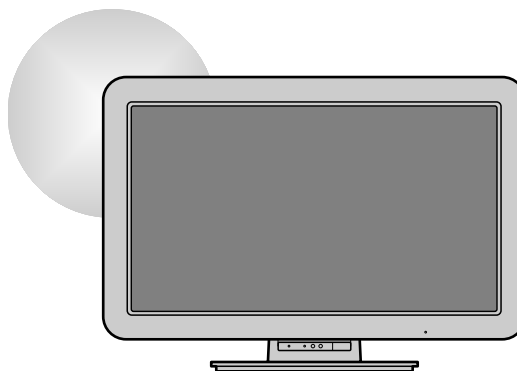
スポーツ番組を迫力の絵と音で・スポーツモード

スポーツ競技の種類に合わせて設定された絵と音のモードを選んで、迫力ある映像と音を楽しめます。

簡単操作ガイド&音声ガイダンス機能

一部の機能の操作方法が画面で確認できたり、音声で案内されたりします。

その他の特長

- ヘッドホンを差し込んでもスピーカーの音が消えないサブヘッドホン端子搭載。
- 放送終了オフや無操作オフ、ナイトモードなど、多彩な節約機能。

この取扱説明書の記載について

- この取扱説明書では、従来から広く放送されている地上放送(VHF放送、UHF放送)を、新たに開始される地上デジタル放送と区別するために「**地上アナログ放送**」と表記しています。
- また、各放送の呼び名を次のように表記しています。
  - **BSデジタル放送**：2000年12月に開始されたBS(放送衛星)によるデジタル放送
  - **110度CSデジタル放送**：2002年春から開始されたCS(通信衛星)によるデジタル放送
  - **地上デジタル放送**：2003年12月に関東・中京・近畿の3大広域圏の一部で開始された地上波によるデジタル放送

- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は、ソニー株式会社の商標です。
- 「デジカメ」は三洋電機の登録商標です。
- その他の記載の商品名は、各社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書に掲載している図は説明のため省略や誇張をしています。実物とは異なる部分があります。
- この取扱説明書において受信画面の図などに記載されているチャンネル、番組名などは架空のものです。

目　次

目次

安全上のご注意

ご使用になる前に

テレビを見る

メニューで行う機能

メニューで行う機能

デジタル放送を楽しむ

ＨＤＤ（ハードディスク）での録画／再生

目　次（つづき）

機器の接続

ネット機能

準備と設定（接続／設置編）

準備と設定（設定編）

準備と設定（設定編）

デジタル放送の特殊設定／その他

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

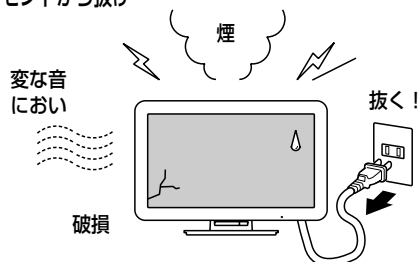
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	の記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。
	の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。
	の記号は「必ず実行してほしいこと（強制）」を示します。

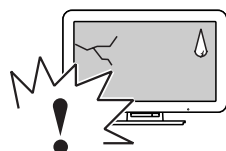
⚠警告

万一、異常や故障が発生したときは

万一、異常や故障が発生したときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。

次のようなときは、すぐに液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）
  煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
  お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
- 水などが内部に入った
- 異物が内部に入った
- 画面が映らない・音が出ない
- 落としたり、キャビネットを破損した（故障状態）

パネル面の取り扱いについて

パネル面に衝撃を与えない

液晶ディスプレイパネルはガラスでできています。万一割れたりするとけがの原因となります。移動させるときにはとくにご注意ください。

掲載しているイラストはイメージです。実際の商品とは形状が異なる場合があります。

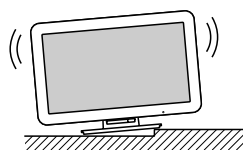
⚠警告

設置・使用する場所について

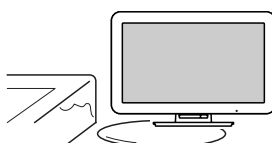
水の入った花びん・コップや小さな金属物を置かない

水ぬれ禁止　禁　止

液晶テレビの上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁　止
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

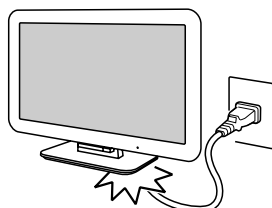
ぬらしたり、風呂、シャワー室で使用したりしない

水ぬれ禁止　風呂、シャワー室での使用禁止
火災、感電の原因となります。

専用のスタンドやユニットを使用し、壁などに設置するときは専門の業者へ依頼する

本機は必ず本機専用のスタンドや設置ユニットを使って設置してください。倒れたり、落下して事故やけがの原因となります。
壁などに設置するときは、販売店にお問い合わせの上、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。不完全な工事は重大な事故やけがの原因となります。

- 専用のスタンドまたはユニットに付属の設置説明書に従って正しく設置してください。
- 壁などに設置した場合でも、万一異常が生じたときにすぐに電源プラグを抜くことができるコンセントから電源をとってください。

電源コードの取り扱いについて

電源コードの取り扱いはていねいに

禁　止
- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードを本機の下じきにしないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上をカーペットなどで覆うと気付かずに、重い物をのせてしまうことがあります。またコードを釘などで固定しないでください。
- 電源コードはていねいに扱ってください。傷つけたり、加工・曲げ・ねじれ・引っ張り・加熱はしないでください。火災・感電の原因となります。
- しん線の露出や断線など、傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

⚠ 警告

万一、液晶パネルが破損して液晶がもれ出たときは、液晶に触れないでください

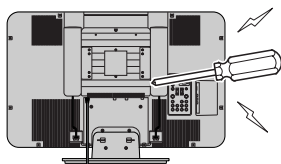
液晶に触れない・口や目に入れない

禁　止

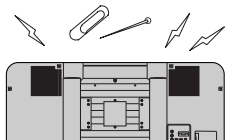
液晶パネルが破損し、液晶がもれ出たときは、液体（液晶）に触れないでください。また絶対に液体を口に入れたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。万一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で十分に洗い流して医師の診断を受けてください。そのままにしておきますと中毒を起こす恐れがあります。皮膚や衣服についた場合もすぐに水で十分に洗い流してください。付着したまま放置すると皮膚や衣服を傷めることがあります。

ご使用の際にはお守りください

裏ぶたをはずさない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また改造は火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

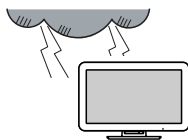
通風孔や冷却ファンの排気口から異物を入れない

禁　止

通風孔や冷却ファンの排気口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電、けがや故障の原因となります。特にお子さまにご注意ください。

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

表示された電源電圧以外では火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

接触禁止

感電の原因となりますので、電源プラグに触れないでください。

コンセントつき延長コードについて

警　告

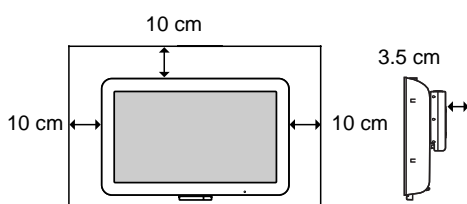
複数の機器を同時に接続して使用するなど、延長コードの定格を超えた使いかたをすると発熱し、火災の原因となります。延長コードの定格表示や説明書に従い正しくお使いください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く。

そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

設置・使用する場所について

通風孔をふさがない。周囲から距離をとる

放熱をさまたげないよう次のことをお守りください。守らないと熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- テーブルクロスなどを掛けない。
- 冷却ファンの排気口をふさがない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 押し入れ、本箱など狭い所に押し込まない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- 周囲から距離をとって設置する。（左の図の距離以上離してください）

本機の内部温度が異常に高くなると、保護のため自動で電源が切れます。設置方法などを点検してください。（☞270～271ページ）

湿気・ほこり・油煙や湯気は禁物

禁　止

湿気・ほこりの多い場所、調理台や加湿機のそばなどに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

上に重い物を置かない

禁　止

転倒・落下してけがの原因となることがあります。

安定した所に置き、転倒防止策を行う

動いたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。キャスター付きの台の上に置くときはキャスター止めをしてください。また地震などの非常時の安全確保と事故防止のため転倒防止策を行ってください。
（転倒防止策 ☞202ページ）

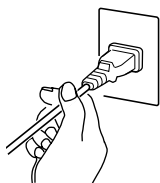
開梱や持ち運びは2人以上で注意して行う

１人での作業はけがの原因となることがあります。持ち上げるときは液晶テレビ本体を持ち、スタンド取り付け部分などを持たないでください。落下やけがの原因となることがあります。

電源コード、電源プラグの取り扱いについて

電源コードの取り扱いはていねいに

禁　止

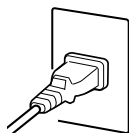
ぬれ手禁止

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 抜くときはコード部分を引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

⚠注意

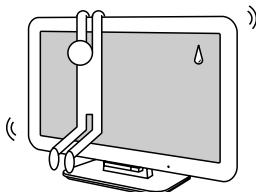
電源コード、電源プラグの取り扱いについて

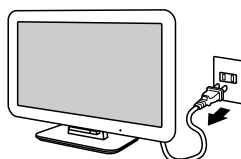
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

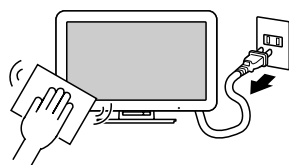
ゆるみがあるコンセントに接続しない

電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ご使用の際にはお守りください

上に乗らない。ぶらさがらない。

落下する、倒れる、こわれるなどしてけがの原因となることがあります。特にお子さまにご注意ください。

旅行などの長期不在は電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れは電源プラグを抜いて行う

感電の原因となることがあります。

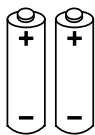
移動は線をはずしてから

電源コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグ・外部機器・転倒防止具をはずして移動させてください。

年に一度は内部の掃除依頼を

長年の使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

⚠注意

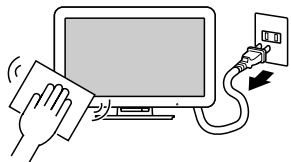
乾電池は向きを正しく！　新しいもの・古いもの・種類のちがうものを混ぜて使わない

次のことを守らないと破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ＋（プラス）と－（マイナス）の向きを正しく入れる。
- 新しいもの・古いもの・種類の違うものを混ぜて使わない。
- 指定以外の電池を使わない。
- ショートさせない。充電しない。分解しない。

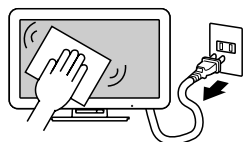
アンテナ工事は販売店に依頼を（工事には技術と経験が必要です）

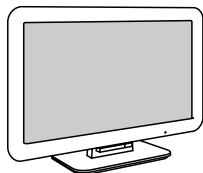
- アンテナは、倒れると感電の原因となることがありますので電線から離して設置してください。
- BS・CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。（内蔵機種または外部チューナー使用時）

正しくお使いいただくために

お手入れについて・・・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットのお手入れ

- 柔らかい布で軽くふいてください。ひどい汚れはうすめた中性洗剤を含ませた布を固く絞ってふき、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジンやシンナーを使わないでください。ベンジンやシンナーなどでふきますと変質・破損したり、塗料がはがれることがあります。化学ぞうきんの使用は注意書きにしたがってください。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質・破損したり塗料がはがれる原因となります。

■パネル面のお手入れ

- 液晶パネルの表面は汚れが目立ちやすいので、ふだんから、できるだけ触らないようにしてください。
- 汚れをふき取るときは、ネルなどの柔らかい、乾いた布で軽くふき取ってください。ティッシュペーパーなどで強くこすったりしないでください。
- 汚れがひどいときなど、やむをえず液体でふくときは、ネルなどの柔らかい布に水を含ませて固くしぼり、垂れないようにふいてください。有機溶剤やアルコール系の洗剤、中性洗剤は使用しないでください。

■上手な見かた

- 見る場所は目の高さよりやや低く、画面のたての長さの５～７倍くらい離れた位置が見やすくて疲れません。
- お部屋が明るすぎたり、暗すぎると目が疲れます。新聞が楽に読める程度の明るさが適当です。
- 適度な音量でお楽しみください。特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉める、ヘッドホンを使用するなどご近所への配慮を。ヘッドホンを使用するときは、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

内蔵のHDD（ハードディスク）について

本機にはHDD（ハードディスク）レコーダーが内蔵されています。ご使用の前に必ずお読みください。

重要・必ずお読みください。

HDD（ハードディスク）の取り扱いについてのお願い

本機にはHDD(ハードディスク)が内蔵されています。HDDは非常に精密な機器で、衝撃や振動、温度等の周囲の環境や取り扱いによりHDDの動作に不具合が生じ、記録されているデータが損なわれたり、動作や寿命に影響を与えることがありますので、以下の内容を必ずお守りください。

設置時の注意

●セットの通風孔を塞がないでください。
●振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
●ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
●温度、湿度の高くないところ、また急激な温度変化のないところへ設置してください。
●直射日光の当らないところへ設置してください。
●エアコンなどの冷風が直接当らないところへ設置してください。

(結露について)

急激な温度変化が生じた場合や、寒いところから暖かいところへ移動して設置する場合などは結露（露つき）が起こりやすくなります。結露は故障の原因になります。結露が起きそうな場合は本機をすぐにご使用にならず、電源プラグをコンセントから抜いたまま室温に2～3時間なじませてからご使用ください。

長期間使用しないとき

安定した動作を維持するために、長期間使用されない場合でも、ときどき電源を入れて本機を使用していただくことをおすすめします。

動作中の電源に関する注意

録画や再生等の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所の電源ブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグを抜くときは、必ずテレビ本体の電源スイッチを押してHDDの終了処理が終わり、完全に電源が切れてから（30秒程度あと）行うようにしてください。また録画中に電源プラグを抜いたり、ブレーカーを落としたりすると、記録された内容が失われる場合があります。

移動させるとき

上記の手順で電源を切り、電源プラグを抜いたあと、本機を動かしてください。

停電が発生した場合

録画や再生等の動作中に停電などが発生し、電源が供給されなくなったた場合、HDDに記録された内容が失われる場合があります。

大切な映像を保存するために

HDDは非常に精密な機器で、使用条件によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなる恐れもあります。このためHDDは録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまで、もしくはビデオ等にコピーするまでの一時的な保管場所としてお使いになることをおすすめします。
HDD内に壊れかけている部分があると、録画した場合に画面が乱れたり、再生画面が一時停止したり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が見られたら、できるだけ早い時期にビデオ等にコピーしてください。(ただし録画した番組によっては、コピーガード信号により録画または複製できないことがあります)

HDDの修理交換について

録画した場合に画面が乱れたり、再生画面が一時停止したり、音声の乱れが発生するような症状が頻繁に発生する場合はHDDの交換修理が必要です。HDDを交換修理する場合、HDDの記録内容（データ）を新しいHDDに移すことはできません。修理の際はお買い上げの販売店または当社修理相談窓口にお問い合わせください。ご自分でHDDを交換することはできません。本機を分解されますと、保証が無効になります。

お知らせ

●本機の電源が入っているときは、HDDは高速で回転しています。回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
●データの読みとり時などに、まれにノイズが発生することがあります。
●HDDの動作中は操作できない機能があります。それらの操作を行った場合は「この操作はできません。」などのメッセージでお知らせします。
●HDD動作の開始と終了には数秒の時間がかかりますので、操作後の動作が少し遅れる場合があります。また、すばやく連続して操作した場合、操作を受け付けない場合があります。
●寒冷地における冬期の使用など、HDDの温度が極めて低いときは正常に動作しない場合があります。

万一、何らかの原因により、録画や再生ができなかった場合の内容（データ）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

各部の名前と働き

「左」、「右」の表記はテレビを正面から見た場合の左、右です。

☞の後ろの数字は説明のあるページです。

後面/側面

各部の名前と働き（つづき）

本機の入出力端子

後面端子A

1 スピーカー出力端子（左/右） ☞204

本機のスピーカーに音声信号を出力する端子です。お買い上げ時はスピーカー線が接続されています。線を抜くと音が出なくなりますのでご注意ください。（定格出力5W、インピーダンス8Ω）

2 i.LINK端子 ☞143

i.LINK対応機器（D-VHSビデオなど）を接続する端子です。S400は最大データ転送速度を表しており、本機は最大で約400Mbpsのデータ転送が行えます。（4ピン）

3 BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子 ☞197、198

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信するための、BS・110度CSアンテナを接続する端子です。接続後はBS・110度CSアンテナに電源を供給するため「BS・CSコンバータ電源設定」が必要です。

4 地上デジタルアンテナ入力端子 ☞196、198

地上デジタル放送用のアンテナ入力端子です。

5 地上アンテナ入力（VHF/UHF）端子 ☞196、198

地上アナログ放送用のVHF/UHFアンテナ入力を接続します。

6 電話回線端子 ☞199

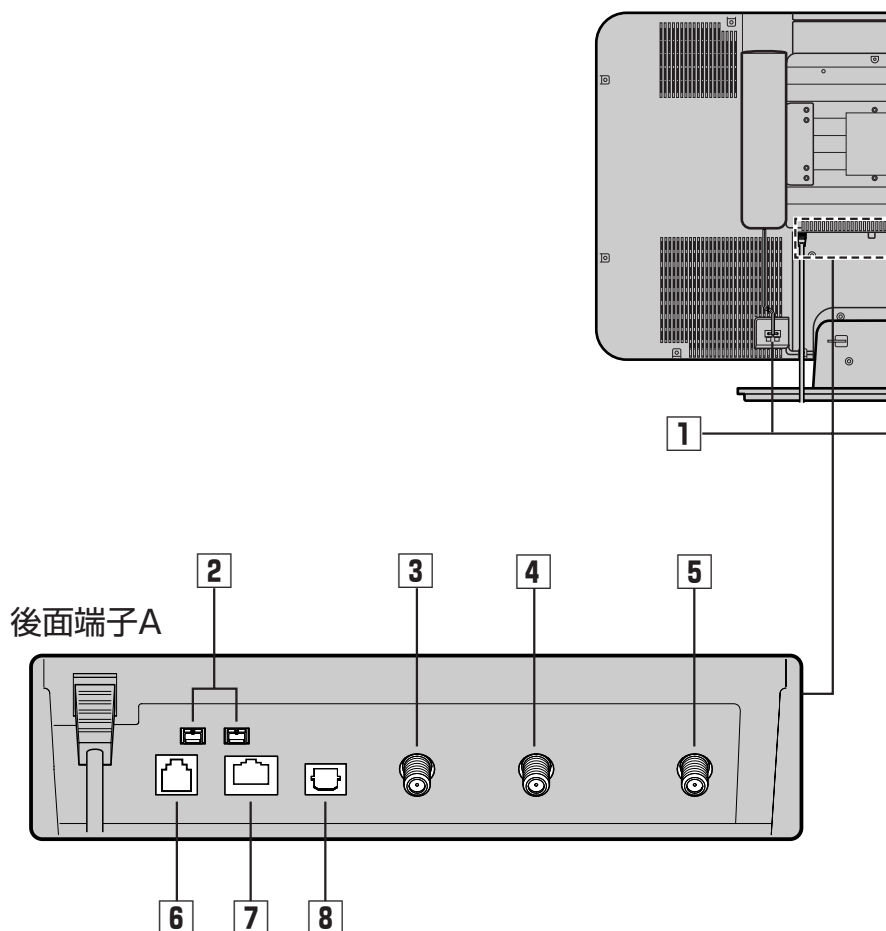
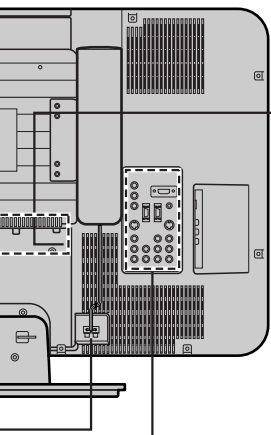
デジタル放送で、双方向サービスを利用したり有料放送を受信するときに必要な電話回線を接続する端子です。

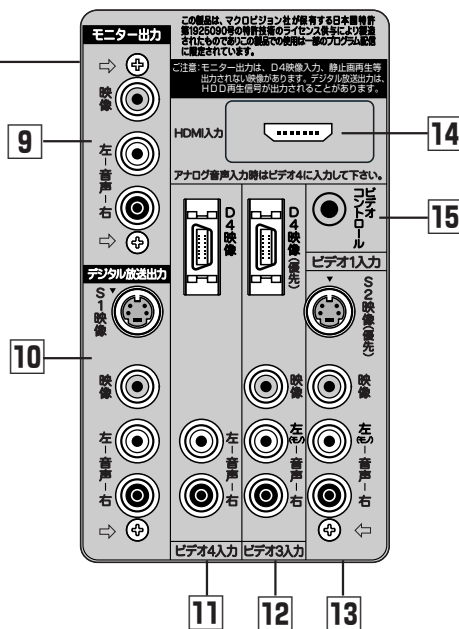
7 LAN端子 ☞259　（10BASE-T/100BASE-TX）

ブロードバンドへ接続するためのADSLモデムやルーターをつなぐ端子です。

8 デジタル音声出力（光）端子 ☞125

デジタル放送の音声をデジタル信号で出力します（光角型コネクター）。光入力のあるアンプにつないで再生したり、MDなどに録音したりできます。

「左」、「右」の表記はテレビを正面から見た場合の左、右です。

ご注意

サービス用端子は工場での調整に使います。
機器を接続しないでください。

後面端子B

11 ビデオ4入力端子
12 ビデオ3入力端子
13 ビデオ1入力端子

☞122、124

ビデオ機器をつないで再生するための端子です。

- ビデオ1入力のS2映像端子と映像端子の両方に接続したときはS2映像端子を優先します。
- ビデオ3入力のD4映像端子と映像端子の両方に接続したときはD4映像端子を優先します。

14 HDMI入力端子 ☞128

HDMI出力端子を持ったデジタル機器を接続して再生できます。HDMIコード1本の接続で映像と音声を再生できます。

15 ビデオコントロール端子

☞131

デジタル放送の番組を、外部の機器で録画するためのビデオコントローラー(付属)を接続する端子です。

9 モニター出力端子 ☞126

本機で映している画面の映像と音声を出力します。ただしビデオ2～4入力のD4映像や、デジタルカメラの静止画再生映像、HDMI入力など、信号や状況によって出力されない信号があります。

10 デジタル放送出力端子 ☞131、136

デジタル放送の映像と音声をビデオなどに記録するときに使います。録画するときは便利機能のデジタル放送出力固定でチャンネルと操作の一部を固定してください（予約録画のときは自動的にデジタル放送出力が固定されます）。

ご注意

- デジタル放送の画面に出るバナー表示、番組表、デジタルメニュー、何みるガイド、データ放送や字幕などは出力されません。
- 同期検出録画を使用する設定に変えたときは、録画予約の実行中、またはデジタル放送出力を固定したときに映像と音声が出力されるようになります。
- 内蔵HDD（ハードディスク）の再生中は、HDDの映像と音声が出力されます。

各部の名前と働き（つづき）

☞の後ろの数字は説明のあるページです。

メインリモコン（RC-501）

消音 ☞28
電話や来客のとき、一時的に音を消します。

入力切換 ☞28
ビデオ入力などの画面に切り換えるボタンです。

スポーツ ☞32
スポーツ各種に適した絵と音を選べる機能です。

ネットTV ☞172
本機のネット機能を使うときに押すボタンです。

番号入力 ☞32、70
ケーブルテレビやデジタル放送の番号を入力して受信します。

音声切換 ☞30、71
2カ国語など複数の音声が同時に送られている放送で音声を切り換えます。

チャンネル ☞27
プリセットされたチャンネルを選局できます。数字や文字の入力にも使います。

チャンネル－/＋ ☞27

何みる？ ☞44
「何みるガイド」画面を表示させて見たいものを選べます。

メニュー ☞50
メニュー画面を出したり消したりするボタンです。

カーソル▲▼◀▶ ☞50
メニュー内で項目を選んだり調整を行うボタンです。上下左右の項目を選ぶことができます。

戻る ☞50
前の操作画面に戻るボタンです。

みどころ再生 ☞115
HDDに録画した番組を「みどころ再生」するときに押すボタンです。

再生 ☞109
HDDに録画された番組の再生を開始します。

発光部

電源 ☞27

番組表 ☞74
デジタル放送の電子番組ガイドを表示させます。

静止 ☞39
画面を約3分間静止させて表示することができます。

静止画再生 ☞155
つないだデジタルカメラやHDDにコピーした静止画像を再生します。

画面表示 ☞29
画面の表示を出したり消したりできます。

地上アナログ ☞27
地上アナログ放送の画面に切り換えるボタンです。

地上デジタル ☞67
地上デジタル放送の画面に切り換えるボタンです。

BS、CS ☞67
BS、110度CSのデジタル放送に切り換えるボタンです。

音量－/＋ ☞27

予約・録画 ☞92
予約・録画ガイド画面を表示させます。

便利機能 ☞38
押すと便利機能を選ぶ画面が表示されます。

決定 ☞50
メニュー内で選んだ項目を決定するボタンです。

d(データ) ☞72
データ放送の画面を表示させるボタンです。

カラー(青赤緑黄) ☞72
データ放送の項目を選ぶときなどに使います。

アトみる ☞90
席を離れるときに押すと、番組がHDDに録画されて後で見られます。

停止 ☞109
HDDの再生を停止します。

電池カバー（裏面）
（使用電池：単4電池2本）

電源、チャンネル5、チャンネル－/＋の＋側のボタンには、手探りで操作しやすいように突起がついています。

カバーの中のボタン

画面サイズ ☞31
「フル」や「ズーム」など画面サイズを切り換えることができます。

オフタイマー ☞39
自動で電源を切るオフタイマーを設定します。（30分ごと120分まで）

機器操作 ☞148
接続したi.LINK機器を本機から操作するときに使います。

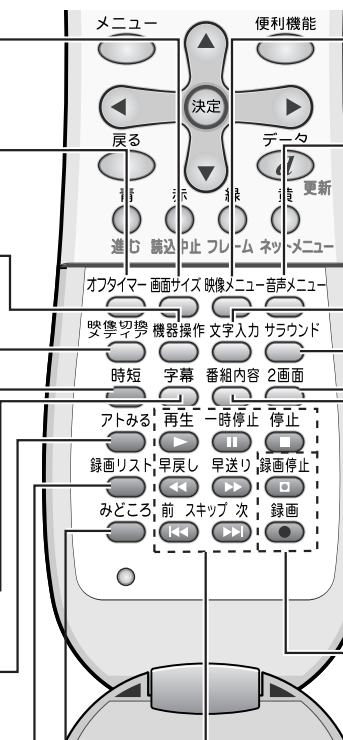
映像切換/メディア ☞70
複数の映像があるときや、ラジオ放送やデータ放送に切り換えます。

時短 ☞111
HDDの再生中に押すと、時短再生をすることができます。

字幕 ☞81
デジタル放送の字幕を設定します。

アトみる ☞90
席を離れるときに押すと、番組がHDDに録画されて後で見られます。

録画リスト ☞106
HDDに録画された番組のリストを表示します。

みどころ ☞115
HDDに録画した番組を「みどころ再生」するときに押すボタンです。

映像メニュー ☞34
「標準」や「シネマ」など映す映像にあう画質に切り換えることができます。

音声メニュー ☞35
「シアター」など、再生する音にあう音質に切り換えることができます。

文字入力 ☞265
文字を入力するときに使います。

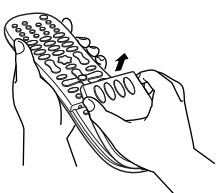
サラウンド ☞33
音に広がりを加えることができます。

2画面 ☞36
2画面表示に切り換えます。

番組内容 ☞71
デジタル放送の番組内容を表示させるボタンです。

HDD録画用操作ボタン ☞87
これらのボタンで内蔵HDDの録画系の操作ができます。

HDD再生用操作ボタン ☞109、110
これらのボタンで内蔵HDDの再生系の操作ができます。

カバーの開きかた

サブリモコン（RC-496）　ご注意：27V型には付属しません

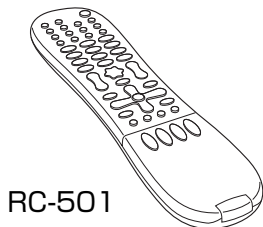
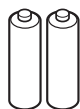
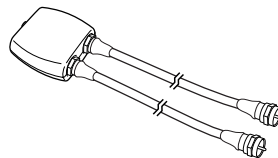
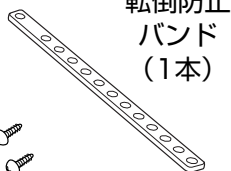
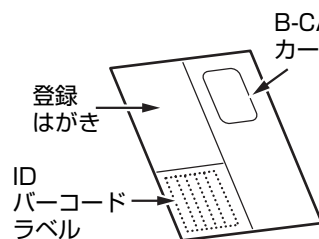
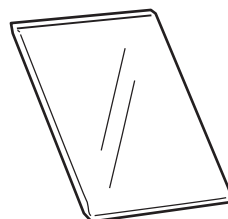
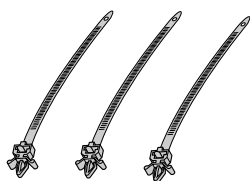
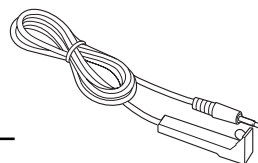
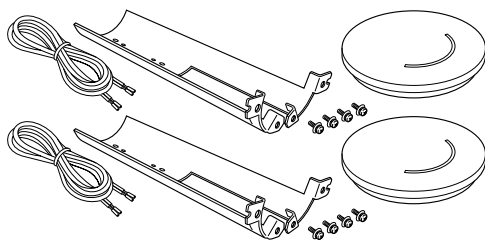
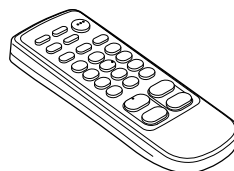
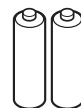
32V型には、チャンネルの切り換えや音量の調節、電源の入/切など、普段よく使うボタンだけを集めたサブリモコンが付属しています。
サブリモコンのそれぞれのボタンは、メインリモコンの同名のボタンと同じ働きをします。

※
サブリモコンのTVボタンと地上ボタンは、それぞれメインリモコンの地上アナログボタン、地上デジタルボタンと同じ働きをします。

ご注意

サブリモコンは27V型には付属していません。

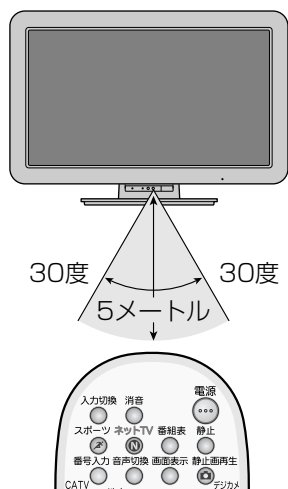
付属品をご確認ください

☞の後ろの数字は説明のあるページです。

※上記の他に取扱説明書と保証書が付属しています。

※付属品は改善のため追加や変更をする場合があります。また図と形状が異なる場合があります。

ご注意

- ICカード（B-CASカード）はデジタル放送の受信に必要です。紛失しないようご注意ください。再発行には手数料が必要です。またカードの台紙にあるはがきはユーザー登録に、IDバーコードラベルは有料放送の加入契約などに必要ですので、捨てたり紛失したりしないようにご注意ください。
- 同梱しております放送局のパンフレットと加入申込書は、（株）BS・コンディショナルアクセスシステムズが取りまとめ、受信機用として共通に配布されているものです。
- B-CASカード、加入申込書、パンフレットの形状や仕様などは、（株）B-CASの都合で変更になることがあります。

リモコンの準備と取り扱い

リモコンで操作できる範囲

テレビのリモコン受光部から約5メートル以内(左右30度ずつの角度)の範囲で操作できます。間に障害物があると操作の妨げになります。またリモコン受光部に強い光が当たっていると操作できないことがあります。

リモコンを傷めないために

リモコンを傷めないために次のことをお守りください。

- 液状のものをかけない。
- 熱や湿気をさける。
- 落としたり衝撃を与えない。

リモコンについて

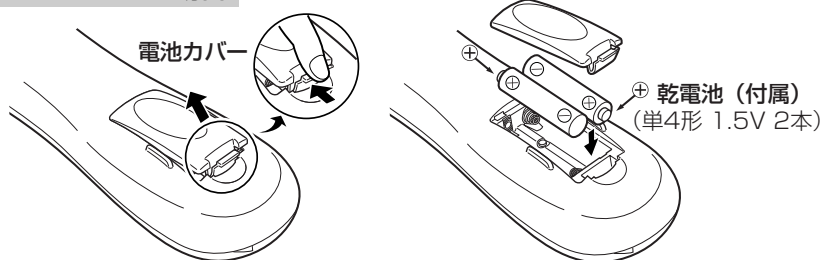
乾電池の入れかた

① 電池カバーを開ける。

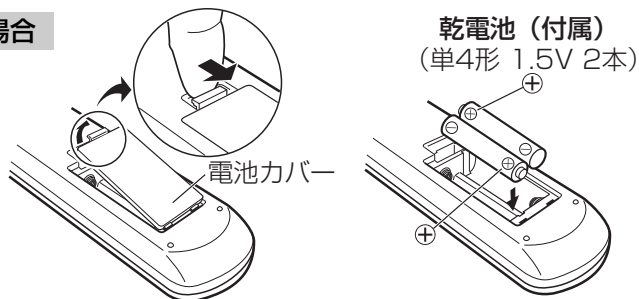
② 電池ケースの表示どおりに＋(プラス)と－(マイナス)の向きを正しく入れる。

メインリモコン
単4形　1.5V　2本
サブリモコン
単4形　1.5V　2本

③ 電池カバーをしめる。

メインリモコンの場合

サブリモコンの場合

ご注意

サブリモコンは27V型には付属していません。

注意

乾電池は向きを正しく入れ、新しいもの・古いもの、種類のちがうものを混ぜて使わない

火災・けがや汚損の原因となることがあります。

13ページの注意もお読みください。

乾電池のお取り扱い

- 長期間使わないときは乾電池を取り出してください。
- 使用済み乾電池は定められた場所に廃棄してください。可燃ゴミに混ぜたり燃やしたりしないでください。
- 液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。やけどをすることがあります。

B-CASカードをテレビに差し込む

B-CASカードはお買い上げ後、すぐに本機に挿入してご使用ください。

B-CASカードを挿入しないと
デジタル放送が映りません。

2004年4月から、BS/地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されます。そのコピー制御信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

有料放送の契約内容などを管理する大切な番号です。問い合わせの際にも必要となります。ご確認のうえ 295ページの「便利メモ」に記入しておいてください。

B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

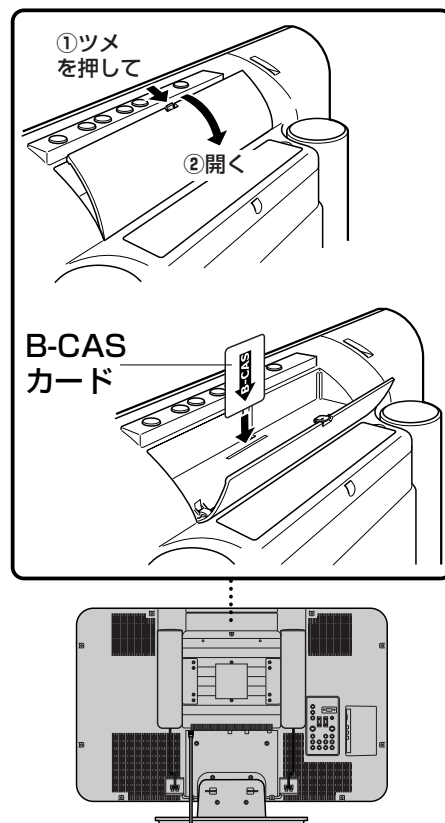
B-CASカードを差し込む

本機に付属しているB-CASカードは、テレビ本体の電源スイッチで電源を切った状態で、下記の手順にしたがって挿入してください。

① **テレビ本体上面にあるとびらを開く**
② **B-CASカードを図の向きに奥までしっかりと差し込む**
「B-CAS」と大きく印刷された面が背面側になるように、矢印の向きに差し込みます。
③ **とびらを閉める**

- B-CASカードの台紙からユーザー登録はがきを切り離し、必要事項を記入し、ポストに投函します。Webでも登録できます。
- 付属のパンフレット類をよくお読みになり、ご希望に応じて有料放送の加入契約などを行ってください。

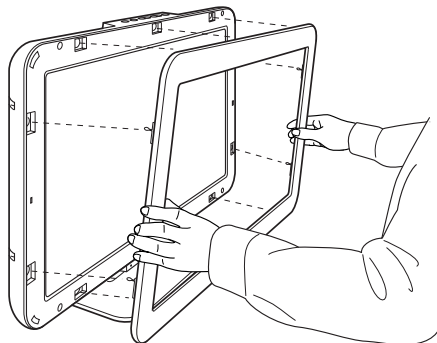
B-CASカードを抜くとき

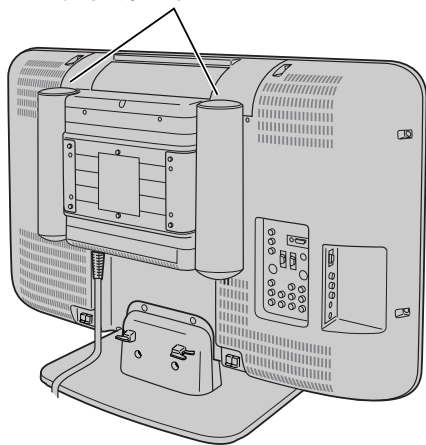
万一、抜く必要があるときは、本体の電源スイッチを「切」にしたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、必要なとき以外は抜き差しをしないでください。

ご注意

- ご使用の前にB-CASカードの台紙に記載されている使用許諾契約約款をよくお読みください。
- B-CASカードやパンフレットなどの仕様は、（株）B-CASの都合で変更になることがあります。
- B-CASカード以外のものを挿入口に挿入しないでください。故障や破損の原因となります。また裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。
- B-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- B-CASカードの保管には十分ご注意ください。第三者があなたのB-CASカードで有料番組を視聴したとき、料金はあなたの口座に請求されることになります。

お使いになる前に

キャビネット前面のフレーム部分は交換できます

キャビネット前面のフレーム部分は取り外しができ、数種類の色が用意された別売の着せ替えフレームと交換して楽しめるようになっています。お取り扱いには、以下の点にご注意ください。
(詳しくは 203ページをご覧ください)

- キャビネット前面のフレーム部分は少しの力で取り外せるようになっています。テレビを持ち上げるときなどにフレーム部分を持たないでください。落下などによりケガや破損の原因となることがあります。
- フレーム部分とキャビネットの間に指などをはさまないようにご注意ください。ケガの原因となることがあります。

本機のタイムドメインスピーカーについて

タイムドメイン理論とは

従来の周波数特性重視の理論とは異なり、音の波形を時間領域（タイムドメイン）で解析して忠実に再現することによって、原音に限りなく近い音を再生することをめざした理論です。

タイムドメインスピーカーの特長

- 疲れないリアルで自然な音。
- 音場感が豊か。遠近感、広がり感があり雰囲気まで伝わる。
- スピーカーからと言うより、空間から音が出るような感じ。
- 離れても音が届く。音量を下げても、周囲の音の中でも聞きやすい。
- 楽器など個々の音の違いがよくわかる。

設置の際、気をつけていただきたいこと

- タイムドメインスピーカーの性能をさらに引き出すために、テレビ本体から取り外して、付属のスピーカースタンドに立てて使用することもできます。(204ページ)
- 本機のスピーカーは、タイムドメインスピーカーの特長である音の到達性を活かし、背面に取り付けられた状態でも音が届くよう設計されていますが、周囲に空間がない奥まったAVボード（家具）などに設置されますと音が届きにくくなる場合があります。このような設置をされる場合や音に違和感を感じる場合などは、テレビ本体から取り外して付属のスピーカースタンドに立てて使用することをお勧めします。(204ページ)
- 振動の多いところに設置しないでください。音質を損なう原因となります。

- このテレビのスピーカーは、タイムドメイン社の由井啓之氏の提唱するタイムドメイン理論を適用しています。
- タイムドメインスピーカー® は株式会社タイムドメインの登録商標です。
- 尚、このスピーカーシステムは株式会社タイムドメインのライセンス供与を受けた株式会社オーセンティックの音響設計、製造によるものです。

ご注意

スピーカー部分を持ってテレビを持ち上げたり、動かしたりしないでください。事故や破損の原因になります。

テレビを見る

この章ではご希望の画面を選んで見る、音を聴く、楽しく便利に使うといった本機の基本動作を紹介します。

設置や接続、設定などの準備がまだの場合は、☞166ページからの「準備と設定」をご覧ください。

お知らせ

こんなときは…

- お買い上げ時（工場出荷時）は**1～12**のボタンにVHF放送の1～12チャンネルが設定されています。お住まいの地域の受信チャンネルを設定するときは☞184ページをご覧ください。
- **チャンネル－**／**＋**ボタンを押すと、**1～12**ボタンに設定されているチャンネルを逆／順に選局します。ただし、スキップ設定されたチャンネルは飛び越します。

テレビを見る （地上アナログ放送を見る）

地上放送（VHF／UHF）を楽しむ

電源ボタンを押して、テレビをつける

地上アナログボタンを押して、地上アナログ放送の画面を映す

チャンネル1～12ボタンまたはチャンネルー/＋ボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ

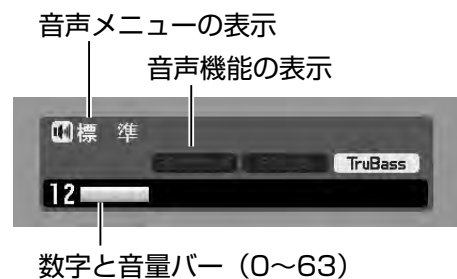
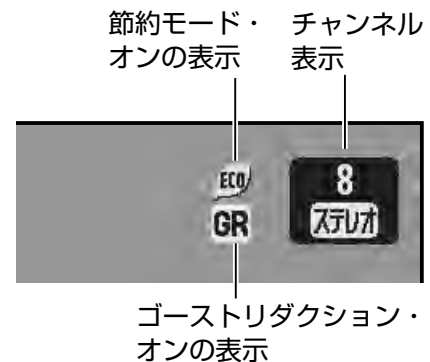
音量ー/＋ボタンを押して、お好みの音量にする

節約モード・オンの表示　チャンネル表示

ゴーストリダクション・オンの表示

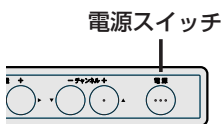
音声メニューの表示

音声機能の表示

数字と音量バー（0～63）

重要・電源を切るとき

内蔵しているHDD（ハードディスク）が動作している状態でいきなり電源プラグをコンセントから抜いたり、電源のブレーカーを落としたりすると、記録内容が失われたりHDDが故障する原因となります。次のように電源を切ってください。

リモコンの電源ボタンまたはテレビ本体の電源スイッチで電源を切る

- リモコンの**電源**ボタンを押すと映像と音声が消え、**電源**ランプが青から赤に変わってスタンバイ状態になります。ただし**HDD**ランプが点灯していたり、**予約/回線使用中**ランプが赤またはオレンジに点灯しているときはスタンバイ状態でもHDDが動作しています。
- 電源が入った状態からテレビ本体の**電源**スイッチを押すと、映像と音声が消え、画面に「終了処理後に電源をオフします」と表示され、しばらくして電源が切れます（**電源**ランプは消灯）。この状態でHDDは停止します。

電源スイッチ

ご注意

- 電源ランプが消えている場合でも、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態では回路の一部に通電しています。
- 旅行などで長期間本機を映さないときは、**電源**スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- リモコンで電源を切ったときに**予約/回線使用中**ランプが点灯しますが故障ではありません。デジタル放送の番組表データを取得するときなどにオレンジ色で点灯し、データの取得などが終われば消えます。
- GR（ゴーストリダクション。反射電波による多重映りを抑える機能）がオンのチャンネルを選局したとき、画面がゆれたりちらつくように見えることがありますが、GR機能が働いているためで故障ではありません。

テレビを見る （つづき）

音だけを消すとき

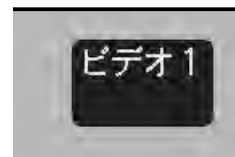
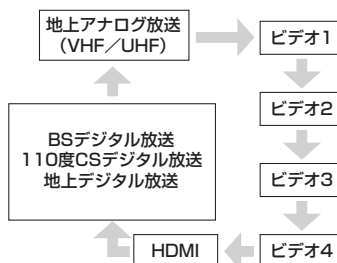
消音ボタンを押すと、来客や電話のときに音だけを消すことができます。

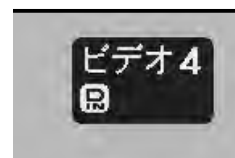
押すごとに音を消したり出したりできます。消音は音量－／＋や電源の操作でも解除されます。

ビデオ画面などに切り換えるとき

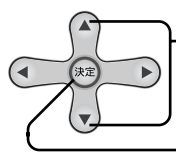
入力切換ボタンを押す

押すごとに図のように画面が切り換わります。

- ビデオ1～4で接続がない入力は飛び越します。（ビデオ入力スキップ「する」のとき 64ページ）

お知らせ

- D4映像入力のビデオ4画面では「D IN」と表示されます。ビデオ2、3画面ではD4映像端子に接続しているときのみ「D IN」と表示されます。

一覧表示からの切り換えもできます

入力切換ボタンを3秒以上押す

入力切換ボタンを3秒以上押し続けると、入力画面の一覧表示になります。

2 **カーソル▼▲ボタンを押して、希望の入力を選び、**

決定ボタンを押す

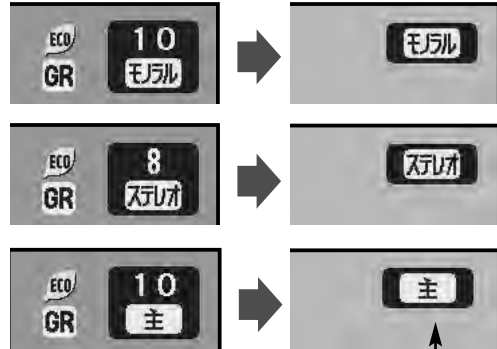
- 選んだ画面に切り換わります。
- ビデオ1～4で、接続がない入力は暗く表示されて**カーソル▲▼**ボタンを押しても飛び越します。（ビデオ入力スキップ「する」のとき 64ページ）
- 一覧表示は10秒で消えますが、**画面表示**ボタンでも消すことができます。

番組の音声を選ぶとき

2カ国語音声のテレビ番組などでは、音声を選んで楽しむことができます。

音声切換ボタンを押してご希望の音声を選ぶ

2カ国語（二重音声）の場合

- 地上アナログ放送の音声は、選局時に表示されます。**音声切換**ボタンを押すと音声が切り換えられます（モノラル音声を除く）。
- 2カ国語の番組は、**音声切換**ボタンを押すごとに選べます。
- スポーツの応援放送なども同じように選べます。

主音声	左右両方から主音声が出ます。
副音声	左右両方から副音声が出ます。
主：副	左から主が、右から副音声が出ます。

（お知らせ）

ステレオ音声の放送に雑音が入るときは

音声切換ボタンを押して表示を青の「モノラル」に変えると、雑音が低減されて聴きやすくなります（強制モノラル）。雑音が入るステレオ放送だけ強制モノラルでお聴きください。**音声切換**ボタンで「ステレオ」に戻すと強制モノラルは解除されます。（音声が黒で「モノラル」と表示される放送は、放送自体がモノラルです。**音声切換**ボタンを押しても音声は変わりません）

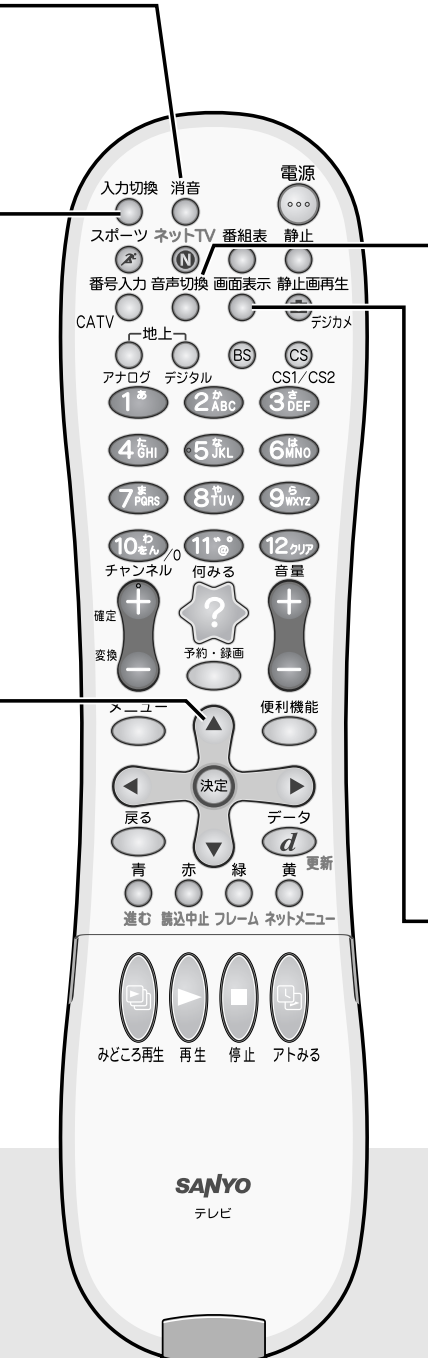
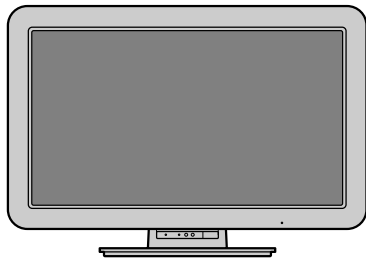
デジタル放送のときは

デジタル放送のときは音声切換の働きが異なります。

チャンネルや画面を確認したいとき

画面表示ボタンを押すと、今何チャンネルを見ているか表示で確認できます。

例. チャンネルと時刻

- **画面表示**ボタンを押すと、画面に約1分間受信チャンネルの番号が表示されます。
- ビデオなどの入力画面のときは「ビデオ1」などと表示されます。
- 時計機能に時刻が設定されているときは、表示が出ている間に**画面表示**ボタンを押すと、時刻を表示させることができます。
- デジタル放送のときは表示のしかたが異なります。

テレビを見る（つづき）

ケーブルテレビを見るとき

チャンネル番号を入力してケーブルテレビを選局する方法を説明します。

地上アナログボタンを押して、地上放送の画面にする

すでに地上放送の画面のときは次に進んでください。

番号入力ボタンを押し、続いて…

1～10ボタンを押して、チャンネル番号を入力する

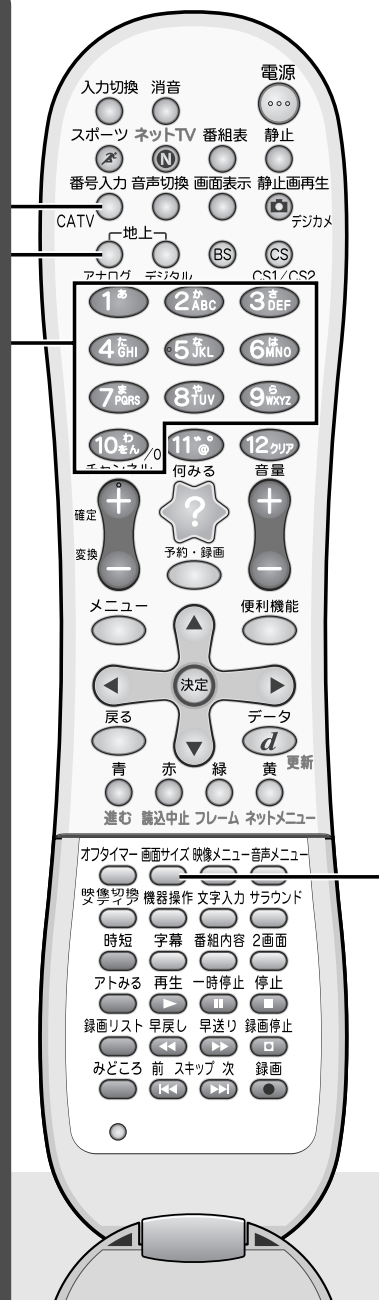
例 C30チャンネルを受信するには

- C13～C63以外のチャンネル番号を入力したときはC13またはC63を受信します。
- 5秒間入力しないと表示は消えます。5秒以内に次のボタンを押してください。

お知らせ

ケーブルテレビとは

ケーブルテレビは放送サービスが行われている地域で受信できます。受信には使用機器ごとにケーブルテレビ会社との契約が必要です。詳しくは地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

- 有料放送の視聴にはホームターミナル（アダプター）が必要です。ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- リモコンのチャンネルボタンにケーブルテレビを設定（プリセット）して受信する方法もあります。215ページ
- きれいに映らないケーブルテレビのチャンネルがあるときは微調整をお試しください。216ページ

S2映像とは

輝度信号と色信号を分離して伝送するS映像信号にフル映像とレターボックス映像を自動で識別する信号を重ねた信号です。

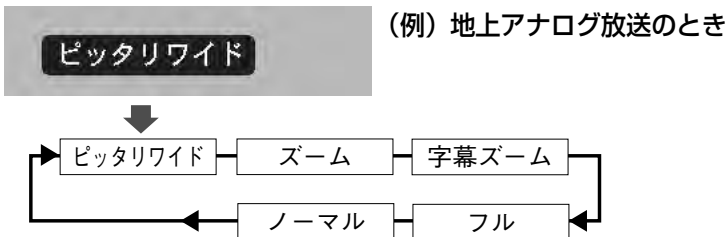
D4映像とは

1125i、750p、525p、525iのコンポーネント映像信号に対応。制御信号により、画面サイズの自動識別が可能です。

ワイド画面を切り換えるには

画面サイズボタンを押すと、そのときの画面サイズが表示されます。表示されている間に画面サイズボタンを押すと、押すごとに画面サイズを選ぶことができます。

画面サイズボタンを押すごとに
ワイド画面が選べます

（例）地上アナログ放送のとき

画面サイズによっては「画面調整」メニューで画面の縦/横サイズ、上下位置の調整ができます。（59ページ）

識別信号の入った映像を再生したとき

ビデオ1入力のS2映像端子や、ビデオ2～4入力のD4映像端子につないだ機器から、画面サイズの識別信号が入った映像を入力したときは、識別信号にしたがって画面サイズを自動で切り換えます。

デジタル放送の画面のとき

- ハイビジョン放送の画面サイズは「フル1/2」、「サイドカット1/2」の切り換えになります。
- サイドカットは画像の両端をカットして横に拡大するモードです。左右に帯が付く4：3画像を画面いっぱいに映せます。デジタル放送出力端子からの出力も同様になりますので、録画中はご注意ください。
- デジタル放送の画面では、画面サイズの切り換えが制限されることがあります。
- デジタルカメラの静止画再生画面など、**画面サイズ**ボタンが働かない画面があります。

ご注意

- このテレビは、各種の画面モード切換機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率（画面のタテとヨコの比率）と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切換機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ワイド映像でない通常の4：3の映像を画面モード切換機能等を利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- 画面サイズによって画面表示の位置が変わります。
- 画面を拡大すると多少画質が粗くなります。

画質や音質を切り換えて楽しむ

スポーツや映画など、ご覧になる番組に合わせて画質や音質を切り換えて楽しむことができます。

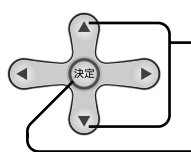
スポーツ番組に合った映像と音を選ぶ... スポーツモード

スポーツ番組を見るとき、競技の種類に合った映像と音を選んで楽しめます。

1 スポーツ

スポーツボタンを押して、スポーツモード選択画面を表示させる

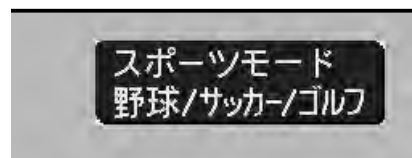
すでにスポーツモードを設定しているときは2回押してください。

2

カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望のスポーツモードを選び、

決定ボタンを押す

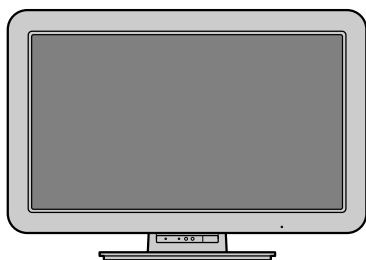
ご希望のモードを選んで決定

スポーツモード
野球/サッカー/ゴルフ

- 画面右上に表示が数秒出て、選んだモードの絵と音が楽しめます。
- スポーツモード選択画面の表示中は、**スポーツモード**ボタンでもモードを選ぶことができます。選んで決定ボタンを押すとモードが切り換わります。

各モードの絵と音

モード	絵と音
野球/サッカー/ゴルフ	絵：芝の緑とユニフォームの色をあざやかに。 音：ボールを打つ/蹴る音と歓声の広がりを強調。
相撲/格闘技	絵：肌色を自然に再現。観客席の黒つぶれを防止。 音：ぶつかりあう音と歓声の広がりを強調。
ウインタースポーツ	絵：雪の白とユニフォームの色をあざやかに。 音：雪や氷の削れる音を臨場感ある音で。
マリンスポーツ	絵：海と空の青、波や雲の白をあざやかに。 音：波の音を強調。
マラソン/その他	絵：コントラスト感を強調。 音：解説の声を明瞭にし、歓声を強調。

こんなときは

- スポーツモードにしているときは映像メニュー、音声メニューは選べません。映像調整や音声調整などもできなくなります。できない機能はメニュー上で暗く表示されます。
- スポーツモードにしているときに音量を変えたときは、音量バーの上にスポーツモードの表示が出ます。
- スポーツモード選択画面で「オフ」を選び、決定ボタンを押すとスポーツモードは解除されます。
- 電源を切/入したとき、入力画面を切り換えたときもスポーツモードは解除されます。
- スポーツモードを解除したときは、スポーツモードにする前の画質と音質に戻ります。
- スポーツモードにしているときでも、ナイトモードは働きます。
- スポーツモード選択画面は10秒で消えますが、画面表示ボタンを押して消すこともできます。

サラウンドで豊かな音を楽しむ

本機に搭載されているSRS WOWは、SRS、TruBass、FOCUSという3つの技術を融合して豊かな音を再生します。

サラウンドボタンを押す

オンのときは明るく表示

- 画面に今のサラウンドの設定状態が表示されます。
- 表示中、押すごとに3DサラウンドとFOCUSのオン/オフができます。オンのときはそれぞれのマークが明るく、オフのときは暗く表示されます。
- TruBassは豊かな低音を再生する機能です。設定はメニュー操作で行います。（57ページ）**サラウンド**ボタンではできません。

3Dサラウンド
音声を自然な広がりで再生します。

FOCUS
セリフや楽器の音の輪郭を明瞭にします。

お知らせ

- これらはメニュー操作で設定して音声メニューに記憶させることもできます。（57ページ）
- WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。
- WOW技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

画質や音質を切り換えて楽しむ （つづき）

映像メニューでお好みの画質を選ぶ

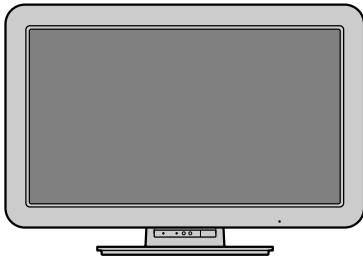
バラエティー番組はメリハリあるクッキリした映像、映画はしっとり落ち着いた映像、というふうに映すソースに合わせて4種類の画質を選べます。

映像メニューボタンを押すと、現在の映像メニューが表示されます。表示中は押すごとに希望の映像メニューを選べます。

標準	バランスの良い、標準的な画質です。一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定値です。
シネマ	映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
ダイナミック	明るく、くっきりとメリハリのある画質です。
プロ設定	映像の、より細部まで調整できるモードです。

- 映像メニューを選ぶと、背景の映像が選んだ映像メニューの画質に変わります。画面の右上に数秒間、選んだ映像メニューの表示が出ます。
- 映像メニューは地上アナログ放送、デジタル放送（地上/BS/CS共通）、HDD、ビデオ1～4、HDMIの各入力画面で別々に記憶します。
- 本機では、映像メニューの画質をお好みに調整して記憶させることができます。 ☞52、54ページ
- スポーツモードにしているときは映像メニューは選べません。

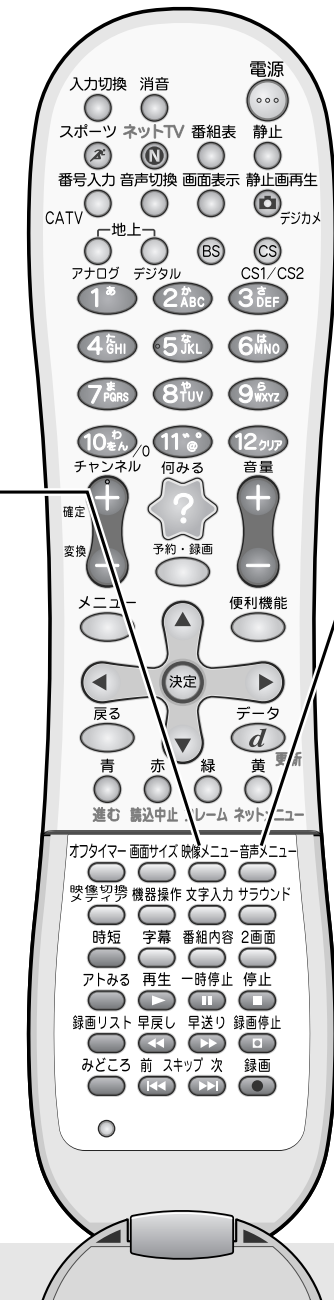
お知らせ

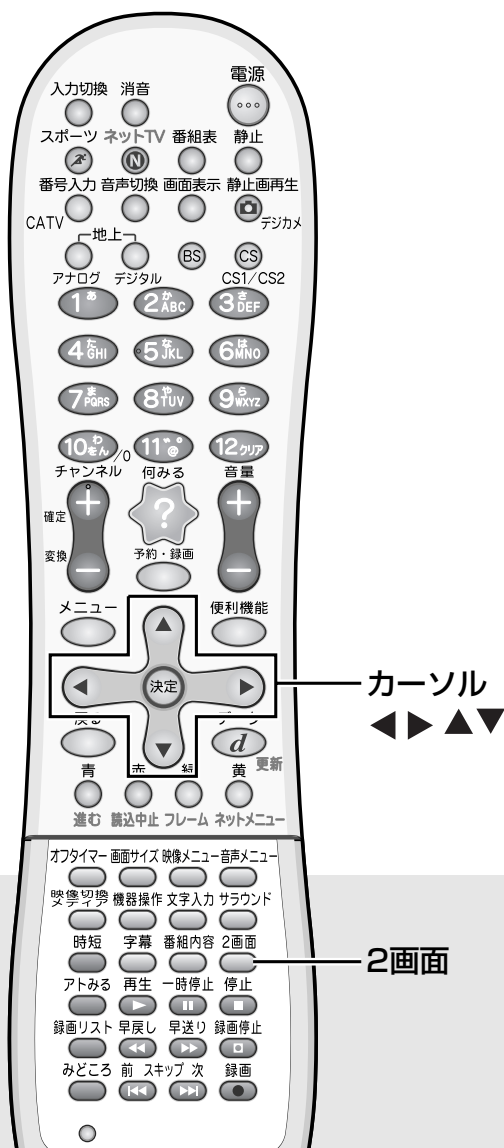
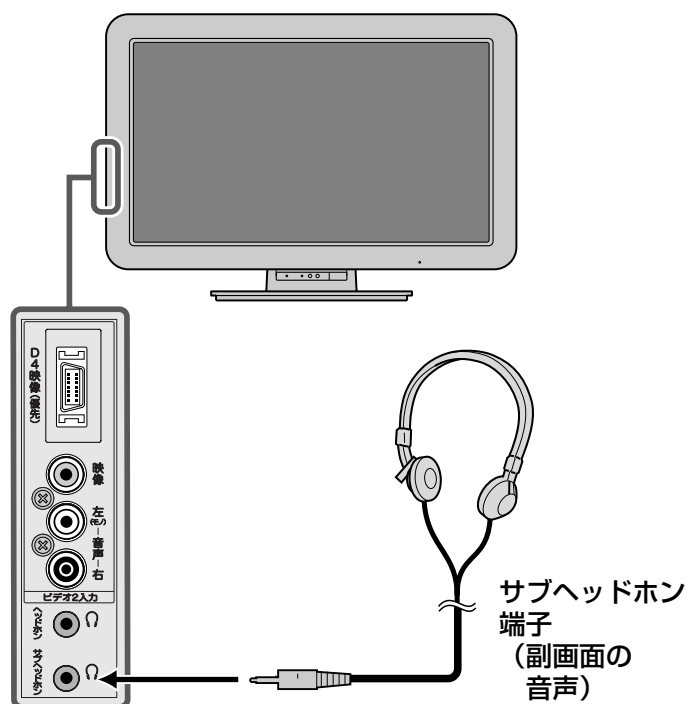
- 映像メニューの画質をメニュー操作「映像調整」によって工場出荷状態から調整した場合は、映像メニューに「マイ」マークがついて表示されます。☞53、55ページ
- 音声メニューの音質をメニュー操作「音声調整」によって工場出荷状態から調整した場合は、音声メニューに「マイ」マークがついて表示されます。☞56ページ

音声メニューでお好みの音質を選ぶ

映画や音楽番組は高音・低音を効かせてメリハリよく、ニュースは中音域を強調して声を聴きやすく、というふうに映すソースに合わせて3種類の音質を選べます。

音声メニューボタンを押すと、現在の音声メニューが表示されます。表示中は押すごとに希望の音声メニューを選べます。

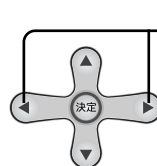
標準	標準的で自然な音
シアター	高音・低音を強調し、映画や音楽をメリハリよく聴かせる音
ニュース	中音域を強調して、声を聴きやすくした音

- 音声メニューを選ぶと、音声が選んだ音声メニューの音質に変わります。画面には数秒間、選んだ音声メニューの表示が音量バーといっしょに出ます。
- 音声メニューは地上アナログ放送、デジタル放送（地上/BS/CS共通）、HDD、ビデオ1～4、HDMIの各入力画面で別々に記憶します。
- 本機では、音声メニューの音質をお好みに調整して記憶させることができます。☞56ページ
- スポーツモードにしているときは音声メニューは選べません。

2つの画面で楽しむには

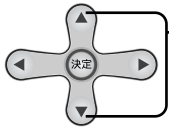
2つの画面を同時に映して楽しむことができます。

2画面を映すには

2画面ボタンを押す

- 2画面が表示されます。枠で囲まれた画面が操作画面（主画面）、もう一方が副画面です。もう一度押すと1画面に戻ります。
- スピーカーからは操作画面（主画面）の音声が出ます。副画面の音声はサブヘッドホン端子にヘッドホンをつないで聴くことができます。
- 操作画面（主画面）は、リモコンやテレビ本体のボタンで操作を行うことができます。

操作画面を切り換えるには

カーソル◀ ▶ ボタンを押す

- 操作画面が切り換わります。

操作画面の大きさを変えるには

カーソル▲▼ ボタンを押す

- 操作画面が拡大/縮小されます。

チャンネルや画面を切り換えるには

① **カーソル◀ ▶**ボタンを押して、チャンネルや画面を切り換えたい画面を操作画面にします。
② **チャンネル**ボタンや**入力切換**ボタンを押して切り換えます。

画面内でカーソルを操作するとき

- 2画面の一方の画面内で**カーソル**ボタンの操作が必要なときは、**カーソル◀ ▶**ボタンを押して操作画面にし、**決定**ボタンを押すと画面内で**カーソル**ボタンが操作できるようになります。元に戻るときは**2画面**ボタンを押します。
- 画面内で**カーソル**ボタンの操作ができるのは、操作画面にしたときに、ガイド表示に「(決定)操作画面の操作」と表示される場合です。
- **決定**ボタンを押して画面内で**カーソル**ボタンが操作できるようにしても、その画面が、そのとき**カーソル**ボタンの操作が必要ない状態のときは動作しません。

映せない組合せ

- 本機に内蔵しているHDDの再生画面を2画面で映すことはできません。
- 同じ放送または入力どうしを2画面で映すことはできません。
- 地上アナログ放送とビデオ1〜4画面を2画面で映すことはできません。
- 地上デジタル放送と同時にBSまたはCSデジタル放送を2画面で映せますが、BSまたはCSデジタル放送どうしを2画面で映すことはできません。
- データ放送は2画面で映せません。
- HDMI入力、i.LINK入力、D映像入力やデジタルカメラの静止画再生画面は2画面で映せません。
- その他、状況によって2画面で映せない場合があります。

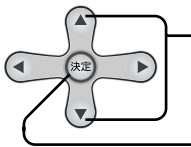
副画面の音声を聴くには

副画面の音声はサブヘッドホン端子にヘッドホンをつないで聴くことができます。音量の調整はメニュー操作で行います。詳しくは☞41、58ページをご覧ください。

お知らせ

- デジタル放送の出力が固定されているときなど、映している画面やその他の機能との関係で2画面にできない場合があります。このようなときは画面に「...この操作はできません。」と表示されます。
- 2画面の状態では働かない機能があります。
- 本機のモニター出力端子からは操作画面(主画面)の映像と音声が出力されます。2画面の状態で出力することはできません。
- 操作画面(主画面)と副画面の画質は多少異なります。
- 2画面での画面の大きさは映している映像の画面サイズ(4：3や16：9)によって変わります。
- 何みるガイドを表示させたときやデジタル放送の番組表を出したとき、予約した番組が始まったときなどのように、自動で2画面が解除されるときがあります。
- 2画面の状態では、録画や再生など、内蔵HDDの操作はできません。

ご注意

このテレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、2画面機能等を利用して2画面等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。

便利機能を使う

地上アナログ放送の便利機能には、明るさと音量をひかえめにするナイトモード機能と、いろいろな設定の状態を表示する機能があります。

ナイトモードで明るさと音量をひかえめに

夜にテレビを楽しむときなど、画面の明るさと音量をひかえめにできます。消費する電力が減るので節電にも役立ちます。

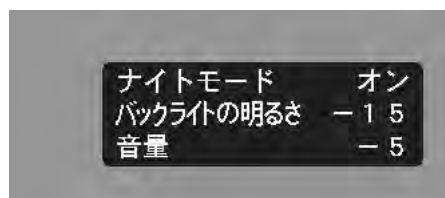
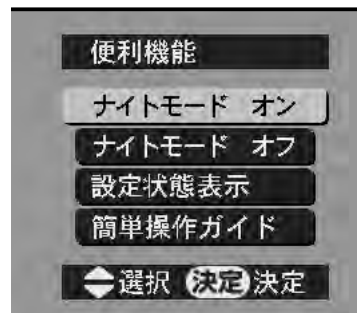
便利機能ボタンを押す

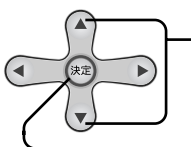
便利機能の表示が出ます。

2

カーソル▼▲ ボタンを押して、「ナイトモードオン」を選び、

決定ボタンを押す

ナイトモードがオンになります。ナイトモードをオンにすると、液晶パネルのバックライトの明るさと音量が低下し、消費する電力が減ります。

ナイトモードをオフに戻すには

便利機能ボタンを押し、カーソル▼▲ボタンを押して「ナイトモードオフ」を選び、決定ボタンを押します。

時計と連動させて、毎日ご希望の時刻にナイトモードをオン/オフすることができます。☞63ページ

お知らせ

- ナイトモード・オンで低下するステップ数は変更できます。（☞60ページ）
- ナイトモードがオンの間に調整した音量は、ナイトモードをオフにすると取り消され、オンにする前の音量に戻ります。
- 電源を切/入するとナイトモードは解除されます。

いろいろな設定の状態を表示で確認する

1

便利機能ボタンを押す

便利機能の表示が出ます。

2

カーソル▼▲ ボタンを押して、「設定状態表示」を選び、

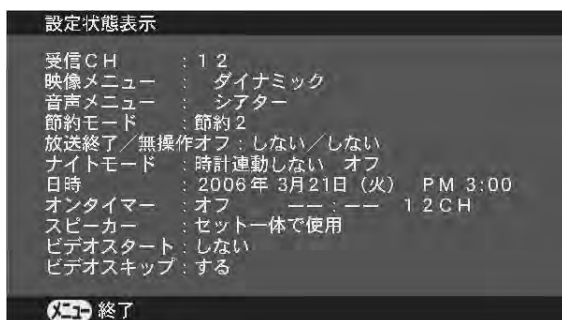
決定ボタンを押す

画面に各機能の設定状態が表示されます。

それぞれの機能については各ページをご覧ください。

設定状態表示

受信ＣＨ　：１２
映像メニュー　：　ダイナミック
音声メニュー　：　シアター
節約モード　：節約２
放送終了／無操作オフ：しない／しない
ナイトモード　：時計連動しない　オフ
日時　：2006年 3月21日（火）　ＰＭ 3:00
オンタイマー　：オフ　ーー：ーー　１２ＣＨ
スピーカー　：セット一体で使用
ビデオスタート：しない
ビデオスキップ：する

メニュー 終了

受信CH..現在受信しているチャンネル
映像メニュー..☞34ページ
音声メニュー..☞35ページ
節約モード..☞60ページ
放送終了/無操作オフ..☞60ページ
ナイトモード..☞60ページ
日時..☞61ページ
オンタイマー..☞62ページ
スピーカー..☞58ページ
ビデオスタート..☞64ページ
ビデオスキップ..☞64ページ

便利機能は、映している放送や画面によって、できる機能が変わります。
便利機能の表示は、**便利機能**ボタンを押すと消えます。

画面を静止させるとき

ご覧になっている映像を3分間静止して映すことができます。

静止させたい場面で静止ボタンを押す

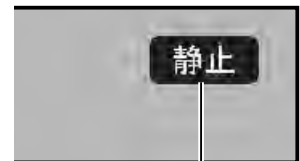
静止した映像が映ります（約3分間まで）。もう一度押すと静止が解除されます。（音声は止まりません）

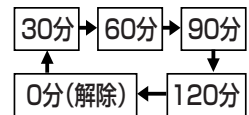
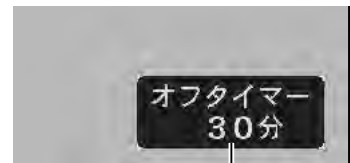
静止を解除するとき

表示は約3秒で消えます。

次の操作を行うと静止は解除されます。

- **静止**ボタンを押したとき
- **戻る**、**画面表示**ボタンを押したとき
- チャンネルを選局したとき
- **入力切換**ボタンを押したとき
- 電源を切／入したとき ......など

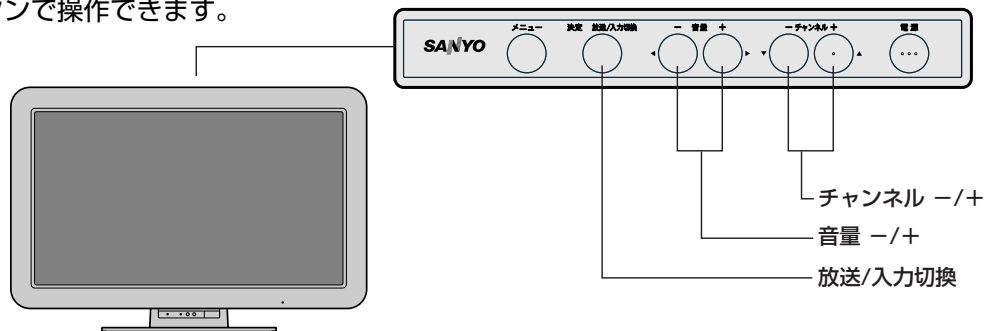
その他、画面表示を伴う操作を行ったときは静止が解除されます。

おやすみオフタイマーを使うとき

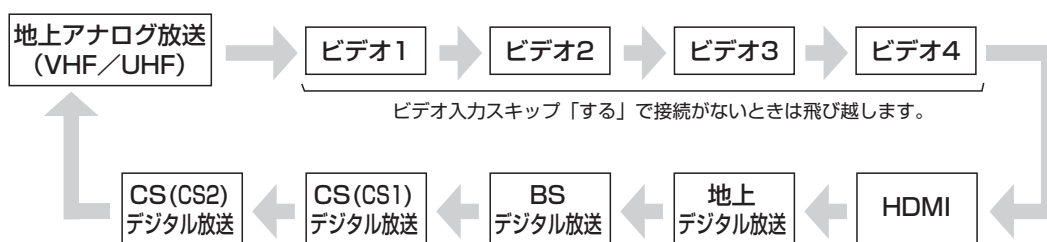
オフタイマーボタンを押して、電源が切れるまでの時間を設定する

- 押すごとに30分単位で120分まで設定できます。設定後に電源を切ったときは設定が解除されます。
- オフタイマーを働かせないとき（解除）は「0分」に設定します。
- 設定後に**オフタイマー**ボタンを押すと、残り時間が表示されます。さらに押すと時間の変更ができます。
- 電源が切れる10秒前から「オフタイマー：もうすぐ電源が切れます」と表示が出ます。

テレビ本体で操作する/ヘッドホンで聴く

リモコンが手元にないときは、テレビ上面のボタンで画面やチャンネルを変えたり、音量を調節したりできるようになっています。ヘッドホンで音を聴くときは、側面の端子にヘッドホンをつなぎます。

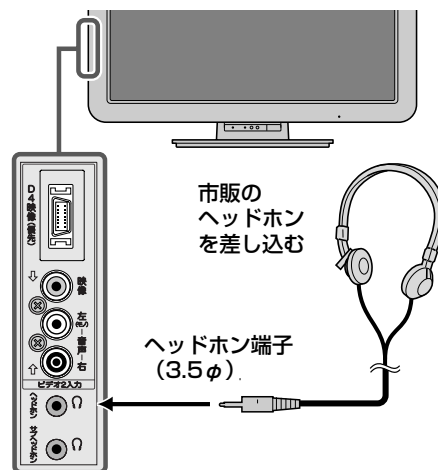
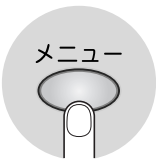
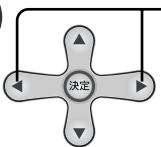
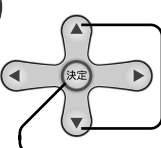
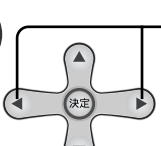
テレビ本体で操作する

テレビ上面のボタンで操作できます。

放送／入力切換ボタンの働き

押すごとに次のように画面を切り換えることができます。

- ビデオ1～4で接続がない入力先には切り換わりません。
  （ビデオ入力スキップ「する」のとき ☞64ページ）
- **放送/入力切換**ボタンを3秒以上押すと、リモコンの**入力切換**ボタンと同様に入力の一覧表示が出ます。表示中に▲▼ボタン（チャンネル＋/ーと兼用）を押して入力を選び、**決定**ボタン（**放送/入力切換**と兼用）を押して入力を切り換えることもできます。

ヘッドホンで音を聴く…ヘッドホン端子につなぐとき

本機にはヘッドホン端子とサブヘッドホン端子の2つのヘッドホン端子があります。ヘッドホン端子の方に、ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーの音が消え、ヘッドホンで音を聴くことができます。深夜などで周囲に音を聴かせたくないときにお使いください。

- 音量は**音量ー／＋**ボタンで調節できます。
- **消音**ボタンで音を消すこともできます。

ヘッドホンで音を聴く...サブヘッドホン端子につなぐとき

サブヘッドホン端子は、ヘッドホンのプラグを差し込んでもスピーカーの音が消えないようになっています。音量はサブヘッドホン専用の音量（サブヘッドホン音量）で調整して聴くことができます。お年寄りなど聴力が異なるかたが一緒にテレビを楽しまれるとき、サブヘッドホン端子にヘッドホンやイヤホンをつないで、聴きやすい音量に調節してご利用いただけます。

- **消音**ボタンはサブヘッドホン端子には働きません。
- 2画面にしたときは副画面の音声がサブヘッドホン端子で聴けます。

サブヘッドホン音量調整のしかた

1

メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2

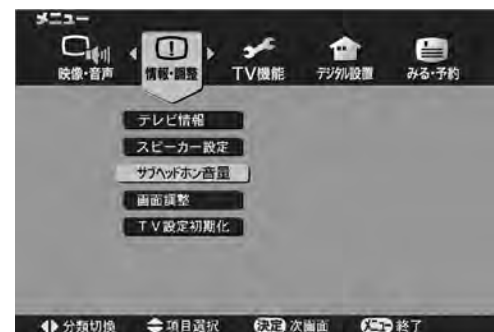
カーソル◀▶ ボタンを押して、「情報・調整」を選ぶ

3

カーソル▼▲ ボタンを押して、「サブヘッドホン音量」を選び、

決定ボタンを押す

4

カーソル◀▶ ボタンを押して、ご希望の音量に調整する

- 操作を終えるときは、**メニュー**ボタンを押すと表示が消えます。

（お知らせ）

- 画面にメニューが表示された状態で約1分間次の操作がないときは、ディスプレイの保護のために自動でメニューが消えます。1分以内に次の操作を行うようにしてください。（デジタル設置メニューの各メニューは自動では消えません）
- メニュー操作について詳しくは 51ページをご覧ください。

テレビを見る

簡単操作ガイドと音声ガイダンス

本機には、テレビ画面で操作方法を紹介する簡単操作ガイドや、動作を音声で知らせる音声ガイダンス機能があります。

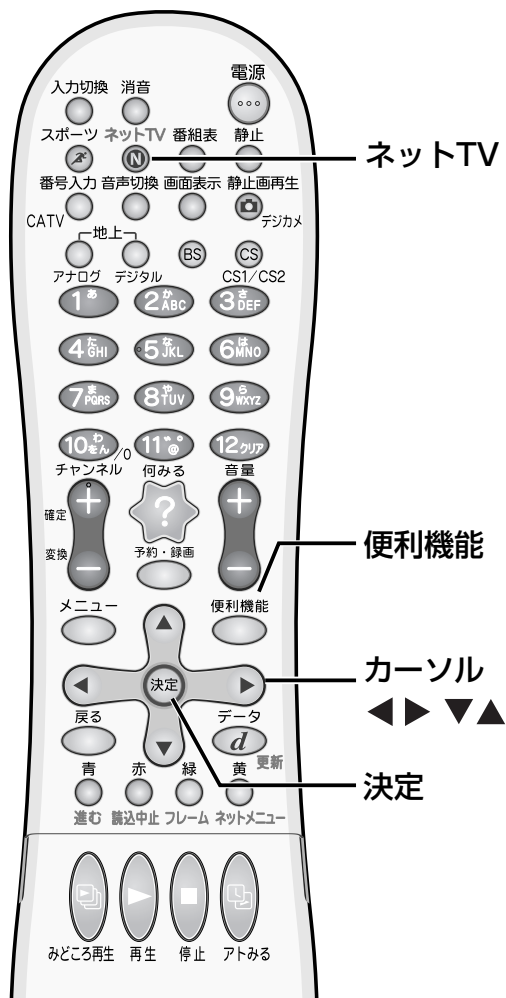
音声ガイダンス機能

デジタル放送や内蔵HDD（ハードディスク）の動作状態などを、声や動作音でお知らせします。

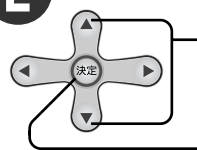
例

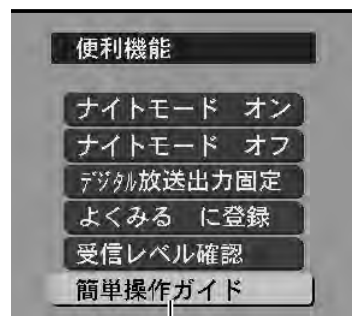
- **何みる？**ボタンを押すと「何みるガイドです。」と声でお知らせします。
- 予約を完了すると「予約を完了しました。」と声でお知らせします。
- **便利機能**ボタンを押してサブメニューを表示させると動作音でお知らせします。

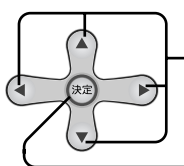
お知らせ

- 音声ガイダンスは、地上アナログ放送や外部入力の画面では働きません。
- 音声ガイダンスの音は、モニター出力端子から出力されます。モニター出力端子を使用するときはご注意ください。
- 音声ガイダンスを使用しないようにも設定できます。（音声ガイド設定 ☞245ページ）

簡単操作ガイドの見かた

1 放送受信画面で便利機能ボタンを押す

- 便利機能メニューが表示されます。
- 便利機能メニューは状況によって変わります。HDDの動作中など、「簡単操作ガイド」が表示されない場合があります。

2 カーソル▼▲ボタンを押して、「簡単操作ガイド」を選び、

決定ボタンを押す

「簡単操作ガイド」選んで決定

- 「簡単操作ガイドを起動しています。」と数秒表示され、簡単操作ガイドの目次画面が表示されます。

3 カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、ガイドを見たい項目を選び、

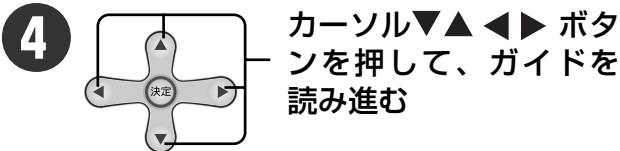
決定ボタンを押す

簡単操作ガイド　目次画面

選んで決定

- 選んだ項目には青い囲みが付きます。
- スピーカーのマークと数字1～3が表示されている項目は、リモコンの数字ボタン**1～3**を押すと音声で説明が流れます。（音声ガイダンス）
- 項目を選んで**決定**ボタンを押すと、「データ更新中」と数秒表示され、選んだ項目の最初のガイド画面が表示され、操作方法が音声で流れます。

4

カーソル▼▲◀▶ボタンを押して、ガイドを読み進む

- ガイド画面に入ってからの操作は、**カーソル▼▲◀▶**ボタンで行います。
- **カーソル▼▲◀▶**ボタンの働きは、各画面の右下に表示されるカーソルボタンの図で確認ください。働きは画面によって異なります。

この図にしたがい、カーソルと決定で操作

目次：目次画面に戻ります。
前へ：前のガイド画面へ戻ります。
次へ：次のガイド画面へ進みます。
音声ガイダンス：音声で説明します。

- 画面右下に表示される**カーソル**ボタンの図の▲ボタンに「何みるガイド」や「予約録画ガイド」と表示されるときは、▲ボタンを押すと何みるガイド画面や予約・録画ガイド画面に切り換わり、実際の操作を行えるようになります。

5

簡単操作ガイドを終了するときは、ネットTVボタンを押す

- 簡単操作ガイド画面が消えます。

簡単操作ガイドのいろいろ

放送中の番組を

[何みる？］で探す
何みるガイドで見たい番組を選ぶ手順を説明します。
[アトみる］で一時停止する
来客などで番組の視聴を中断するときに、内蔵HDD（ハードディスク）に録画しておき、続きをあとで見る機能を説明します。
[録画する]
放送中の番組を内蔵HDDに録画する手順を説明します。

録画した番組を

[再生する]
内蔵HDDに録画した番組を録画リストから選んで再生する手順を説明します。

録画予約する

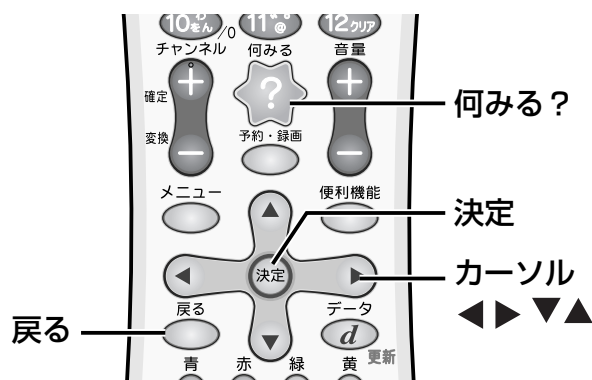
[番組表から]
デジタル放送の番組表から探して録画予約する手順を説明します。
[映画などのジャンルから]
デジタル放送の番組を映画などのジャンルから探して録画予約する手順を説明します。
[日時やチャンネルを指定]
日時やチャンネルを指定して録画予約する手順を説明します。

お知らせ

- 操作方法を音声で説明する音声ガイダンスの大きさは、本機の音量に連動します。音声ガイダンスの音量だけを調節することはできません。
- 簡単操作ガイド画面に表示される、画面やリモコンの図は、実物と多少異なることがあります。
- 簡単操作ガイドで紹介している操作放送は操作の一例です。詳しい操作方法については取扱説明書の各ページをご覧ください。
- 簡単操作ガイド画面では、録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。またその他にも働かない機能があります。

何みるガイドで見たいものを選ぶ

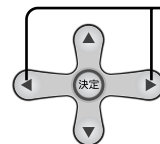
何みる？ボタンを押すと何みるガイド画面が表示され、見たいものを探したり、その画面に切り換えたりできます。

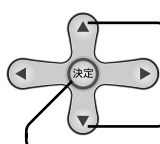
何みるガイドの操作に使うボタン

何みるガイドの画面例

何みるガイド・基本の使いかた

何みるガイドの基本の使いかたを、説明します。

❶ 何みる？ボタンを押して、何みるガイドを表示する

❷ カーソル◀ ▶ ボタンを押して、放送や項目を選ぶ

- 選べるチャンネルや項目が下に表示されます。選ばれている部分が黄色で表示されます。
- 「ジャンル検索」では放送中のデジタル放送からご希望のジャンルの番組を検索して受信できます。☞47ページ。
- 「よくみる」では事前に登録した8つのデジタル放送から選んで受信できます。☞48ページ。
- 「外部・ビデオ」では本機のビデオ入力などへつないだ機器の画面に切り換えできます。☞49ページ。
- 「HDD」では内蔵HDDに記録した録画タイトルリストを表示できます。☞49ページ。

❸ カーソル▼▲ ボタンを押して、チャンネルや項目を選び、決定ボタンを押す

- 選んだチャンネルや入力の画面に切り換わります。

何みるガイドの画面例

何みる・BSデジタル放送とき

- 何みるガイドに「前へ」や「次へ」と表示されるときは、**カーソル▼▲**ボタンを押して前または次の項目を表示できます。
- 何みるガイドに「(赤) 次ページ」や「(青) 前ページ」と表示されるときは、**赤**や**青**ボタンを押して前または次のページを表示できます。
- 何みるガイドは**何みる？**ボタンや**戻る**ボタンを押すと消えます。

何みるガイド・こんなとき

- 何みるガイド画面ではデジタル放送の**番組内容**ボタンは働きません。

地上アナログ放送

何みるガイドから地上アナログ放送のチャンネルを選局できます。

1 **何みるガイド画面を出し、カーソル◀ ▶ ボタンを押して「地上アナログ」を選ぶ**

- 1〜12ボタンに設定されている地上アナログ放送のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定でスキップ「する」に設定されているチャンネルは表示されません。

2 **カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望のチャンネルを選び、決定ボタンを押す**

- 選んだチャンネルが受信されます。

チャンネル名について

- 何みるガイドのチャンネル名は、地上アナログ放送のチャンネル設定で、地域番号による自動設定（☞208ページ）をした場合に表示されるようになります。
- 個別設定やケーブルテレビのチャンネルを設定した場合は表示されません。このようなときは、チャンネル名を手動で入力することができます。
- チャンネル名は変わることがあります。

チャンネル名を入力・変更するとき

地上アナログ放送のチャンネルやケーブルテレビのチャンネルを個別設定で設定したときは、何みるガイドにチャンネル名が表示されません。そのようなときはチャンネル名を手動で入力できます。また入力済みのチャンネル名は同様に手動で変更することができます。

1 **何みるガイドの地上アナログ画面を表示させる**

2 **カーソル▼▲ ボタンを押して、チャンネル名を入力または変更したいチャンネルを選ぶ**

3 **文字入力ボタンを押して、画面キーボードを表示させる**

- 画面キーボードが表示されます。
- チャンネル名がない状態のときは、画面キーボードの入力窓は「――」で表示されます。
- チャンネル名がある状態のときは、画面キーボードの入力窓に現在のチャンネル名が表示されます。

4 **画面キーボードを使って、チャンネル名を入力または変更する**

文字入力のしかたについては☞265ページをご覧ください。

画面キーボードでチャンネル名を入力

お知らせ

- 何みるガイド画面では、録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。
- HDMI入力やD映像入力の映像を映しているときなど、入力映像やそのときの動作状態によっては、何みるガイド右上の視聴画面に映像を表示できない場合があります。

何みるガイドで見たいものを選ぶ（つづき）

地上デジタル放送

何みるガイドから地上デジタル放送のチャンネルを選局できます。

1 何みるガイド画面を出し、カーソル◀ ▶ ボタンを押して「地上デジタル」を選ぶ

- 1～12ボタンに設定されている地上デジタル放送のチャンネルが表示されます。

2 カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望の番組を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ番組のチャンネルが受信されます。

BSデジタル放送

何みるガイドからBSデジタル放送のチャンネルを選局できます。

1 何みるガイド画面を出し、カーソル◀ ▶ ボタンを押して「BS」を選ぶ

- 1～12ボタンに設定されているBSデジタル放送でそのとき放送している番組が表示されます。
- **映像切換/メディア**ボタンを押すごとにテレビ/ラジオ/データなど、メディアごとの何みるガイドに切り換えることができます。

2 カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望の番組を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ番組のチャンネルが受信されます。

お知らせ・デジタル放送のとき

- デジタル放送では何みるガイドにチャンネルのロゴマークや番組名、放送の時間帯などが表示されます。
- 終了した番組のチャンネルや、データが取得できていないチャンネルは暗く表示されます。
- 何みるガイドに表示される番組の情報は、取得済みの番組データから表示されます。データが取得できていないときは情報が表示されないことがあります。
- リモコンの**黄**ボタンを押すと番組データの更新ができます。データの更新中は映像と音声が中断します。また更新には時間がかかる場合があります。最新のデータに更新済みのときは**黄**ボタンを押しても更新しません。
- **映像切換/メディア**ボタンを押すと、データ放送やラジオ放送に切り換えることができます。

110度CSデジタル放送

何みるガイドから110度CSデジタル放送のチャンネルを選局できます。

1 何みるガイド画面を出し、カーソル◀ ▶ ボタンを押して「CS」を選ぶ

- 110度CSデジタル放送のCS1とCS2でそのとき放送している番組が一緒に表示されます。
- **映像切換/メディア**ボタンを押すごとにテレビ/データなど、メディアごとの何みるガイドに切り換えることができます。

2 カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望の番組を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ番組のチャンネルが受信されます。

放送中の番組名　放送時間
チャンネルのロゴ
チャンネルボタン
チャンネル番号

無料放送　　　　：無
未契約の有料放送：未
契約済の有料放送：契

ジャンル検索

各デジタル放送から、ご希望のジャンルの番組を探して受信できます。

1 何みるガイド画面を出し、カーソル◀ ▶ ボタンを押して「ジャンル検索」を選ぶ

2 カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望のジャンルを選び、決定ボタンを押す

- 受信できる各デジタル放送（BS/110度CS/地上）から検索を開始します。
- 放送中の番組から、選んだジャンルの番組を検索し、順に表示します。
- 検索にはしばらくかかります。
- 検索結果画面からジャンル項目画面に戻るときは**戻る**ボタンを押します。このとき、前の検索結果は取り消されます。

希望のジャンルを選んで決定

次ページへ続く

お知らせ

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送では有料放送が行われています。選んだ番組が未契約の有料放送だった場合は受信されません。
- デジタル設置メニューの「番組表、選局設定」を「テレビのみ」に設定したときは、**映像切換/メディア**ボタンでラジオ放送やデータ放送の何みるガイドに切り換えることはできなくなります。

何みるガイドで見たいものを選ぶ（つづき）

ジャンル検索（つづき）

- リモコンの**黄**ボタンを押すと番組データの更新ができます。データの更新中は映像と音声が中断します。また更新には時間がかかる場合があります。最新のデータに更新済みのときは**黄**ボタンを押しても更新しません。

3 **カーソル▼▲ボタンを押して、ご希望の番組を選び、決定ボタンを押す**

- 選んだ番組のチャンネルが受信されます。

希望の番組を選んで決定

デジタル放送の種類

よくみる

「よくみる」は、前もって登録したデジタル放送の8つのチャンネルを選局できます。

よくみるの登録

- 便利機能で登録 85ページ

1 **何みるガイド画面を出し、カーソル◀▶ボタンを押して「よくみる」を選ぶ**

- 前もって「よくみる」に登録されたチャンネルで放送中の番組の情報が表示されます。

2 **カーソル▼▲ボタンを押して、ご希望の番組を選び、決定ボタンを押す**

- 選んだチャンネルが受信されます。

希望の番組を選んで決定

お知らせ

- ジャンル検索で検索される番組の情報は、取得済みの番組データから表示されます。データが取得できていないときは情報が表示されないことがあります。
- 選んだ番組が未契約の有料放送だった場合は受信されません。
- 番組のジャンル分けは放送側で行われています。

お知らせ

- 1～12ボタンに設定されていないデータ放送やラジオ放送のチャンネルを「よくみる」に登録しておくと選局に便利です。

外部・ビデオ

「外部・ビデオ」は、本機に接続したビデオ機器やデジタルカメラなどの画面に切り換えることができます。

1 **何みるガイド画面を出し、カーソル◀ ▶ ボタンを押して「外部・ビデオ」を選ぶ**

- 外部入力が表示されます。

2 **カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望の入力を選び、決定ボタンを押す**

- 選んだ入力画面に切り換わります。

入力を選んで決定

表示される入力について

- ビデオ入力スキップ（☞64ページ）が「する」に設定されているときは、ビデオ1～4入力の接続がある入力が表示されます。接続がない入力は表示されません。
- ビデオ表示切換（☞64ページ）でビデオ1～4入力の表示を「DVD1」などに変えているときは、変えた入力名が表示されます。
- 「HDMI入力」は本機のHDMI入力端子に接続した機器の画面に切り換えます。
- 「静止画再生」は本機のデジカメ端子に接続したデジタルカメラやHDDにコピーした静止画再生画面に切り換えます。
- 本機にD-VHSビデオなどのi.LINK機器を接続し、i.LINK接続機器設定をしたときは、表示に「i.LINK」が追加され、i.LINK機器の再生画面に切り換えられるようになります。
- 画面に表示される入力が8個を超えたときは「次へ」のマークが表示されます。**カーソル▼▲** ボタンで次へ移ることができます。

HDD（内蔵ハードディスク）

「HDD」は、本機に内蔵したHDD（ハードディスク）の録画タイトルリストからタイトルを選んで再生することができます。

1 **何みるガイド画面を出し、カーソル◀ ▶ ボタンを押して「HDD」を選ぶ**

- 録画タイトルのリストが表示されます。

2 **カーソル▼▲ ボタンを押して、タイトルを選び、決定ボタンを押す**

- 選んだタイトルの再生が始まります。

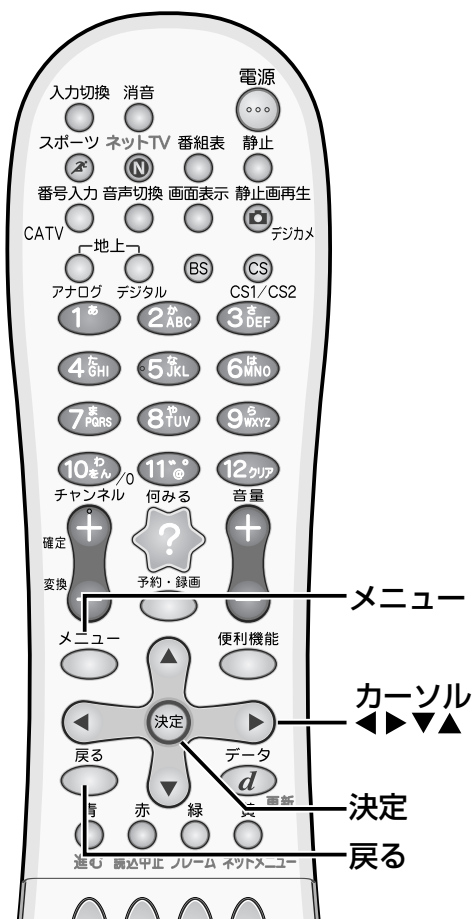
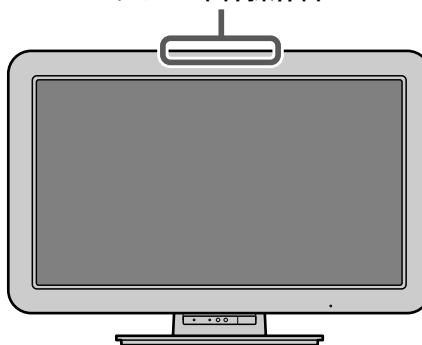
録画タイトルを選んで決定

録画リスト画面について

- 録画タイトルのリスト画面から、いろいろな操作ができます。詳しくは☞107ページをご覧ください。
- 録画タイトルがないときは「録画されたタイトルはありません。」と表示されます。

内蔵HDD（ハードディスク）レコーダーによる録画や再生については、☞86～119ページをご覧ください。

メニューで行う機能

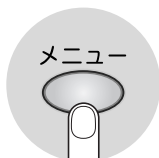
本機の調整や設定は、画面に表示されるメニューで行うようになっています。
この章ではメニュー操作について説明します。

（お知らせ）

- メニューの表示中は、録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。
- 画面にメニューが表示された状態で約1分間次の操作がないときは、ディスプレイの保護のために自動でメニューが消えます。（デジタル設置メニューの各メニューは自動では消えません）
- デジタル設置メニューの項目を選んで**決定**ボタンを押したときは、背景がデジタル放送に変わります。このときに**戻る**ボタンを押しても、背景はアナログ放送には戻りません。
- 録画予約の実行中などデジタル放送出力が固定されているときや2画面のときは、デジタル設置メニューが暗く表示されて設定できません。
- デジタル設置メニューによってはカラーボタンや**チャンネル1～12**ボタンを使用するものがあります。
- デジタル放送が受信できない、または受信状態がよくないときは、デジタル設置メニューが表示できなかったり、操作が制限されることがあります。

基本のメニュー操作

メニュー操作の基本的な手順を説明します。
（各メニューの機能と操作方法は個々のページで詳しく説明します）

基本のメニュー操作のしかた

1 メニューボタンを押してメニューを出す

メニューが表示されます。一番下のガイド表示を操作のめやすにしてください。

選んだメニューは黄色で表示されます。　ガイド表示

2 カーソル◀▶ ボタンを押して、希望のメニューを選ぶ

- 選んだメニューは黄色で表示され、下にメニュー項目が表示されます。

3 カーソル▼▲ ボタンを押して、設定するメニュー項目を選び、決定ボタンを押す

- 選んだメニュー項目の画面に変わります。

例. 音声調整メニュー

メニューにはその画面で設定できるメニューと、さらに**決定**ボタンを押して次の画面に移るメニューがあります。ガイド表示を参考にしてください。

4 カーソル▼▲ ボタンを押して、メニュー内の設定する項目を選び、◀▶ ボタンを押して設定する

表示されたメニュー画面内で設定を行います。

5 終了するときはメニューボタンを押す（設定終了）

メニュー画面が消えます。

■操作を中止・終了するときは

メニューボタンを押すと、メニュー画面が消えて、操作を中止・終了できます。

■メニューが暗く灰色で表示されるときは

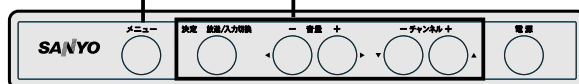
そのときどきの状況によって操作を禁止しているメニューは暗く灰色で表示されます。灰色で表示されたメニューは選ぶことができません。
（▲▼ボタンを押したときは飛び越します）

■前に戻るときは

戻るボタンを押すと前に戻ることができます。（一部、戻らないメニューもあります）

テレビ本体でメニュー操作するとき

メニュー操作はテレビ本体のボタンでも行えます。**メニュー**ボタンを押すと画面にメニューが表示されます。メニューが表示されている状態ではテレビ本体の**放送／入力切換**、**音量－／＋**、**チャンネル－／＋**ボタンが、メニュー操作の決定、◀▶▼▲ボタンの働きに変わります。これらのボタンでリモコンのときと同様に操作できます。（デジタル設置メニューでは、テレビ本体のボタンだけでは設定できないものがあります。）

メニューボタン　**メニューが表示されている状態ではこれらがメニュー操作ボタンの働きに変わります。**

映像をお好みに調整する（標準、シネマ、ダイナミックのとき）

映像調整メニューでは画質を微妙な部分まで調整できます。

映像調整のしかた

1 メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「映像・音声」を選ぶ

3 カーソル▼▲ ボタンを押して「映像調整」を選び、決定ボタンを押す

映像調整メニューに切り換わります。

メニュー画面

「映像・音声」の「映像調整」を選んで決定

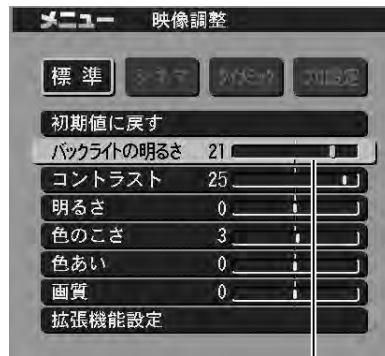
4 カーソル◀ ▶ ボタンを押して、調整を加えたい映像メニューを選び、決定ボタンまたは▼ボタンを押す

映像調整メニュー

希望の映像メニューを選んで決定

お知らせ

映像メニュー「プロ設定」では、他のモードに比べてさらに詳細に調整できる項目が用意されています。「プロ設定」の映像を調整するときは☞54ページをご覧ください。

5 カーソル▼▲ ボタンを押してご希望の項目を選び、決定ボタンを押す

調整する項目を選んで決定

選んだ項目の画面に切り換わります。
バーが表示されている項目を選んだときは、**カーソル◀ ▶**ボタンでも選んだ項目の画面に切り換わります。

6 カーソル◀ ▶ ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す

個別の調整画面

画像の変化とバー表示を見ながらご希望の状態に調整します

初期値に戻す	出荷時の映像メニューに戻します
バックライト明るさ	暗 ←—●—→ 明
コントラスト	淡 ←—●—→ 濃
明るさ	暗 ←—●—→ 明
色のこさ	淡 ←—●—→ 濃
色あい	紫 ←—●—→ 緑
画　質	やわらか ←●→ くっきり
拡張機能設定	詳細に調整するとき選んで決定

※「標準」でも中央でない項目があります。

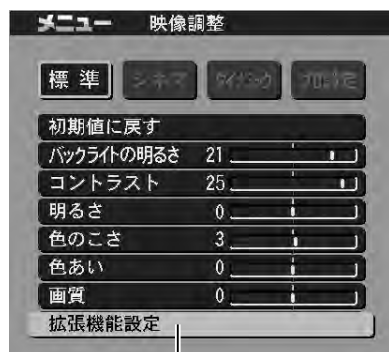
■その他の項目を続けて調整するときは

調整画面で▲▼ボタンを押すと、調整画面のまま別の項目に移ることができます。希望の項目を選び◀ ▶ボタンで調整します。

■映像調整メニューに戻るときは

個別の調整画面で**決定**ボタンを押すと映像調整メニューに戻ります。**戻る**ボタンでも戻れます。
調整を行ったときは、映像調整メニューの右上に「マイ」マークが表示されます。

さらに詳細な調整を行うときは映像調整メニューから「拡張機能設定」画面へ入ります。

7 **カーソル▼▲ボタンを押して「拡張機能設定」を選び、決定ボタンを押す**

「拡張機能設定」を選んで決定

拡張機能設定画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。

8 **カーソル▼▲ボタンを押して項目を選び、カーソル◀▶ボタンで設定する**

映像調整（拡張）画面

▼▲で項目を選び、◀▶で設定

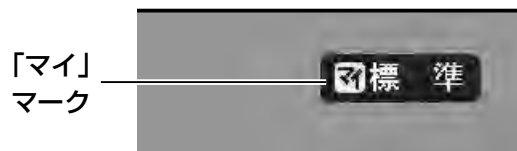
ノイズリダクション	オフ/オン
デジタルNR	オフ/オン
色温度	標準/低い/高い
肌色補正	オフ/オン
シネマオート	オフ/オン
ダイナミックAI	オフ/オン
明るさセンサー	オフ/オン
前の画面に戻る	映像調整画面に戻すときに選択

映像調整メニュー画面に戻るときは「前の画面に戻る」を選んで**決定**ボタンを押します。

9 **終了するときはメニューボタンを押す（調整終了）**

メニュー画面が消えます。

調整した画質を呼び出すには

映像調整した映像メニューを呼び出します。映像調整で工場出荷状態から変えた映像メニューには「マイ」マークが表示されます。

「マイ」マーク

出荷状態に戻すときは...

映像メニューを工場出荷状態に戻すときは、戻したい映像メニューを選び、映像調整メニューの「初期値に戻す」を選んで決定ボタンを押してください。工場出荷状態に戻った映像メニューは「マイ」マークが表示されなくなります。

お知らせ

- **ノイズリダクション**はオンにするとザラつき（ノイズ）がやわらいで見やすくなります。ノイズがある映像をご覧になるときだけ「オン」にし、通常はオフでご覧ください。アナログ映像入力に有効です。デジタル放送などの画面では設定できません。
- **デジタルNR**は画質を劣化させることなく映像のデジタルノイズ成分を除去する働きをします。デジタル放送の画面で有効です。
- **色温度**は、白の色調を調整します。「低い」は赤みがかった白、「高い」は青みがかった白です。
- **肌色補正**は黄色や赤味がかった肌色を、自然な色に補正します。（映像の中の肌色を基準の肌色と比較し、その差を自動的に補正する機能です。映像の中の肌色が基準の肌色に近い場合は「オン」にしても効果がわかりにくくなります）
- **シネマオート**は映画をより忠実に映し出す機能です。映画のフィルム映像は1秒間24コマで構成されています。これをテレビ番組やビデオの信号に変換する際、1秒間30コマに変換します。（テレシネ変換）シネマオートは映像信号からテレシネ変換を検出し、フィルム映像に忠実なプログレッシブ映像を映し出す機能です。
- **ダイナミックAI**は映している映像に応じて画質を自動調整する機能です。例えば暗い映像では階調を細かに表現し、明るい映像ではメリハリのある映像に自動調整します。
- **明るさセンサー**は、本体前面の明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、それに応じて画質を自動調整する機能のオン／オフを設定します。

映像をプロ並みに調整する（プロ設定のとき）

映像のメニューの「プロ設定」ではさらに細部まで調整する項目を設けています。

プロ設定の映像調整のしかた

1 「映像調整」の画面を出す
（☞52ページの操作1～3）

2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して、映像メニューの「プロ設定」を選び、決定ボタンまたは▼ボタンを押す

映像調整メニュー

「プロ設定」を選んで決定

3 カーソル▼▲ ボタンを押してご希望の項目を選び、決定ボタンを押す

調整する項目を選んで決定

選んだ項目の画面に切り換わります。
バーが表示されている項目を選んだときは、カーソル◀ ▶ボタンでも選んだ項目の画面に切り換わります。

4 カーソル◀ ▶ ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す

調整方法は他の映像メニューのときと同じです。（☞52ページ）

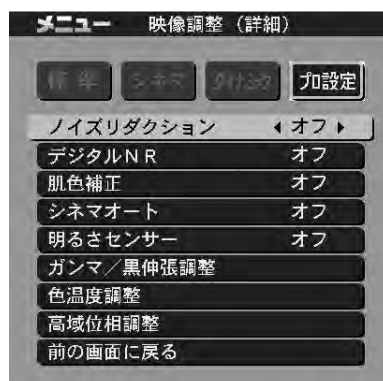
さらに詳細な調整を行うときは映像調整メニューから「詳細設定」画面へ入ります。

5 カーソル▼▲ ボタンを押して「詳細設定」を選び、決定ボタンを押す

「詳細設定」を選んで決定

詳細設定画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。

6 カーソル▼▲ ボタンを押して項目を選び、カーソル◀ ▶ ボタンを押して設定する

詳細設定画面

ノイズリダクション、デジタルNR、肌色補正、シネマオート、明るさセンサーの調整方法は他の映像メニューのときと同じです。（☞53ページ）

詳細設定画面から映像調整メニュー画面に戻るときは「前の画面に戻る」を選んで決定ボタンを押します。

ガンマ/黒伸張調整をするとき

- ガンマ補正は中間の明るさを変化させ、映像の明るい部分と暗い部分のバランスを調整する機能です。
- 黒伸張は映像の暗い部分の階調を調整する機能です。

7 カーソル▼▲ ボタンを押して「ガンマ/黒伸張調整」を選び、決定ボタンを押す

ガンマ/黒伸張調整画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。

8 カーソル▼▲ボタンを押して項目を選び、◀▶ボタンを押して調整する

ガンマ/黒伸張調整画面

▼▲で項目を選び、◀▶で調整

ガンマ補正	中間輝度の明るさを調整
黒伸張	黒の浮き沈みを調整
前の画面に戻る	詳細設定画面に戻すときに選択

ガンマ/黒伸張調整画面から詳細設定画面に戻るときは「前の画面に戻る」を選んで**決定**ボタンを押します。

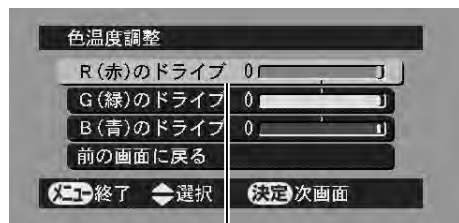
色温度調整をするとき

R（赤）、G（緑）、B（青）各色のドライブを調整することによって細かな色調の調整ができます。

9 カーソル▼▲ボタンを押して「色温度調整」を選び、決定ボタンを押す

色温度調整画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。

10 カーソル▼▲ボタンを押して項目を選び、◀▶ボタンを押して調整する

色温度調整画面

▼▲で項目を選んで決定

11 カーソル◀▶ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す

色温度調整画面から詳細設定画面に戻るときは「前の画面に戻る」を選んで**決定**ボタンを押します。

高域位相調整をするとき

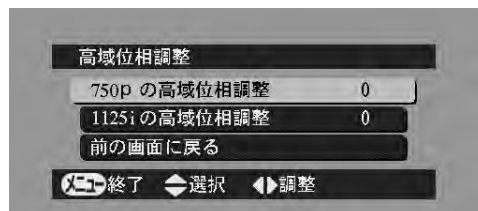
高域位相調整は、ビデオ2～4入力のD4映像端子にハイビジョン映像などのコンポーネント映像信号（750p、1125i）を入力して再生するとき、映像細部のノイズを少なくします。

ご注意

- ビデオ２～４入力のD4映像端子に750p、1125iの映像を入力して映しているとき以外は調整できません。
- この調整は、信号にずれがある場合に有効です。ずれがない場合は調整しても変化はありません。
- 調整した結果は「プロ設定」を含めてすべての映像メニューに反映されます。

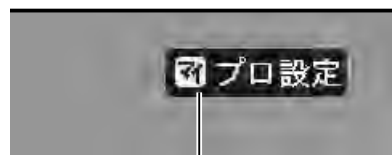
12 カーソル▼▲ボタンを押して「高域位相調整」を選び、決定ボタンを押す

高域位相調整を行う画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。入力中の表示モードが明るく表示され、調整を行うことができます。

カーソル◀▶ボタンを押して調整する

13 終了するときはメニューボタンを押す（調整終了）

メニュー画面が消えます。

調整した画質を呼び出すには

映像メニューの「プロ設定」を呼び出します。映像調整で工場出荷状態から変えたときは「マイ」マークが表示されます。

「マイ」マーク

音声をお好みに調整する

音声調整メニューでは高音・低音・バランスの調整や、便利な音声機能の設定ができます。

音声調整のしかた

1 メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

2 カーソル◀▶ ボタンを押して、「映像・音声」を選ぶ

3 カーソル▼▲ ボタンを押して「音声調整」を選び、決定ボタンを押す

音声調整メニューに切り換わります。

メニュー画面

「映像・音声」の「音声調整」を選んで決定

4 カーソル◀▶ ボタンを押して、調整を加えたい音声メニューを選び、決定ボタンまたは▼ボタンを押す

音声調整メニュー

希望の音声メニューを選んで決定

5 カーソル▼▲ ボタンを押して項目を選び、◀▶ ボタンを押して調整する

音の変化を聴きながら、バー表示をめやすにご希望の状態に調整します。

初期値に戻す	出荷時の音質に戻すときに使用
高　音	弱 ←—●—→ 強
低　音	弱 ←—●—→ 強
バランス	左 ←—●—→ 右
3Dサラウンド	オフ / オン
FOCUS	オフ / オン
TruBass	オフ / 弱 / 強
スムース音量	オフ / 弱 / 強

高音/低音/バランスを調整したときは、それぞれのバー表示に変わります。調整して**決定**ボタンまたは**戻る**ボタンを押すと、音声調整メニューに戻ります。

6 終了するときはメニューボタンを押す（調整終了）

メニュー画面が消えます。

調整した音質を呼び出すには

調整した音声メニューを呼び出します。音声調整で工場出荷状態から変えた音声メニューには「マイ」マークが表示されます。

3Dサラウンド

音声を自然な広がりで再生します。広がり感を得られる範囲が広く、長時間聴いていても疲れにくい音を再生します。

FOCUS

セリフや楽器の音の輪郭を明瞭にします。スピーカーの音が画面の中から聴こえるような効果があります。長時間聴いていても疲れにくい音を再生します。

TruBass

豊かな低音を再生します。

お知らせ

- SRS、FOCUS、TruBassを融合させた、最適な音像を再生する技術はWOWと呼ばれています。
- WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。
- WOW技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

スムース音量

番組の間にコマーシャルが入ったときなど、音が急に大きく聞こえるのをおさえる機能です。強く働かせたいときは「強」に設定します。

ご注意

- スムース音量が強または弱のときは、大きな音をおさえるとともに小さな音を一定レベルまで持ち上げる働きをします。再生する音声によって不自然に聴こえるときは、オフにしてお聴きください。
- 各機能の効果は、再生する音声の種類によって異なります。

情報・調整メニューで行う機能

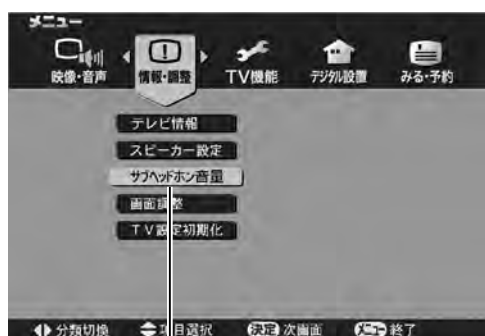
情報・調整メニューでは、次のような設定や調整が行えます。

情報・調整メニューの設定

1 メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

2 カーソル◀▶ ボタンを押して「情報・調整」を選ぶ

3 カーソル▼▲ ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押す

メニュー画面

「情報・調整」から項目を選んで決定

選んだ項目の画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。

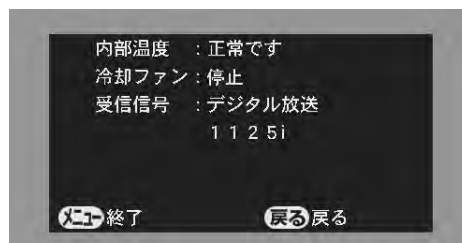
4 ◀▶ ボタンを押して設定・調整し、決定ボタンを押す

例. サブヘッドホン音量

テレビ情報	決定で「お知らせ」を表示
スピーカー設定	決定で「スピーカー設定」画面に
サブヘッドホン音量	決定で音量調整画面に
画面調整	決定で「画面調整」の画面に
TV設定初期化	決定で「リセット」画面に

5 終了するときはメニューボタンを押す（設定終了）

テレビ情報

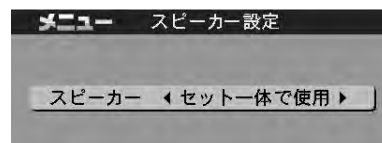
「テレビ情報」を選んで決定ボタンを押すと、本機の内部温度や冷却ファンの状態、映像信号の種類などを知ることができます。

■「異常です」と表示されたとき

内部温度が「異常です」と表示されたときは、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口（☞288ページ）にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。

スピーカー設定

本機のスピーカーを取りはずし、スタンドに立てて使用するときは「スタンドで使用」に設定を切り換えてください。

スピーカーの取りはずし（☞204ページ）

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「スピーカー設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル◀▶**ボタンを押して設定し、**決定**ボタンを押します。

セット一体で使用
スピーカーをテレビに取り付けた状態で使用するときは「セット一体で使用」のままお使いください。

スタンドで使用
スピーカーをテレビから取りはずし、付属のスタンドに立てて使用するときは「スタンドで使用」に切り換えます。テレビから離して使用する状況に合った音の特性に切り換えます。

サブヘッドホン音量

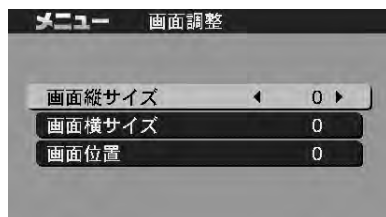
「サブヘッドホン音量」は、サブヘッドホン端子につないだヘッドホンの音量を専用に調整するメニューです。

① カーソル▲▼ボタンを押して「サブヘッドホン音量」を選び、**決定**ボタンを押します。
② カーソル◀ ▶ボタンを押して調整します。

画面調整

「画面調整」では、画面からはみ出した部分を映したり、画面の帯を少なくしたりできます。
(画面調整は画面サイズが「フル」、「ノーマル」、「サイドカット」のときは調整できませんのでご注意ください)

① **カーソル**▲▼ボタンを押して「画面調整」を選び、**決定**ボタンを押します。画面調整メニューに切り換わり、現在の設定値が表示されます。
② **カーソル**▲▼ボタンを押して調整する項目を選び、**カーソル**◀ ▶ボタンを押して調整します。

画面調整メニュー

画像の変化と数字を見ながらご希望の状態に調整します。

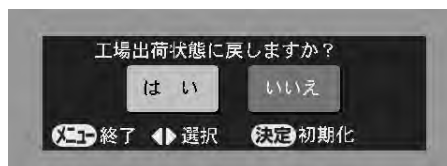
画面縦サイズ	−5 ←――●――→ +5
画面横サイズ	−5 ←――●――→ +5
画面位置	−5 ←――●――→ +5

ご注意

● 選んでいる画面サイズによってできる調整とできない調整があります。できない調整はメニューが暗く灰色で表示されます。

TV設定初期化

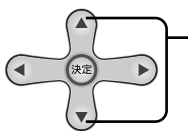
お買い上げ後にメニュー操作(デジタル設置メニューは除く)で行った調整や設定を取り消して工場出荷時の状態に戻す機能です。

① **カーソル**▲▼ボタンを押して「TV設定初期化」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル**◀ ▶ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。

初期化が実行され、メニュー操作で行った設定がお買い上げ時(工場出荷時)の状態に戻ります。初期化の表示は消え、地上アナログ放送1チャンネルの画面が映ります。

ご注意

「TV設定初期化」を実行しますと、メニュー操作で設定したチャンネル設定や映像調整などが取り消され、工場出荷時の状態に戻ります。そのためこれまで映すことができたチャンネルが映らなくなったりする場合がありますのでご注意ください。

デジタル放送の各種設定を初期化をするときは、デジタル設置メニューの「制限/初期化」から「設定の初期化」を行ってください。(☞254~256ページ)

お知らせ

画面の上下位置はリモコンのカーソル▲▼ボタンでも調整できます。

● **カーソル**▲▼ボタンで画面上下したときは、画面調整メニュー「画面位置」の調整値が連動して変化します。
● 画面サイズが「ノーマル」と「フル」のとき、デジタル放送のとき、HDD再生のとき、デジタルカメラの静止画再生画面のときなど、画面や状況によっては**カーソル**▲▼ボタンで画面上下できません。またメニューなどを表示しているときは**カーソル**▲▼の働きになりますので画面上下はできません。

節約に役立つ機能

テレビを自動で消したり、画面の明るさや音量をひかえめにするなど節約に役立つ機能があります。

節約設定のしかた

1 メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して「TV機能」を選ぶ

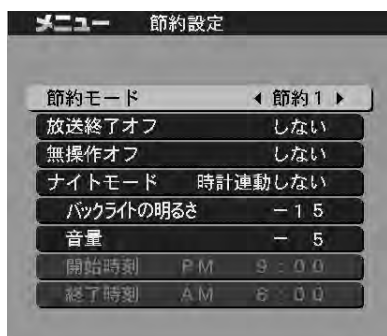
3 カーソル▼▲ ボタンを押して「節約設定」を選び、決定ボタンを押す

メニュー画面

「TV機能」の「節約設定」を選んで決定

節約設定メニューに切り換わり、現在の設定値が表示されます。

4 カーソル▼▲ ボタンを押して項目を選び、◀ ▶ ボタンを押して設定する

節約設定メニュー

節約モード		オフ / 節約1 / 節約2
放送終了オフ		しない / する
無操作オフ		しない / する
ナイトモード		時計連動しない / する
	バックライト明るさ	(最小) −30〜0 (変化無)
	音量	(最小) −10〜0 (変化無)
	開始時刻	ナイトモードの開始時刻
	終了時刻	ナイトモードの終了時刻

5 終了するときはメニューボタンを押す (設定終了)

節約モード

消費電力を節約する2種類のモードを設定できます。
- 節約1…節約効果が強い暗めの映像
- 節約2…節約効果が弱い明るめの映像

節約1/2のときは、電源を入れたときやチャンネルを選んだときに節約モードが働いていることを知らせるマークが表示されます。

ご注意

- 節約1/2でも、映像調整でバックライト明るさを強めると消費電力が増加することがあります。
- 映像メニューが「プロ設定」のとき、ナイトモードがオンのときは設定できません。

放送終了オフ

深夜などに地上アナログ放送が終了すると約15分後に自動で電源が切れる機能です。電源が切れる前には約10秒間「放送終了オフ」と表示されます。

ご注意

本機で受信している地上アナログ放送以外の画面では働きません。またアンテナの状態や他チャンネルの影響によって電源が切れない場合があります。

無操作オフ

リモコンやテレビ本体のボタン操作が3時間行われないときに自動で電源を切る機能です。自動で電源が切れる前には約1分間「無操作オフ：もうすぐ電源が切れます」と表示されます。

お願い

外出するときや長期間テレビを使用しないときは、安全と節電のため、必ずお客さまの操作によって電源をお切りください。

ナイトモード

液晶パネルのバックライト明るさと音量を下げることで消費電力を節約します。オンしたときに低下させるステップ数を設定できます。例えば、音量が「−5」ならば、オンしたときに音量を5ステップ低下させます。0に設定した場合は変化しません。

- ナイトモード (☞38ページ)
- ナイトモードを時計に連動させて使うとき (☞63ページ)

時計に日付と時刻を合わせる

時計機能を働かせると、オンタイマーや時計と連動したナイトモード機能が使えるようになります。
また内蔵HDDで録画を行うには、時計が設定されていることが必要です。

時計設定のしかた

デジタル放送を受信しているとき

時計の合わせかた

デジタル放送（地上/BS/110度CS）のどれかが受信できる状態で本機の電源を入れておきますと、デジタル放送の時刻情報と連動して、毎時0分に時刻が自動で設定（すでに設定済みであれば補正）されます。（映している画面は問いません）

時計・確認のしかた

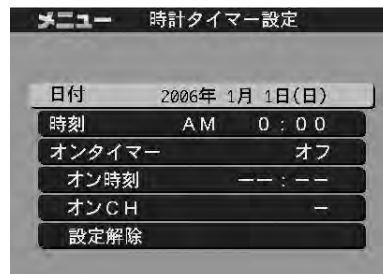
地上アナログ放送画面で画面表示ボタンを数回押し、時刻が表示されれば時計は設定されています。

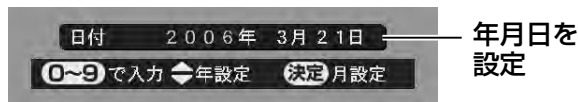
デジタル放送を受信していないとき

デジタル放送を受信していないときは、次のようにして手動で時刻を合わせます。

① メニューボタンを押して、メニュー表示を出します。
② **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「TV機能」を選びます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「時計タイマー設定」を選び、**決定**ボタンを押します。

「TV機能」の「時計タイマー設定」を選んで決定

時計とタイマーを設定する画面に変わります。

日付の合わせかた

④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「日付」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑤ **カーソル▲▼**または**1～10/0**ボタンを押して「年」を設定し、**決定**ボタンを押します。
⑥ **カーソル▲▼**または**1～10/0**ボタンを押して「月」を設定し、**決定**ボタンを押します。
⑦ **カーソル▲▼**または**1～10/0**ボタンを押して「日」を設定し、**決定**ボタンを押します。

年月日を設定

時刻の合わせかた

⑧ **カーソル▲▼**ボタンを押して「時刻」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑨ **カーソル▲▼**ボタンを押してAM/PMを選び、**決定**ボタンを押します。
⑩ **カーソル▲▼**または**1～10/0**ボタンを押して「時」を設定し、**決定**ボタンを押します。
⑪ **カーソル▲▼**または**1～10/0**ボタンを押して「分」を設定し、**決定**ボタンを押します。
⑫ **メニュー**ボタンを押してメニューを消します。（設定終わり）

時と分を設定

お知らせ

- 夜の0時はAM 0:00、昼の0時はPM 0:00です。
- 時計機能は電源プラグを抜いたり停電になると取り消されます。
- 分の数字を変えた瞬間が0秒になります。また**決定**ボタンを押すと0秒に戻ります。時報と同時に押して秒を合わせることができます。
- 時刻を変更するときは ▲▼ボタンで時刻を選択し、**決定**ボタンで変更する部分を選んで、▲▼ボタンで変更します。
- 時計には多少のずれが発生します。

オンタイマーを使う

オンタイマー機能を使うとご希望の時刻にご希望のチャンネルや画面で電源を入れることができます。

オンタイマー設定のしかた

※時計が設定されている状態で設定してください。

1 メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して「TV機能」を選ぶ

3 カーソル▼▲ ボタンを押して「時計タイマー設定」を選び、決定ボタンを押す

メニュー画面

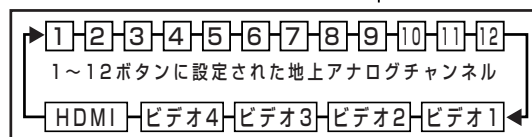
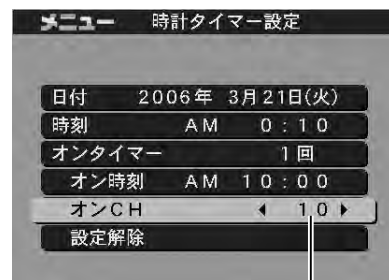
「TV機能」の「時計タイマー設定」を選んで決定

4 カーソル▼▲ ボタンを押して「オンタイマー」を選び、◀ ▶ ボタンで「1回」または「毎日」に設定する

1　回：オンタイマーが1回働きます。働いたあとは「オフ」になります。
月〜金：月〜金の各曜日に働きます。
月〜土：月〜土の各曜日に働きます。
毎　日：毎日働きます。
オ　フ：オンタイマーは働きません。

5 電源が入る時刻「オン時刻」と電源が入るチャンネル「オンCH」を設定する

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「オン時刻」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押してAM/PMを選び、**決定**ボタンを押します。
③ **カーソル▲▼**または**1〜10/0**ボタンを押して「時」を設定し、**決定**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**または**1〜10/0**ボタンを押して「分」を設定し、**決定**ボタンを押します。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「オンCH」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑥ **カーソル◀ ▶**ボタンを押してオンさせるときのチャンネルを設定します。

1-2-3-4-5-6-7-8-9-10-11-12
1〜12ボタンに設定された地上アナログチャンネル
HDMI-ビデオ4-ビデオ3-ビデオ2-ビデオ1

6 メニューボタンを押してメニューを消す

7 リモコンの電源ボタンで、電源を切る

ご注意

テレビ本体の電源スイッチで電源を切るとオンタイマーは働きません。

テレビ本体の**予約/回線使用中**ランプが緑で点灯します。

オンタイマーが働くと

- 本機の電源が入り、予約したチャンネルや画面が映ります。電源を切らなかったときは、予約したチャンネルや画面に切り換わります。
- オンタイマーを「1回」に設定したときは、1回働くと設定が「オフ」になります。オン時刻やオンCHの設定は残りますので、もう一度「1回」に設定するとまた働きます。「毎日」のときは毎日働きます。
- 留守中など、オンタイマーでオンしたあと約2時間の間操作が行われなかったときは自動で電源が切れるようになっています。

デジタル放送でオンしたいとき

オンタイマー機能でオンする画面にデジタル放送のチャンネルを指定することはできません。デジタル放送では番組表から番組を予約できますので、オンさせたい時間帯の番組を「視聴予約」で予約しておきますと、ご希望の時間にご希望の番組でオンさせることができます。

お知らせ

- 設定を変更するときは、▲▼ボタンと**決定**ボタンで変更する部分を選び、◀ ▶ボタンで変更します。
- 設定を取り消すときは▲▼ボタンで「設定解除」を選び**決定**ボタンを押します。
- **予約/回線使用中**ランプは、リモコンで電源を切ったときなど、本機のデジタルチューナー部が働いているときは一時的にオレンジで点灯します。

ナイトモードを時計に連動させて使う

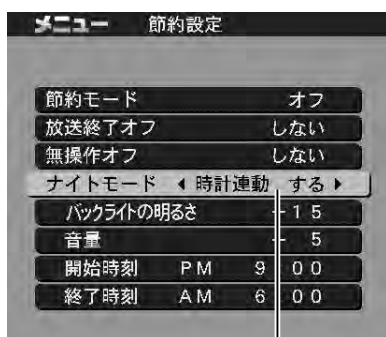
ナイトモードを時計に連動させ、決まった時刻に明るさと音量をひかえめにしたり元に戻したりできます。

「時計連動する」に設定する

※時計が設定されている状態で設定してください。

❶ 「節約設定」の画面を出す（☞60ページの操作❶～❸）

❷ カーソル▼▲ボタンを押して「ナイトモード」を選び、◀▶ボタンを押して「時計連動する」に設定する

節約設定メニュー

「時計連動する」に設定

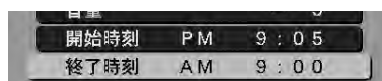
- ナイトモードを「時計連動する」に設定すると開始時刻と終了時刻が明るく変わり、設定できるようになります。
- 時計が設定されていないと「時計連動する」に設定できません。

❸ カーソル▼▲ボタンを押して「バックライト明るさ」や「音量」を選び、◀▶ボタンを押して設定する

ナイトモードをオンしたときに低下させるバックライト明るさと、音量のステップ数を設定します。（☞60ページ）

❹ カーソル▼▲ボタンを押して「開始時刻」を選び、◀▶ボタンで設定する

◀▶ボタンで5分きざみで設定できます。

❺ カーソル▼▲ボタンを押して「終了時刻」を選び、◀▶ボタンで設定する

◀▶ボタンで5分きざみで設定できます。

❻ 終了するときはメニューボタンを押す（設定終了）

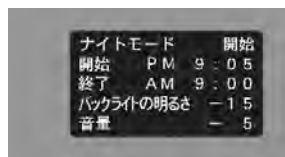
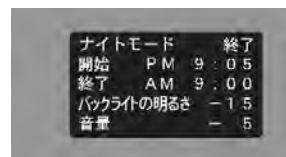
メニュー画面が消えます。

■開始時刻になると

設定した開始時刻になると、下のような表示が数秒出て、ナイトモードの開始をお知らせします。設定したステップ数だけバックライトの明るさと音量が低下します。

■終了時刻になると

設定した終了時刻になると、下のような表示が数秒出て、ナイトモードの終了をお知らせします。バックライトの明るさと音量は、ナイトモードが開始される前のレベルに戻ります。

開始

終了

お知らせ

- ナイトモードがオンの間も音量の調整はできますが、ナイトモードがオフされると、オンされる前の音量に戻ります。
- 設定した時間帯以外でナイトモードをオン/オフしたいときは、リモコンの**便利機能**ボタンからナイトモードをオン/オフしてください。
- 便利機能ボタンによるナイトモードのオン/オフは時計連動の設定内容には影響しません。設定にしたがって、時刻になるとナイトモードがオン/オフします。
- ナイトモードがオンになる時間帯にテレビをつけたときは、テレビがついた後でナイトモードがオンになります。

便利機能ボタンによるナイトモードのオン/オフについては☞38ページをご覧ください。

使いこなすと便利な機能

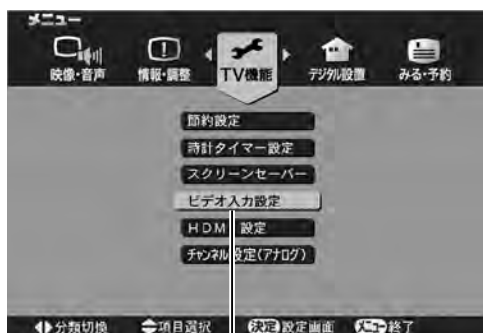
各種設定メニューには次のような設定項目が用意されています。

各種設定のしかた

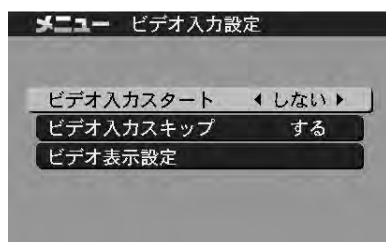
1 メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して「TV機能」を選ぶ

3 カーソル▼▲ ボタンを押して「ビデオ入力設定」を選び、決定ボタンを押す

メニュー画面

「TV機能」の「ビデオ入力設定」を選んで決定

ビデオ入力設定メニューに切り換わり、現在の設定状況が表示されます。

4 カーソル▼▲ ボタンを押して項目を選び、◀ ▶ ボタンで設定する

＊ビデオ表示設定は**決定**ボタンを押し、次の操作に進みます。

ビデオ入力スタート	しない/ビデオ1～4、HDMI
ビデオ入力スキップ	する/しない
ビデオ表示設定	決定で設定画面

5 終了するときはメニューボタンを押す（設定終了）

ビデオ入力スタート

本機の電源を入れたときに映る画面を指定する機能です。ビデオ1～4やHDMIに設定しますと、電源を入れたとき、設定した画面で映るようになります。

ビデオ入力スキップ

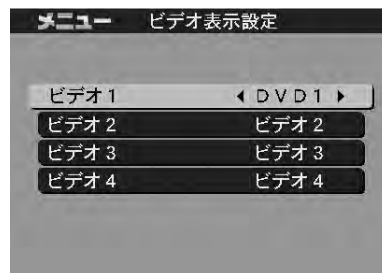
リモコンの**入力切換**ボタンやテレビ本体の**放送／入力切換**ボタンで入力画面を切り換えるとき、ビデオ1～4入力で接続がない入力をスキップ（飛び越す）機能です。お買い上げ時はビデオ入力スキップ「する」に設定されていますので接続のない入力は飛び越します。

お知らせ

ビデオ入力スキップ機能は、ビデオ1～4入力の映像入力端子（S2映像、D4映像、映像）の接続状況で判定します。これらの映像入力端子に接続がない場合はスキップします。

ビデオ表示設定

ビデオ入力画面に切り換えたときに出る表示を、ご覧になる機器にあわせて「DVD」や「ゲーム」に設定することができます。次の手順で設定します。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「ビデオ表示設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して、表示を変えたい入力を選び、**カーソル◀ ▶**ボタンを押して設定します。DVD1/DVD2/ゲームに設定できます。

スクリーンセーバーの使いかた

液晶ディスプレイパネルの特性として、一定時間同じ画面を表示し続けますと、部分的に前に映していた画像が残る「残像（焼き付き）」が発生します。残像の発生を低減するため、本機にはスクリーンセーバー機能が搭載されています。スクリーンセーバー機能には、ノーマル画面に表示される画面左右の帯(サイドバー)の明るさを設定する「サイドバー」、一定時間画面全体を黒く表示する「黒パターン表示」があります。

スクリーンセーバーの設定

❶ メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

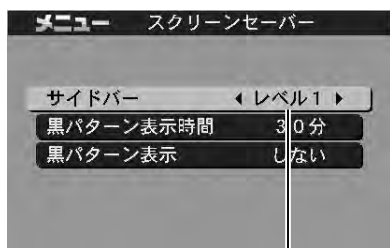
❷ カーソル◀ ▶ ボタンを押して「TV機能」を選ぶ

❸ カーソル▼▲ ボタンを押して「スクリーンセーバー」を選び、決定ボタンを押す

メニュー画面

「TV機能」の「スクリーンセーバー」を選んで決定

スクリーンセーバーのメニューに切り換わり、現在の設定状況が表示されます。

❹ カーソル▼▲ ボタンを押して項目を選び、◀ ▶ ボタンで設定する

▼ ▲で項目を選び、◀ ▶で設定

サイドバー	レベル1 / レベル2
黒パターン表示時間	10分 / 30分 / 60分
黒パターン表示	しない / 実行

❺ 終了するときはメニューボタンを押す（設定終了）

サイドバー

画面サイズ「ノーマル」のときに画面の左右に現れるバーの明るさを設定します。映している映像と明るさの差が少ない方が残像の低減には有効ですので、お買い上げ時のレベル1のままご使用になることをおすすめします。

サイドバー

レベル1：明るい灰色で、映す映像の明るさに合わせて灰色の明るさが連動します。
レベル2：暗い灰色（固定）

お知らせ

灰色に表示されるのは画面サイズ「ノーマル」時に表示される左右の無画部分だけです。映画のビデオソフトなどに入っている上下の黒い帯や、デジタル放送の4：3画面に入る左右の帯など、映像や放送自体に入っている無画部分は黒または元の色のまま表示されます。

黒パターン表示

指定した時間の間、画面全体を黒く表示する設定です。残像が発生した場合に、残像を早く目立たなくする効果があります。

① **カーソル▲▼ボタンを押して「黒パターン表示時間」を選び、◀ ▶ボタンで時間を設定します。**
10分/30分/60分に設定できます。
② **カーソル▲▼ボタンを押して「黒パターン表示」を選び、◀ ▶ボタンを押すと黒パターン表示が始まります。**

- 設定された時間のあいだ、画面全体が黒で表示されます。その間は「黒パターン表示中」の文字が画面の4カ所に順番に表示されます。
- 黒パターン表示を解除するときは、音声以外の操作を行う、またはテレビ本体のボタン操作を行うと、通常の映像に戻ります。
- 黒パターン表示中、リモコンでの音声に関する操作は受け付けます（音量－／＋、消音、音声切換など）。
- 番組の予約やオンタイマーが実行されたときは、黒パターンを解除し通常の映像に戻ります。

デジタル放送を楽しむ

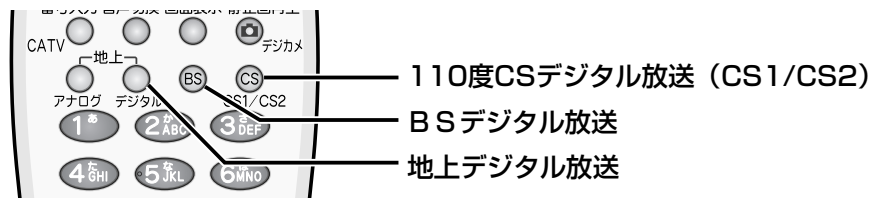
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送に加え、地上デジタル放送が2006年末までに全国で開始される予定です。この章ではこれらデジタル放送の多彩な放送サービスを楽しむ方法を説明します。

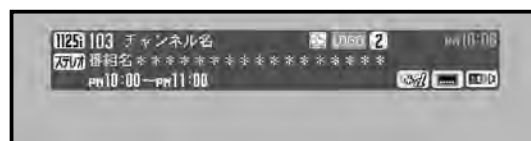
設置や接続、設定などの準備がまだの場合は、194ページからの「準備と設定」をご覧ください。

デジタル放送を見る

BS/110度CS/地上の各デジタル放送を切り換えてご覧になれます。

デジタル放送の番組を見るには

1 BS/CS/地上デジタルボタンを押して、ご希望のデジタル放送画面に切り換える

2 チャンネル1～12ボタンまたは－/＋ボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ

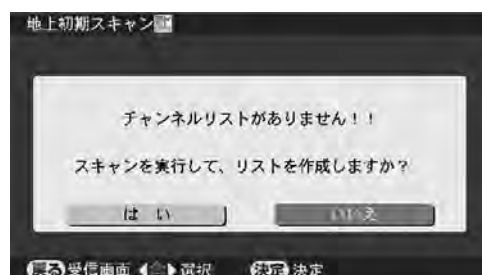
例.ＢＳデジタルのとき

3 音量－/＋ボタンを押して、お好みの音量にする

4 地上アナログ放送に切り換えるときは地上アナログボタンを押す

地上デジタルのチャンネルが設定されていないとき

お買い上げ時は地上デジタル放送のチャンネルが設定されていないので「地上デジタル」ボタンを押すと右のような画面が表示されます。

226ページ～「地上デジタル放送のチャンネル設定」にしたがってチャンネルを設定してください。

「居住地域設定」が設定されていない場合は、「居住地域が設定されていません！！」と表示されます。まず「居住地域設定」を行ってください。220ページ

お知らせ

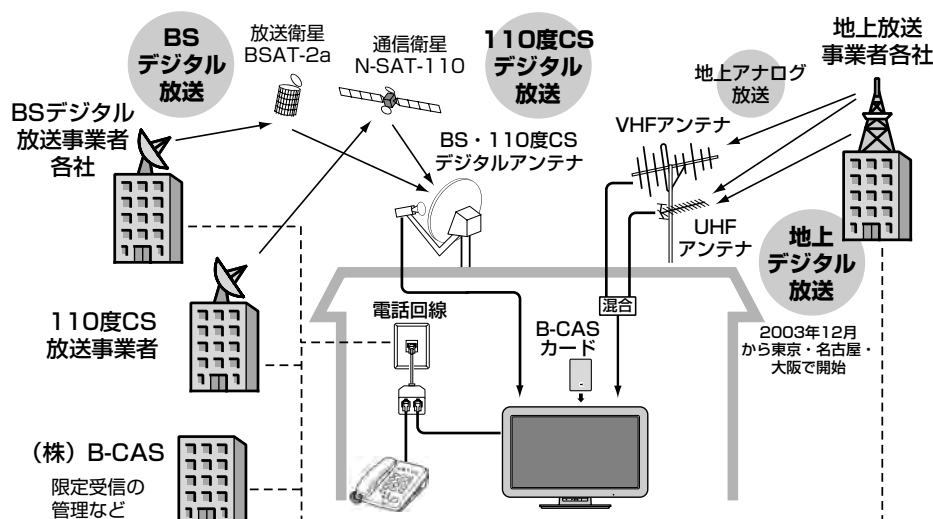
プリセットされていないボタンを押したときは「このキーには、プリセットの設定がされていません。」と表示され、チャンネルは変わりません。

ご注意

地上デジタル放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏の一部で2003年12月から、その他の地域では2006年末までに放送が開始される予定です。チャンネルを設定する前に、お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかお確かめください。地上デジタル放送の電波が受信できない状態ではチャンネル設定できません。

デジタル放送を見る（つづき）

デジタル放送の受信イメージ

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。BSデジタル放送、110度CSデジタル放送はもちろん、関東・中京・近畿圏の一部で2003年12月から開始され、2006年末までには全国で放送が開始される予定の地上デジタル放送を受信できます。

	BSデジタル放送	110度CSデジタル放送	地上デジタル放送
アンテナ	BS・110度CSデジタルアンテナ		UHFアンテナ
B-CASカードの挿入	必　要		
電話回線との接続	必　要（双方向サービスの利用や、有料放送の受信に必要）		
放送サービスの種類	テレビ放送、ラジオ放送、データ放送		テレビ放送、データ放送

BSデジタル放送

放送衛星（BS）を使ったデジタル放送。ハイビジョン放送をはじめ、（デジタル）ラジオ放送やデータ放送など多様なサービスが行われています。NHKと民間放送5局が放送しており、WOWOWやスター・チャンネルは有料放送を行っています。

110度CSデジタル放送

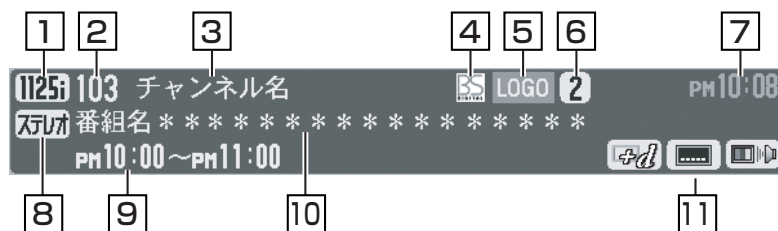
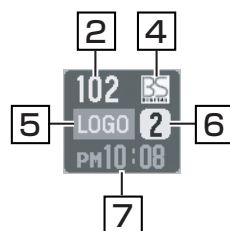
通信衛星（CS）を利用して行われるデジタル放送。衛星の位置や電波の偏波方式がBSデジタル放送と同じなことから、BS・110度CSデジタルアンテナ１本でBSデジタル放送と110度CSデジタル放送両方の受信が可能です。希望のチャンネルを選んで契約する有料放送が主体です。

地上デジタル放送

UHF帯の電波を使って放送されるデジタル放送です。2006年末までには全国で放送が開始される予定で、国の方針である地上放送のデジタル化に沿って推進されています。地上デジタル放送では地域によって放送開始時期や受信チャンネルが異なるため、初めて受信するときはお住まいの地域の放送をスキャンし、各チャンネルボタンに設定する操作が必要となります。

※デジタル放送の各機能は、どのデジタル放送でもほぼ同じ方法で操作できるようになっています。

デジタル放送の画面表示

選局したときは下のようなバナー表示が現れます。この表示には番組に関する情報が盛り込まれています。
（番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません）

1 放送の種類（映像）
1125i：ハイビジョン放送
525i：標準放送（SDTV）

2 チャンネル番号

3 チャンネル名（10文字）

4 デジタル放送の種類
例. BSデジタル放送
例. 地上デジタル放送

5 チャンネルのロゴマーク

6 チャンネルボタンの数字

7 現在の時刻

8 番組の音声

9 番組の放送時間

10 番組名（最大20文字）

11 番組の種類など
- 予約した番組のとき
- データ放送があるとき
- データ 独立型データ放送のとき
- 番組に字幕サービスがあるとき
- 複数の映像や音声が送られているとき
- 視聴年齢制限がある番組のとき
- ¥ 有料の番組のとき

番組名に付くことがある記号の例

デ 番組連動データ放送
二 2カ国語放送　字 字幕放送
B 圧縮Bモードステレオ音声
SS サラウンドステレオ音声
多 音声多重放送　S ステレオ放送
再 再放送　W ワイド放送
双 双方向データ放送
解 音声解説　映 劇映画
PPV ペイパービュー
無 無料放送　吹 吹き替え
MV マルチビューテレビ放送
… など
（記号は放送側で付けられます）

バナー表示を確認したいとき

画面表示ボタンを押すと表示を確認することができます。押すと、バナー表示が出た後小さな表示に変わり、約1分間表示した後で消えます。
（チャンネル表示設定「大」のとき）

※表示されるマークのデザインなどは多少異なることがあります。

デジタル放送を見る（つづき）

番号入力で選局するとき

チャンネル番号がわかっている場合、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

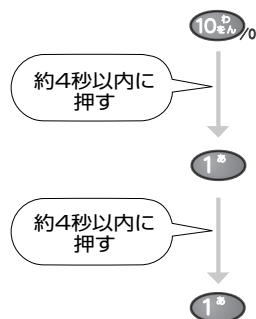
例 地上デジタルの011チャンネルを選局する

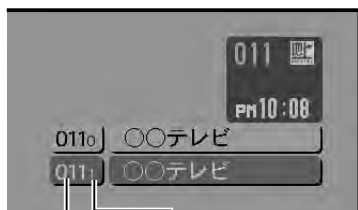
1 BS/CS/地上デジタルボタンを押して、希望のデジタル放送の画面に切り換える

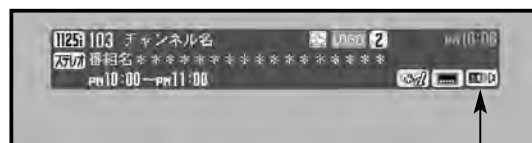
例では**地上デジタル**ボタンを押します。

2 番号入力ボタンを押す

チャンネル番号を入力する表示が画面に現れます。

3 チャンネル番号を順に押して入力する

地上デジタル放送でチャンネルが重複するとき

域内/域外の両方が受信できる場合など、同じ3桁の番号でチャンネルが重複しているときは、「チャンネルが重複しています。どれかを選択してください。」とメッセージが出て、選ぶ表示が現れます。**カーソル▼▲**ボタンで選び、**決定**ボタンを押すと選局します。

番組の映像を選ぶとき

映像が複数放送されているときや、複数の映像をひとつの番組内で同時放送するマルチビュー放送を受信したときは、映像切換ボタンで映像を選ぶことができます。

映像が複数放送されているときは信号選択マークが明るく表示されます。

映像切換ボタンを押して、希望の映像に切り換える

- **映像切換/メディア**ボタンを押すと、選べる映像の種類が画面に表示されます。押すごとに映像を切り換えてご覧になれます。
- マルチビュー放送の場合は『マルチビューテレビ放送です。「映像切換」キーで選択できます。』と表示されます。映像を切り換えると映像に付いている音声も同時に切り換わります。

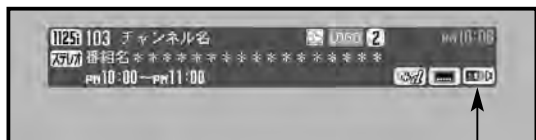
お知らせ

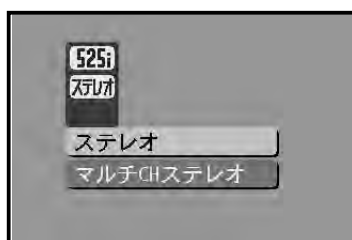
- 選べる映像の種類が画面に表示されたあとは、▼▲ボタンでも映像の切り換えができます。
- 映像の表示は番組によって変わります。

ご注意

本機ではマルチビュー放送を、**映像切換/メディア**ボタンで切り換えて一つの画面ごとに表示します。それぞれの画面を同時に表示させることはできません。

番組の音声を選ぶとき

音声が複数同時に放送されている番組では選んで聴くことができます。

音声が複数放送されているときは信号選択マークが明るく表示されます。

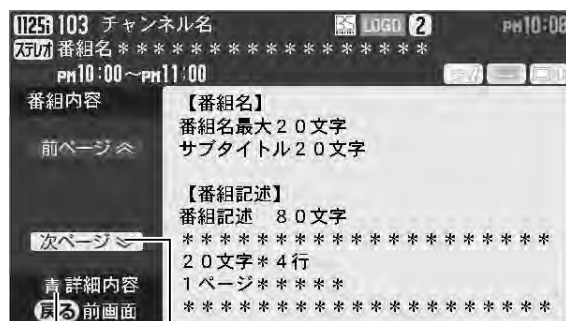
音声切換ボタンを押して、希望の音声に切り換える

- ２カ国語などの二重音声のときは、音声切換ボタンを押すごとに切り換わります。
- **音声切換**ボタンを押すと、選べる音声の種類が画面に表示され、押すごとに選んだ表示が黄色に変わり、音声が変わります。

■**ステレオ**：2チャンネル（左右）のステレオ放送。
■**マルチＣＨステレオ**：
3チャンネル以上のステレオ放送で、最大5.1チャンネル（フロント左＋フロント右＋センター＋リア左＋リア右＋ウーハー）が放送できます。
■**モノラル**：左右が同じ音のステレオではない音です。
■**デュアルモノラル**：
複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

詳しい番組情報を見る

デジタル放送では、番組の内容など、より詳しい情報を文字で画面に表示することができます。

リモコンカバー内の番組内容ボタンを押して、番組内容画面を表示させる

受信中の番組の番組内容が表示されます。もう一度押すと消えます。

- 次ページと表示されるときは、**カーソル▼**ボタンでページを送って見ることができます。▲ ボタンを押すと前に戻ります。
- 詳細内容がある場合は、**青**ボタンを押すと表示されます。
- 「**戻る**」ボタンを押すと番組内容の画面に戻り、さらに押すと番組内容の画面が消えます。
- 番組のコピー情報も確認できます。
（コピー情報 ☞83ページ）

お知らせ

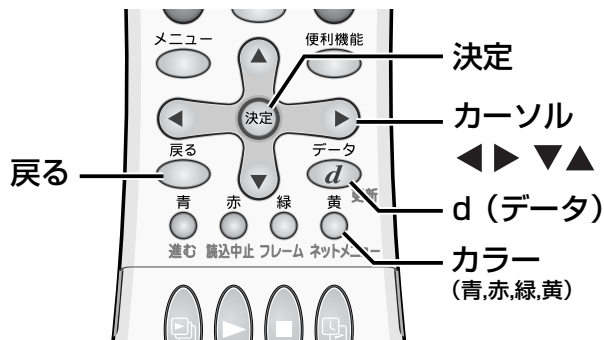
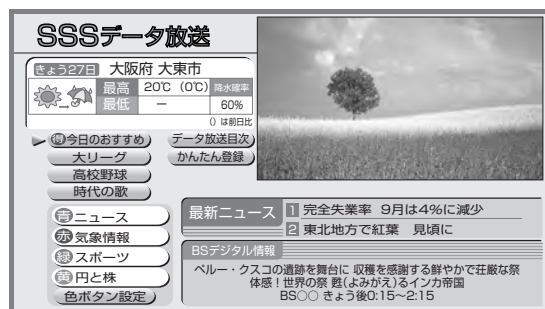
- 選べる音声の種類が画面に表示されたあとは、◀▶▼▲ ボタンでも音声の切り換えができます。
- 音声の表示は番組によって変わります。
- 音声の種類が変わったときに、音が一瞬途切れることがあります。音声処理をデジタル信号で行っているためで、故障ではありません。

お知らせ

- 番組内容の表示には多少の時間がかかることがあります。その間、画面には「データ取得中」と表示されます。番組内容が送られていない場合は「データがありません。」と表示されます。
- 番組表で選んだ将来の番組の内容を見るなど、受信中の番組以外でも表示させることができます。

データ放送を利用する

デジタル放送には便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

データ放送の操作に使うボタン

データ放送の画面例

番組付加型データ放送の見かた

番組付加型データ放送では、天気予報やニュースなど、番組に直接関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報などが提供されます。

1 バナー表示に「d」や「+d」マークが表示される放送を受信する

データ放送のマーク

- 表示が「ｄ」のときは、番組とは直接関連しないデータ放送です。（天気予報など）
- 表示が「＋ｄ」のときは、番組内容に関連するデータ放送です。（出演者など）
- データを取得している間は「データ取得中」と表示されます。「ｄボタンを押してください」と表示される番組もあります。
- データ放送のあるラジオ放送番組もあります。

2 d（データ）ボタンを押す

データ放送の画面が表示されます。

3 データ放送画面からご希望の項目を選ぶ

カーソルと決定で選ぶ

カーソル◀▶▼▲ボタンで希望の項目を選び、決定ボタンを押すと情報が表示されます。

カラーボタンで選ぶ

画面に青・赤・緑・黄の色がついた項目が出たときは、リモコンの**青・赤・緑・黄**ボタンで選びます。

前の画面に戻るとき

「**戻る**」ボタンを押すと前のデータ放送画面に戻ります。

4 データ放送の画面を消すときは、dボタンを押す

データ放送の画面が消えます。

お知らせ

- ｄボタンを押したときや項目を選んだときに別のデータ放送チャンネルに切り換わる場合があります。
- ｄボタンを押さなくても自動でデータ放送画面が表示される放送があります。
- データ放送画面では、画面サイズの切り換えができなかったり、「ノーマル」と「フル」以外は切り換えできないことがあります。
- データ放送によっては「ピッ」と確認音が出ることもあります
- 本機は110度CSデジタル放送の蓄積型データサービスには対応しておりません。

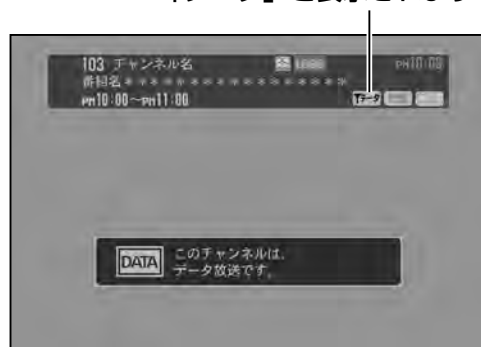
独立型データ放送の見かた

独立型データ放送は通常の番組と同じようにチャンネルを選んで受信します。

1 **BS/CS/地上デジタルボタンを押して、ご希望の独立型データ放送が行われているデジタル放送に切り換える**

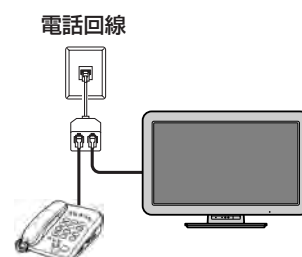
2 **チャンネル－/＋ボタンや、番号入力による選局、番組表による選局などから、ご希望の独立型データ放送のチャンネルを選局して受信する**

独立型データ放送では…
バナー表示に「データ」と表示されます。選局した後、データが取得されると画面が表示されます。音声が流れる番組や動画が表示される番組もあります。

「データ」と表示されます

3 **データ放送画面からご希望の項目を選ぶ**

カーソル ◀▶▼▲ と**決定**ボタン、**青・赤・緑・黄**ボタンで項目を選んでご覧になれます。画面の指示にしたがって操作してください。

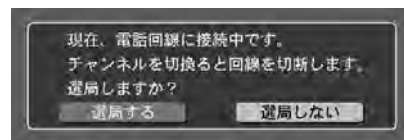
双方向サービスを利用する

受信機側からクイズに回答したり、懸賞に申し込んだりする双方向サービスを行うデータ放送があります。

次の準備が必要です…
- B-CASカードのユーザー登録
- 本機を電話回線に接続し、電話回線の設定を行う必要があります。
- 放送局へ事前に登録する必要がある場合があります。詳しくは放送局へお問い合わせください。（付属の冊子「ファーストステップガイド」をご参照ください）

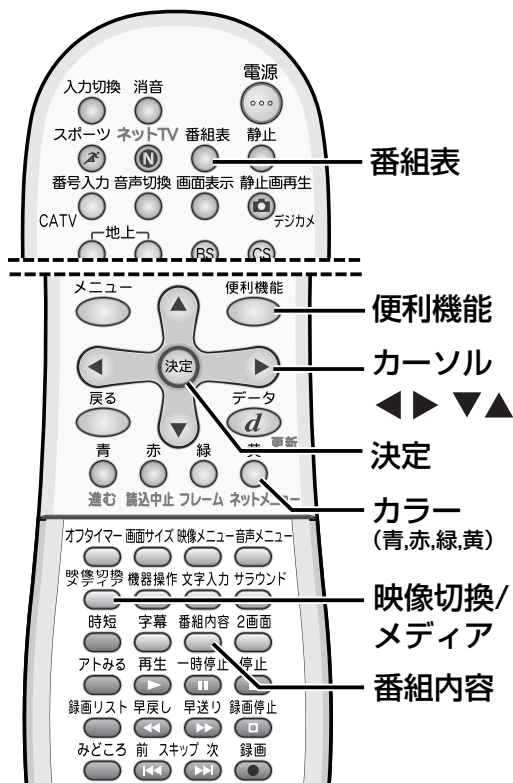
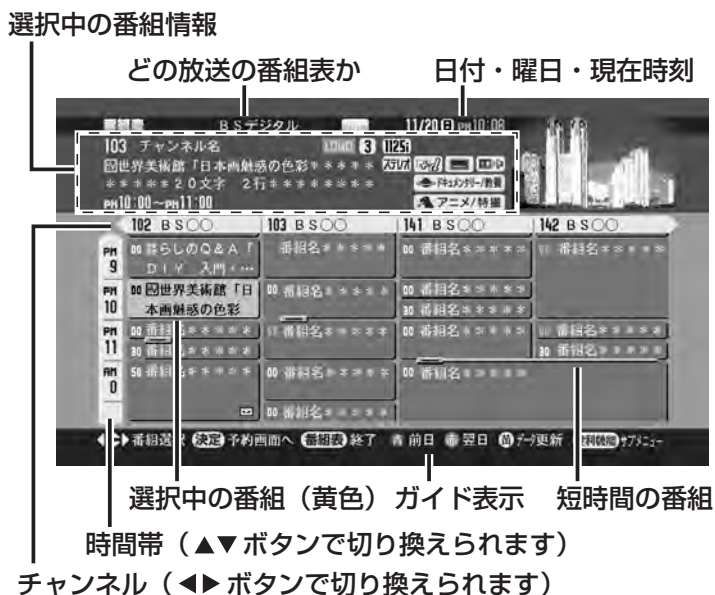
1 **双方向サービスを行っているデータ放送を受信する**

2 **画面の指示にしたがって操作する**

操作方法は通常のデータ放送と同じです。

双方向サービスの利用中は
- 双方向サービスなどで本機が電話回線を使用するときは、テレビ本体の**予約/回線使用中**ランプが赤で点灯します。
- 電話回線の使用中に選局などの操作を行うと、「電話回線を切断しますか？」と画面にメッセージが現れます。「はい」を選んで**決定**ボタンを押すと電話回線の使用が切断され、選局できるようになります。

ご注意
- 受信機側からの情報は、接続した電話回線を通じて放送局へ送られます。このときに電話料金が発生します。情報を送っている間は、同じ電話回線に接続した電話機などは使用できません。
- 受信機側から放送局へ情報を送る際の電話料金は、お客さまのご負担となります（フリーダイヤルの場合を除く）。詳しくはそれぞれの双方向サービスの会員規約や番組画面などの案内をご覧ください。
- データ放送の双方向サービス等で本機のメモリーに記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報等の一部あるいは全てが変化または消失した場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 本機を譲渡したり廃棄するときは、デジタル設置メニュー内の「設定の初期化」機能にある「工場出荷設定」を行い、本機のメモリーに記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報（個人情報）を消去することをおすすめします。

番組表を見る

デジタル放送の特長のひとつに番組表（電子番組ガイド＝EPG）があります。番組表を1週間先まで見ることができ、番組表から選局したり、予約したりできます。

お知らせ

- 番組表はデジタル放送以外の画面では表示されません。
- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。またデータ取得中は背景の映像が消える場合があります。
- 番組表で、番組開始時刻の分が緑で表示される番組は、本機のジャンル検索機能に登録されているジャンルの番組です。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- 110度CSデジタル放送の番組表は、CS1とCS2が混在してひとつの番組表に表示されます。
- デジタル設置メニューの「番組表、選局設定」を「テレビのみ」に設定したときは、**映像切換/メディア**ボタンでラジオ放送やデータ放送の番組表に切り換えることはできなくなります。
- 番組表の表示中は、録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。

地上デジタル、110度CSのとき

- 地上デジタル放送では、受信中のチャンネルの番組表データしか取得・更新できないため、テレビのスタンバイ時にチャンネルをサーチし、データを蓄積する仕組みになっています。データ蓄積後に番組が予告なく変更されたときは、番組表の内容と実際の放送が異なる場合があります。
- ガイド表示に「（黄）データ更新」と表示され、番組表が表示されないことがあります。このようなときはリモコンの**黄**ボタンを押してデータを取得・更新すると表示されるようになります。データ取得中は背景の映像や音声は消える場合があります。またデータ取得には時間がかかる場合があります。

＊
番組表の画面は改善のため変更になる場合があります。

番組表のイベント共有表示について

番組表では、隣り合う複数のチャンネルで同じ番組が放送される場合、1つにくくったわくで表示されます（イベント共有表示）。このような番組を選局や予約したときは、放送局から指定された優先チャンネルが選局または予約されます。

番組表の見かた/使いかた

1 **BS/CS/地上デジタルボタンを押して、番組表を見たいデジタル放送の画面に切り換える**

2

番組表ボタンを押す

番組表の画面が表示されます。

3

カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、ご希望の番組を選び、決定ボタンを押す

- 現時刻の番組を選んで**決定**ボタンを押すと、その番組を選局します。
- これから先の番組を選んで**決定**ボタンを押すと予約画面に変わります。
- **カーソル◀▶**ボタンを押すと横方向に移り変わり、別のチャンネルの番組表が見られます。
- **カーソル▼**ボタンを押すと、これから先の番組表が見られます。時間帯を戻すときは▲ボタンを押します。

4

番組表を消すときは番組表ボタンを押す

戻るボタンでも消すことができます。

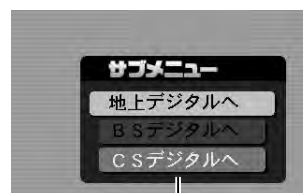
離れたチャンネルにジャンプする
リモコンの**1〜10**ボタンでチャンネル番号を入力すると、入力したチャンネルの番組表までジャンプします。

翌日の番組表にジャンプする
画面に「(赤) 翌日」と表示されるときは、カラーボタンの**赤**を押すと翌日の番組表を表示します。「(青) 前日」と表示されるときは、**青**ボタンで前日の番組表を表示します。

ラジオやデータ放送の番組表を見る
映像切換/メディアボタンを押すごとにテレビ/ラジオ/データなど、メディアごとの番組表に切り換えて見ることができます。

番組表から情報を見るとき
番組表から番組を選んで**番組内容**ボタンを押すと番組の内容を文字で確認できます。

別の放送の番組表に切り換えるとき
番組表画面のまま、別のデジタル放送の番組表を表示させることができます。

① 番組表を表示させた状態で**便利機能**ボタンを押します。画面右下にサブメニューが表示されます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して、番組表を表示させる放送を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだ放送の番組表に切り換わります。

放送を選んで決定

番組を予約する

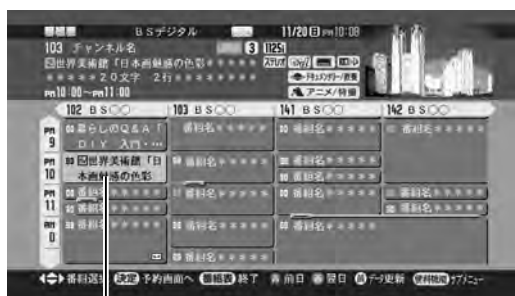
予約のしかた

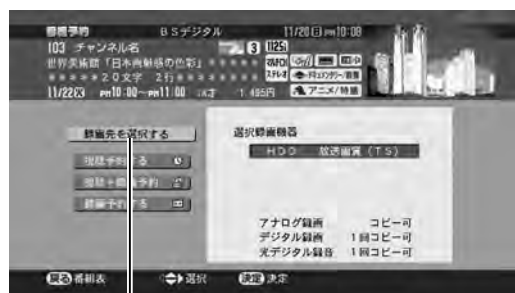
番組表を使った一般的な予約の手順を説明します。内蔵HDD（ハードディスク）で予約録画する手順については92～105ページに掲載していますのでご覧ください。

1 BS/CS/地上デジタルボタンを押して、予約したい番組があるデジタル放送の画面に切り換える

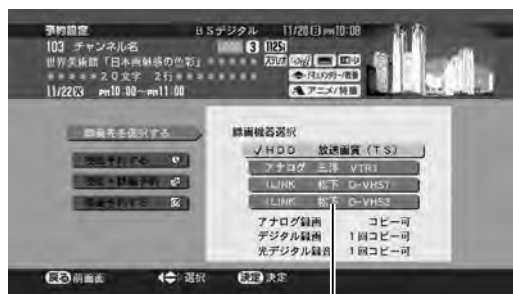
2 番組表ボタンを押して、番組表を表示する

3 カーソル▼▲◀▶ボタンを押して、予約する番組を選び、決定ボタンを押す

予約の画面が表示されます。

予約する番組を選んで決定

4 接続したビデオなどの外部機器で予約録画を行う場合は、カーソル▼▲ボタンを押して､「録画先を選択する」を選び、決定ボタンを押す

「録画先を選択する」を選んで決定

- 録画選択機器は、予約ごとに「HDD（内蔵HDDによる録画）」で始まります。内蔵HDDで予約録画するときは、この操作は飛ばして❻に移ってください。
- 本機に接続したビデオやD-VHSビデオなどのi.LINK機器で予約録画するときは、録画選択機器を変更します。
- 視聴予約をするときはこの操作は飛ばして❻に移ってください。

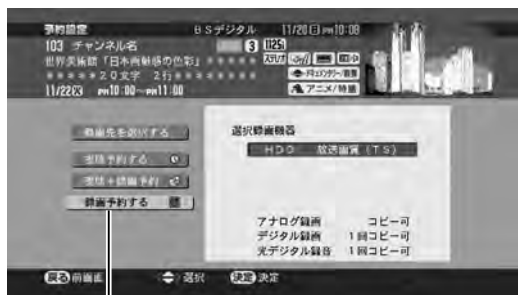
5 接続したビデオなどの外部機器で予約録画を行う場合は、カーソル▼▲ボタンを押して、録画機器を選び、決定ボタンを押す

録画機器を選んで決定

HDD
内蔵HDD（ハードディスク）で予約録画するときに選択します。（HDDによる録画92～105ページ）

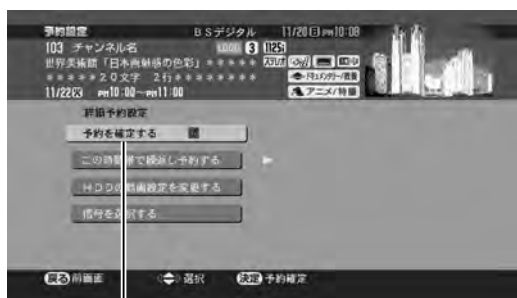
アナログ
本機のデジタル放送出力端子に接続したVHSビデオなどのアナログ録画機器で予約録画するときに選択します。（アナログ録画機器による録画130～138ページ）

i.LINK
本機のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオなどのデジタル録画機器で予約録画するときに選択します。(i.LINK機器による録画144～147ページ)

6 カーソル▼▲ボタンを押して、希望する予約方法を選び、決定ボタンを押す

視聴予約する .... 予約した番組を本機で視聴するときに選びます。
視聴+録画予約 ... 視聴予約と録画予約を同時に行うときに選びます。
録画予約する .... 予約した番組を録画するときに選びます。（視聴はしません）

予約の種類を選んで決定

7 必要に応じて録画の詳細を設定し、▼▲ボタンを押して「予約を確定する」を選び決定ボタンを押す

- 予約の詳細を設定するときは、96～98ページのように設定します。
- 予約を確定すると「予約しました。」と数秒表示され、予約が確定されます。番組表（EPG）の画面に戻り、予約済みの番組には予約マークが表示されます。
- 続けて別の番組を録画予約するときは、操作3～7を繰り返します。

「予約を確定する」を選んで決定

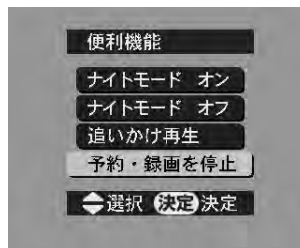
8 予約後、電源を切るときはリモコンの電源ボタンで切る

- テレビ本体の電源スイッチで切ると予約が実行されませんのでご注意ください。
- 番組の予約中、また予約の実行中はテレビ本体の予約/回線使用中ランプが緑で点灯します。

実行中の予約を中止するとき

- 内蔵HDDで録画予約を実行中のときは、録画停止ボタンを押して録画を停止すると予約が中止されます。

- 録画予約の中止は便利機能メニューからもできます。

① 録画予約の実行中に**便利機能**ボタンを押して便利機能メニューを表示させます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「予約・録画を停止」を選び、**決定**ボタンを押します。「予約または録画を実行中です。中止しますか？」というメッセージが表示されます。
③ **カーソル◀▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。録画予約が中止されます。

予約についてのご注意

- 「視聴予約する」や「視聴＋録画予約」で番組が映った後何の操作もなかったときは、安全のため2時間で画面と音が消えます。ただし「視聴＋録画予約」のときは画面と音が消えた後も番組終了まで録画を実行します。
- 「視聴＋録画予約」の実行中にリモコンで電源を切ったときは、画面と音は消えますが番組終了まで録画を実行します。
- 予約番組の開始時刻が変わったときは予約を実行しないよう設定されていますが、実行するように設定を変えることができます。242ページ
- 予約番組の実際の開始・終了には数秒のずれが生じる場合があります。
- 予約した番組の終了が遅れて次の予約と重なったときは、前の予約が終了してから次の予約が実行されます。ただし次の番組が有料番組だったときは予約が実行されません。
- 設定できる予約の数は、予約の種類に関係なく、全体で24個までです。

番組を予約する（つづき）

視聴予約のとき

■視聴予約した番組が始まると

- テレビを映していたときは「まもなく予約番組に切り換えます。」とメッセージが表示され、予約番組のチャンネルに自動で切り換わります。
- スタンバイ状態（リモコンでテレビを消した状態）のときは自動でテレビがつき、予約番組を映します。画面には「予約番組が始まりました。」と表示されます。

■視聴予約の実行中は

- 予約番組が開始されたあとは、自由に放送やチャンネルを切り換えてご覧になれます。予約番組中はチャンネルを固定するなどの制限はありません。（放送やチャンネルを切り換えた時点で、予約は中止されたことになります）

録画予約のとき

■録画予約した番組が始まると

- 本機でデジタル放送を映していたときは、「まもなく予約番組に切り換えます。」とメッセージが表示され、予約した番組のチャンネルに自動で切り換えます。
- 録画の選択機器が「HDD」のときは、内蔵HDD（ハードディスク）で録画が開始されます。
- 録画の選択機器が「アナログ」や「i.LINK」のときは、録画予約した番組の映像と音声を出力します。
- 地上アナログ放送やビデオ画面のときは画面はそのままで、録画予約を実行します。
- リモコンでテレビを消していたときは、テレビが消えたまま、録画予約を実行します。（デジタルチューナー部分には電源が入ります）

■録画予約の実行中は

- 予約番組の開始から終了の間は、デジタル放送出力が固定されます。
- 本機のデジタル放送出力端子からは予約番組の映像と音声が出力されます。

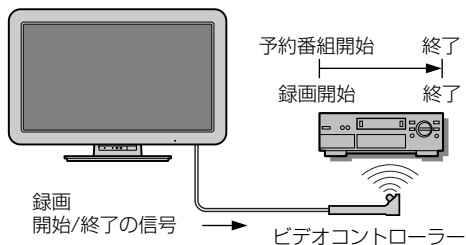
■録画予約した番組が終わると

- チャンネルとデジタル放送出力固定が解除されます。デジタル放送の画面とチャンネルは予約した番組のままです。

ビデオコントローラーと同期検出録画

本機のデジタル放送出力端子を使った録画の方法としては、付属のビデオコントローラーを使う方法と、出力映像の同期信号を利用する方法があります。どちらを選ぶかによって、出力のしかたが変わります。（お買い上げ時はビデオコントローラーを使う設定です）

- ビデオコントローラーでの録画
  ☞131～135ページ
- 同期検出録画での録画
  ☞136～138ページ

例. ビデオコントローラー使用時

i.LINK機器でデジタル録画する場合は☞130ページをご覧ください。

i.LINK機器で録画予約したとき

録画予約した番組が始まると、本機のi.LINK端子からは予約番組のデジタル信号が出力されます。同時にD-VHSビデオの録画を開始させる信号が出力され、i.LINK接続・設定したD-VHSビデオで録画が開始されます。番組が終了すると、D-VHSビデオの録画を終了させる信号が出力され、録画が終了します。
（デジタル録画のとき）

i.LINK機器でデジタル録画する場合は☞142～147ページをご覧ください。

デジタル放送を楽しむ

有料番組（PPV）を購入するとき

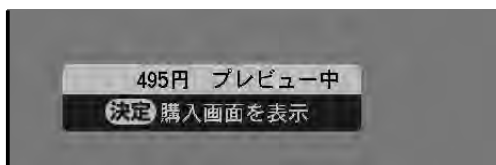
有料番組は、見た番組の分だけ料金を後払いするシステムで、ＰＰＶ（ペイ・パー・ビュー）ともいいます。購入の手続きは、画面を見ながらリモコンで行います。

番組購入のしかた

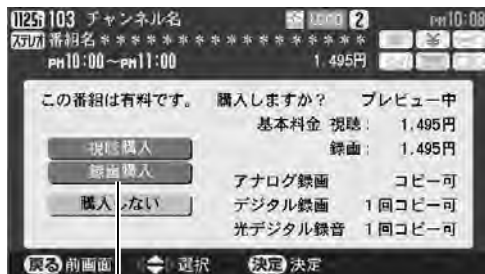
有料番組の購入には、次のような準備が必要です。

- 有料放送事業者と加入契約を行ってください。
- B-CASカードのユーザー登録を行ってください。
- 本機を電話回線に接続して「電話回線設定」を行ってください。

1 有料番組を受信する

有料番組を受信すると下のような表示が出ます。

2 決定ボタンを押す

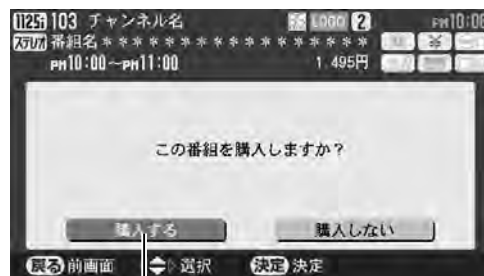
番組購入画面が表示されます。

3 カーソル▼▲ ボタンを押して、購入方法を選び、決定ボタンを押す

購入方法を選んで決定を押す

- ▼▲ボタンでご希望の購入方法を選び、**決定**ボタンを押すと購入を確認する画面が表示されます。
- 「購入しない」を選び、**決定**ボタンを押すと購入しません。

■視聴購入
有料番組が画面でご覧になれます。

■視聴＋録画購入
有料番組が画面でご覧になれると同時に、ビデオに録画できます。（録画できない番組のときは選ぶことができません。）

4 カーソル◀ ▶ ボタンを押して「購入する」を選び、決定ボタンを押す

「購入する」を選んで決定を押す

番組が購入され視聴できるようになります。画面には「番組を購入しました。」と数秒表示されます。

お知らせ

- 購入した番組の終了までチャンネルとデジタル放送出力が固定されます。解除する場合は便利機能のデジタル放送出力解除で解除します。
- 購入できる時間帯でなかったときや他の番組の予約と重なったときは購入できません。購入できるタイミングは番組によって異なります。
- デジタル設置メニューの「購入番組一覧」で購入の記録を見ることができます。
- デジタル設置メニューの「番組購入限度額設定」で購入限度額を１カ月や１番組単位で制限することができます。
- 一定時間だけ背景に番組の内容を映すプレビュー映像が見られる番組があります。
- 映像や音声などの信号単位で有料の場合や追加料金が必要な場合は、購入を問い合わせる画面が表示されます。
- 購入する番組に視聴年齢制限があるときは、暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 購入する番組が予約番組の時間と重なる場合は、予約を取消す画面が表示されます。

ご注意

購入した番組の課金情報は、本機に差し込んだＢ－ＣＡＳカードに記憶され、本機に接続した電話回線を通じて、一定期間ごとに放送局へ送信されます。電話回線に接続していないと課金情報の送信ができなくなり、有料番組が購入できなくなる場合がありますのでご注意ください。課金情報の送信状況はデジタル設置メニューの「視聴履歴送信日時確認」で確認できます。（☞２５１ページ）

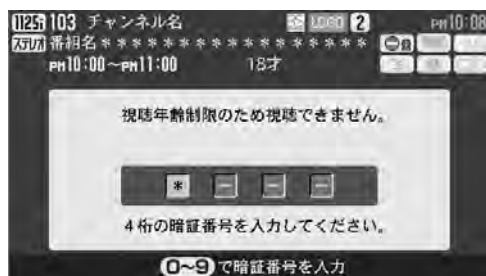
その他の放送サービスを利用する

デジタル放送では、デジタルの特長を生かしたさまざまな形の番組が放送できるようになっています。

視聴年齢制限のある番組

番組に視聴年齢制限があるとき、本機に設定した視聴年齢よりも番組の視聴年齢が高いときは暗証番号を入力しないと見られません。

視聴年齢制限のある番組の視聴には、次のような準備が必要です。
- 暗証番号を設定してください。☞252
- 視聴可能年齢を設定してください。☞253

選局した放送に視聴年齢制限があるときは、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力すると見られるようになります。
（事前に暗証番号の設定が必要です。）

1～10ボタンで暗証番号を入力する

- 暗証番号を正しく入力してください。0は10ボタンで入力します。例えば暗証番号が「1234」だったときは1、2，3，4の順に押します。入力した暗証番号は表示されません。
- 暗証番号を入力すると視聴できるようになります。

お知らせ

- 本機の視聴可能年齢は設定なし、または4才～20才の間で設定できます。放送の視聴年齢制限が本機で設定した視聴可能年齢よりも高いとき、暗証番号を入力しないと視聴できなくする機能です。
- 視聴年齢制限のある番組を選ぶごとに暗証番号の入力が必要です。
- 視聴年齢制限のある番組を予約するときは暗証番号の入力が必要です。同様に入力してください。

字幕のある番組

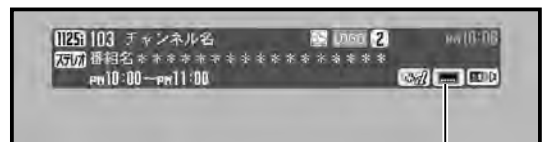
デジタル放送には字幕のついた番組があります。字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

字幕ボタンを押すごとに字幕設定が変えられます。

表示設定を第１言語にしました。

字幕ボタンを押すと、そのときの字幕の設定が表示されます。表示が出ている間に**字幕**ボタンを押すと、表示する（第1言語）/表示する（第2言語）/表示しない、に設定を変えることができます。

お知らせ

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。

字幕が放送されているときはマークが明るく表示されます。

メディアを切り換えて見る

複数の映像やマルチビューの放送中でないときにリモコンの**映像切換/メディア**ボタンを押すと、受信中のデジタル放送の、テレビ放送/ラジオ放送/データ放送の各メディアに切り換えることができます。

- **映像切換/メディア**ボタンを押したときに切り換わる各メディアのチャンネルは、選局している番組によって変わります。
- 地上デジタル放送などラジオ放送がない放送では、テレビ放送/データ放送に切り換わります。

その他の放送サービスを利用する（つづき）

緊急放送を見るには

災害などの緊急放送をよりすみやかに受信できるようにするため、次のようになっています。

「居住地域設定」をしてください

緊急放送は地域で異なることがありますので、「居住地域設定」でお住いの地域を設定しておいてください。（☞220ページ）設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。

受信中に緊急放送が始まると

受信中のデジタル放送で、予約番組の受信や、デジタル放送出力の固定をしていないときに緊急放送が始まると、画面に「緊急放送が始まりました。」と表示され、自動で緊急放送に切り換えます。

緊急放送が始まりました。

自動で緊急放送が選局されます。

受信中のデジタル放送で、予約番組の受信中や、デジタル放送出力の固定をしているときに緊急放送が始まると、画面に「緊急放送が始まりました。」というメッセージといっしょに、選局する/しないを選ぶ表示が出ます。◀▶ ボタンで「選局する」を黄色に変え**決定**ボタンを押すと選局することができます。

緊急放送が始まりました。
（選局するとチャンネル固定を解除します。）
選局する　選局しない

「選局する」を選んで決定ボタンを押すと選局されます。

緊急放送が終了すると、以前のチャンネルに戻ります。画面には「緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。」と表示されます。

お知らせ

- 緊急放送以外でも受信地域を限定した番組が放送される場合があります。「居住地域設定」が正しく設定されていないと選局できませんのでご注意ください。
- 緊急放送のときに自動選局したり、メッセージを表示したりするのは、デジタル放送を映しているときに限られます。

リレーサービスの番組を見る

リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらないとき、別のチャンネルで続きの放送を行うサービスです。リレーサービスがあるときは画面にメッセージが表示されます。

この番組は＊＊時＊＊分から＊＊＊ｃｈ
で引き続き放送されます。
選局する　選局しない

「選局する」を選んで決定ボタンを押すと選局されます。

◀▶ ボタンで「選局する」を選び、決定ボタンを押して選局する

リレーサービスが選局され番組の続きを見ることができます。選局しないときは「選局しない」を黄色にして**決定**ボタンを押します。

お知らせ

予約のとき、リレーサービスに追従させたり、させなかったりすることができます。（☞243ページ。お買い上げ時は「追従する」）

臨時サービスの番組を見る

放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送することがあります。臨時放送が始まると画面に「○○○Ｃｈで臨時サービスが始まりました。」と表示されます。

＊＊＊ｃｈで臨時サービスが
放送されています。

チャンネル－/＋ボタンを押して選局する

- **チャンネル－/＋**ボタンを押して臨時放送が始まったチャンネルを選局すると、見ることができます。
- 10キー入力でも選局できます。

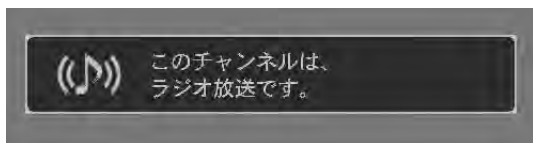
お知らせ

臨時放送が終了すると、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。画面には「臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。」と表示されます。

ラジオ番組を聴くには

ＢＳデジタル放送や110度ＣＳデジタル放送ではテレビ放送だけでなく、音声によるラジオ放送（音声放送）も行われています。

チャンネル－／＋ボタンや番組表、番号入力などでラジオ放送のチャンネルを選局する

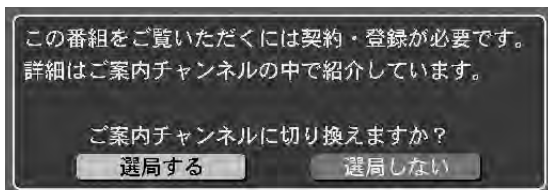
ラジオ放送を受信すると「このチャンネルは、ラジオ放送です。」と表示されます。

このチャンネルは、
ラジオ放送です。

- 画像があるラジオ番組のときは、画像データの取得後に画像が表示されます。
- 受信契約が必要な有料の放送局（未契約）を受信したときは「このチャンネルは契約されていません。」と画面にメッセージが表示されます。
- 後面のデジタル音声出力（光）端子にＭＤなどをつないで録音することができます。☞125ページ（ただし番組によっては録音できないものもあります。☞右記）

契約や登録が必要なチャンネル

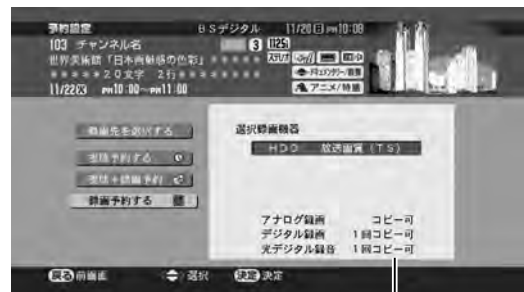
視聴するために契約や登録が必要なチャンネルを受信したときは、契約や登録をご案内するチャンネルの選局をうながす下のような画面が表示されることがあります。「選局する」を選んで決定を押すとご案内チャンネルを選局します。（ＣＡ代替サービス）

この番組をご覧いただくには契約・登録が必要です。
詳細はご案内チャンネルの中で紹介しています。

ご案内チャンネルに切り換えますか？
選局する　選局しない

※表示内容は番組によって異なります。

番組のコピー情報を見るには

録画や録音の前にコピー情報を確認することで、録画や録音の方法を選んだり、失敗を減らしたりできます。

- 番組内容ボタンを押すと表示される「番組内容」画面でコピー情報が確認できます。
  （**番組内容**ボタン ☞71ページ）
- デジタル放送の番組を予約する画面には、番組のコピー情報が掲載されます。
  （下図。番組の予約 ☞76ページ）

コピー情報

信号や録画の種類

- **アナログ録画**は、VHSビデオデッキなどのアナログ録画機器へ録画する際のコピー情報です。
- **デジタル録画**は、DVDレコーダーなどのデジタル録画機器（本機内蔵のHDDを含む）へ録画する際のコピー情報です。
- **光デジタル録音**は、本機のデジタル音声出力（光）端子からデジタル録音する際のコピー情報です。

コピーの可否

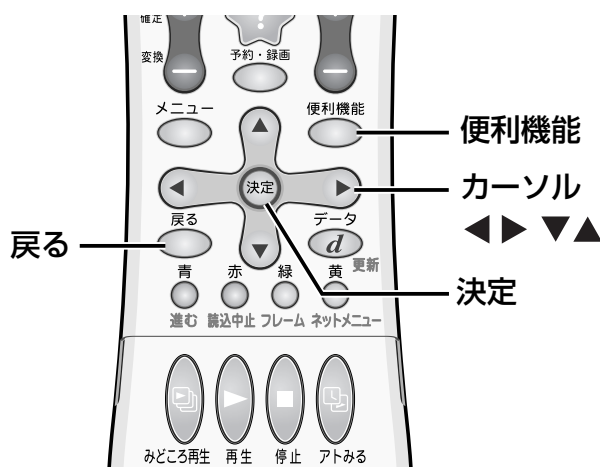
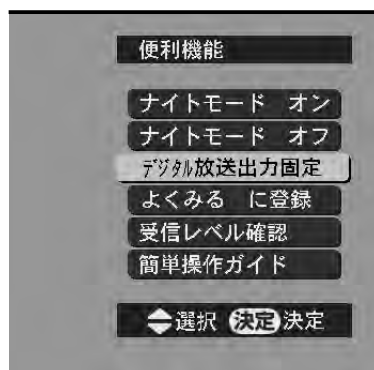
- **コピー可**は、録画（または録音）ができます。
- **1回コピー可**は、１回だけ録画（または録音）ができます。デジタル録画・録音機器に記録した画像や音声を別の記録媒体にデジタルコピーすることはできません。
- **コピー不可**は、録画（または録音）ができません。正常に記録・再生できません。

お知らせ

2004年4月以後、デジタル放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。デジタル録画機器を使ってこの信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません*。詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどでご確認ください。VHSビデオデッキなどのアナログ録画機器での録画はこれまで通りです。＊一部のデジタル録画機器では、アナログ機器へのダビングもできないことがあります。

便利機能ボタンでできること

デジタル放送の画面で**便利機能**ボタンを押すと、いろいろな操作が行えます。

便利機能の操作に使うボタン

便利機能
カーソル
◀ ▶ ▼▲
決定
戻る

便利機能の表示（デジタル放送）

- ナイトモード・オン/オフの操作は地上アナログ放送の場合と同じです。☞38ページをご覧ください。
- 便利機能で操作できる機能は入力画面によって異なります。

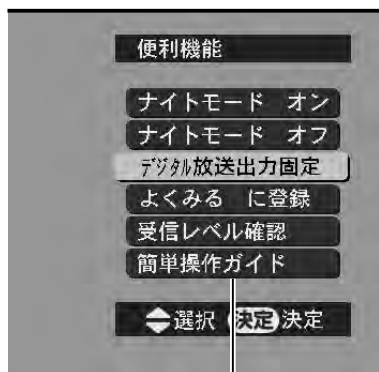
便利機能の使いかた

1 便利機能ボタンを押して、便利機能の表示を出す

2 カーソル▼▲ ボタンを押して、ご希望の項目を選び、

決定ボタンを押す

選んだ項目の表示に変わります。項目にしたがって設定します。

便利機能の表示（デジタル放送）

▲▼ボタンで選んで決定

便利機能の表示は、**便利機能**ボタンを押すと消えます。

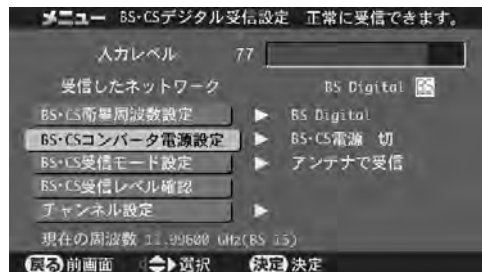
受信レベル確認

デジタル放送の受信レベルを確認できます。

1 受信レベルを確認したいデジタル放送を受信する

2 便利機能ボタンを押して、便利機能の表示を出す

3 カーソル▼▲ ボタンを押して、「受信レベル確認」を選び、決定ボタンを押す

- 受信の入力レベルが表示されます。
- **戻る**ボタンを押すと受信画面に戻ります。

- 入力レベルの目安：
  BS・110度CSのとき...晴天時で60以上
- 入力レベル表示は目安としてご覧ください。
  表示される数値（受信C/Nの換算値）は各メーカーによって異なります。

よくみるに登録

よくご覧になるデジタル放送のチャンネルを「何みるガイド」の「よくみる」に登録しておくことができます。

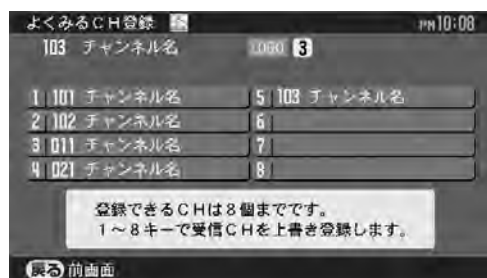
1 **「よくみる」に登録したいデジタル放送のチャンネルを受信する**

2 **便利機能ボタンを押して、便利機能の表示を出す**

3 **カーソル▼▲ ボタンを押して、「よくみるに登録」を選び、決定ボタンを押す**

よくみるCH登録画面に変わります。

4 **1～8ボタンを押して、チャンネルを登録する**

- 押した数字のわくにチャンネルが登録されます。チャンネルは8個まで登録できます。
- すでにチャンネルが設定されている数字を押したときは、新しいチャンネルが上書きされます。

1～8ボタンを押して登録

「何みるガイド」で「よくみる」を選んだとき、登録したチャンネルが表示され、選べるようになります。

HDD（ハードディスク）での録画/再生

本機に内蔵したHDD（ハードディスク）レコーダーに、お好きな番組を録画できます。録画の予約には、いろいろな方法を用意しています。

HDDランプ
録画中：赤で点灯
再生中：緑で点灯

見ている番組を録画する

リモコンの録画ボタンと録画停止ボタンを使って、HDD（ハードディスク）への録画を手動で開始〜終了する方法です。

見ている番組をHDDに録画する

1 録画する放送を選ぶ

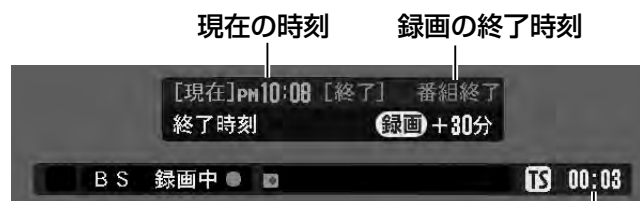
2 チャンネルボタンを押して、録画するチャンネルに切り換える

ビデオ入力などを録画するときは、**入力切換**ボタンでご希望の入力に切り換えます。
（録画できない入力もあります）

3

● **録画ボタンを押す**

録画が始まります。録画中はHDDランプが赤で点灯します。

例. BSデジタル放送のとき

- 録画開始時は、数秒間上のような表示が出ます。録画の終了時刻をご確認ください。表示はデジタル放送とそれ以外のときでは異なります。

■録画の停止・終了について

録画は自動で停止し、終了するようになっています。

デジタル放送のとき

録画中の番組の終了に合わせて録画を自動で停止・終了するようになっています。連続した複数の番組を録画するときは、録画終了時刻を設定して録画を延長してください。☞次ページ

地上アナログやビデオ入力のとき

録画の終了時刻を設定してください。設定しない場合は自動的に30分で録画を終了します。終了時刻の設定は☞次ページをご覧ください。

4 録画を途中で止めるときは、録画停止ボタンを押す

1回押すと「録画中です。もう1度録画停止キーを押すと録画を停止します。」と表示されます。表示中にもう1回押すと録画を停止します。

■録画モードは…

お買い上げ時の録画モード（録画画質）は次のようになっています。（メニューの「録画画質設定」で切り換えることができます。☞117ページ）

デジタル放送のとき

放送そのままの録画画質で記録する「放送画質（TS）」になっています。ハイビジョン番組はハイビジョンの高画質のまま記録されます。

地上アナログやビデオ入力のとき

「標準画質（SP）」になっています。

■ご注意ください

- 本機のHDDには、録画したひとつのタイトルを複数に分割する機能はありません。録画したい番組の前後を長時間に渡って録画しておき、後で分割して希望の部分だけ残すといった使いかたはできませんのでご注意ください。
- 1回に行える録画は最長6時間までです。
- **停止**ボタンでは録画は止まりません。録画を停止させるときは**録画停止**ボタンを押してください。
- i.LINK、HDMI入力、D映像入力はHDDに録画できません。
- 録画時間5秒未満の録画タイトルは再生できません。
- 本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、正しく録画できるか確認してください。本機の機能や性能、不具合などによって、録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。
- 録画が禁止されている番組（データ放送、ラジオ放送含む）の録画・録音はできません。
- HDDの再生中や、まもなく予約録画が始まる場合は、録画を開始することはできません。
- HDDの録画を終了するのに少し時間がかかります。
- 寒冷地における冬期の使用など、HDDの温度が極めて低いときは正常に動作しない場合があります。
- メニューや何みるガイド、番組表などの表示中は、録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。

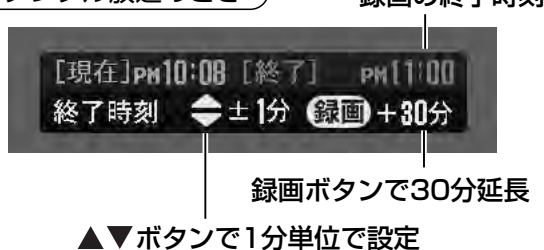
見ている番組を録画する（つづき）

録画の終了時刻を設定するには

録画ボタンを押して、地上アナログ放送やビデオ入力の録画を開始したときは、録画の終了時刻を設定しないと30分で自動的に録画を終了します。30分以上録画を続ける場合は、次のようにして録画の終了時刻を設定します。
また、録画ボタンを押してデジタル放送の録画を開始したときは、番組の終了とともに録画が自動的に終了しますが、終了時刻を設定することで番組が終了しても設定した時刻まで録画を継続することができます。

録画終了時刻の設定手順

① 録画中に**録画**ボタンを押して終了時刻を設定する表示を出します。
② 表示が出ている間に**録画**ボタンを押して終了時刻を設定します。押すごとに終了時刻が30分延長されます。

- 設定できる録画終了時刻は、録画開始から6時間後までです。6時間を超えると元の終了時刻（アナログ放送は30分後、デジタル放送は番組終了まで）に戻ります。

デジタル放送のときは、**カーソル▲▼**ボタンを押して録画の終了時刻を1分単位でも設定できます。

録画中に別の番組を見るには（裏録画）

録画を続けながら、別の放送やチャンネルを見ることができます。ただし、録画中は見られない放送やチャンネルもありますのでご注意ください。

別の画面に切り換えるには

① 録画中に**入力切換**ボタンや、**地上アナログ**、**地上デジタル**、**BS**、**CS**ボタンを押して放送や画面を切り換えます。
② **チャンネル**ボタンで希望のチャンネルに切り換えます。

- 録画中の放送と、そのとき切換可能な放送・画面は下の表のようになります。
- 地上アナログ放送やビデオ入力の録画中は、デジタル放送の番組に切り換えて見ることができます。
- デジタル放送の録画中は、録画中の番組と同じデジタル放送以外のデジタル放送に切り換えて見ることができます。
- 録画中の番組と同じ放送の別のチャンネルには切り換えられません。
- 録画中でもHDD内の別タイトルを再生することができます。（別タイトル再生）
- i.LINK、HDMI入力、D映像入力はHDDに録画できません。

録画中の放送/入力 ＼ 視聴画面	BSデジタル	CSデジタル	地上デジタル	地上アナログ	外部入力
ＢＳデジタル	＊	×	○	○	○
ＣＳデジタル	×	＊	○	○	○
地上デジタル	○	○	＊	○	○
地上アナログ	○	○	○	＊	○
ビデオ１～３入力	○	○	○	○	○

○：視聴できます
×：視聴できません
＊：録画中のチャンネルのみ視聴できます

※
ビデオ2、3入力のD映像はHDDに録画できません。

録画を続けながらテレビを消す

録画を続けながら、テレビの映像と音を消すことができます。

テレビを消すには

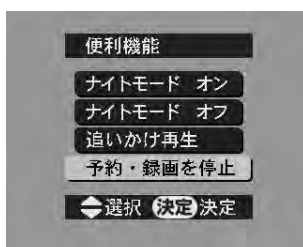
録画中にリモコンの**電源**ボタンを押してテレビを消します。映像と音は消えますが、録画の終了時刻まで録画を継続します。録画中であることはHDDランプ（赤点灯）で確認できます。
録画が終了するとHDDランプは消えます。

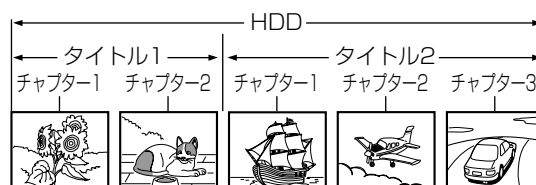
ご注意

テレビ本体の電源スイッチは切らないでください。録画が停止してしまいます。

便利機能メニューから録画を停止するとき

デジタル放送の録画の停止は便利機能メニューからもできます。

① デジタル放送の録画中に**便利機能**ボタンを押して便利機能メニューを表示させせます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「予約・録画を停止」を選び、**決定**ボタンを押します。「予約または録画を実行中です。中止しますか？」というメッセージが表示されます。
③ **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。録画が停止します。
- 地上アナログ放送や外部入力の録画中は便利機能メニューに「予約・録画を停止」が表示されません。

タイトル、チャプターについて

録画された番組などは、HDDの中では**タイトル**という大きい区切りと、**チャプター**という小さい区切りに分かれています。

タイトル
HDDに記録されている映像などの一番大きな単位です。録画開始から停止までが1つのタイトルとなります。

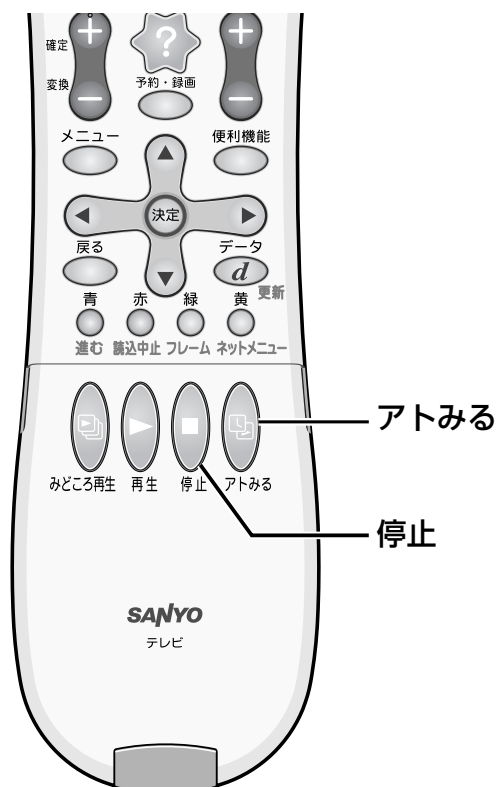
チャプター
タイトル内を区切ったもので、本でいう「章」にあたります。本機では、録画するときに自動的にチャプタマークが入るように設定できます。（☞118ページ）

- 録画には自動的にタイトル名が付きます。記録されるタイトル名は以下のようになります。

◆デジタル放送の録画タイトル名には録画した番組の番組名が記録されます。
◆地上アナログ放送の録画タイトル名には（アナログ放送）と記録されます。
◆タイトル名の他に録画した日、録画開始時刻、放送の種類や入力、チャンネル、録画モードが記録されます。

本機で録画できる総タイトル数は、199タイトルまでです。

アトみる機能

視聴中に電話や来客で少しのあいだ席を立たなければならないときに便利な機能です。アトみるボタンを押すと録画が始まり、席に戻ってからつづきを見ることができます。

アトみるボタンと停止ボタンはリモコンのカバーの中にもあり、同じ働きをします。カバーを開いた状態でも操作できます。

(お知らせ)

- アトみる録画を始めてからすぐに**アトみる**ボタンを押したときはアトみる再生ができません。10秒以上アトみる録画を続けてから押してください。
- i.LINK、HDMI入力、D映像入力はアトみる機能で録画できません。またデジタル放送のデータ放送、ラジオ放送も録画できません。
- 録画が禁止されている番組はアトみる機能で録画できません。
- HDDの録画・再生中はアトみる機能が働きません。
- アトみる機能での録画・再生中は、他の放送や入力の画面に切り換えることはできません。
- アトみる機能での録画・再生中は、何みるガイド、予約・録画ガイド、番組表、データ放送、静止画再生（デジカメ）など、表示されない画面があります。
- アトみる再生は、便利機能メニューでも開始できます。アトみる録画中に**便利機能**ボタンを押して便利機能メニューを表示させ、**カーソル▲▼**ボタンで「再生開始」を選び、**決定**ボタンを押します。
- 地上アナログ放送やビデオ入力のアトみる録画は、録画モード「高画質（XP)」で記録されます。

アトみる機能の使いかた

1 電話や来客などで視聴を中断するときに、アトみるボタンを押す

画面の映像が静止し、音が消えます。視聴していた番組の録画が始まります。（アトみる録画）

- アトみる録画中は、通常のHDD録画中と同様にHDDランプが赤で点灯します。
- アトみる録画を始めてしばらくすると、映像が消え、「アトみる録画中」の文字が場所を変えながら表示されます。
- アトみる機能の録画時間は、お買い上げ時「録画動作と同じ時間」に設定されています。変更の方法については☞119ページをご覧ください。

アトみるを開始しました。
再生を再開するときは、
「アトみる」キーをもう一度押してください。

2 席に戻って続きを視聴するときは、アトみるボタンを押す

- **アトみる**ボタンを押すと再生が始まり、続きを見られます。
- 早送り再生をするときは再生中に**▶▶早送り**ボタンを押します。
- 再生中に**時短**ボタンを押すと時短再生もできます。

3 アトみる機能をやめるときは、停止ボタンを押す

- 1回押すと「もう一度押すとアトみる録画を停止します。」と表示されます
- 表示中にもう一度**アトみる**ボタンを押すとアトみる録画・再生が停止し、受信画面に戻ります。

(お知らせ)

- 再生中にできるいろいろな操作については☞110～114ページをご覧ください。
- アトみる動作中はみどころ再生はできません。

アトみる機能の動作について

アトみる機能の動作を理解していただき、正しくお使いください。アトみる機能では、設定されたアトみる録画時間にしたがって2種類の方法で録画・再生が行われます。

- アトみる機能の録画時間は「アトみる録画時間設定」で確認できます。（☞119ページ）

アトみる録画時間と動作

■お買い上げ時の状態

- お買い上げ時のアトみる録画時間は**「録画動作と同じ時間」**に設定されています。この設定のときは、録画ボタンで録画を始めたときと同じ時間を録画します。（デジタル放送は番組終了で自動終了。その他の場合は30分で自動終了）
- 録画が自動終了する前に「アトみるの記録の終了が近づいています。あと30分延長しますか？」と表示されます。**カーソル◀▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押すと30分延長できます。
- アトみる録画中に**アトみる**ボタンを押したときは、録画を始めたところから再生が始まり、録画が自動終了するまで再生できます。
- この設定のときは、アトみる録画のたびに新しい録画タイトルが「アトみる履歴」に増えます。

■15分、30分

- アトみる録画時間を**「15分」**または**「30分」**に設定したときは、設定した時間が経過すると録画を停止するのではなく、最初の録画済み部分を消しながら、消した部分に新しく続きを録画していきます。（リング動作）
- アトみる録画開始後、アトみる録画時間（15分または30分）が経過する前に**アトみる**ボタンを押したときは、録画を始めたところから再生が始まります。
- **アトみる**ボタンを押さずにアトみる録画時間（15分または30分）が経過したときは、自動でアトみる再生が始まります。
- この設定のときは、アトみる録画のたびに前に行ったアトみる録画のタイトルに上書きされ、「アトみる履歴」の録画タイトルは増えません。

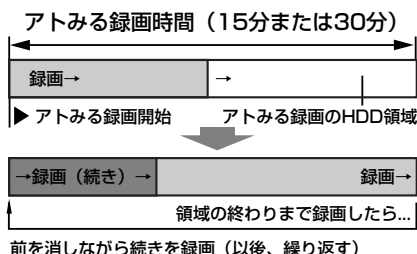
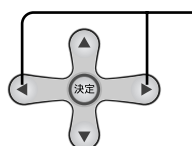
アトみる録画時間（15分または30分）

録画→ | →

▶アトみる録画開始　アトみる録画のHDD領域

→録画（続き）→ | 録画→

領域の終わりまで録画したら...

前を消しながら続きを録画（以後、繰り返す）

アトみるで録画した履歴を見るとき

❶ HDD録画リスト画面を出す

HDD録画リスト画面の出しかたには、**録画リスト**ボタンを押す方法と、**予約・録画**ボタンから操作する方法があります。（☞106ページ）

カーソル◀▶ ボタンを押して、「アトみる履歴」を選ぶ

- アトみる機能で録画した履歴が表示されます。**カーソル▲▼**ボタンを押してタイトルを選び、決定ボタンを押すと録画内容が再生されます。
- アトみる機能で録画したタイトルは「アトみる履歴」以外の録画リストにも表示され、それらのリストから選んで再生することができます。

HDD録画リスト画面

「アトみる履歴」を選ぶ

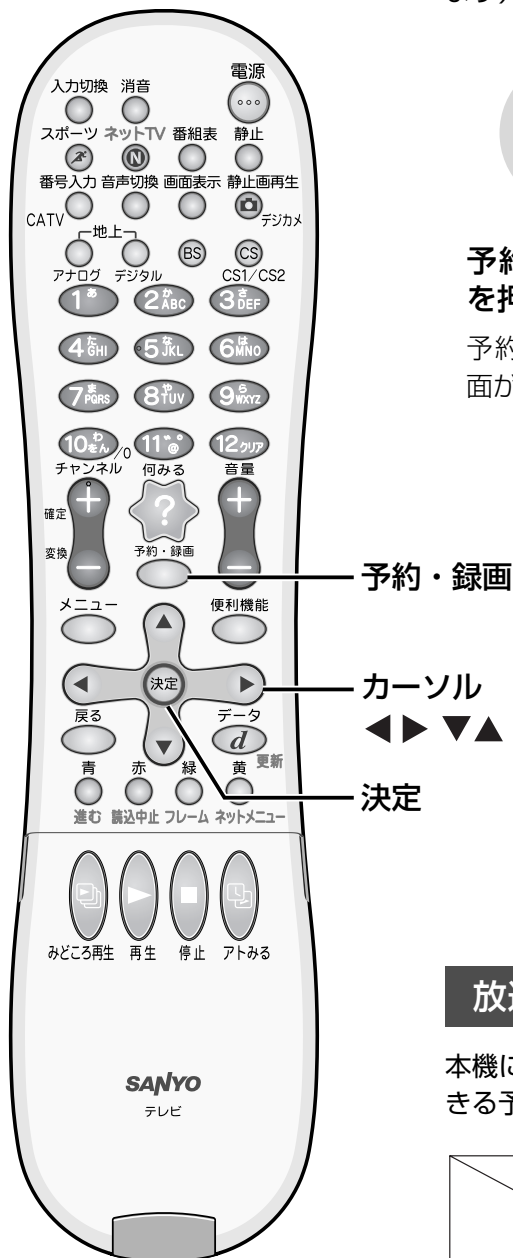
アトみる録画のタイトル

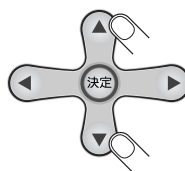
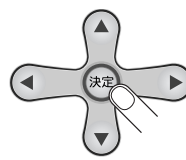
アトみる再生中の画面表示

アトみる録画時間を「15分」または「30分」に設定したときのアトみる再生中は、カウンター表示に遅れ時間（現時点の再生がアトみる録画中の実際の番組からどれだけ遅れているか）が表示されます。遅れ時間は早送り再生などで再生を速めると短くなり、再生を一時停止したり戻したりすると長くなります。

録画予約する前に

予約・録画ガイド画面の出しかた

予約・録画ガイド画面では、録画の予約、予約の確認、録画タイトルの再生ができます。次のようにして表示させます。（個別の機能は各ページで説明します）

予約・録画ボタンを押す

予約・録画ガイド画面が表示されます。

▼▲ ボタンを押して選び、

決定ボタンを押す

予約・録画ガイド画面

放送や入力によってできる予約/できない予約があります

本機には3種類の予約がありますが、下の表のように、放送や入力によってできる予約、できない予約があります。

<table>
<tr><th colspan="2">予約の種類
放送/入力</th><th>番組表（EPG）による録画予約
☞94ページ</th><th>ジャンル検索による録画予約
☞99ページ</th><th>日時とチャンネル指定による録画予約
☞102ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="3">デジタル放送</td><td>ＢＳデジタル</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ＣＳデジタル</td></tr>
<tr><td>地上デジタル</td></tr>
<tr><td colspan="2">地上アナログ</td><td rowspan="2">×</td><td rowspan="2">×</td><td rowspan="2">○ ただし内蔵HDDによる録画予約のみ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオ1～3入力＊</td></tr>
</table>

○：できます
×：できません

＊ビデオ2、3入力のD映像端子からの信号は録画できません。

予約についてのご注意

■デジタル放送

- **録画禁止の番組を録画することはできません。**
- 以下の場合は「番組表から探す」または「ジャンルから探す」では正しく録画することができません。

  ◆録画開始時刻に電波状況が悪いなど、番組が受信できないとき
  ◆予約番組の開始時刻が変わったとき（開始時刻の変更に追従して録画できるように設定できます ☞242ページ）
  ◆放送時間が未定の番組があるチャンネルのとき
  ◆録画予約中の番組の終了時刻が変更になり、次の予約と重なったとき（先に録画中の番組の録画終了処理時点が、次に予約した番組の終了時間前の場合、遅れて次の予約録画をその時点から開始します）

■録画予約した番組が始まると...

- 本機で放送を視聴していたときは、予約番組が始まる数秒前に「まもなく予約番組に切換えます。」とメッセージが表示され、「予約番組が始まりました。」と表示されて予約が実行されます。
- 録画予約の実行中に切り換えが可能な画面は、☞88ページの表のようになります。予約と同じ放送の別のチャンネルに切り換えることはできません。視聴できない画面やチャンネルに切り換えようとすると「現在、予約または録画の実行中のため、この操作はできません。」と表示されます。
- 予約録画中は、テレビ本体のHDDランプが赤で点灯します。

＊表示されるメッセージは、デジタル放送受信時とそれ以外のときでは多少異なります。

■有料の番組を予約するとき

- 有料番組（ペイパービュー）のときは、予約画面に「この番組は有料です。」と表示されます。予約すると予約の実行時に番組の購入が自動で行われます。
- 有料番組の購入限度額を設定している場合、予約した番組を購入することによって限度額を超える場合は、予約時にメッセージでお知らせします。予約した場合は限度額を超える場合でも予約を実行します。
- 有料番組（ＰＰＶ）については☞80ページをご覧ください。

実行中の録画予約を中止するには

1 録画予約の実行中に録画停止ボタンを押す

1回押すと「予約録画中です。もう一度「録画停止」キーを押すと予約を中止します。」とメッセージが表示されます。

2 メッセージ表示中にもう一度録画停止ボタンを押す

「...録画を停止しました。」と表示され、予約録画が中止されます。

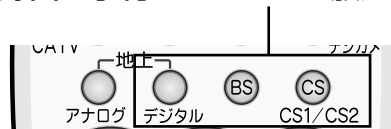
お知らせ

- 「視聴予約する」や「視聴＋録画予約」で番組が映った後何の操作もなかったときは、安全のため2時間で画面と音が消えます。ただし「視聴＋録画予約」のときは画面と音が消えた後も番組の終了または設定した時刻まで録画を実行します。
- 「視聴＋録画予約」の実行中にリモコンで電源を切ったときは、画面と音は消えますが番組の終了または設定した時刻まで録画を実行します。
- 予約番組の開始時刻が変わったときは予約を実行しないよう設定されていますが、実行するように設定を変えることができます。☞242ページ
- 予約番組の実際の開始・終了には数秒のずれが生じる場合があります。
- 予約した番組の終了が遅れて次の予約と重なったときは、前の予約が終了してから次の予約が実行されます。ただし次の番組が有料番組だったときは予約が実行されません。
- HDMI入力やD映像入力の映像を映しているときに予約・録画ガイドを表示させたときは、画面右上の視聴画面に映像を表示できません。
- 寒冷地における冬期の使用など、HDDの温度が極めて低いときは、予約による録画が正常に行われない場合があります。
- 設定できる予約の数は、予約の種類に関係なく、全体で24個までです。

デジタル放送の番組表から録画予約する

デジタル放送の番組を電子番組表（EPG：電子番組ガイド）から予約できます。電子番組表（EPG）は1週間先まで見ることができます。

番組表から予約する番組を選ぶ

1 録画を予約するデジタル放送を選ぶ

- 番組表を出した状態で**便利機能**ボタンでデジタル放送を切り換えることもできます。

2 番組表を表示させる

① リモコンの予約・録画ボタンを押す
- 予約・録画ガイド画面が表示されます。

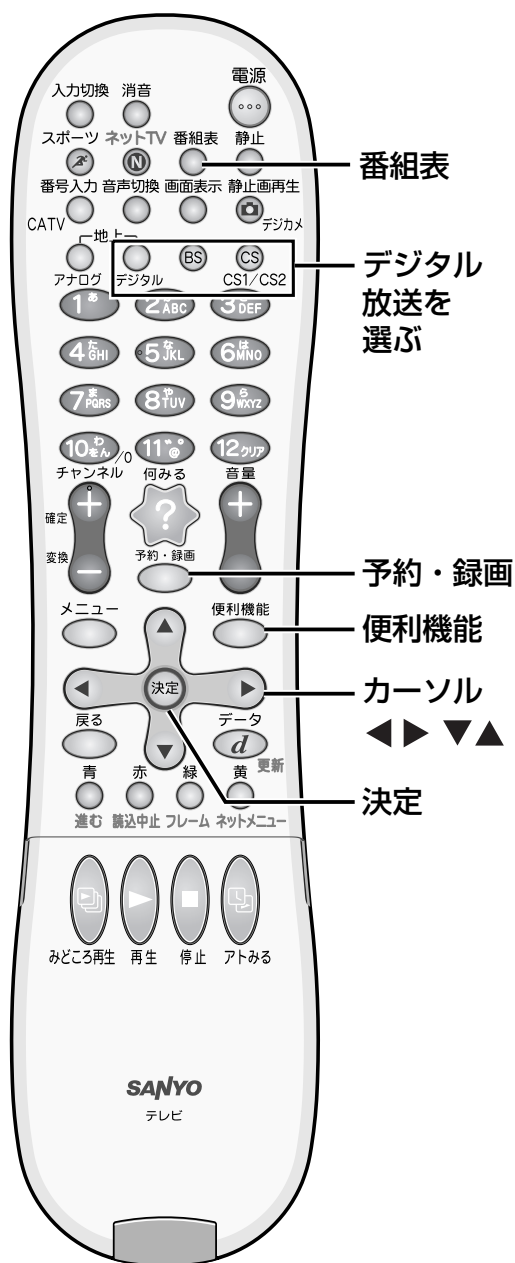
② カーソル▼▲ボタンを押して、「予約する」を選び、決定または▶ボタンを押す

③ カーソル▼▲ボタンを押して、「番組表から探す」を選び、決定ボタンを押す

- 番組表が表示されます。
- 戻るボタンを押すか、予約・録画ボタンを2回押すと番組表は消えます。

予約・録画ガイド画面

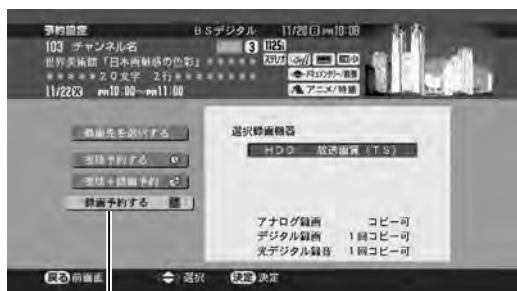
「番組表から探す」を選んで決定

- **番組表**ボタンを押す方法もあります。**番組表**ボタンを押すと番組表が表示されます。もう一度**番組表**ボタンを押すか**戻る**ボタンを押すと番組表は消えます。

3 ▲▼◀▶ボタンを押して予約する番組を選び、決定ボタンを押す

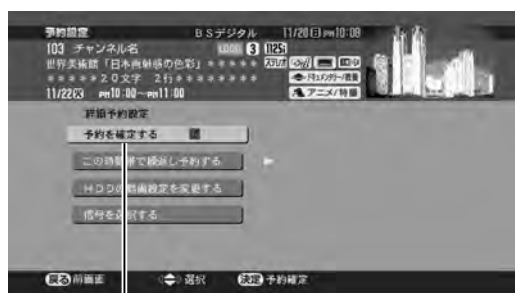
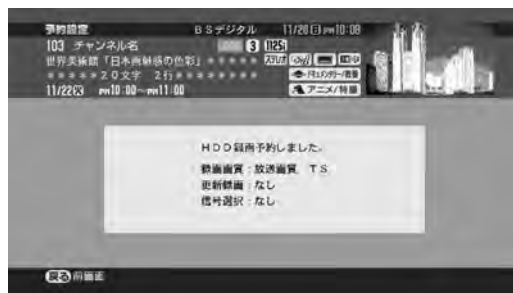
● 予約設定画面が表示されます。

予約する番組を選んで決定

4 ▼▲ ボタンを押して「録画予約する」または「視聴＋録画予約」を選び決定ボタンを押す

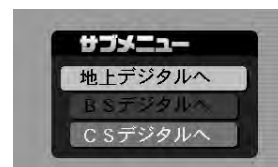
予約の詳細を設定する画面が表示されます。

予約の種類を選んで決定

5 必要に応じて録画の詳細を設定し、▼▲ボタンを押して「予約を確定する」を選び決定ボタンを押す

● 予約の詳細を設定するときは、☞次ページのように設定します。
● 予約を確定すると「予約しました。」と数秒表示され、予約が確定されます。番組表（EPG）の画面に戻り、予約済みの番組には予約マークが表示されます。
● 続けて別の番組を録画予約するときは、操作❸〜❺を繰り返します。

「予約を確定する」を選んで決定

予約設定・終わり

違うデジタル放送の番組表に切り換える

番組表を出したまま、違うデジタル放送の番組表に切り換えることができます。**便利機能**ボタンを使います。

① 番組表が表示された状態で**便利機能**ボタンを押します。画面右下にサブメニューが表示されます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して、切り換えたいデジタル放送を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだデジタル放送の番組表に切り換わります。

お知らせ

● 電子番組表（EPG）はデジタル放送以外では表示されません。また電子番組表（EPG）の内容は実際の放送と異なる場合があります。
● 本機にはチャンネルと時間帯を指定しておこなうプログラム予約機能もあります。☞102ページ
● 現在放送中の番組は電子番組表（EPG）からは予約できません。**録画**ボタンを押して録画するか、プログラム予約（☞102ページ）で予約してください。
● 地上デジタル放送でそのとき受信している以外のチャンネルの番組を予約しようとしたとき、「データ取得のため、チャンネル切り換え中」などと表示され、データ取得中は背景の映像や音声が消えるときがあります。またデータ取得には時間がかかる場合があります。
● 録画予約のときや実行中の予約を中止するときなど、「録画予約する前に」のページもよくお読みください。☞92ページ
● 予約中はテレビ本体の予約/回線使用中ランプが緑で点灯します。

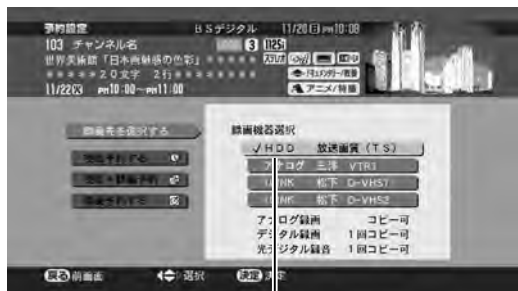
録画予約の詳細を設定するとき

予約画面から、HDDの録画モードなど予約の詳細を設定するときは、このページの説明のように行います。

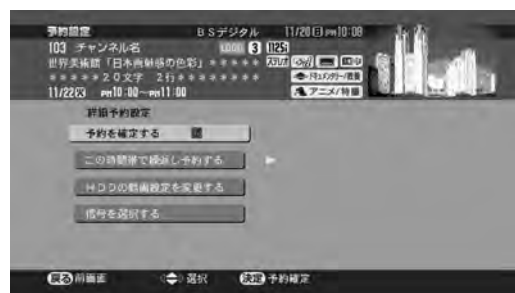
録画選択機器が「HDD」になっていないとき

予約設定画面の選択録画機器が「HDD」でないときは、次のように「HDD」に変更します。「HDD」でない状態で予約を設定したときは、内蔵HDDに予約録画されません。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「録画先を選択する」を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル▶**ボタンを押します。画面右側の選択録画機器に選べる機器が表示されます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「HDD」を選び、**決定**ボタンを押します。

選択録画機器が「HDD」に設定されます。

録画先にHDDを選んで決定

予約の詳細を設定するときは

予約設定画面で予約の種類を選んで決定ボタンを押すと、予約の詳細を設定する画面が表示されます。
予約詳細設定画面では次のような設定ができます。これらの設定をする必要がないときは「予約を確定する」を選んで決定ボタンを押すと予約を完了します。
この画面で設定できるのは次のような項目です。

■予約を確定する

選んで**決定**ボタンを押すと、現在の状態で予約を確定します。

■この時間帯で繰返し予約する

予約した番組と同じチャンネル、同じ時間帯で、毎週同じ曜日に予約録画を実行します。予約はチャンネルと時間帯で行うプログラム予約になります。

■HDDの録画設定を変更する

HDDでの録画を予約するときに録画画質(録画モード)と更新録画を設定できます。更新録画は、繰り返し予約で予約録画したときに、前の録画を消して更新します。(選択録画機器にHDDが設定されていないときは選択できません)

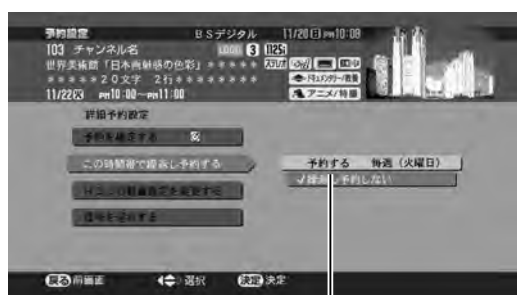
■信号を選択する

予約する番組で信号が選べるときに設定できます。(選べる信号がないときは暗く表示されて選択できません)

各項目の設定のしかたは ☞ 次ページ以降をご覧ください。

同じ時間帯で繰り返し予約するとき

連続ドラマなどを繰り返し録画することができます。次のように設定します。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「この時間帯で繰返し予約する」を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル▶**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「予約する　毎週（＊曜日）」を選び、**決定**ボタンを押します。繰り返しモードが設定されます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「予約を確定する」を選び、**決定**ボタンを押すと予約が確定されます。

繰り返しモードを選んで決定

（お知らせ）

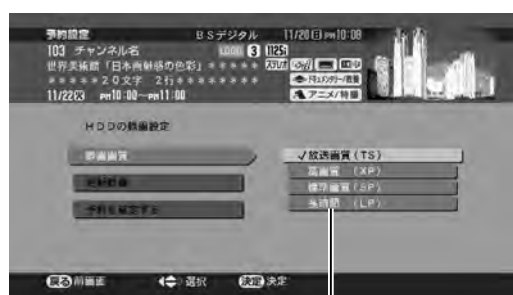
- 繰り返し予約を「予約する　毎週（＊曜日）」に設定すると、予約は日時やチャンネルを指定して実行するプログラム予約になります。
- 繰り返し予約は、予約した番組のチャンネルと時間帯のまま毎週の予約を実行するものです。番組の時間帯が変更になったり、番組が延長されたりした場合は追従されません。
- 更新録画の設定を「更新する」に設定しておくと、連続ドラマなどを繰り返し予約で録画するとき、新しい録画をするときに前の録画を消して更新します。（☞右記）

HDDの録画設定を変更するとき

「HDDの録画設定を変更する」では録画画質（録画モード）と更新録画を設定することができます。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「HDDの録画設定を変更する」を選び、**決定**ボタンを押します。録画画質と更新録画を設定する画面に切り換わり、現在の設定状態が表示されます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「録画画質」を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル▶**ボタンを押します。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して希望の録画画質（録画モード）を選び、**決定**ボタンを押します。
- 録画画質（録画モード）について詳しくは☞117ページをご覧ください。

④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「更新録画」を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル▶**ボタンを押します。
- 更新録画は連続ドラマなどを繰り返し予約で録画するとき、前の録画を消して更新する/しないを設定します。
- 繰り返し予約を設定していないときは「更新録画」は選べません。

⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「更新する」または「更新しない」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑥ **カーソル▲▼**ボタンを押して「予約を確定する」を選び、**決定**ボタンを押すと予約が確定されます。

録画画質（録画モード）を選んで決定

更新録画を設定して決定

録画予約の詳細を設定するとき（つづき）

信号を選択して録画予約するとき

番組に複数の信号があるときは、「信号を選択する」で選択することができます。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「信号を選択する」を選び、**決定**ボタンを押します。信号を選択する画面に切り換わります。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して信号の項目を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル▶**ボタンを押します。選んだ信号の右側に信号の選択肢が表示されます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して希望の信号を選び、**決定**ボタンを押します。別の信号も選ぶときは②と③を繰り返して設定します。
④ 信号を設定したら、**カーソル▲▼**ボタンを押して「予約を確定する」を選び、**決定**ボタンを押すと予約が確定されます。

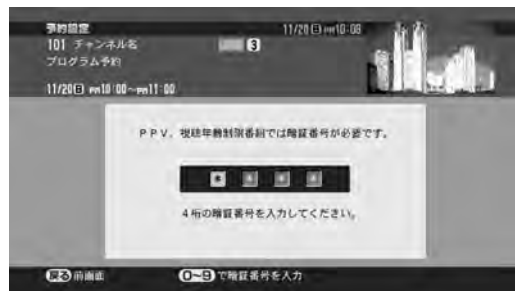
信号を設定して決定

お知らせ

- 番組に選べる信号がない場合は「信号を選択する」が暗く表示されて、選ぶことができません。
- 信号が1種類しか表示されないときは、それ以外の信号は設定できません。

暗証番号を入力するとき

有料番組（PPV番組）や、視聴年齢制限がある番組では暗証番号を入力しないと予約が実行されないことがあります。このような番組を予約するときは「暗証番号を入力する」という項目が画面に表示されますので入力してください。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「暗証番号を入力する」を選び、**決定**ボタンを押します。暗証番号を入力する画面に切り換わります。
② **リモコンの1～10**ボタンを押して暗証番号を入力します。4桁の暗証番号を入力し終えると、詳細設定の画面に戻ります。

お知らせ

- 事前に暗証番号が登録されていない場合は「現在、暗証番号が未登録です。...」と表示されますので、暗証番号を設定してから予約をやり直してください。（暗証番号の設定 252ページ）

予約が別の予約と重なるとき

予約した番組が別の予約と重なるときは下図のような表示が出て、どちらの予約を行うか問い合わせてきます。予約済みの番組の方を取消すときは、◀▶ボタンで「はい」を選んで決定ボタンを押します。重なっているすべての予約が取消されます。

ジャンルを指定して録画予約する

デジタル放送で行われているテレビ放送番組から、ジャンル別に検索して予約できます。
（データ放送、ラジオ放送はジャンル検索できません）

ジャンル検索して予約する

1 録画を予約するデジタル放送を選ぶ

ジャンル検索するデジタル放送を選びます。

2 予約・録画ボタンを押す

予約・録画ガイド画面が表示されます。

3 ▼▲ ボタンを押して「予約する」を選び、決定または▶ ボタンを押す

4 ▼▲ ボタンを押して「ジャンルから探す」を選び、決定ボタンを押す

● ジャンル検索の画面が表示されます。

「ジャンルから探す」を選んで決定

5 ▼▲ ◀▶ ボタンと決定ボタンで希望のジャンルを設定する

● お買い上げ時、ジャンルは「ニュース／報道」、「ドラマ」、「映画」、「スポーツ」に設定されています。
● ジャンルの設定を変えるときは次のように行います。
　① チェックマークが表示されているものが、現在設定されているジャンルです。**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンを押して設定を取り消すジャンルを選び、**決定**ボタンを押します。チェックマークが消え、ジャンルの選択からはずれます。
　② **カーソル▲▼ ◀▶**ボタンを押して、新しく設定するジャンルを選び、**決定**ボタンを押します。チェックマークがつき、新しいジャンルとして設定されます。

①、②を繰り返して希望のジャンルを設定します。設定できるジャンルは4つまでです。4つを超えてジャンルを設定しようとすると「ジャンルの登録数は、最大4個となっています。」と表示されます。

選んで決定を押す
チェックマークあり：選ばれている状態
チェックマークなし：選ばれていない状態

6 ▼▲ ◀▶ ボタンを押して「検索する」を選び、決定ボタンを押す

検索を開始し、しばらくすると結果がリストで表示されます。検索には時間がかかることがあります。

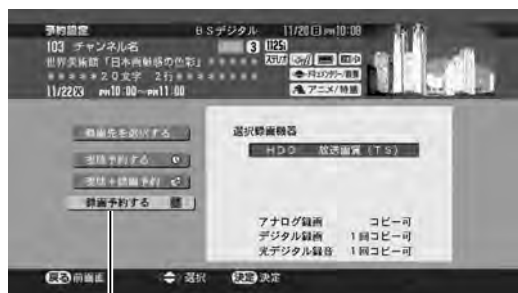
「検索する」を選んで決定

次ページへ続く

ジャンルを指定して録画予約する（つづき）

❼ ▼▲ボタンを押して予約する番組を選び、決定ボタンを押す

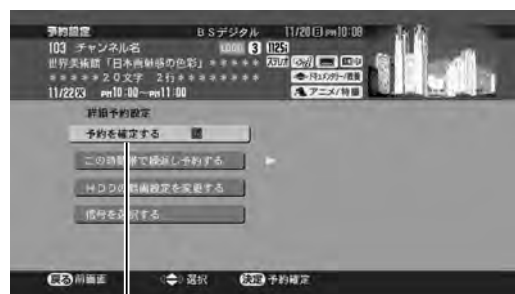
- 予約設定画面に切り換わります。

予約する番組を選んで決定

❽ ▼▲ボタンを押して「録画予約する」または「視聴＋録画予約」を選び決定ボタンを押す

録画の詳細を設定する画面が表示されます。

予約の種類を選んで決定

❾ 必要に応じて録画の詳細を設定し、▼▲ボタンを押して「予約を確定する」を選び決定ボタンを押す

- 予約の詳細を設定するときは、☞96〜98ページのように設定します。
- 予約を確定すると「予約しました。」と数秒表示され、予約が確定されます。検索結果の画面に戻り、予約済みの番組には予約マークが表示されます。
- 続けて別の番組を録画予約するときは、操作❼〜❾を繰り返します。
- 予約中はテレビ本体の予約/回線使用中ランプが緑で点灯します。

「予約を確定する」を選んで決定

予約設定・終わり

お知らせ

- 検索には受信状況によって多少の時間がかかります。
- 検索結果画面には、現在放送中の番組も表示されます。現在放送中の番組を選んで**決定**ボタンを押したときは、選んだ番組の受信画面に切り換わります。
- 検索結果画面で ▼ボタンを押すと、これから放送される番組が表示されます。
- ジャンル検索画面に登録したジャンルの番組は、番組表（電子番組ガイド）を表示したときに、開始時刻の分が緑で表示されます。
- 画面に「（赤）次ページ」と表示されるときは、リモコンの**赤**ボタンを押すと検索結果の次ページが表示されます。画面に「（青）前ページ」と表示されるときは、リモコンの**青**ボタンを押すと前ページに戻ります。
- 番組のジャンル分けは放送側で行われています。

範囲を変更してジャンル検索するとき

ジャンル検索を行う範囲を変更することができます。

① ジャンル検索画面を表示させます。
（☞99ページの❶～❹）
② **便利機能**ボタンを押します。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「検索範囲を変更」を選び、**決定**ボタンを押します。検索範囲を変更する画面に変わります。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して変更する項目を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル▶**ボタンを押します。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して変更し、**決定**ボタンを押します。
⑥ **カーソル▲▼**ボタンを押して「検索する」を選び、**決定**ボタンを押します。

変更した検索範囲でジャンル検索が実行され、検索結果画面が表示されます。

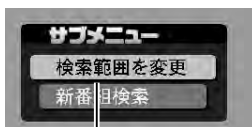
■検索する放送波

検索するデジタル放送を選ぶことができます。

■検索開始日時

検索を開始する日時を、3時間ごとに変更できます。

■検索終了日時

検索を終了する日時を、3時間ごとに変更できます。

「検索範囲を変更」を選んで決定

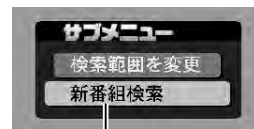
(お知らせ)

- 検索時間の範囲は、現時刻から1週間後のAM0時までの間です。
- 各項目は変更した後、必ず**決定**ボタンを押してください。押さないと変更が確定されません。

新番組だけを検索するとき

番組名に新番組を示す[新]のマークが表示される番組だけを検索する機能です。

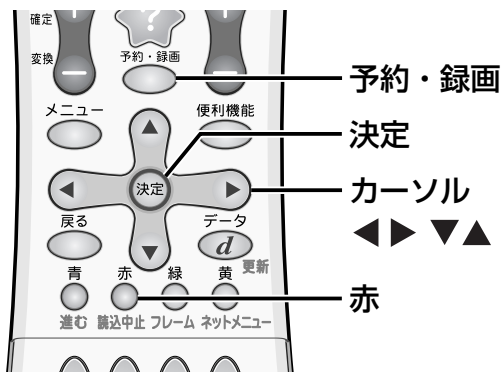
① ジャンル検索画面を表示させます。
（☞99ページの❶～❹）
② **便利機能**ボタンを押します。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「新番組検索」を選び、**決定**ボタンを押します。

番組名に[新]のマークがついた番組が検索され、検索結果画面が表示されます。

「新番組検索」を選んで決定

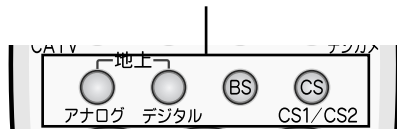
(お知らせ)

- 新番組検索機能で検索されるのは、番組名に「新」の文字を四角で囲ったマークが表示される番組のみです。番組名に「新」の文字が入っているだけでは検索されません。
- 新番組がない時期は、新番組検索を実行しても新番組が見つかりません。

日時やチャンネルを指定して録画予約する

地上アナログ放送などは、日時やチャンネルを指定して行うプログラム予約で録画予約することができます。
連続ドラマなどを毎週・毎日予約することもできます。

プログラム予約を設定する

1 録画を予約する放送を選ぶ

予約する放送を選びます。

ビデオ1〜3入力をプログラム予約することもできます。その場合はビデオ1〜3画面に切り換えてください。

2 予約・録画ボタンを押す

予約・録画ガイド画面が表示されます。

3 ▼▲ ボタンを押して「予約する」を選び、決定ボタンまたは▶ ボタンを押す

4 ▼▲ ボタンを押して「放送日時やチャンネルを指定する」を選び、決定ボタンを

- プログラム予約の設定画面が表示されます。

「放送日時やチャンネルを指定する」を選んで決定

5 ▼▲ ボタンを押して設定する項目を選び、決定ボタンまたは▶ ボタンを押す

6 ▼▲ ボタンを押して項目を設定し、決定ボタンを押す

操作5、6を繰り返して各項目を設定します。

■予約チャンネル
予約するチャンネルを設定します。

■予約日
1ヶ月先まで設定できます。また毎日、毎週（月〜土）、毎週（月〜金）、毎週（日〜土の各日）に設定できます。

■予約開始時刻
予約の開始時刻を設定します。1分単位で設定できます。押し続けると15分ずつ進みます。

■予約継続時間
予約の継続時間を設定します。1分単位で設定できます。押し続けると15分ずつ進みます。「予約終了時刻」の設定と連動しています。

■予約終了時刻
予約の終了時刻を設定します。1分単位で設定できます。押し続けると15分ずつ進みます。翌日の時刻は「翌日」と表示されます。「予約継続時間」の設定と連動しています。

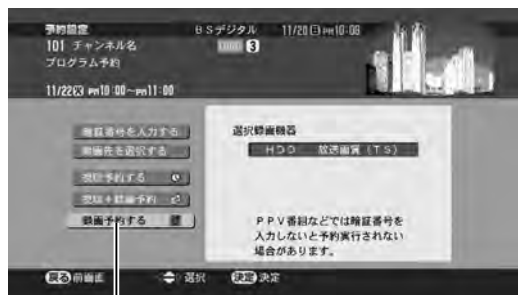
■次画面
予約設定の画面に切り換わります。

- 各項目を設定した後、必ず**決定**ボタンを押してください。押さないと設定が確定されません。
- プログラム予約の予約時間は最長6時間までです。

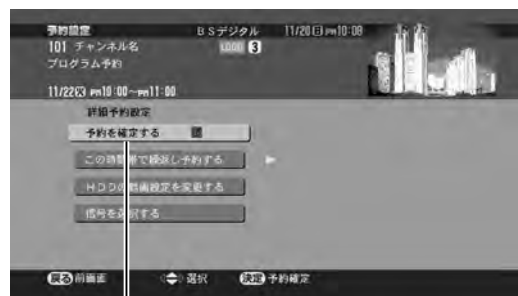
7 各項目の設定を終えたら、▼▲ ◀▶ ボタンを押して「次画面」を選び、決定ボタンを押す

予約設定の画面が表示されます。

8 ▼▲ボタンを押して「録画予約する」または「視聴＋録画予約」を選び決定ボタンを押す

録画の詳細を設定する画面が表示されます。

予約の種類を選んで決定

9 必要に応じて録画の詳細を設定し、▼▲ボタンを押して「予約を確定する」を選び決定ボタンを押す

- 予約の詳細を設定するときは、☞96～98ページのように設定します。
- 予約を確定すると「予約しました。」と数秒表示され、予約が確定されます。
- 予約中はテレビ本体の予約/回線使用中ランプが緑で点灯します。

「予約を確定する」を選んで決定

予約設定・終わり

毎日・毎週を指定して予約する

プログラム予約を使うと毎日または毎週、同じ時刻に同じチャンネルで放送される連続ドラマなどを録画予約することができます。

☞左ページの操作❺、❻で「予約日（曜日)」に「毎日」または「毎週（月～土)」、「毎週（月～金)」、「毎週（日、月、火、水、木、金、土)」を設定する

毎日：毎日同じ時刻に同じチャンネルで放送される番組を録画します。

毎週(月～土)：毎週月曜日～土曜日まで同じ時刻に同じチャンネルで放送される番組を録画します。

毎週(月～金)：毎週月曜日～金曜日まで同じ時刻に同じチャンネルで放送される番組を録画します。

毎週(日、月、火、水、木、金、土)：
毎週設定した曜日で同じ時刻に同じチャンネルで放送される番組を録画します。

お知らせ

- 毎日・毎週録画の予約は取り消さない限り残ります。
- 更新録画の設定を「更新する」に設定しておくと、毎日や毎週の連続ドラマなどを繰り返し予約で録画するとき、新しい録画をするときに前の録画を消して更新します。(☞97ページ)
- 有料番組（PPV番組）や、視聴年齢制限がある番組では暗証番号を入力しないと予約が実行されないことがあります。このような番組を予約するときは「暗証番号を入力する」という項目が画面に表示されますので入力してください。(☞98ページ)
- ビデオ2、3入力のD4映像入力はHDDに録画することはできません。

録画予約を確認・変更・取り消しする

予約・録画ガイド画面から予約の一覧画面を表示させて、予約の確認や変更、取消しができます。

予約の一覧画面で確認する

予約・録画ボタンを押す

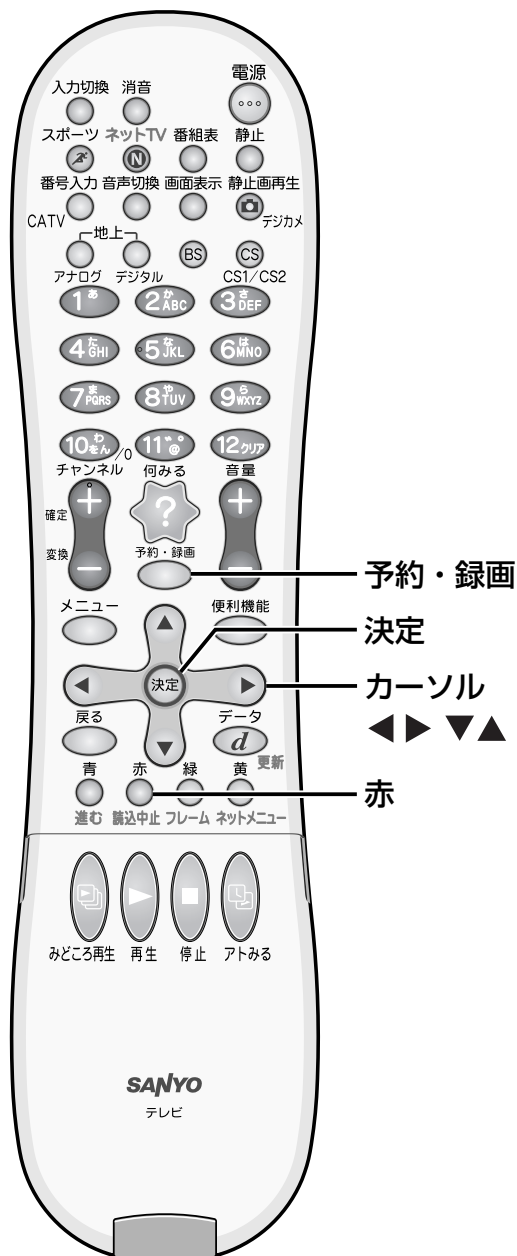
予約・録画ガイド画面が表示されます。

2 ▼▲ ボタンを押して「予約を確認する」を選び、決定ボタンを押す

- 予約一覧の画面が表示されます。
- プログラム予約した内容は【プログラム予約】と表示されます。
- 実行を中止した予約などには「破棄」と表示され、ガイド表示に理由が表示されます。
- 予約の一覧画面はデジタル設置メニュー「お知らせ/情報」の「予約番組一覧」でも表示させることができます。（247ページ）

「予約を確認する」を選んで決定

選択中の予約番組の情報

予約の種類
更：更新録画

一覧画面から予約を取消すには

▼▲ボタンで番組を選び、リモコンの**赤**ボタンを押すと予約取り消しの確認画面が表示されます。◀▶ボタンで「はい」を選んで決定ボタンを押すと予約が取り消されます。「いいえ」を選んで**決定**ボタンを押すと取り消しを中止します。

一覧画面から予約を変更するには

- ▼▲ボタンで変更したい番組を選び、**決定**ボタンを押すと番組予約の画面が表示され、予約の種類を変更したり、予約を取り消したりできます。
- プログラム予約のときは、プログラム予約の設定画面が表示されます。設定と同じ操作で内容の変更ができます。
- 地上デジタル放送の予約を変更するにはチャンネルの切り換えとデータ取得が必要な場合がありますが自動で行います。
- ▼▲ボタンで番組を選び、リモコンの**赤**ボタンを押すと取消しの確認画面が表示されます。◀▶ボタンで「はい」を選んで**決定**ボタンを押すと予約が取り消されます。「いいえ」を選んで**決定**ボタンを押すと取り消しを中止します。

赤ボタンでの予約の取消し画面

「はい」を選び決定を押すと取り消し

番組表で確認する

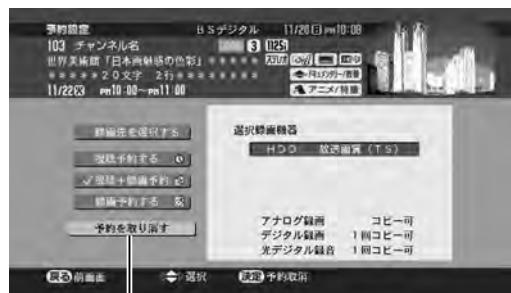
① 番組表を表示させます。**94ページ**

予約済みの番組には予約マークが表示されます。

予約マーク

- 視聴予約
- 視聴＋録画予約（HDDのとき）
- 視聴＋録画予約（HDD以外のとき）
- 録画予約（HDDのとき）
- 録画予約（HDD以外のとき）

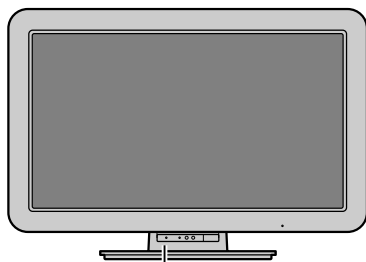
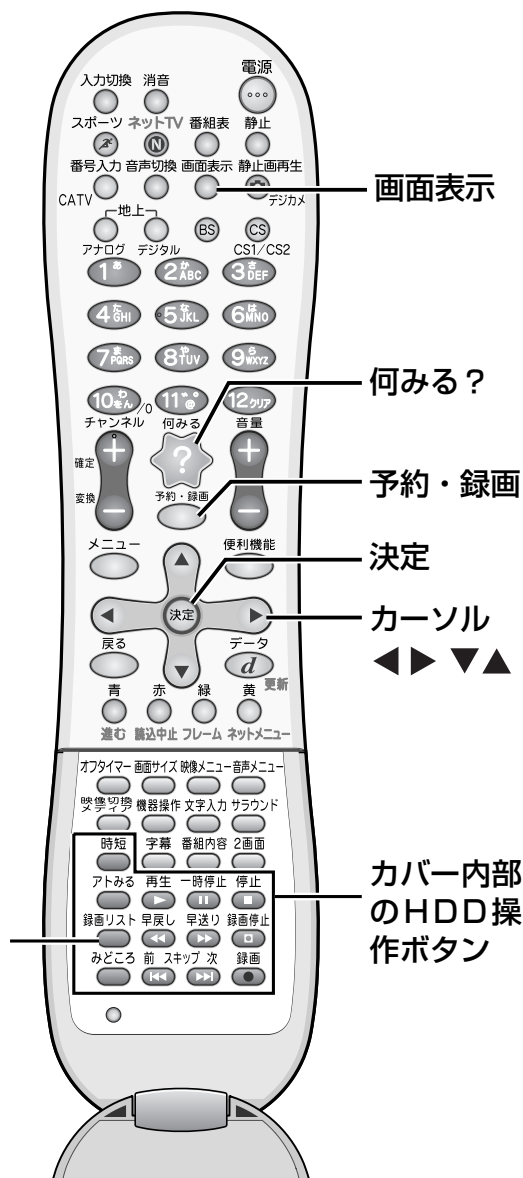
② カーソル▲▼◀▶ボタンを押して、予約した番組を選び、決定ボタンを押す

下図のような画面が表示され、予約が確認できます。

▲▼ボタンで選んで決定

③ ▲▼ボタンで選んで決定ボタンを押す

予約の種類を変更するときはご希望の予約を選んで**決定**ボタンを押します。予約を取り消すときは「予約を取り消す」を選んで**決定**ボタンを押します。

HDDに録画した番組を再生する

HDDに録画した番組を再生するときは、HDD録画リストまたは何みるガイドから選んで再生します。

HDDランプ
再生中：緑で点灯

HDD録画リストから再生するとき

❶ HDD録画リスト画面を出す

録画リストボタンを使うとき

リモコンの録画リストボタンを押すとHDD録画リスト画面が表示されます

- もう一度**録画リスト**ボタンを押すか**戻る**ボタンを押すとHDD録画リスト画面は消えます。

予約・録画ボタンを使うとき

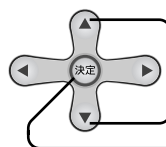
① リモコンの予約・録画ボタンを押す

- 予約・録画ガイド画面が表示されます。

② カーソル▼▲ボタンを押して、「録画番組を再生する」を選び、決定ボタンを押す

HDD録画リスト画面が表示されます。

- **戻る**ボタンを2回押すとHDD録画リスト画面は消えます。

❷

カーソル▼▲ボタンを押して、再生するタイトルを選び、

決定ボタンを押す

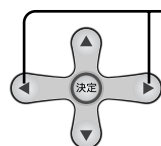
選んだタイトルの再生が始まります。

HDD録画リスト画面

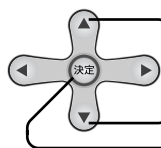
再生する録画タイトルを選んで決定

何みるガイドから再生するとき

1 何みる？ボタンを押す

- 何みるガイド画面が表示されます。
- もう一度**何みる？**ボタンを押すか**戻る**ボタンを押すと何みるガイド画面は消えます。

2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「HDD」を選ぶ

HDDに録画されているタイトルが表示されます。

3 カーソル▼▲ ボタンを押して、再生するタイトルを選び、

決定ボタンを押す

選んだタイトルの再生が始まります。

何みるガイド画面

「HDD」を選ぶ

再生する録画タイトルを選んで決定

再生状態を確認するとき

画面表示ボタンを押す

バナー表示と動作表示が数秒表示されたあと、図のような表示に変わり、継続して表示されます。もう一度押すと表示は消えます。

再生中 / 再生後は

- 再生中はHDDランプが緑に点灯します。
- 再生を続けたまま**入力切換**ボタンや、**地上アナログ**、**地上デジタル**、**BS**、**CS**ボタンを押して放送や画面を切り換えることができます。再生画面に戻るときは**再生**ボタンを押します。
- 録画タイトルの終わりまで再生すると一時停止状態になり画面は停止します。**停止**ボタンを押すと再生が停止され、放送の受信画面に変わります。

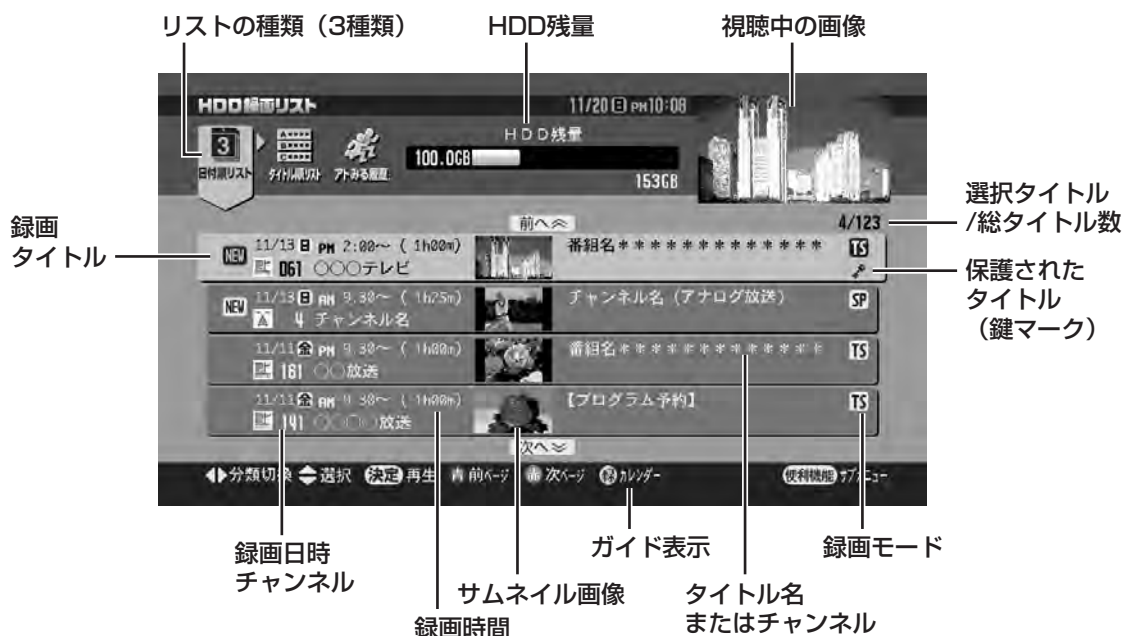
お知らせ

- 何みるガイド画面、予約・録画ガイド画面へは、メニュー画面の「みる・予約」からも入れます。なおメニューから何みるガイド画面、予約・録画ガイド画面へ入ったときは、**戻る**ボタンを押してもメニュー画面には戻らず、表示が消えて受信画面になります。
- 寒冷地における冬期の使用など、HDDの温度が極めて低いときは正常に動作しない場合があります。
- メニューや何みるガイド、番組表などの表示中は、録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。

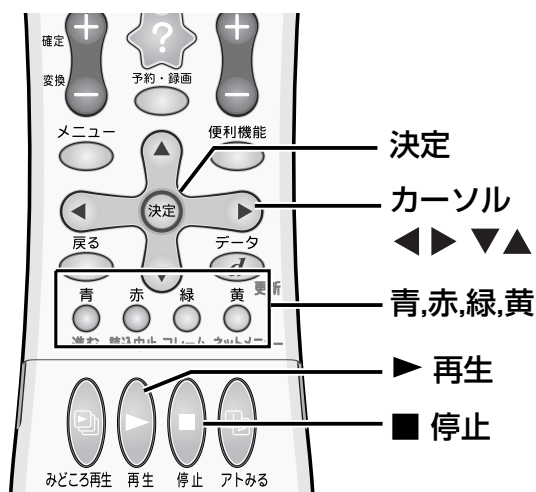
HDDに録画した番組を再生する（つづき）

録画タイトルはHDD録画リストと何みるガイドから選ぶことができます。

HDD録画リスト画面、何みるガイド「HDD」画面、再生画面

HDD録画リスト画面

何みるガイド「HDD」画面

お知らせ

- HDD録画リスト画面のサムネイル画像を表示しないようにして、8つの録画タイトルを表示できるよう変更できます。（録画リスト表示設定 245ページ）
- HDMI入力やD映像入力の映像を映しているときなど、入力映像やそのときの動作状態によっては、HDD録画リスト画面や何みるガイド画面右上の視聴画面に映像を表示できない場合があります。
- HDD録画リスト画面や何みるガイドの「HDD」画面では、6秒以上のタイトルは録画時間が（　1m）と表示されます（m＝分、h＝時間）。録画時間が（　0m）と表示されるタイトルは短時間過ぎるため再生できません。

青、赤、緑、黄ボタンを使って

リモコンの青、赤、緑、黄ボタンを使うと、HDD録画リスト画面と何みるガイド「HDD」画面で次のような操作ができます。

次ページに進む/前ページに戻る

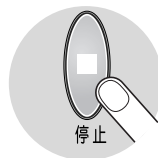
リモコンの**赤**ボタンを押すとリスト画面の次ページに進みます。**青**ボタンを押すと前ページに戻ります。

録画した日からタイトルを探す

リモコンの**緑**ボタンを押すと画面にカレンダーが表示されます。録画の行われた日は、日付の上にバー（—）が表示されます。**カーソル◀ ▶▲▼**ボタンを押して日付を選び、**決定**ボタンを押すと、その日付に録画したタイトルが選ばれます。もう一度**緑**ボタンを押すとカレンダーが表示は消えます。

カレンダー表示

再生を途中で止める

■停止した位置から再生する（レジューム機能）

HDDを再生中に**■ 停止**ボタンを1回押すと、「■ 停止中」と数秒間表示されます。次に**再生**ボタンを押したときは、停止したところから再生が始まります。（レジューム再生）

お知らせ

- 停止ボタンはリモコン・カバーの外と中の両方にあります。どちらも同じ働きをします。
- タイトルによってはレジューム再生できない場合があります。またレジューム再生は、停止した場所によっては停止位置からずれて始まる場合があります。
- タイトルの最後まで再生したときは、「最後まで再生されました。」と表示が出て、受信画面に切り換わります。

再生を再開する

▶ 再生ボタンを押すと、「▶ 再生中」と数秒間表示され、停止した位置から再生が始まります。
（レジューム再生）

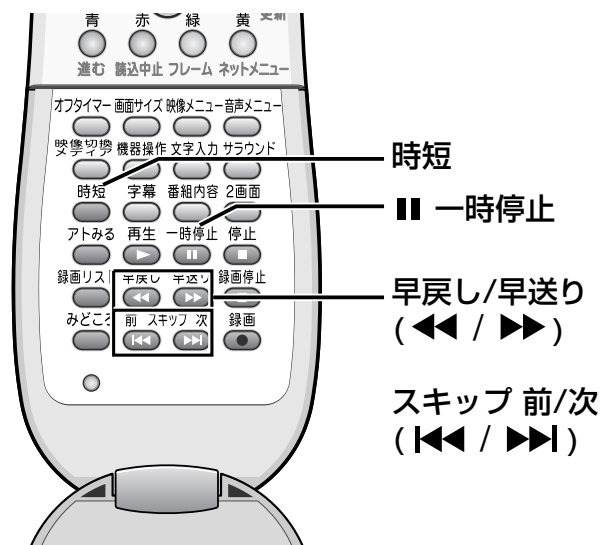
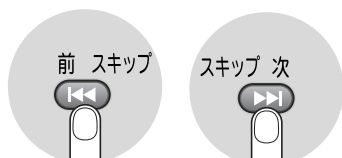
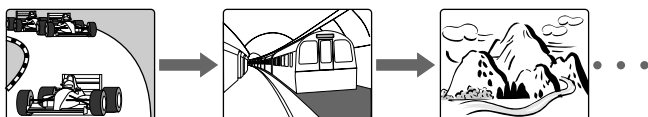
録画リストを切り換えて見る

HDD録画リスト画面で**カーソル◀ ▶**ボタンを押すと、日付順リスト、タイトル順リスト、アトみる履歴のリストに切り換えて見ることができます。

タイトルを並べ替える

何みるガイド「HDD」画面でリモコンの**黄**ボタンを押すと画面に表示されているタイトルを日付順/タイトル名順に並べ替えることができます。

いろいろな再生

いろいろな再生モードで楽しむことができます。

再生したいチャプターにスキップする

■次のチャプターへ進む

再生中に、▶▶I（スキップ）次ボタンを押す

次のチャプターの頭から再生します。

■前のチャプターへ戻る

再生中に、I◀◀（スキップ）前ボタンを押す

再生中のチャプターの頭から再生されます。続けてもう一度押すと、1つ前のチャプターの頭から再生します。

お知らせ

- チャプターについては☞89ページをご覧ください。

静止（一時停止）する

再生中に、II一時停止ボタンを押す

テレビ画面に「II一時停止中」と表示されます。

一時停止中は音声が出ません。

通常の再生に戻すときは、▶再生ボタンを押す

コマ送りする

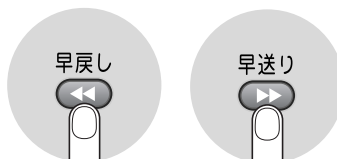
静止中に、II一時停止ボタンを押す

押すたびに1コマずつコマ送りします。

通常の再生に戻すときは、▶再生ボタンを押す

早送り、早戻しで再生する

再生中に、▶▶（サーチ）早送りまたは◀◀（サーチ）早戻しボタンを押す

押すたびに、スピードと再生方向が切り換わり、画面には以下のように表示されます。数字が大きくなるほどスピードが速くなります。

早送り再生：▶▶（サーチ）早送りボタンを押す

▶▶早送り再生1 → ▶▶早送り再生2 →
▶▶早送り再生3 → ▶▶早送り再生4

早戻し再生：◀◀（サーチ）早戻しボタンを押す

◀ 逆再生 → ◀◀早戻し再生1 → ◀◀早戻し再生2 →
◀◀早戻し再生3 → ◀◀早戻し再生4

通常の再生に戻すときは、▶再生ボタンを押す

お知らせ

- 静止（一時停止）やコマ送り、早送り、早戻し中は、音声が出ません。

時短プレイで見る

音声を聴きながら、映像を約1.3倍速で再生できます。

再生中に、時短ボタンを押す

時短再生に切り換わります。

■時短モードについて

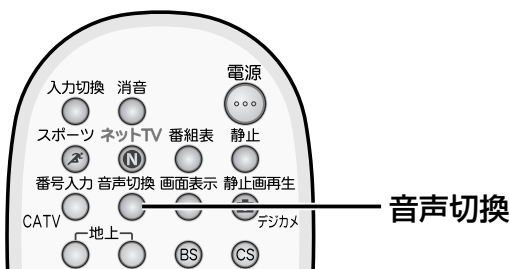
映像を約1.3倍速で再生しながら、音声をできる限り自然に近いスピードで再生します。ほとんどの音声が聞こえますが、音声が途切れそうなときは音声の速度が速くなることがあるため、聞きづらくなる場合があります。

通常の再生に戻すときは、▶再生ボタンを押します。

録画した番組の音声を切り換える

再生中に、音声切換ボタンを押す

押すごとに、音声が切り換わります。

ご注意

- 切り換えられる音声が記録されていない場合は切り換えできません。
- 録画モード「高画質（XP)」、「長時間（LP)」で録画した場合は、記録される音声が2チャンネルに制限されます。

追いかけ再生する

本機のHDD（ハードディスク）に番組を録画しながら、同時に録画中のタイトルの最初から再生することができます。（追いかけ再生）
追いかけ再生はリスト画面から行う方法と、録画中に便利機能から行う方法があります。

■リスト画面から追いかけ再生する

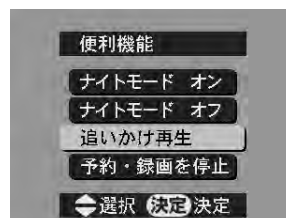
① 録画の実行中にHDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して録画実行中のタイトルを選び、**決定**ボタンを押します。(録画実行中のタイトルには「●」マークが表示されています)

録画実行中のタイトルの追いかけ再生が始まります。

■便利機能から追いかけ再生する

デジタル放送の録画中は便利機能メニューからも追いかけ再生できます。

① デジタル放送の録画中に**便利機能**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「追いかけ再生」を選び、**決定**ボタンを押します。

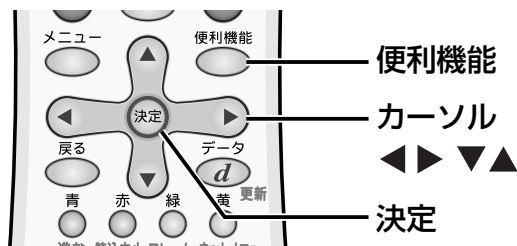
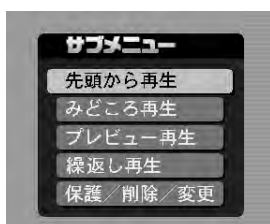
追いかけ再生が始まります。

- 追いかけ再生を停止するときは**停止**ボタンを押します。（追いかけ再生は停止しますが録画は継続します）
- 地上アナログ放送や外部入力の録画中は便利機能メニューに「追いかけ再生」が表示されません。

HDD録画中に別のタイトルを再生する

HDDへ録画中に、以前にHDDへ録画したタイトルを再生することができます。（別タイトル再生）

録画中にHDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面から、**カーソル▲▼**ボタンを押してタイトルを選び、**決定**ボタンを押します。
別タイトル再生が始まります。停止するときは**停止**ボタンを押します。（別タイトル再生は停止しますが録画は継続します）

便利機能/サブメニューで操作する（リスト画面）

HDD録画リスト画面、何みるガイド「HDD」画面で**便利機能**ボタンを押すと、サブメニューが表示されてさまざまな操作が行えます。

例. HDD録画リスト画面のサブメニュー

タイトルの先頭から再生する

選んだタイトルの先頭から再生します。

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して再生するタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **便利機能**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「先頭から再生」を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだタイトルの先頭から再生が始まります。

プレビュー再生する

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して再生するタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **便利機能**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「プレビュー再生」を選び、決定ボタンを押します。
プレビュー再生は、選んだタイトルから音声の盛り上がり部分を検出して、短時間で再生する機能です。途中から通常の再生に移るときは▶ **再生**ボタンを押します。

● 録画時間が15分未満の録画タイトルはプレビュー再生できません。

繰り返し再生する

選んだタイトルを繰り返し再生します。

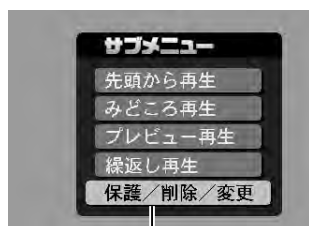
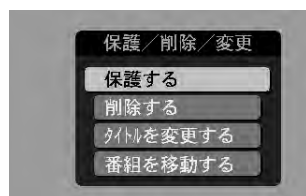
① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して再生するタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **便利機能**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「繰り返し再生」を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだタイトルの繰り返し再生が始まります。

お知らせ

● 本機の電源を切ったときは繰り返し再生は解除されます。再生を停止すると繰り返し再生は解除されます。
● 1分以下の短時間の録画タイトルは繰り返し再生できません。

保護・削除・変更する

サブメニューの「保護/削除/変更」では、HDDに録画したタイトルの保護、削除、タイトル名の変更が行えます。次のように操作します。

保護/削除/変更のサブメニュー

「保護/削除/変更」を選んで決定

タイトルを保護する

HDDに録画したタイトルが自動消去されないよう保護します。

自動消去とは

デジタル設置メニュー「HDD設定」の「自動消去」が「する」に設定されているときは、内蔵のHDDが録画でいっぱいになると、古い録画タイトルから自動で消去されます。下記の手順で保護したタイトルは自動消去されなくなります。(自動消去 ☞118ページ)

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して保護するタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **便利機能**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「保護/削除/変更」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「保護する」を選び、**決定**ボタンを押します。

選んだタイトルが保護されます。保護されたタイトルには鍵のマークが表示されます。

- 保護を解除するときは上記の①～④を行い、⑤で「保護を解除する」を選び、**決定**ボタンを押します。
- アトみる機能で録画時間を「15分」または「30分」に設定して録画したタイトルは保護できません。

タイトルを削除する

HDDに録画したタイトルを削除します（録画を消去します)。削除したタイトルはご覧になれません。

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して削除するタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **便利機能**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「保護/削除/変更」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「削除する」を選び、**決定**ボタンを押します。「このタイトルを削除しますか？」とメッセージが表示されます。
⑥ **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。

選んだタイトルが削除されます。

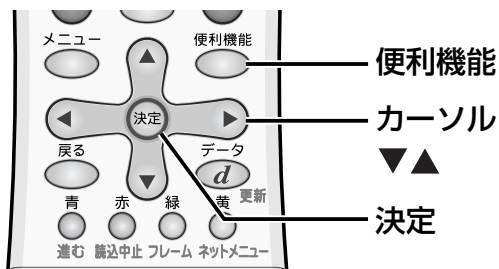
タイトル名を変更する

HDDに録画したタイトルの表示を変更します。

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して名前を変更するタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **便利機能**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「保護/削除/変更」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「タイトルを変更する」を選び、**決定**ボタンを押します。

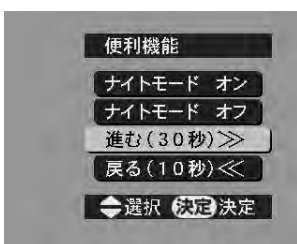
画面キーボードが表示されますので、タイトルを変更します。文字入力のしかたは、☞265～269ページをご覧ください。

便利機能/サブメニューで操作する（再生/一時停止中）

HDD録画タイトルの再生・一時停止中に**便利機能**ボタンを押すと、便利機能メニューが表示されてさまざまな操作が行えます。

再生、一時停止中の便利機能

便利機能メニューの出しかた

HDD録画タイトルの再生中または一時停止中に**便利機能**ボタンを押します。

例. 再生中の便利機能

便利機能でできる操作

進む（＊＊秒）

カーソル▲▼ボタンを押して「進む（＊＊秒)」を選んで**決定**ボタンを押すと、再生が表示の秒数（＊＊秒）進みます。進む秒数はデジタル設置メニュー「内蔵HDD設定」の「スキップ設定」で設定できます。☞117ページ

戻る（＊＊秒）

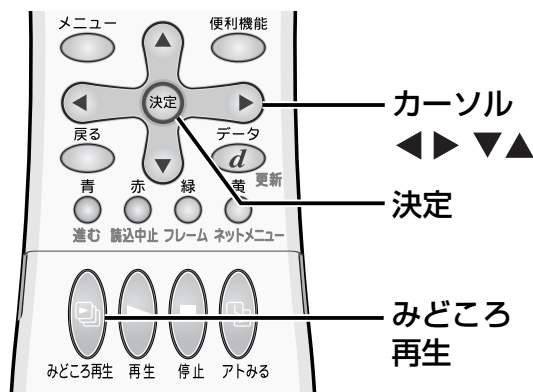
カーソル▲▼ボタンを押して「進む（＊＊秒)」を選んで**決定**ボタンを押すと、再生が表示の秒数（＊＊秒）進みます。進む秒数はデジタル設置メニュー「内蔵HDD設定」の「スキップ設定」で設定できます。☞117ページ

現画面をサムネイル登録

一時停止中のシーンをHDD録画リスト画面のサムネイル（リストに表示される小さな画面）に登録します。HDD録画リストを表示させたときは登録した画面がサムネイルに表示されるようになります。（一時停止中のみ便利機能メニューに表示されます）

ナイトモードのオン/オフについては☞38ページをご覧ください。

みどころ再生

音声の高まりなどを検知して、見どころと思われるシーンを数分〜数十分にまとめて再生する機能です。スポーツや映画など、ジャンルを設定することもできます。（15分未満の録画タイトルはみどころ再生できません）

みどころ再生の始めかた

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「みどころ再生」でご覧になるタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **みどころ再生**ボタンを押します。画面に「おまかせ再生」と「マニュアル再生」を選ぶメッセージが表示されます。
④ **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「おまかせ再生」または「マニュアル再生」を選び、**決定**ボタンを押します。

選んで決定

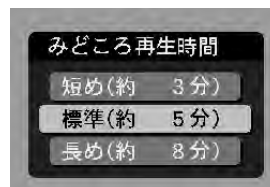
■おまかせ再生を選んだとき

「おまかせ再生」を選んで**決定**ボタンを押したときは、「おまかせ再生」モードでみどころ再生が始まります。録画したタイトルの音声の高まりなどを検知して、見どころと思われるシーンを録画タイトルの1/10程度の時間にまとめて再生します。マニュアル設定モードでみどころ再生したあと、「おまかせ再生」モードでみどころ再生した場合は、マニュアル設定モードで設定したジャンルや時間でみどころ再生します。

■マニュアル再生を選んだとき

「マニュアル再生」を選んで決定ボタンを押したときは、「みどころ再生ジャンル」と「みどころ再生時間」を設定して、よりタイトルに合ったみどころ再生を行うことができます。

⑤ **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「マニュアル再生」を選び、**決定**ボタンを押します。みどころ再生ジャンルを選ぶサブメニューが表示されます。
⑥ **カーソル▲▼**ボタンを押して、再生するタイトルに合ったジャンルを選び、**決定**ボタンを押します。みどころ再生時間を選ぶサブメニューが表示されます。
⑦ **カーソル▲▼**ボタンを押して、みどころ再生時間を選び、**決定**ボタンを押します。

「マニュアル再生」モードでみどころ再生が始まります。録画したタイトルの音声の高まりなどを、選んだ「みどころ再生ジャンル」に最適な状態で検知して、見どころと思われるシーンを「みどころ再生時間」で選んだ時間にまとめて再生します。

(お知らせ)

- 「みどころ再生時間」で選べる時間は、「みどころ再生ジャンル」で選んだジャンルやタイトル全体の時間によって異なります。
- みどころ再生はサブメニューからも始めることができます。

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押してタイトルを選びます。(決定ボタンは押しません)
③ **便利機能**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「みどころ再生」を選び、**決定**ボタンを押します。画面にみどころ再生ジャンルを選ぶサブメニューが表示されます。サブメニューから行える「みどころ再生」はマニュアル再生のみになります。

HDDの各種設定をする

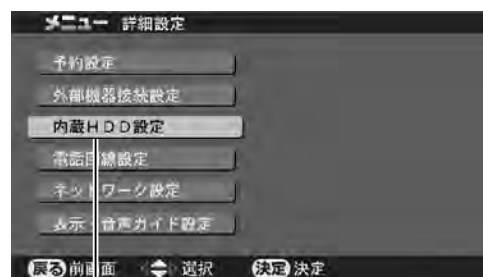
デジタル設置メニュー「詳細設定（デジタル)」の「内蔵HDD設定」には、内蔵HDDの録画や再生に関する設定メニューが用意されています。

内蔵HDD設定メニュー画面を出す

① **メニュー**ボタンを押し、メニュー画面を表示します。
② **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「デジタル設置」を選びます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「詳細設定（デジタル)」を選び、**決定**ボタンを押します。「詳細設定（デジタル)」画面が表示されます。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「内蔵HDD設定」を選び、**決定**ボタンを押します。「内蔵HDD設定」画面が表示されます。

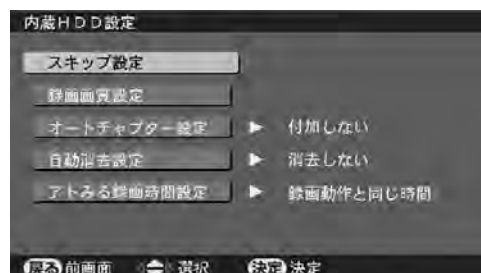
メニュー画面

「デジタル設置」の「詳細設定（デジタル)」を選んで決定

詳細設定（デジタル）画面

「内蔵HDD設定」を選んで決定

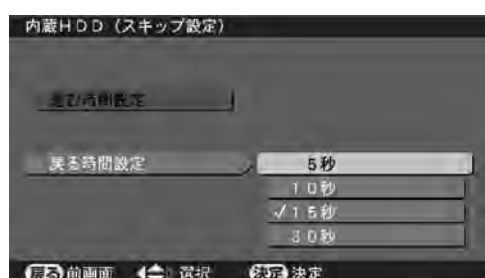
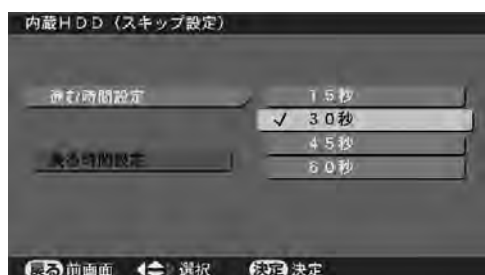
内蔵HDD設定画面

お知らせ

- 操作を中止または終了するときは、**メニュー**ボタンを押すか、メニュー画面が消えるまで**戻る**ボタンを数回押します。

スキップ設定

録画タイトルの再生中に便利機能メニューで操作できる「進む（＊＊秒)」、「戻る（＊＊秒)」で進む/戻る秒数を設定できます。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「スキップ設定」を選び、**決定**ボタンを押します。「スキップ設定」画面が表示されます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「進む時間設定」を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル ▶**ボタンを押します。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して進む秒数を設定し、**決定**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「戻る時間設定」を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル ▶**ボタンを押します。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して戻る秒数を設定し、**決定**ボタンを押します。

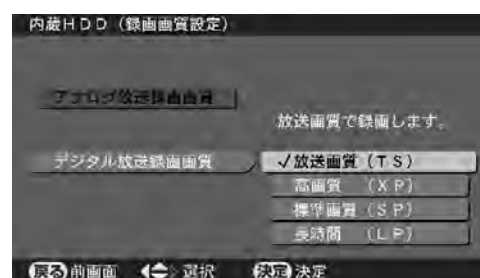
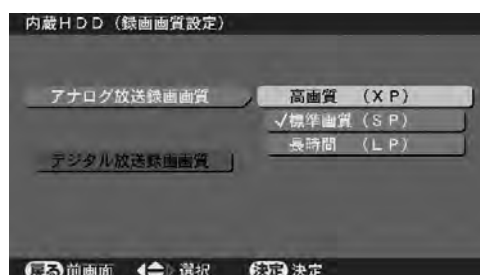
スキップ設定画面

録画画質設定（録画モード）

録画をするときの画質（録画モード）を設定できます。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「録画画質設定」を選び、**決定**ボタンを押します。「録画画質設定」画面が表示されます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「デジタル放送」または「アナログ放送」を選び、**決定**ボタンまたは**カーソル ▶**ボタンを押します。

アナログ放送：地上アナログ放送や、外部ビデオ入力を録画するときの録画モードを設定します。
デジタル放送：デジタル放送を録画するときの録画モードを設定します。

③ **カーソル▲▼**ボタンを押して録画モードを設定し、**決定**ボタンを押します。（設定終わり）
● 放送画質（TS）はデジタル放送でのみ選べます。

録画画質設定画面

■録画可能時間のめやす

● ハイビジョン放送を放送画質（TS）で録画するとき
　ＢＳデジタル放送のとき.....約15時間
　地上デジタル放送のとき.....約20時間
● アナログ放送を録画するとき、またはデジタル放送を放送画質（TS）以外のモードで録画するとき
　高画質（XP）のとき..........約40時間
　標準画質（SP）のとき......約75時間
　長時間（LP）のとき........約120時間

※搭載HDDの動画記録領域は153GBです。

HDDの各種設定をする（つづき）

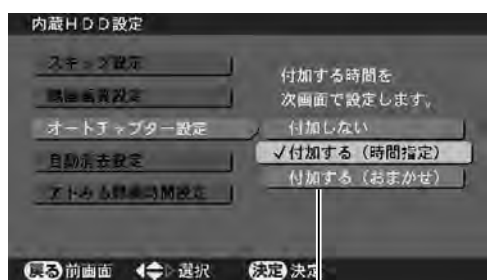
オートチャプター設定

録画をするときに時間の経過や音声の高まりなどに合わせて自動でチャプターを挿入するよう設定できます。

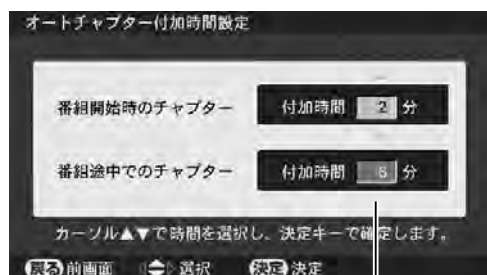
① **カーソル▲▼**ボタンを押して「オートチャプター設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押してご希望の設定を選び、**決定**ボタンを押します。

付加しない：チャプターを自動で挿入しません。

付加する（時間設定）：
一定時間ごとにチャプターを自動で挿入します。時間を設定する画面に移って設定します。

付加する（おまかせ）：
録画中の音声などを検知してチャプターを自動で挿入します。

設定して決定

■「付加する（時間設定)」のとき

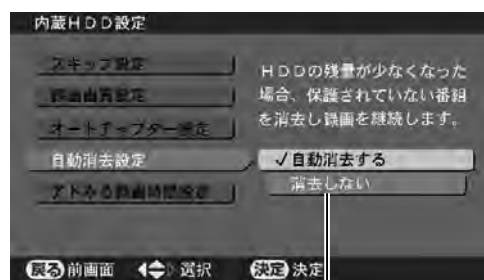
「オートチャプター」の設定で「付加する（時間設定)」を選んで**決定**ボタンを押したときは、時間を設定する画面に切り換わります。**カーソル▲▼**ボタンを押してチャプターを挿入する間隔の時間を設定し、**決定**ボタンを押します。

時間を設定して決定

自動消去設定

内蔵HDDが録画タイトルでいっぱいになった状態で新しい録画を始めたとき、古い録画タイトルから自動的に消去する設定です。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「自動消去」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「する」または「しない」を選び、**決定**ボタンを押します。

自動消去する：
内蔵HDDが録画タイトルでいっぱいになったときは古い録画タイトルから自動消去します。

消去しない：
内蔵HDDが録画タイトルでいっぱいになっても自動消去しません。

選んで決定

お知らせ

- HDDを初期化するときはデジタル設置メニュー「制限/初期化」の「HDD初期化」で行います。
☞257ページ

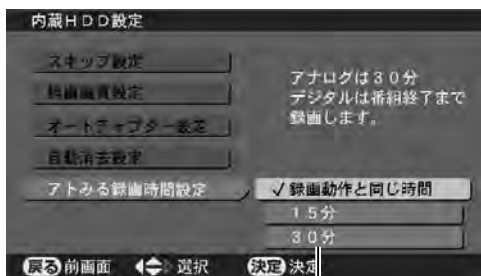
アトみる録画時間設定

アトみる機能で録画される時間を設定できます。（アトみる機能については ☞90ページをご覧ください。）

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「アトみる録画時間設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して時間を設定し、**決定**ボタンを押します。

録画動作と同じ時間：
アトみる録画の際、録画ボタンを押して録画を始めたときと同じように、デジタル放送は番組の終了まで、それ以外の場合は30分で録画を自動終了します。

15分：
アトみる録画の際、15分間の中でリング動作による録画を行います。

30分：
アトみる録画の際、30分間の中でリング動作による録画を行います。

選んで決定

それぞれに設定した場合の動作については ☞91ページをご覧ください。

内蔵ＨＤＤで録画・再生する

機器の接続とデジタル放送の録画

この章ではビデオやDVDプレーヤーなどの外部機器を接続する方法と、デジタル放送をビデオなどの外部機器に録画するときに必要な操作を説明します。

接続の前に

接続の前に

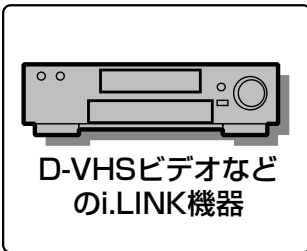
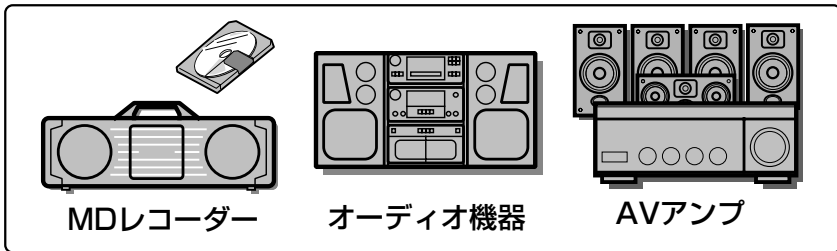
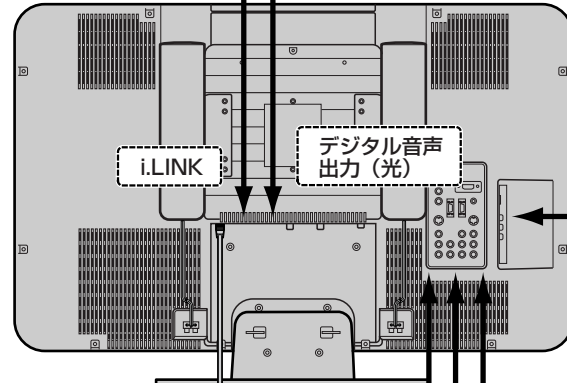
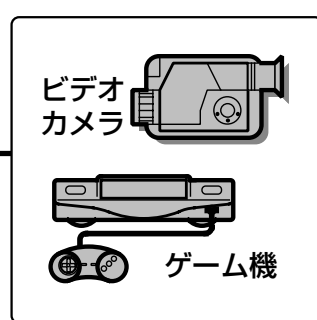
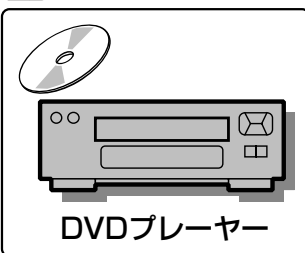
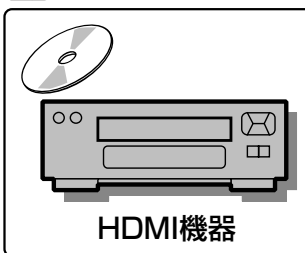
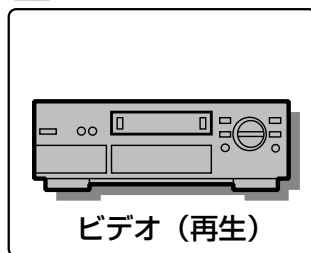
- 接続に使うコードは接続する機器によって異なります。機器の取扱説明書にしたがい、機器に付属または市販の接続コードをお使いください。
- 映像(黄)、音声左(白)、右(赤)など、端子と接続プラグの色を目安に間違えないようにつないでください。
- 本機と接続する機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続コードのプラグはしっかりと差し込んでください。
- 接続コードを抜くときはプラグ部分をもって抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 干渉(かんしょう)を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。

あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ入力スキップ機能

ビデオ入力スキップ機能は、リモコンの入力切換ボタンやテレビ本体の放送/入力切換ボタンで入力画面を切り換えるとき、接続がない入力をスキップ(飛び越す)機能で、ビデオ1～4入力端子で働きます。お買い上げ時はスキップ「する」になっていますので、接続がない入力画面は飛び越します。

お知らせ

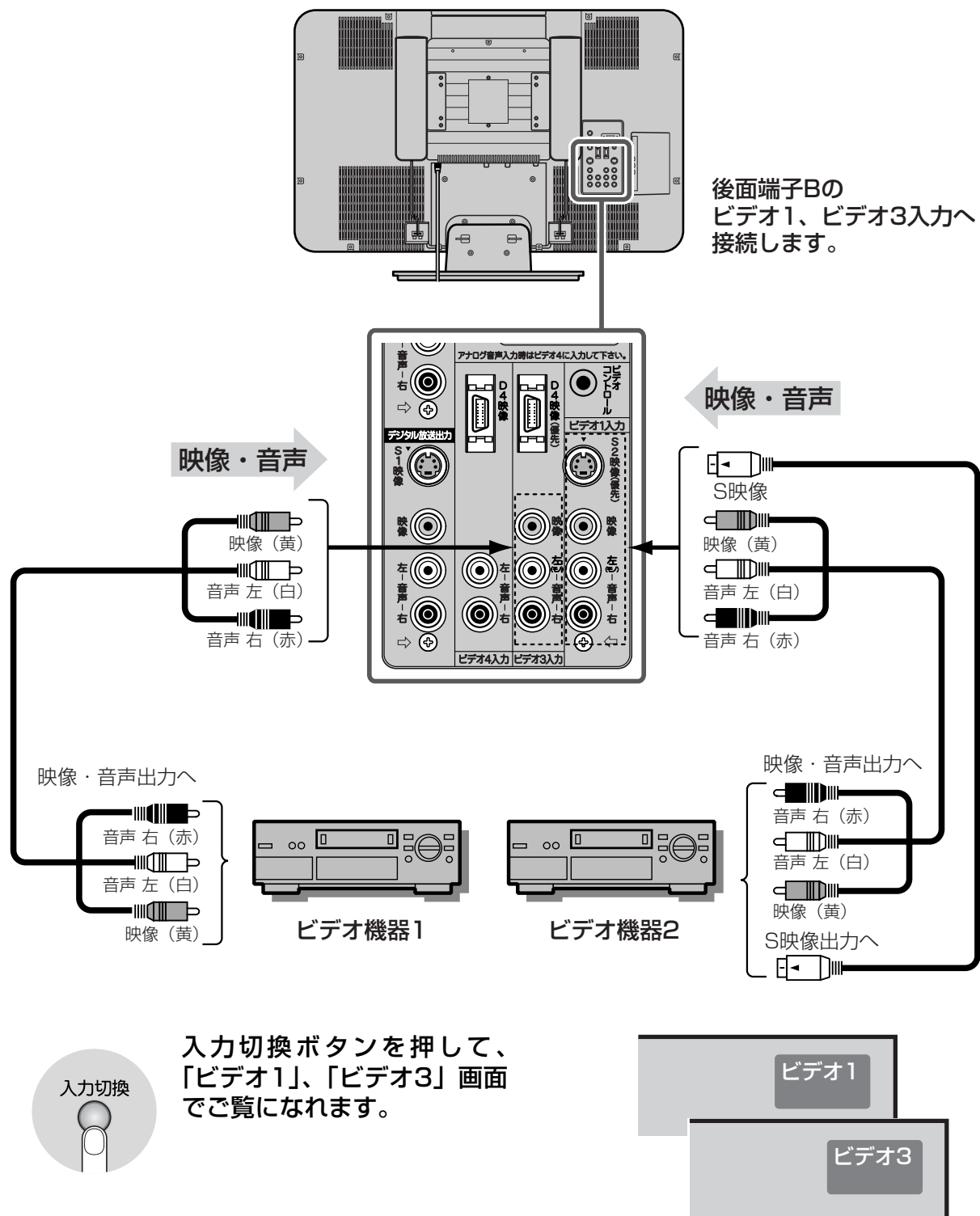
- スキップする／しないは、ビデオ1～4入力の映像端子（D4映像、S2映像、映像端子のどれか）に接続があるかないかで判定しています。これらの端子に接続がない場合はスキップします。
- ビデオ入力スキップ機能は、接続がなくてもスキップしないように設定できます。☞64ページ

●入出力端子について詳しくは 18ページ「本機の入出力端子」をご覧ください。

お知らせ

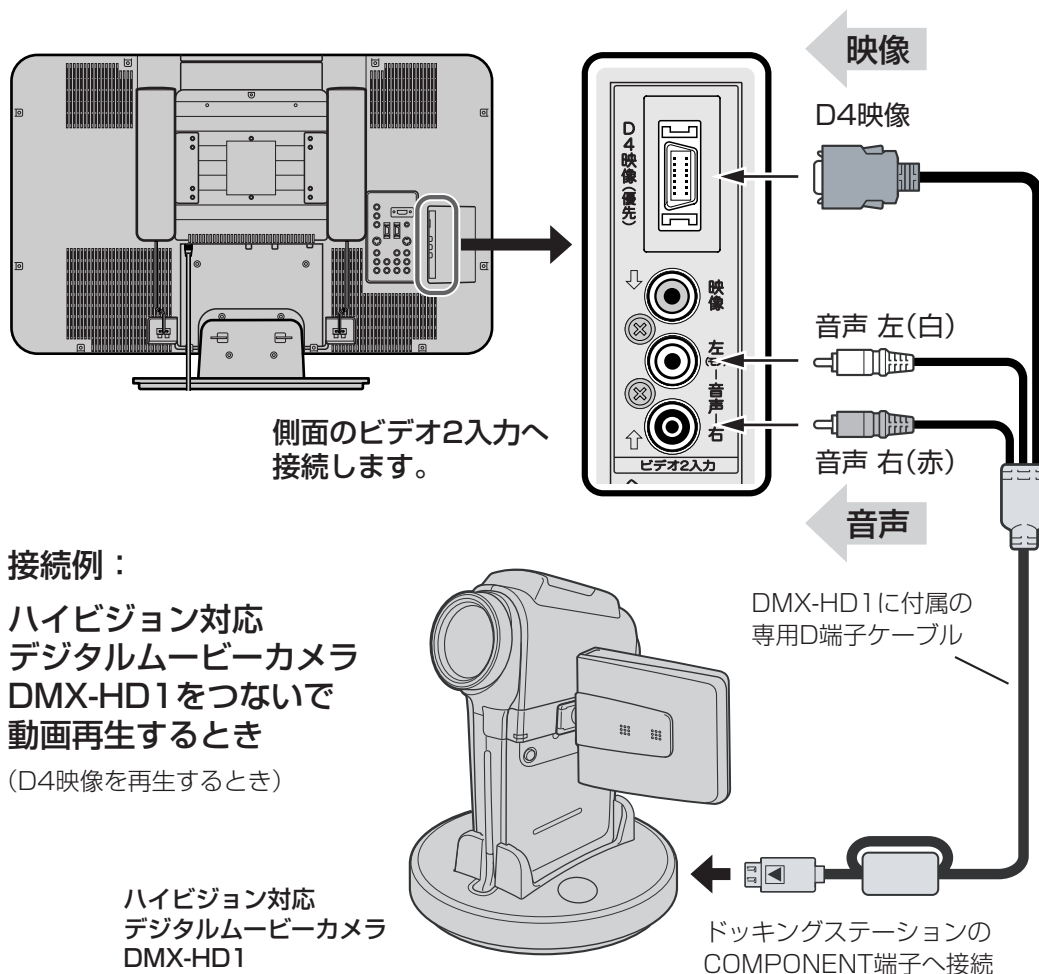
●デジタル放送の録画・再生を本機に接続したビデオ機器で行う場合の接続方法（アンテナの接続を含む）は、200ページに掲載しています。

機器の接続

ビデオ機器をつないで再生する

ビデオ1、3入力端子へビデオ機器をつなぐとき

お知らせ

- ビデオ1入力はS2映像端子優先です。映像端子を使うときは、S2映像端子に何も接続しないでください。
- モノラル機器の音声は音声・左（モノ）端子に接続しますと、1本の接続で左右から同じ音（モノラル）が出ます。

側面のビデオ2入力端子へ機器をつなぐとき

接続例：

**ハイビジョン対応
デジタルムービーカメラ
DMX-HD1をつないで
動画再生するとき**

(D4映像を再生するとき)

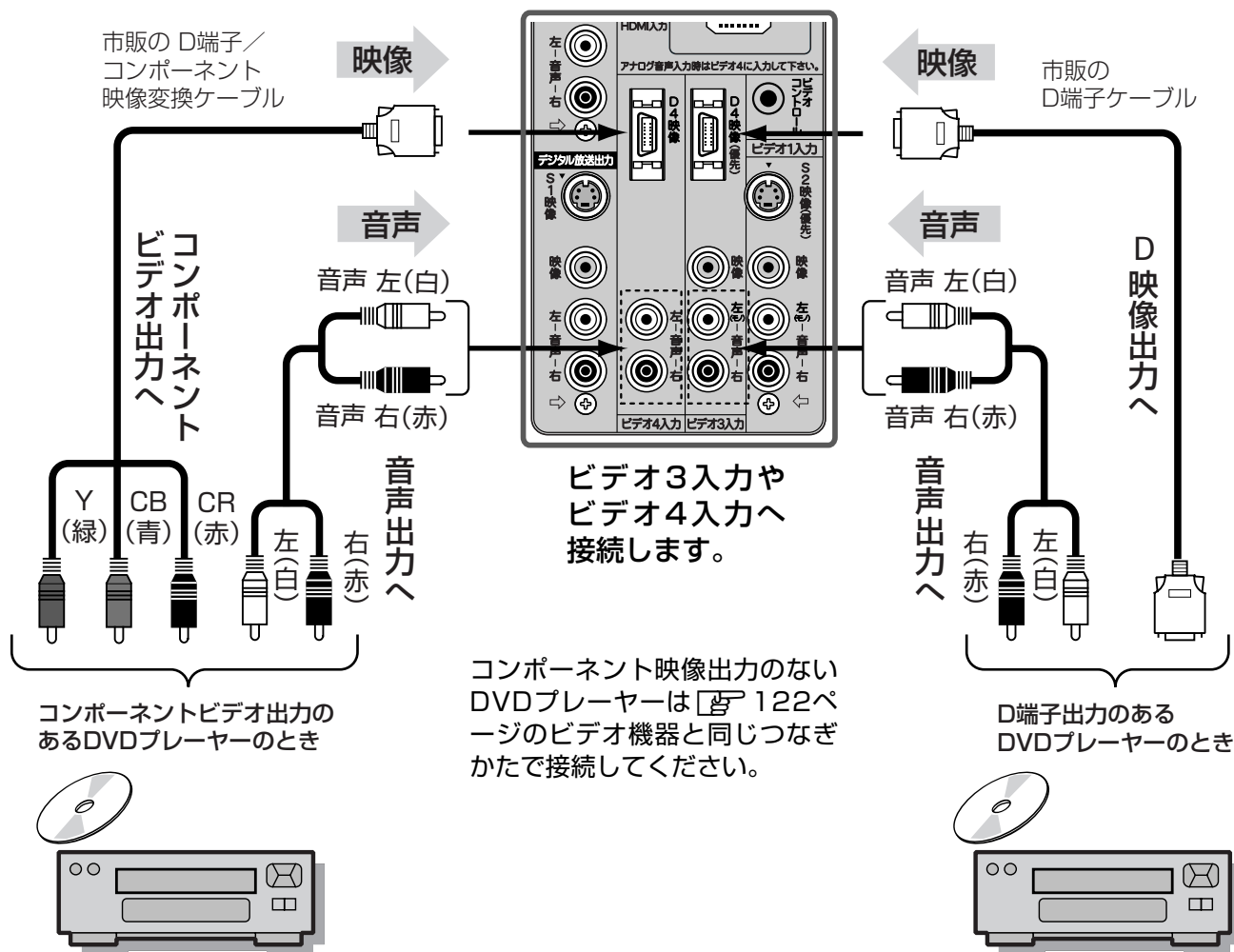
- ドッキングステーションは、別途DMX-HD1に付属しているACアダプターで電源コンセントに接続してください。
- デジタルムービーカメラDMX-HD1の接続や操作について詳しくは、DMX-HD1の取扱説明書をご覧ください。
- 映像出力がD映像ではない機器を接続するときは、黄色の映像端子に接続してください。

**入力切換ボタンを押して、
「ビデオ2」画面でご覧に
なれます。**

お知らせ

- ビデオ2入力はD4映像端子優先です。映像端子を使うときは、D4映像端子に何も接続しないでください。
- モノラル機器の音声は音声・左(モノ)端子に接続しますと、1本の接続で左右から同じ音(モノラル)が出ます。

ビデオ機器をつないで再生する（つづき）

DVDプレーヤー（コンポーネント映像出力付き）をつなぐとき

D4映像と走査モード

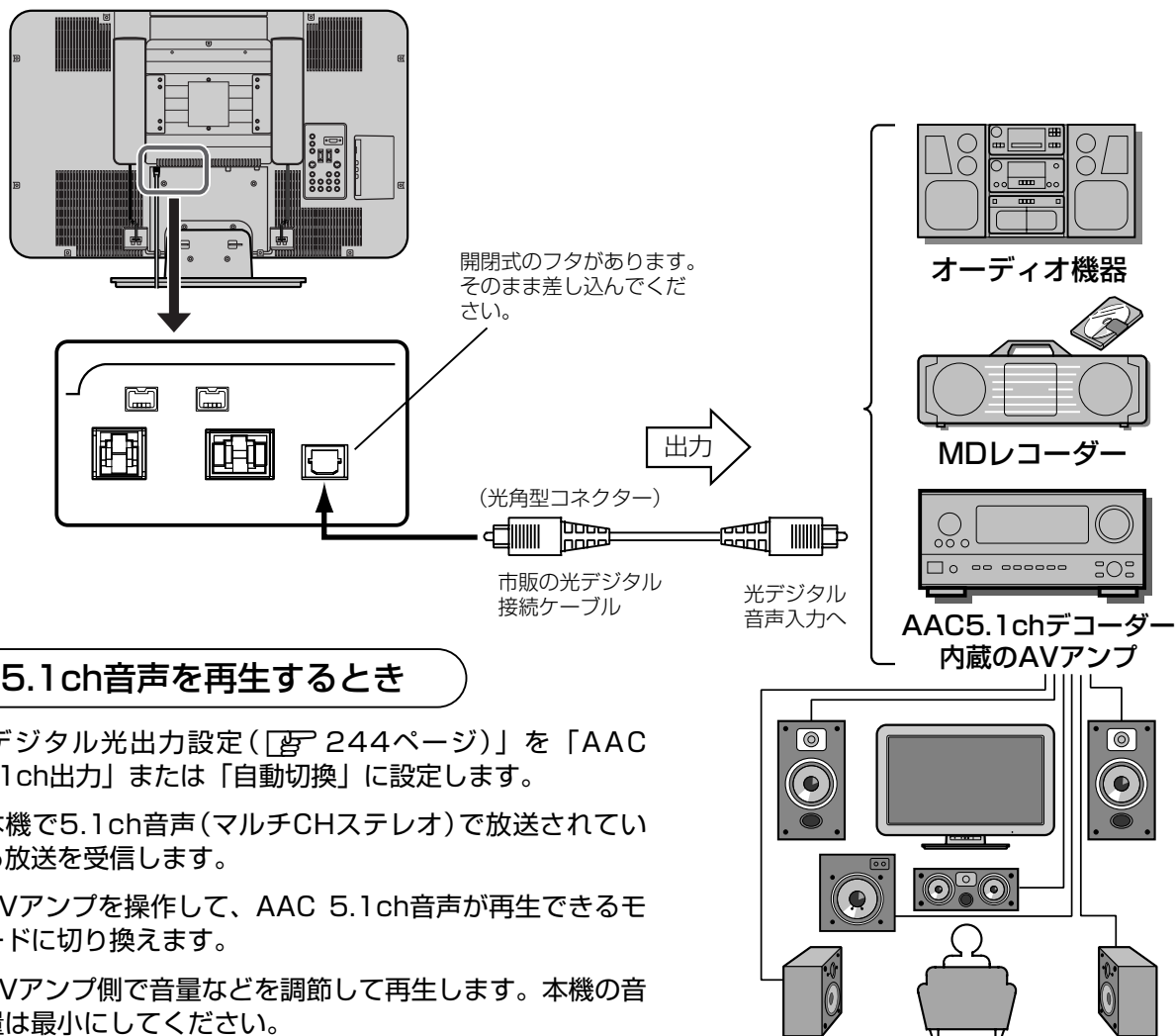
D4映像端子で本機に映すことができるのは1125i、750p、525p、525iの映像です。*

＊：1080i、720p、480p、480iとも呼ばれます。走査モードは機器によって異なります。機器の購入時にご確認ください。

走査モード	アスペクト比（横：縦）	走査方式
1125i (1080i)	16：9	飛び越し走査（インターレース）
750p (720p)	16：9	順次走査（プログレッシブ）
525p (480p)	16：9	順次走査（プログレッシブ）
525i (480i)	16：9／4：3	飛び越し走査（インターレース）

デジタル音声（光）出力の使いかた

光デジタル入力を持ったアンプにつないで再生したり、MDレコーダーで録音したりできます。AAC5.1chデコーダー内蔵のAVアンプと組み合わせると、デジタル放送の5.1チャンネル音声を楽しめます。

オーディオ機器やMDレコーダー、5.1chデコーダー内蔵アンプをつなぐ

5.1ch音声を再生するとき

① 「デジタル光出力設定（☞244ページ）」を「AAC 5.1ch出力」または「自動切換」に設定します。

② 本機で5.1ch音声（マルチCHステレオ）で放送されている放送を受信します。

③ AVアンプを操作して、AAC 5.1ch音声が再生できるモードに切り換えます。

④ AVアンプ側で音量などを調節して再生します。本機の音量は最小にしてください。

5.1チャンネル再生の詳細やスピーカーの接続・調整についてはAVアンプの取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- デジタル音声出力（光）端子からはデジタル放送以外の音声は出力されません。

ご注意

- デジタル設置メニューの「デジタル光出力設定（☞244ページ）」は、デジタル放送のAAC 5.1チャンネル音声に対応していない機器を接続するときは「PCM 2ch出力」に設定してお使いください。対応していない機器へAAC 5.1チャンネルの信号を出力した場合、正しく再生や録音がされません。
- 光デジタル接続ケーブルをお買い求めの際は、接続する機器側の端子の形をご確認ください。
- 接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 録音する場合はサンプリングレート・コンバーター内蔵の録音機器をお使いください。
- デジタル放送の音声の中には、デジタル信号で記録できないものがあります。

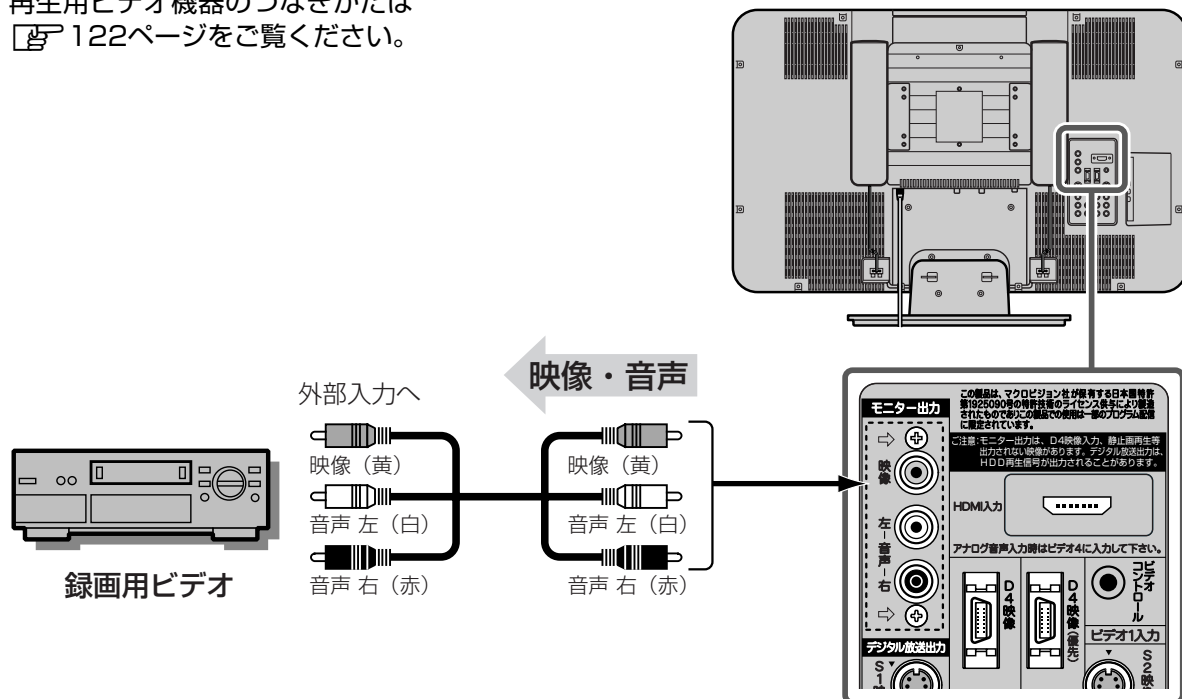
モニター出力端子の使いかた

映している外部入力映像をビデオで記録するとき（テープコピー、ダビング）

再生用ビデオ機器のつなぎかたは
☞ 122ページをご覧ください。

外部入力へ

映像・音声

映像（黄）
音声 左（白）
音声 右（赤）

録画用ビデオ

テープコピーの手順

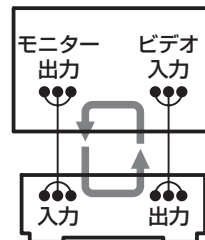
① 入力切換ボタンで再生用ビデオ機器の画面に切り換える。
（ビデオ1または映像端子から入力したときのビデオ2、3）

② 録画用ビデオの入力切換を「外部入力」に切り換える。

③ 再生用ビデオ機器で再生を始める。

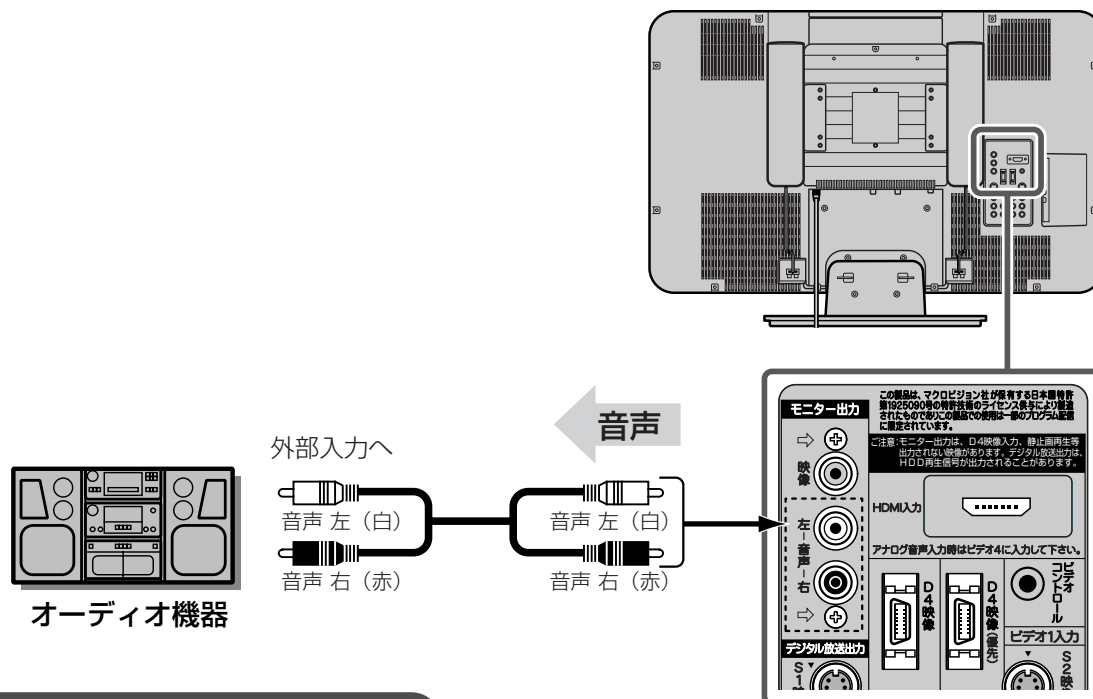
④ 録画用ビデオで録画を始める。（テープコピー開始）

■発振にご注意

本機と再生用ビデオを右のように接続してビデオの再生画面を本機で映す場合は、ビデオを「外部入力」にしないでください。本機とビデオの間に信号のループができるため、発振がおこり、画面が乱れます。

ご注意

次の操作をするとテープコピーが中断したり、録画の内容が変わってしまいます。ご注意ください。
- 電源を切る（テープコピーの中断）
- チャンネルや画面を変える（録画内容が変わる）

次のようなときは ...
- 本機のモニター出力やデジタル放送出力を別のテレビやモニターにつないでデジタル放送を映すときは、間にビデオなどの機器を経由させないでください。コピー制御信号が働いて正常に映らない場合があります。

音をオーディオ機器で再生するとき

オーディオ機器で音を聴くには

① 本機でご希望の画面を選ぶ。

② オーディオ機器の入力切換を外部入力に切り換える。

③ オーディオ機器で聴きやすい音量に調節する。

本機のスピーカーからは通常どおり音が出ます。消すときは音量（－）ボタンで音量を最小にしてください。

お知らせ

モニター出力端子について

映している画面の映像と音声が出力されます。画面を切り換えると出力も変わります。ビデオ1入力のS2映像端子から入力した映像も出力できます。下記の映像は画面に映っていても出力されませんのでご注意ください。（音声は出力されます。）

出力されない映像

- D4映像入力から入力した映像（コンポーネント映像）
- HDMI入力から入力した映像
- デジタルカメラの静止画再生画像
- 本機のネット機能を使って映している映像
- デジタル放送のデータ放送画面や、何みるガイド、番組表などの画面表示
- 内蔵HDDによる録画中は映像・音声が出力されません。

ご注意

- デジタル放送で放送されるハイビジョン番組の映像は、通常のテレビ放送と同レベルの画質（525i）で出力されます。
- デジタル放送の番組には、著作権保護などの目的で、ビデオに録画しても正常に記録・再生されない番組があります。
- 音声ガイダンス機能（☞42ページ）の音は、モニター出力端子から出力されます。音声ガイダンスを使用しないようにも設定できます。（☞245ページ）
- HDDによる録画中など、本機の画面や動作によっては、映像・音声が出力されなかったり、映している画面と異なる映像・音声が出力される場合があります。

HDMI機器をつなぐとき

HDMI入力端子にHDMI機器を接続して再生できます。変換ケーブルを使えばDVI機器も接続できます。

HDMI 入力端子にHDMI 機器やDVI 機器を接続する

●DVI機器のアナログ音声出力は、ビデオ4入力の音声端子へ接続してください。
●HDMI入力端子にDVI機器を接続し、アナログ音声をビデオ4入力の音声端子へ接続したときは、「HDMI設定」の中の「音声入力」を「アナログ」に設定してください。☞右ページ

入力切換ボタンを押して、「HDMI」画面に切り換えてご覧になれます。

お知らせ

HDMI端子はデジタル映像/音声を1本のケーブルで接続でき、高画質な映像とデジタル音声が楽しめます。
- 対応映像信号
  525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）
- 対応音声信号
  種類：リニアPCM
  サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz

HDMIケーブルには、HDMIのロゴマークがついているケーブルをご使用ください。

HDMI 設定のしかた

HDMI機器が正しく再生されないときなどは、「TV機能」メニューの「HDMI設定」を行ってください。

1 メニューボタンを押して、メニュー表示を出す

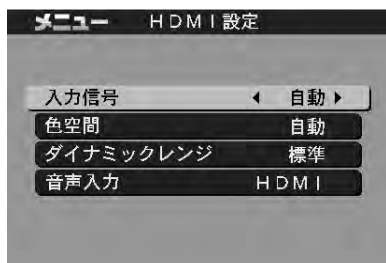
2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して「TV機能」を選ぶ

3 カーソル▼▲ボタンを押して「HDMI設定」を選び、決定ボタンを押す

メニュー画面

「TV機能」の「HDMI設定」を選んで決定

HDMI設定のメニューに切り換わり、現在の設定状況が表示されます。

4 カーソル▼▲ボタンを押して項目を選び、◀ ▶ ボタンで設定する

入力信号	自動/RGB/YCbCr 4:4:4/YCbCr 4:2:2
色空間	自動 / ITU601 / ITU709
ダイナミックレンジ	標準 / 特殊
音声入力	HDMI / アナログ

5 終了するときはメニューボタンを押す（設定終了）

入力信号

通常は「自動」のままお使いください。映像が正常に再生されないときは、正常に映る項目を設定してください。RGBは映像を赤・緑・青で表示する方式、YCbCrは輝度信号と色差信号で表示する方式です。

色空間

色を数値の組合せで表現する方式です。通常は「自動」のままお使いください。手動で設定するときは、色空間が最適になるよう設定してください。

ダイナミックレンジ

明るさの階調の幅を設定できます。通常は「標準」のままお使いください。

音声入力

HDMI 画面の音声として、ビデオ4入力に接続したアナログ音声を使用するときに「アナログ」に設定します。「アナログ」に設定しますと、ビデオ4入力の音声入力端子からのアナログ音声入力を再生するようになります。「アナログ」に設定しているときは、入力切換ボタンで画面を切り換えても「ビデオ4」には切り換わりません。

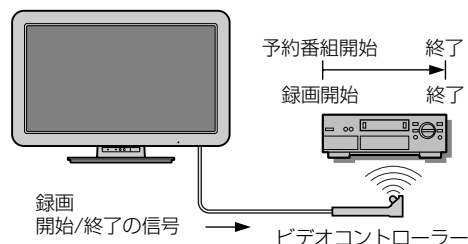
ご注意

- 一部のHDMI機器やDVI機器では正常に再生できないことがあります。
- HDMI端子から入力した映像や音声は、デジタル放送出力端子、モニター出力端子、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。

外部機器でデジタル放送を録画するとき

本機では、ビデオなどの外部機器でデジタル放送の予約録画を便利にする2通りの機能を用意しています。
(D-VHSビデオなどのi.LINK機器でデジタル録画する場合は 142～147ページをご覧ください)

ビデオコントローラーを使った録画

ビデオコントローラーは、先端から録画機器のリモコン送信機と同じ信号を発信する装置です。予約した番組が始まると、録画機器の電源を入れる信号と録画を始める信号を発信して録画をスタートさせせます。番組が終了すると、録画の停止と電源を切る信号を発信して録画を終了します。

本機が記憶しているリモコンコード

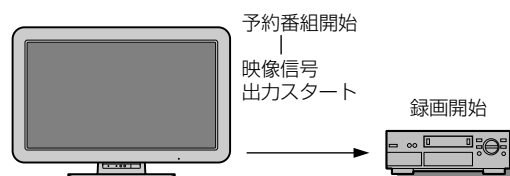
メーカー名	コード数	
	VTR	DVDレコーダー
三洋	6	4
日立	2	―
ソニー	3	3
三菱	3	―
ビクター	6	4
パイオニア	1	6
アイワ	6	―
シントム	1	―

メーカー名	コード数	
	VTR	DVDレコーダー
東芝	2	3
NEC	4	―
松下	5	3
シャープ	2	2
富士通ゼネラル	1	―
フィリップス	1	―
フナイ	1	―

- 「録画予約する」または「視聴＋録画予約」で予約したデジタル放送番組の録画のときに働きます。
- 本機は、当社を含む15社のビデオテープレコーダーと7社のDVDレコーダーの信号を記憶しています。信号は、同じメーカーでも新旧の製品で異なる場合があります。お使いになる前にお手持ちの録画機器が動作する信号を設定してください。設定しないと正しく録画できません。
- 表にあるメーカー製の機器でも、製品によってはビデオコントローラーで録画できないものがあります。

ビデオコントローラーの設定をしてください。 132ページ
ビデオコントローラーを使った録画のしかた 135ページ

同期検出録画を使った録画

映像信号を入力すると、その中の同期信号を検出して自動で録画をスタートする機能（シンクロ録画）を搭載した録画機器があります。お手持ちの録画機器がこのタイプの場合は、ビデオコントローラーを使わずに、予約した番組の開始と終了にあわせて映像信号を出したり止めたりして、録画を行うことができます。

同期検出録画の設定をしてください。 136ページ
同期検出録画のしかた 138ページ

お知らせ

お手持ちの録画機器が、ビデオコントローラーや同期検出録画が動作しない機器の場合は、予約した番組の開始時刻と終了時刻に合わせて、録画機器側で録画予約を設定してください。

ビデオコントローラーで録画するとき

ビデオコントローラーを使ってデジタル放送を外部機器で録画するときは、次のように接続してください。

ビデオコントローラーを使った録画の接続例

デジタル放送出力へ
接続します。

映像・音声

S映像
映像（黄）
音声 左（白）
音声 右（赤）

外部入力へ
音声 右（赤）
音声 左（白）
映像（黄）
S映像

ビデオコントロール
出力へ接続します。

HDMI入力
アナログ音声入力時はビデオ4に入力して下さい。
デジタル放送出力
S1映像
映像
左－音声－右
D4映像
D4映像（優先）
ビデオコントロール
ビデオ1入力
S2映像（優先）
ビデオ4入力
ビデオ3入力

録画用ビデオ機器
受光部
発光部
録画
開始/終了

ビデオコントローラーの取り付け

取り付け例

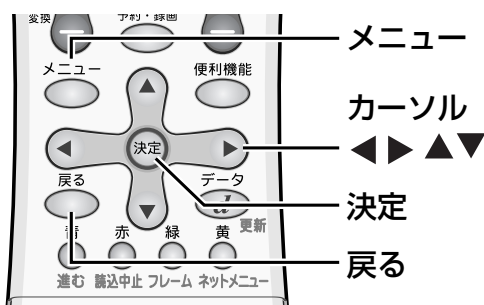
ビデオコントローラーの発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて取り付けます。リモコン受光部は、機器の取扱説明書などで位置を確認し、信号が確実に届く場所にビデオコントローラーを取り付けてください。（付属の両面テープを使用）

ご注意

- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- ビデオコントローラーに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。
- 録画機器の取扱説明書などでリモコン受光部の位置を確認し、信号が確実に届く場所にビデオコントローラーを取り付けてください。

接続機器の

ビデオコントローラーで録画するとき（つづき）

ビデオコントローラーを使うときは、お手持ちの録画機器が動作するように信号を設定してください。

準　備

本機に接続したビデオコントローラーの発光部を、録画機器のリモコン受光部の真正面に置きます。必要に応じてテープなどで仮固定します。

- 接続方法は 131ページをご覧ください。
- 録画機器のリモコン受光部位置は、機器の取扱説明書で確認してください。

ビデオコントローラーの設定

❶

メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

❷

カーソル◀▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

❸

カーソル▼▲ボタンを押して、「詳細設定（デジタル）」を選び、

決定ボタンを押す

詳細設定（デジタル）画面が表示されます。

❹

カーソル▼▲ボタンを押して、「外部機器接続設定」を選び、

決定ボタンを押す

❺

カーソル▼▲ボタンを押して、「接続VTR設定」を選び、

決定ボタンを押す

外部機器接続設定
接続ＶＴＲ設定
i.LINK接続機器設定
i.LINK自動切換設定 ▶ 自動切換する
デジタル光出力設定 ▶ 自動切換
戻る 前画面　選択　決定 決定

「接続VTR設定」を選んで決定

「接続VTR設定」の画面が表示されます。

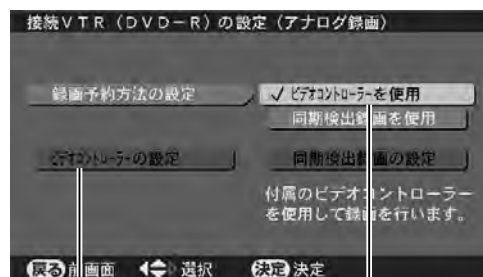
❻

カーソル▼▲ ボタンを押して、「録画予約方法の設定」を選び、

決定ボタンを押す

❼

カーソル▼▲ ボタンを押して、「ビデオコントローラーを使用」を選び、

決定ボタンを押す

「ビデオコントローラーを使用」を選んで決定

「ビデオコントローラーの設定」

❽

カーソル▼▲ ボタンを押して、「ビデオコントローラーの設定」を選び、

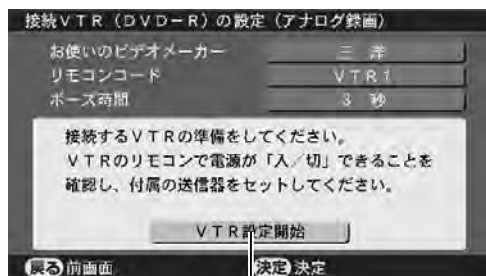
決定ボタンを押す

「接続VTR（DVD-R）設定」の画面が表示されます。

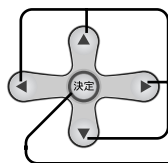
＊
「DVD-R」はDVDレコーダーを略したもので、記憶媒体の種類（DVD-Rディスク）を示すものではありません。

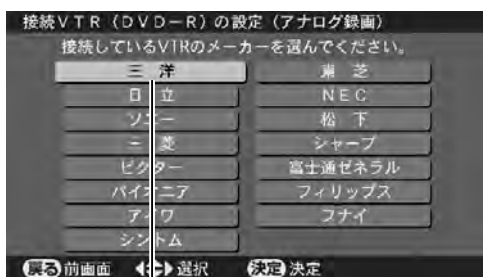
9

決定ボタンを押す

録画機器のメーカーを選ぶ画面に変わります。

決定を押す

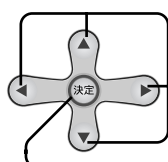
機器のメーカーを設定する

10

カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、お手持ちのビデオ機器のメーカーを選び、

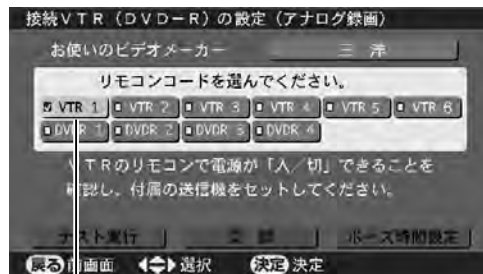
決定を押す

ビデオ機器のメーカーを選んで決定

- リモコンコードを選ぶ画面に変わります。
- 同じメーカーでも、録画機器によってリモコンコード（信号の種類）が異なることがあります。テスト機能でビデオコントローラーから信号を出してみて、お手持ちの録画機器が動作する信号を登録します。

信号のテストを実行する

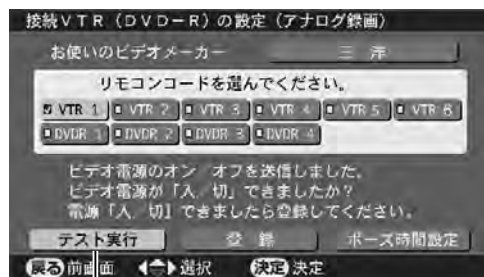
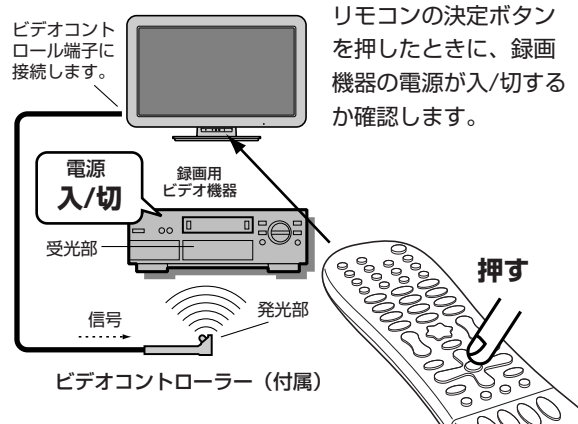
11

カーソル◀▶ ◀▶ ボタンを押して、リモコンコードを選び、

決定ボタンを押す

「テスト実行」が黄色になり、選んだリモコンコードのテストが実行できるようになります。

リモコンコードを選んで決定

12

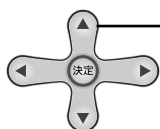
決定ボタンを押して、ビデオ機器の電源を入／切できるかテストする

押すごとに録画機器の電源を入／切する信号がビデオコントローラーから発信されます。信号を受けて、お手持ちのビデオ機器の電源が入／切するか確認します。

決定ボタンを押すごとに録画機器の電源を入れる信号、切れる信号が、交互にビデオコントローラーから出力されます

次ページへ続く

ビデオコントローラーで録画するとき（つづき）

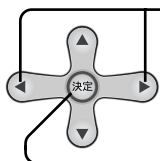
電源が入／切できなかったとき

テストしたリモコンコードで録画機器の電源が入/切できなかったときは、別のリモコンコードに切り換えてテストを繰り返します。

カーソル▲ボタンを押して、リモコンコードを選べる状態にする

- リモコンコード「VTR1」が黄色になります。
- ◀ ▶ボタンで別のリモコンコードを選び、**決定**ボタンを押して、再びテストを実行します。
- DVDレコーダーの中にはVTRと同じ信号で動作するものもあります

操作⓫～⓭を繰り返して次々にリモコンコードを変えてテストし、録画機器の電源を入／切できるリモコンコードを見つけます。

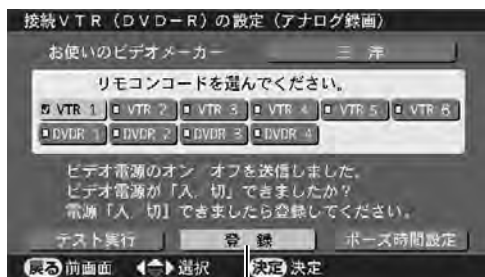
入/切できたら登録する

録画機器の電源を入／切できたときは、そのリモコンコードを登録します。

カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「登録」を選び、

決定を押す

- 「ポーズ時間設定」が必要な場合は登録する前に設定します。右記
- 選んだリモコンコードが登録され、「接続VTRを設定しました」と表示されます。（設定終わり）

ご注意

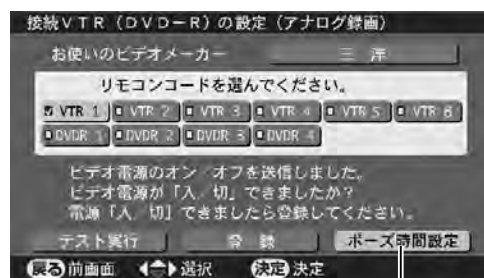
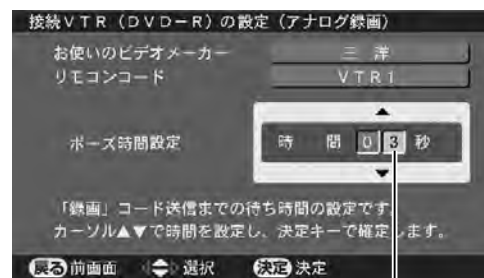
「テスト実行」を行わないと「登録」は選べません。

録画機器の電源入/切ができたら、「登録」を選んで決定

ポーズ時間を設定するとき

録画機器によっては、電源が入ってから実際に録画を始めるまで数秒かかるものがあります。「ポーズ時間設定」では、番組開始3分20秒前以後に予約した場合の機器の電源オン～録画開始までの間隔（ポーズ時間）を設定することができます。

設定のしかた

ポーズ時間は「登録」を行う前に設定します。

① **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「ポーズ時間設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
ポーズ時間を設定する画面に変わります。
② **カーソル▲▼**ボタンを押してポーズ時間を設定し、**決定**ボタンを押します。

「ポーズ時間設定」を選び決定

時間を設定して決定

- 通常は番組の開始3分20秒前に機器の電源を入れる信号を出し、開始3秒前に録画を開始する信号を出します。（この場合、「ポーズ時間設定」は録画に関係しません）
- 番組開始3分20秒前以後に予約した場合は、予約直後に機器の電源を入れる信号を出し、「ポーズ時間」の経過後に録画開始の信号を出します。

※ポーズ時間が経過した時点で番組開始までに3秒以上ある場合はすぐに録画を行わず、番組開始の3秒前に録画を開始する信号を出します。
※ポーズ時間を長く設定した場合は、録画開始が番組開始の後になる場合があります。
※電源オン～録画開始までに要する時間は、機器によって異なります。

ビデオコントローラーから録画予約した番組の開始～終了に合わせて信号が出力され、録画機器で自動的に録画の開始～終了を行うことができます。

予約録画のしかた

（番組表から録画予約するとき）

❶ 番組表から録画する番組を選んで決定ボタンを押す

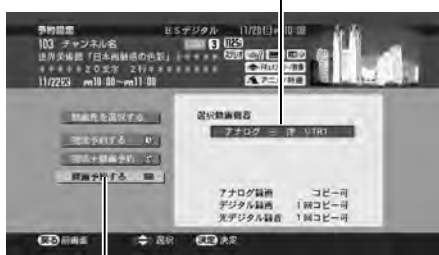
番組表ボタンを押して番組表を出し、カーソルボタン ▼▲ ◀▶ で予約する番組を選び、決定ボタンを押します。

❷ 録画機器選択をアナログ機器に変えます

カーソル ▼▲ ボタンで「録画先を選択する」を選び、決定ボタンを押します。カーソル ▼▲ ボタンで、ビデオコントローラーの設定を行ったアナログ機器を選び、決定ボタンを押して設定します。（☞77ページ）

❸「録画予約する」または「視聴＋録画予約」で番組を予約する

カーソル ▼▲ ボタンで「録画予約する」または「視聴＋録画予約」を選び、決定ボタンを押します。（☞76ページ）

録画機器選択をアナログ機器に変更

予約方法を選ぶ

❹ 録画機器を操作して録画の準備をする（例. ビデオのとき）

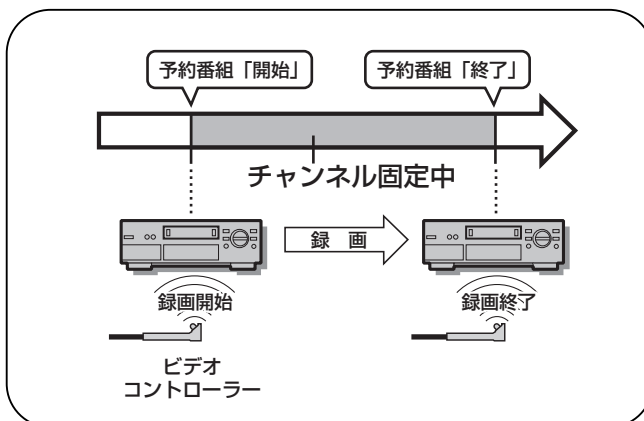
- 録画可能なビデオテープを入れる
- 入力を「外部入力」にする
- 録画スピードを選ぶ（標準/3倍）
- ビデオの電源を「切」状態にする。

（録画機器の取扱説明書もご覧ください）

❺ 本機の画面と音を消しておくときはリモコンの電源ボタンを押す

テレビ本体の**電源**スイッチで電源を切らないでください。予約番組が受信できなくなります。

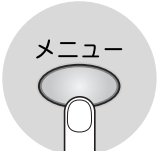
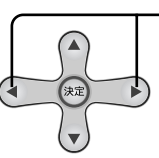
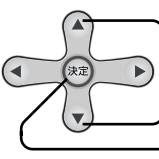
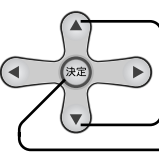
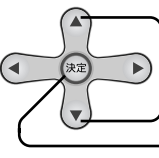
予約した番組が始まると..

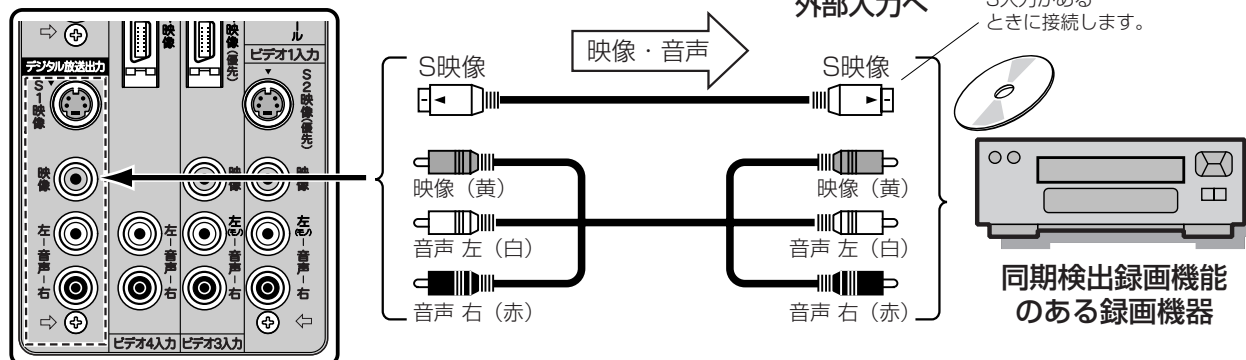
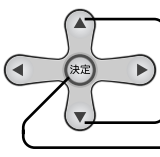
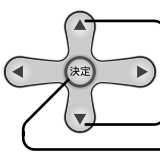
- 本機のデジタル放送出力端子から録画機器へ予約した番組の映像と音声が出力されます。
- ビデオコントローラーから録画機器へ録画開始の信号が出力され、録画が始まります。
- 予約番組の開始～終了の間はデジタル放送出力が固定されます。

予約した番組が終了すると..

- ビデオコントローラーから録画機器に録画を終了させる信号が出力され、録画が終了します。
- デジタル放送出力の固定が解除され、本機は予約番組の開始前の状態に戻ります。

番組の録画に関するご注意

- デジタル放送出力端子からの録画では、ハイビジョン放送をハイビジョンの高画質のまま録画することはできません。S映像出力または映像出力端子を利用して、通常テレビと同等の画質で録画されます。
- デジタル放送の番組には、録画できない番組や、録画が制限される番組があります。詳しくは ☞83ページをご覧ください。
- あなたがビデオで録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 16：9の番組を記録したビデオの再生を、本機以外の4：3の標準テレビで映した場合は、映像が水平方向に圧縮（スクイーズ）されたように映ります。
- 本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、接続や設定が正しいか確認してください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。

同期検出録画で録画するとき

映像入力の同期信号を検出して自動で録画をスタートさせる機能（シンクロ録画機能）を搭載した録画機器で、この機能を利用して録画を行うときは、次のように接続・設定します。

同期検出録画のための接続例

同期検出録画の設定

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソル◀▶ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

3 カーソル▼▲ボタンを押して、「詳細設定（デジタル）」を選び、

決定ボタンを押す

詳細設定（デジタル）画面が表示されます。

4 カーソル▼▲ボタンを押して、「外部機器接続設定」を選び、

決定ボタンを押す

5 カーソル▼▲ボタンを押して、「接続VTR設定」を選び、

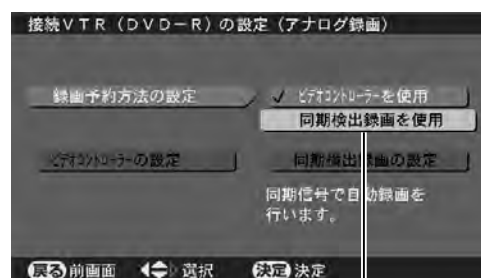
決定ボタンを押す

「接続VTR設定」を選んで決定

6 カーソル▼▲ボタンを押して、「録画予約方法の設定」を選び、

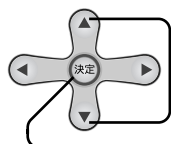
決定ボタンを押す

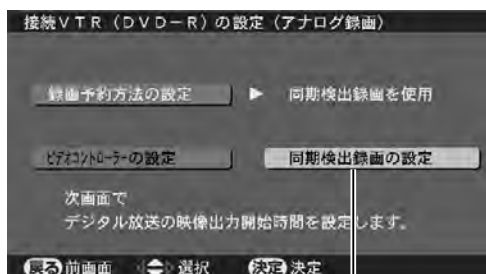
7 カーソル▼▲ボタンを押して、「同期検出録画を使用」を選び、

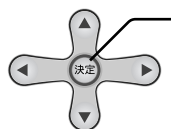
決定ボタンを押す

「同期検出録画を使用」を選んで決定

出力開始時間の設定

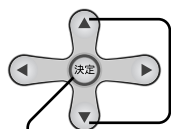
録画機器に映像信号を入力してもすぐに録画が始まらない場合があります。録画の冒頭が切れるのを防ぐため、予約した番組が始まる少し前から映像信号を出力することができます。

8

カーソル▼▲ボタンを押して、「同期検出録画の設定」を選び、

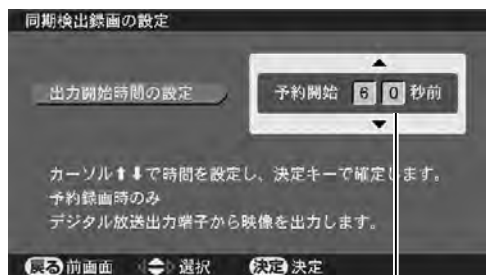
決定ボタンを押す

「同期検出録画の設定」を選んで決定

9

もう一度決定ボタンを押す

時間を設定する画面に変わります。

10

カーソル▼▲ボタンを押して、出力開始時間を設定し、

決定ボタンを押す

10秒～90秒の範囲で設定できます。

出力開始時間を設定

11

もう一度決定ボタンを押す

出力開始時間が設定されます。

同期検出録画を設定したときは

- 「録画予約方法の設定」を「同期検出録画を使用」に設定したときは、ビデオコントローラーは動作しなくなります。
- 「録画予約方法の設定」が「ビデオコントローラーを使用」のときは、デジタル受信部に電源が入っていればデジタル放送出力端子から映像・音声が出力されますが、「同期検出録画を使用」に設定したときは、「録画予約する」または「視聴＋録画予約」で予約した番組の開始～終了までの間、または便利機能の「デジタル放送出力固定」を実行して出力を開始したとき以外は、映像・音声が出力されなくなります。
- 「録画予約方法の設定」を「同期検出録画を使用」に設定したときは、予約画面「録画機器選択」のアナログ録画機器の表記が「アナログ同期検出録画」に変わります。
- 「録画予約方法の設定」を「同期検出録画を使用」に設定したときは、番組予約や予約完了の画面で表示されるメッセージが、同期検出録画を使用することを示す内容に変わります。

同期検出録画で録画するとき（つづき）

録画予約した番組の開始に合わせて、本機のデジタル放送出力端子から出力される映像信号を録画機器が検出して、自動で録画が始まります。

予約録画のしかた

（番組表から録画予約するとき）

❶ 番組表から録画する番組を選んで決定ボタンを押す

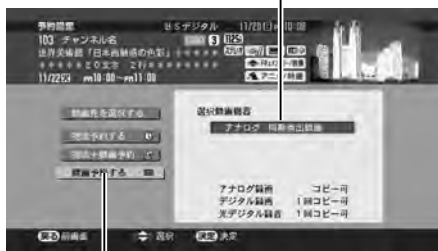
番組表ボタンを押して番組表を出し、カーソルボタン ▼▲ ◀▶ で予約する番組を選び、決定ボタンを押します。

❷ 録画機器選択をアナログ機器に変えます

カーソル ▼▲ ボタンで「録画先を選択する」を選び、決定ボタンを押します。カーソル ▼▲ ボタンで、「アナログ同期検出録画」を選び、決定ボタンを押して設定します。（☞77ページ）

❸ 「録画予約する」または「視聴＋録画予約」で番組を予約する

カーソル ▼▲ ボタンで「録画予約する」または「視聴＋録画予約」を選び、決定ボタンを押します。（☞76ページ）

「アナログ同期検出録画」に変更

予約方法を選ぶ

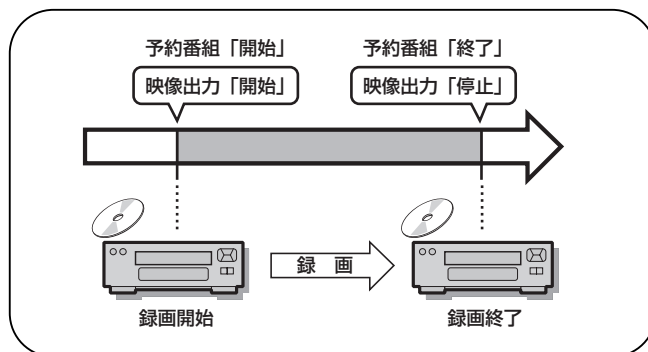
❹ 録画機器を操作して録画の準備をする（例. DVDレコーダーのとき）

シンクロ録画の設定を行うなど、録画機器が本機からの出力信号を受けて、自動で録画をスタートできるように準備をしてください。（詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください）

❺ 本機の画面と音を消しておくときはリモコンの電源ボタンを押す

テレビ本体の**電源**スイッチで電源を切らないでください。予約番組が受信できなくなります。

予約した番組が始まると..

- 本機のデジタル放送出力端子から録画機器へ予約した番組の映像と音声が出力されます。
- 録画機器が入力した映像信号を受けて、自動で録画を開始します。
- 予約番組の開始〜終了の間は自動的にデジタル放送出力が固定されます。

予約した番組が終了すると..

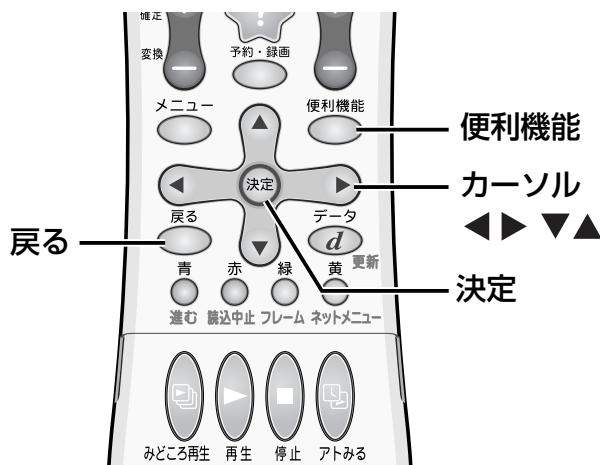
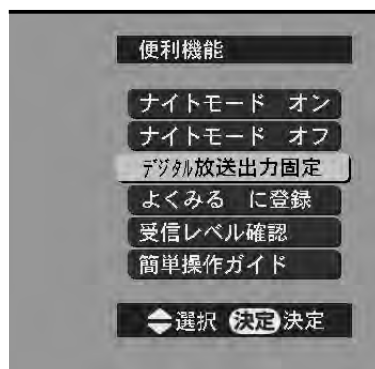
- 本機のデジタル放送出力端子から出力されていた信号が止まります。
- 録画機器が映像信号の停止を受けて、自動で録画を停止します。
- デジタル放送出力の固定が解除され、本機は予約番組の開始前の状態に戻ります。

番組の録画に関するご注意

- デジタル放送出力端子からの録画では、ハイビジョン放送をハイビジョンの高画質のまま録画することはできません。S映像出力または映像出力端子を利用して、通常テレビと同等の画質で録画されます。
- デジタル放送の番組には、録画できない番組や、録画が制限される番組があります。詳しくは ☞83ページをご覧ください。
- あなたがビデオで録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 16：9の番組を記録したビデオの再生を、本機以外の4：3の標準テレビで映した場合は、映像が水平方向に圧縮（スクイーズ）されたように映ります。
- 本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、接続や設定が正しいか確認してください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。

デジタル放送出力を固定するには

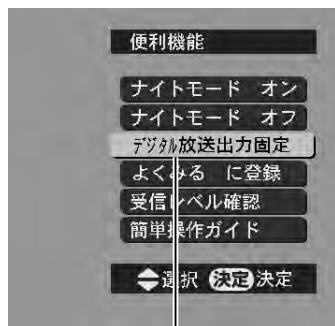
デジタル放送の録画などのときに便利機能を使ってデジタル放送出力を固定しておくと、録画中にチャンネルを変えてしまったというような失敗を防げます。

便利機能の操作に使うボタン

便利機能の表示（デジタル放送）

デジタル放送出力固定のしかた

1 出力を固定するデジタル放送を受信する

2 便利機能ボタンを押して、便利機能の表示を出す

3 カーソル▼▲ ボタンを押して、「デジタル放送出力固定」を選び、

決定ボタンを押す

「デジタル放送出力固定」を選んで決定を押す

デジタル放送出力を固定しました。
リモコンで電源オフしても、３時間有効です。

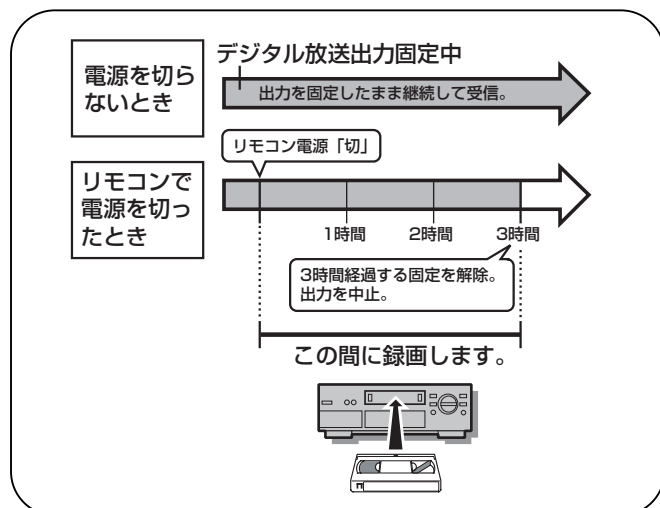
- デジタル放送出力を固定すると、後面・デジタル放送出力端子から出力される映像・音声が固定され、チャンネルなどを変えても影響しないようになります。

デジタル放送出力固定について

- デジタル放送出力を固定したときは、固定したデジタル放送のチャンネル切り換えなどの操作はできなくなります。画面には「現在、デジタル放送出力固定中のため、この操作はできません。」と表示されます。
- デジタル放送の画面に表示される番組詳細や音声表示、バナー表示などは、デジタル放送出力端子からは出力されません。録画中にこれらの表示を出しても録画内容には影響しません。
- デジタル放送出力を固定中に予約した番組が始まったときは、予約した番組を優先して受信し、番組の終了までそのチャンネルで固定します。（予約番組が視聴中のチャンネルと同じチャンネルで、予約番組終了後も視聴していた場合は固定が継続されます。）

デジタル放送出力を固定するには（つづき）

デジタル放送出力固定の働き

- デジタル放送出力を固定すると、固定したデジタル放送のチャンネルが固定されます。
- デジタル放送出力の固定後、リモコンで電源を切ったときは3時間出力を継続し、3時間経過後に固定を解除して出力を中止します。

- デジタル放送出力の固定中は、操作ができなくなったり制限される機能があります。

「同期検出録画を使用」のとき

「録画予約方法の設定」を「同期検出録画を使用」に設定したときは、本機のデジタル放送出力端子から通常は映像が出力されなくなります。「同期検出録画を使用」のときは、デジタル放送出力を固定すると、本機のデジタル放送出力端子からデジタル放送の映像が出力されるようになります。

映像出力を止めるとき

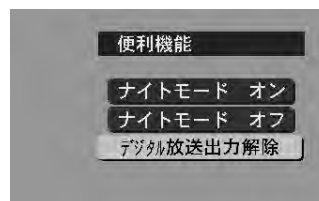
デジタル放送出力の固定を解除すると、デジタル放送の映像が出力されない状態に戻ります。

視聴予約した番組のとき

「録画予約方法の設定」を「同期検出録画を使用」に設定しているときは、「視聴予約する」で予約した番組の開始～終了の間は、予約した番組は映りますが、デジタル放送出力端子から録画用の信号は出力されません。
「視聴予約する」で予約した番組の途中から録画したいときは、便利機能から「デジタル放送出力固定」を選んで決定ボタンを押し、出力を固定してください。

固定を解除するとき

① **便利機能**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「デジタル放送出力解除」を選び、**決定**ボタンを押します。「現在、デジタル放送出力固定中です。解除しますか？」というメッセージが表示されます。
③ **カーソル ▼▲** ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。

- デジタル放送出力の固定が解除され、「デジタル放送出力固定を解除しました。」と表示されます。
- デジタル放送出力固定中にリモコンで電源を切ってから3時間経過すると、自動で解除されます。

録画のしかた・例

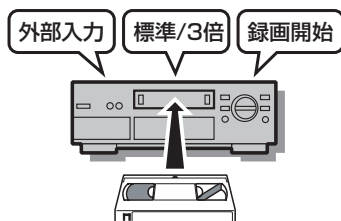
デジタル放送出力を固定してデジタル放送を録画するときは、次のように行います。

※
下記は「録画予約方法の設定」がお買い上げ時の「ビデオコントローラーを使用」の状態の場合の手順です。

1 録画するデジタル放送を受信する

2 デジタル放送出力を固定する

☞139ページ

3 録画機器を操作して録画を始める（例. ビデオのとき）

●録画可能なビデオテープを入れる
●入力を「外部入力」にする
●録画スピードを選ぶ（標準/3倍）
●録画をスタートさせる
（録画機器の取扱説明書もご覧ください）

4 録画を続けながら画面と音を消すときは、リモコンの電源ボタンを押す

デジタル放送出力を固定している間は、リモコンの**電源**ボタンで電源を切っても、3時間の間は固定した放送の信号を出力し続けますので、録画を継続できます。

「同期検出録画を使用」の録画

「録画予約方法の設定」を「同期検出録画を使用」に設定したときの録画の手順は次のようになります。

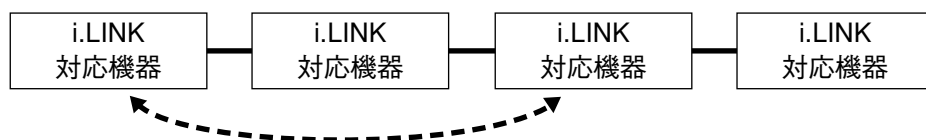
① 録画するデジタル放送を受信します。
② 便利機能でデジタル放送出力を固定します。固定すると本機のデジタル放送出力端子からデジタル放送の映像が出力されるようになります。
③ 録画機器の取扱説明書にしたがって録画を始めてください。本機からの出力信号を受けて、自動で録画をスタートできるよう設定されているときは、映像出力を受けて自動で録画が始まります。
④ 録画を続けながら画面と音を消すときは、リモコンの**電源**ボタンを押します。デジタル放送出力を固定している間は、リモコンの**電源**ボタンで電源を切っても、3時間の間は固定した放送の信号を出力し続けますので、録画を継続できます。

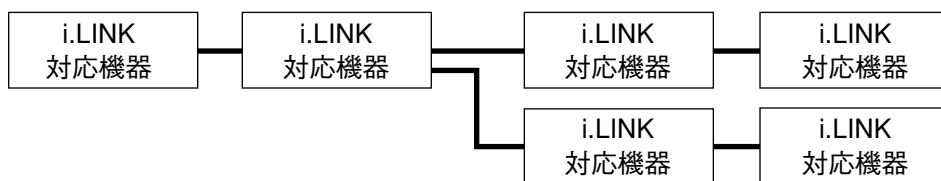
i.LINK機器で録画・再生するとき

本機のi.LINK端子には、D－VHSビデオなどのi.LINK機器を接続することができます。

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
現在、100 Mbps／200 Mbps／400 Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されます。本機では最大400 Mbpsの転送が可能なため、S400と表示されています。また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続していくことができます。

■i.LINKの接続方法

●i.LINK対応機器の接続はi.LINKケーブルで接続します。最大*17台まで接続することができます。

データは接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

●i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。
ツリー型で接続の場合は、最大*63台まで接続することができます。

＊上記の接続台数などは規格上のものです。機器によって接続できる台数は異なります。

i.LINK接続上のご注意

- 接続には、接続するi.LINK機器のデータ転送速度に合ったi.LINKケーブルをお使いください。例えば最大データ転送速度が200 Mbps（S200）のD－VHSビデオの場合は、S200以上の４ピンi.LINKケーブルをお使いください。
- デジタルビデオカメラなどのDV端子は、端子の形状は同じですがデータのフォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。また、DV機器を接続していると誤動作を起こす場合があります。
- DV機器に付属のDVケーブルや市販のDV用ケーブルは、転送速度が低いデータ用のため使用できません。
- 数台のi.LINK機器を接続している場合、デジタル録画・再生中や予約録画中は、使用していない機器の電源を切ったりi.LINKケーブルを抜き差ししないでください。映像や音声が途切れたり乱れたりすることがあります。
- デジタル放送の番組によっては、録画を制限するコピーガードがかかっている場合があります。コピーガードがかかっている番組の場合、録画・再生が正常にできない場合があります。
- ３台以上のi.LINK機器を接続している場合、i.LINK機器の中には電源を切っているとデータの中継ができない機器があります。接続するi.LINK機器の取扱説明書もご覧ください。
- パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。
- 接続が輪（ループ）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
- i.LINKとi.LINKロゴ”i”は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）とういデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載した機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載した機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

本機のi.LINK端子にＤ－ＶＨＳビデオなどの機器を接続することにより、デジタル放送の番組をデジタル信号のまま記録し、再生することができます。

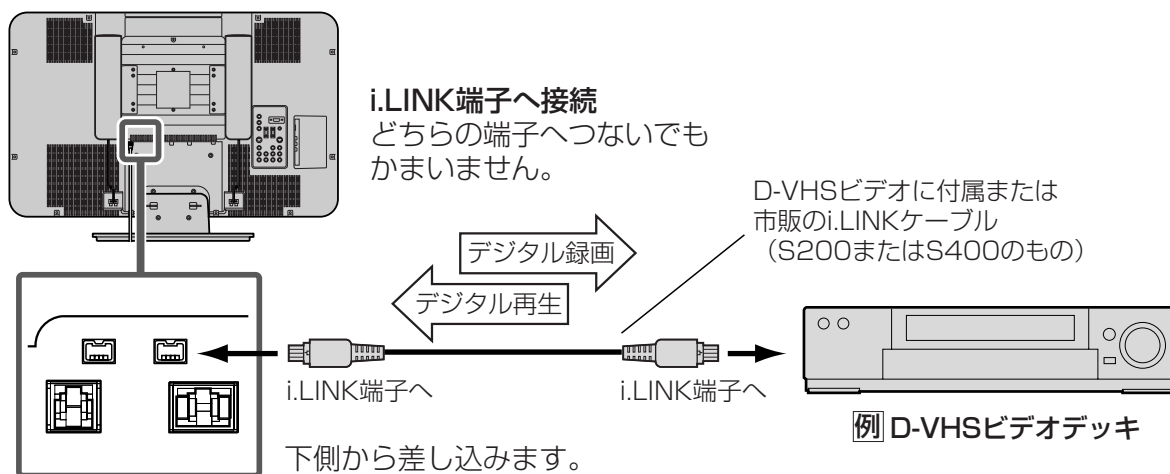
本機で使用できるi.LINK機器

本機では、下記のＤ－ＶＨＳビデオデッキなどをi.LINK接続して、デジタル放送のデジタル録画／デジタル再生を行えることが確認されています。

メーカー名	型　名
松下（パナソニック）	D-VHSビデオデッキ NV-DH2 NV-DHE20
JVC（日本ビクター）	D-VHSビデオデッキ HM-DHS1 HM-DHX1 HM-DHX2
アイ・オー・データ機器	ハードディスクレコーダー Rec-POT HVR-HD160M HVR-HD250M HVR-HD160F HVR-HD250F （D-VHSモードで使用）

ご注意

- 機種や番組の放送方式によってはデジタル放送の録画／再生が正常にできない場合があります。
- 左記以外の製品で使用できる機器もありますが、正しく動作しない場合があります。
- デジタルハイビジョン番組をデジタルハイビジョンの高画質で記録・再生できるのは、Ｄ－ＶＨＳビデオに「ＨＳモード」による録画機能がある場合です。
- 番組によっては著作権保護などの目的のため、正常に記録・再生できないものがあります。
- ハードディスクレコーダーRec-POTは、D-VHSモードで使用してください。

Ｄ－ＶＨＳビデオのつなぎかた

ご注意

- 接続にはＳ２００またはＳ４００の４ピンi.LINKケーブルをお使いください。
- デジタルビデオカメラなどのＤＶ端子用のケーブルは使用しないでください。
- 複数のＤ－ＶＨＳビデオやその他のi.LINK機器を接続して使用する場合は ☞ 144ページをお読みください。
- Ｄ－ＶＨＳビデオでは、デジタル録画／デジタル再生の他、従来のＶＨＳやＳ－ＶＨＳ方式でのアナログ録画／アナログ再生も行えます。アナログ録画／アナログ再生を行うにはi.LINK接続の他、通常のビデオと同様のＳコード、ピンコードによる接続が必要になります。それらの接続方法については通常のビデオと同様に接続してください。
- Ｄ－ＶＨＳビデオの取扱説明書もよくお読みください。

お知らせ

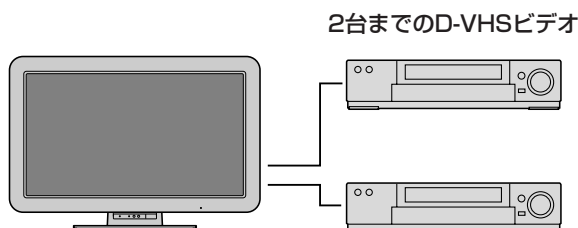
Ｄ－ＶＨＳビデオの特長

- デジタルハイビジョン番組をデジタルハイビジョン本来の高画質で記録できます（ＨＳモード時）。
- 映像・音声のほか、同時に放送されているデータ放送も記録できます。
- 本機で録画予約した番組にあわせて録画が自動で行えます。

i.LINK機器の登録

i.LINK端子にD－VHSビデオなどを接続すると、自動でi.LINK機器としての登録が行われ、予約録画や再生などができるようになります。

接続すると登録されます

i.LINK機器2台までの接続ならば、i.LINK機器を接続すると自動で登録されます。

自動登録のしかた

- D－VHSビデオなどのi.LINK機器を接続します。
- 本機の電源を入れます。
- i.LINK機器の電源を入れます。

自動で登録が行われます。

i.LINK機器の設定に使うボタン

登録を確認するには

1 メニューボタンを押して、メニュー画面を出す

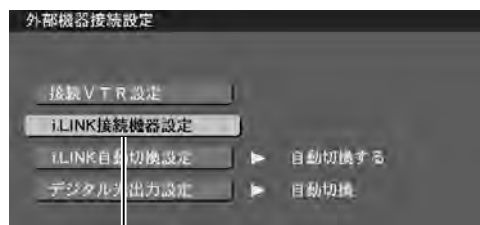
2 カーソル◀▶ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

3 カーソル◀▶ボタンを押して、「詳細設定（デジタル）」を選び、決定ボタンを押す

詳細設定（デジタル）画面が表示されます。

4 カーソル▼▲ボタンを押して「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソル▼▲ボタンを押して、「i.LINK接続機器設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「i.LINK接続機器設定」の画面が表示されます。
- 登録されたi.LINK機器の情報が表示されます。

「i.LINK接続機器設定」を選んで決定

表示されるi.LINK機器の情報

登　録　：「D-VHS1（1台目のi.LINK機器）」と「D-VHS2（2台目のi.LINK機器）」の2台が登録されます。登録された機器は四角にチェックマークが表示されます。
種　別　：i.LINK機器の種別です。
メーカー名：i.LINK機器のメーカー名
型　名　：i.LINK機器の型名
状　態　：接続/未接続などの状態

お知らせ

- デジタル録画再生機器として登録できるのは、i.LINK接続機器設定画面を出したとき、「種別」のところに「D-VHS」と表示される機器に限られます。
- 登録されたi.LINK機器の情報は、削除しない限り接続をはずしても保持されます。
- i.LINK機器を接続しない状態でi.LINK接続機器設定画面を出したときは、「接続されているi.LINK機器はありません。」と表示されます。

3台以上のi.LINK機器を接続して使用するときは、使用するi.LINK機器を登録機器に選んでからお使いください。

3台以上で使用するとき

準 備

- Ｄ－ＶＨＳビデオなどのi.LINK機器をi.LINK端子に接続します。
- i.LINK機器の電源を入れます。

❶ 「i.LINK接続機器設定」の画面を出す（☞ 144ページの操作❶～❺）

- 接続したi.LINK機器の情報が画面に表示されます。同時に3台以上のi.LINK機器を接続した場合は、その中から2台を自動的に選んで登録します。
- これから使用するi.LINK機器が「D-VHS1」または「D-VHS2」に登録されていた場合はそのまま使用できます。
- これから使用するi.LINK機器が「D-VHS1」または「D-VHS2」に登録されていなかった場合は、1台の登録を削除してから、使用するi.LINK機器を登録する作業をしてください。

使わない登録を削除する

これから使用するi.LINK機器が「D-VHS1」または「D-VHS2」に登録されていなかった場合は、1台の登録を削除してから、使用するi.LINK機器を登録します。

❷ カーソル▼▲ボタンを押して削除するi.LINK機器を選び、決定ボタンを押す

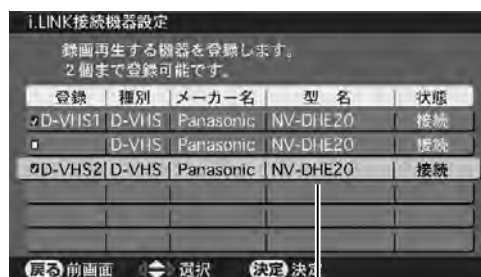
登録が削除されます。登録が削除された機器は「登録」欄の四角からチェックマークがなくなります。

登録を解除するi.LINK機器を選んで決定

使う機器を登録する

使用しないi.LINK機器の登録を削除したら、今度はこれから使用するi.LINK機器を登録します。

❸ カーソル▼▲ボタンを押して登録するi.LINK機器を選び、決定ボタンを押す

i.LINK機器が登録されます。登録されたi.LINK機器は「登録」欄の四角にチェックマークが付きます。

登録するi.LINK機器を選んで決定

❹ 設定を終えるときはデジタルメニューボタンを押す（操作終了）

お知らせ

- i.LINK接続機器設定画面を出したとき、以前に登録したが今は接続していないi.LINK機器がある場合などは下部に「（赤）登録削除」と表示されます。▲▼ボタンで接続していないi.LINK機器を選び、**赤**ボタンを押すと登録が削除されます。
- 登録されたi.LINK機器以外の機器の情報は、接続している間だけ表示されます。接続をはずすと保持されません。

ご注意

接続しているi.LINK機器が2台以下の場合、接続状態で登録削除の操作を行っても、本機が自動的に登録動作を行い削除されません。接続をはずしてから登録を削除してください。

i.LINK機器で録画する（デジタル録画）

i.LINK端子を使ってD-VHSビデオを接続すると、録画予約したデジタル放送番組の開始～終了に合わせて、D-VHSビデオで自動的に録画の開始～終了を行うことができます。

予約録画のしかた

（番組表から録画予約するとき）

準　備

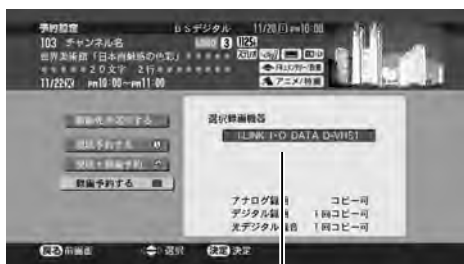
- D－VHSビデオをi.LINK端子に接続します。☞143ページ
- 接続したD－VHSビデオを「i.LINK接続機器設定」で登録してください。☞144ページ

❶ 番組表から録画する番組を選んで決定ボタンを押す

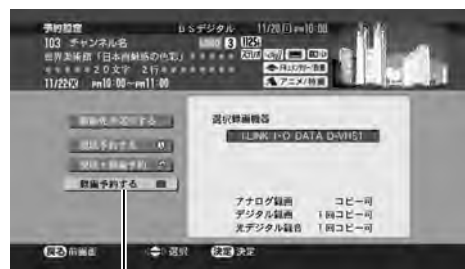
番組表ボタンを押して番組表を出し、カーソルボタン ▼▲ ◀▶ で予約する番組を選び、決定ボタンを押します。

❷ 録画機器選択をi.LINK機器に変えます

カーソル ▼▲ ボタンで「録画先を選択する」を選び、決定ボタンを押します。カーソル ▼▲ ボタンで、録画を行うi.LINK機器を選び、決定ボタンを押して設定します。（☞77ページ）

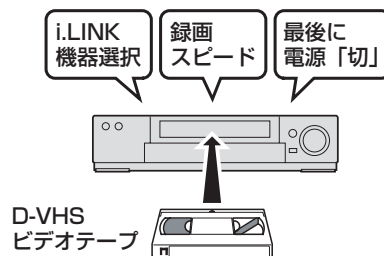
- 2台のD-VHSビデオを登録している場合は、録画に使う方を選んでください。

録画するD-VHSビデオを選ぶ

❸ 「録画予約する」または「視聴＋録画予約」で番組を予約する

カーソル ▼▲ ボタンで「録画予約する」または「視聴＋録画予約」を選び、決定ボタンを押します。（☞76ページ）

予約方法を選ぶ

❹ D-VHSビデオを操作して録画の準備をする

- 録画可能なD-VHSテープを入れる
- 本機からのデジタル信号を録画できるようi.LINK機器の選択をする
- 録画スピードの「オート」を選ぶ
- D-VHSビデオを停止またはリモコンで電源を切った状態にする。

（操作方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください）

❺ 本機の画面と音を消しておくときはリモコンの電源ボタンを押す

テレビ本体の電源スイッチで電源を切らないでください。予約番組が受信できなくなります。

お知らせ

- 複数のD-VHSビデオを接続している場合でも、録画が行えるのは登録したD-VHSビデオだけです。複数のD-VHSビデオを切り換えて録画するときは、録画するD-VHSビデオを登録し直してください。
- D-VHSビデオでアナログ予約録画を行う場合は、アナログ予約録画の接続方法、手順で行ってください。☞130～141ページ
- プログラム予約（☞90ページ）で録画するときも、番組表からの予約と同様、i.LINK端子を使って録画できます。

受信中の番組を録画する

受信中のデジタル放送を録画するときは、便利機能の「デジタル放送出力固定」を行って、チャンネルが切り換わらないようにしてください。

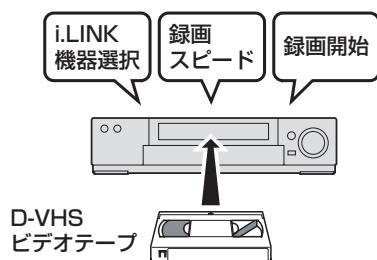
1 デジタル放送出力を固定する

デジタル放送出力固定のしかたについては 139ページをご覧ください。

- デジタル放送出力を固定すると、固定したデジタル放送のチャンネルが変えられなくなります。

2 D-VHSビデオを操作して録画を始める

- 録画可能なD-VHSテープを入れる
- 本機からのデジタル信号を録画できるようi.LINK機器の選択をする
- 録画スピードの「オート」を選ぶ
- 録画をスタートさせる

(操作方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください)

3 録画を続けながら画面と音を消すときは、リモコンの電源ボタンを押す

デジタル放送出力を固定している間は、リモコンの電源ボタンで電源を切っても、3時間の間は固定した放送の信号を出力し続けますので、録画を継続できます。

予約した番組が始まると..

- 予約した番組が受信され、本機のi.LINK端子からD-VHSビデオへ番組の信号が出力されます。
- 本機のi.LINK端子からD-VHSビデオに録画を開始させる信号が出力され、録画が開始されます。
- 予約番組の開始～終了の間は自動的にチャンネルが固定されます。

予約した番組が終了すると..

- 本機のi.LINK端子からビデオに録画を終了させる信号が出力され、録画が終了します。
- デジタル放送出力の固定が解除され、本機は予約番組の開始前の状態に戻ります。

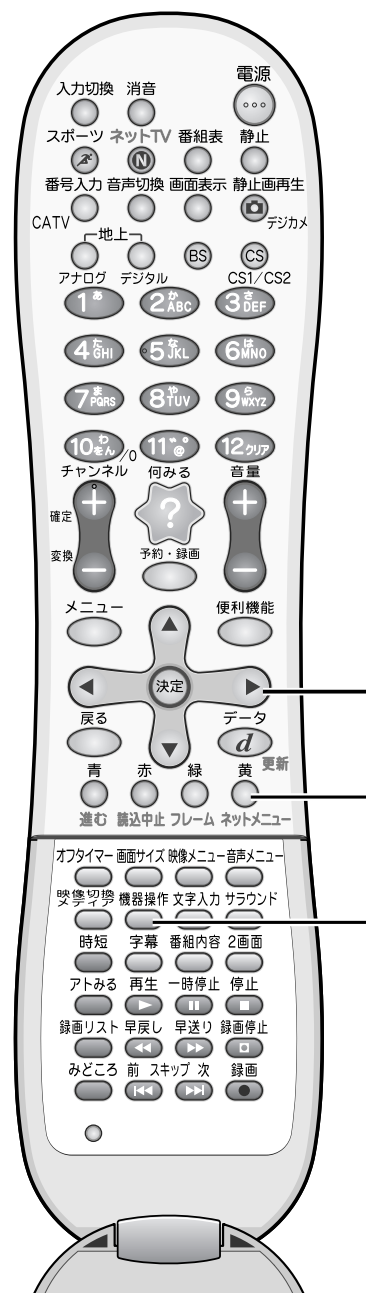
D-VHSの録画スピードについて

デジタルの番組は、番組ごとに情報量（転送レート：1125i、750p、525p、525i）が異なります。番組の情報量に合わせて録画できるよう、D-VHSビデオの録画スピードは「オート」をお選びください。情報量が合わない録画スピードを選んだ場合、正常に録画・録音できない場合があります。

番組の録画に関するご注意

- i.LINK端子にD-VHSビデオを接続して録画できるのはデジタル放送に限ります。
- i.LINK端子からの録画では、ハイビジョン放送をハイビジョンの高画質のまま録画できます（HSモード時）。
- デジタル放送の番組の中には、録画できない番組や、録画が制限される番組があります。詳しくは83ページをご覧ください。
- あなたがビデオで録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、接続や設定が正しいか確認してください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。

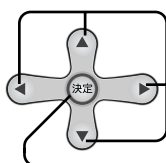
機器操作パネルで操作する

本機の画面に機器操作パネルを表示させ、パネル上でi.LINK機器を操作することができます。

機器操作パネルを表示させる

❶ デジタル放送の画面を映す

デジタル放送とi.LINK以外の画面では機器操作パネルは表示できません。

❷ 機器操作ボタンを押す

- 機器操作パネルが表示されます。
- 電源を入れたすぐ後に機器操作パネルを出したときは、「接続機器の情報取得中」と表示され、操作可能になるまで数秒かかります。

❸ カーソル▼▲ ◀▶ボタンを押して、操作パネルの中から操作に使うボタンを選び、

決定を押す

- 選んで決定したボタンの操作が、i.LINK機器で行われます。
- 再生、頭出し（1つ前/先）のボタンを操作したときは、画面が自動でi.LINK画面に切り換わります。

パネルの位置を変えるとき

上 (↑) 下 (↓) 左 (←) 右 (→)

青、赤、緑、黄のボタンで機器操作パネルの位置を変えられます。

❹ 操作パネルを消すときは、機器操作ボタンを押す

- 機器操作パネルが消えます。
- 機器操作パネルは消えても、操作した機器の動作は継続します。

2台以上接続しているとき

2台以上のD-VHSビデオを接続しており、操作する機器を切り換えるときは、「**戻る**」ボタンを押します。 ▲▼ ボタンで「D-VHS1」、「D-VHS2」、「ブロードキャスト」を選べるようになりますので、選んで**決定**ボタンを押します。本機に登録したD-VHSビデオを操作するときは、「D-VHS1」または「D-VHS2」を選んで**決定**ボタンを押します。

機器操作パネル

例.機器操作パネルの操作でデジタル放送を録画するとき

1. **録画するデジタル放送を受信する。**
2. **機器操作ボタンを押して機器操作パネルを表示させる。**
3. **◀▶ ▼▲ ボタンで機器操作パネルの「●録画」ボタンを選び、決定ボタンを押す。(録画開始)**

- 機器操作パネルの「●録画」ボタンで録画を始めると、自動的にデジタル放送出力が固定されます。

お知らせ

- 機器操作パネルは1分間操作がないと自動的に消えます。
- メニュー、番組表、何みるガイド、予約や番組購入など、表示している画面によっては機器操作パネルが表示できません。
- チャンネルや画面を切り換えたときは機器操作パネルが消えます。
- 内蔵HDDでの録画中は、i.LINK機器の操作はできません。
- 接続や設定が原因で機器操作パネルで操作できないときは「操作できません」とメッセージが表示されます。
- 機器操作パネルを表示させたとき、カーソル、決定、カラーの各ボタンは機器操作パネルの操作用として働きます。

i.LINK機器の再生を映す

i.LINK端子に接続したＤ－ＶＨＳビデオをデジタル再生するときは、i.LINK画面に切り換えます。

デジタル再生画面の映しかた

準　備
- Ｄ－ＶＨＳビデオをi.LINK端子に接続します。☞143ページ
- 接続したＤ－ＶＨＳビデオを「i.LINK接続機器設定」に登録してください。☞144ページ

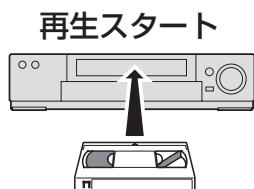
1 何みるガイドの「外部・ビデオ」から、i.LINK接続の入力画面に切り換える

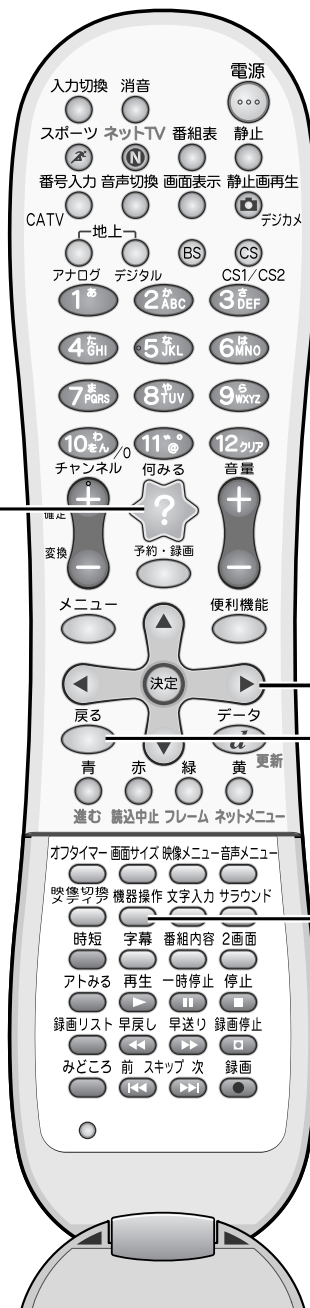
① 何みる？ボタンを押して、何みるガイドを表示させる。
② カーソル◀ ▶ ボタンで「外部・ビデオ」を選ぶ。
③ カーソル ▼▲ ボタンで「i.LINK」を選び、決定ボタンを押す。

何みるガイドについては☞44ページをご覧ください。

2 Ｄ－ＶＨＳビデオを操作して再生を始める

- 画面にＤ－ＶＨＳビデオの再生画面が映し出されます。
- 再生中はデジタル放送受信中と同様、データボタンの操作ができます。
- i.LINK機器を再生すると自動でi.LINK画面に切り換わるように設定できます。（☞243ページ「i.LINK自動切換設定」）

i.LINK機器の再生画面

i.LINK接続機器の状態を表示

3 放送の画面に戻るときは、地上アナログ、BS/CS/地上デジタルなどのボタンを押す

お知らせ
- i.LINK端子に接続がない状態でi.LINK画面に切り換えたときは何も映りません。
- 内蔵HDDでの録画中は、i.LINK機器の再生画面を映すことはできません。
- 機器操作パネルからブロードキャスト入力にしたときは、i.LINK機器の登録をしなくても再生を映すことができます。このとき画面に上記のような表示は出ず、「ブロードキャスト」と表示されます。
☞右ページ

機器操作パネルから「ブロードキャスト」を選択すると、「i.LINK接続機器設定」で登録していない機器でも再生画面を映すことができます。

ブロードキャスト入力で映すには

1 **デジタル放送の画面を映す**

デジタル放送とi.LINK以外の画面では機器操作パネルは表示できません。

2

機器操作ボタンを押す

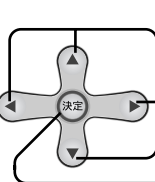
- 機器操作パネルが表示されます。

機器操作パネル

「ブロードキャスト」を選んで決定

3

戻るボタンを押す

- 「ブロードキャスト」を選べるようになります。

4 **カーソル▼▲ ◀▶ボタンを押して、「ブロードキャスト」を選び、**

決定を押す

- 「i.LINK接続機器設定」で登録していない機器からの入力を有効にし、再生を受け付けるようになります。
- 画面は自動的にi.LINKの再生画面に切り換わります。

ブロードキャスト

ブロードキャストで再生したときは、i.LINK再生画面に切り換えたとき、「ブロードキャスト」と表示されます。

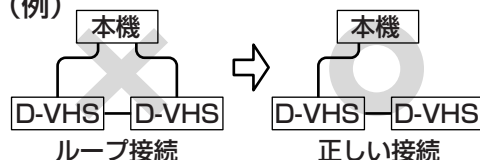
5 **操作パネルを消すときは、機器操作ボタンを押す**

ブロードキャストをやめるとき

① **機器操作**ボタンを押して機器操作パネルを表示させます。
② **戻る**ボタンを押します。
③ **カーソル**ボタン ▼▲ で「D-VHS1」または「D-VHS2」を選び、決定ボタンを押します。

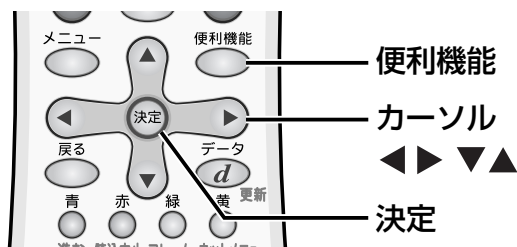
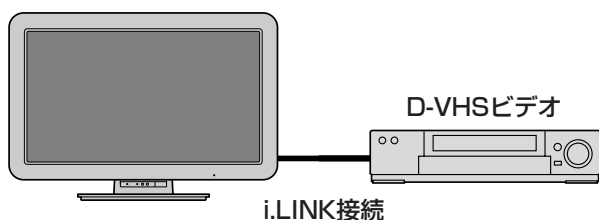
ご注意

- ブロードキャスト入力で数台つないだi.LINK機器から再生する場合、再生するi.LINK機器は1台にしてください。複数のi.LINK機器から同時に再生しますと正常に映すことができません。
- ブロードキャスト出力ができないi.LINK機器はブロードキャスト入力で再生することができません。
- 接続が輪（ループ）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。

機器の接続

HDDに録画した番組をD-VHSビデオへ移動するとき

HDDに録画した番組は、i.LINK接続したD-VHSビデオなどに移動させせることができます。移動させた録画タイトルは本機のHDDから消去されます。

準　備

- Ｄ－ＶＨＳビデオをi.LINK端子に接続します。 143ページ
- 接続したＤ－ＶＨＳビデオを「i.LINK接続機器設定」で登録してください。 144ページ

お知らせ

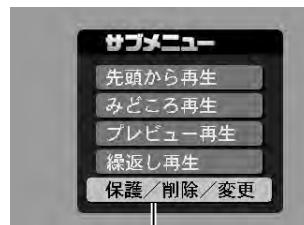
- 内蔵ＨＤＤの再生中はデジタル放送出力端子からHDD再生の信号が出力されます。VHSビデオなどのアナログ録画機器を接続すればダビングが可能です。DVDレコーダーなどのデジタル録画機器へはダビングできません。
- 録画した番組や、移動・ダビング先の機器によっては正しく移動・ダビングができない場合があります。

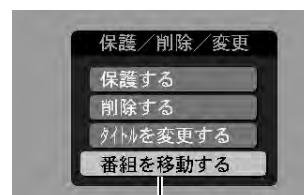
録画タイトルをD-VHSビデオに移動する

① HDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押してD-VHSビデオに移動するタイトルを選びます。
(決定ボタンは押しません)

HDD録画リスト画面

移動する録画タイトルを選ぶ

③ **便利機能**ボタンを押します。画面右下にサブメニューが表示されます。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「保護/削除/変更」を選び、**決定**ボタンを押します。「保護/削除/変更」のメニューが表示されます。

「保護/削除/変更」を選んで決定

⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「番組を移動する」を選び、**決定**ボタンを押します。移動先のi.LINK機器が表示されます。
⑥ 移動先のi.LINK機器を選び、**決定**ボタンを押します。「番組を移動しますか？」とメッセージが表示されます。

「番組を移動する」を選んで決定

移動先の録画機器

⑦ **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。

「番組の移動を開始しました。」とメッセージが表示され、番組の移動を開始します。移動の完了には、録画タイトルと同じ時間がかかります。

「はい」を選んで決定

録画タイトルの移動が正常に終了すると、「番組の移動が正常に終了しました。」とメッセージが表示されます。

タイトルの移動を中断するとき

新しい番組の録画を優先したいなど、やむをえずタイトルの移動を中断するときは、次のように行います。移動を中断した場合、D-VHSビデオに移動済みの部分は本機のHDDから消去されます。

① 番組の移動中にHDD録画リスト画面または何みるガイド「HDD」画面を表示します。画面では移動中の録画タイトルが選択されています。
② リモコンの**赤**ボタンを押します。「番組の移動を中断しますか？」とメッセージが表示されます。
③ **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押すと番組の移動が中断されます。

番組の移動に関するご注意

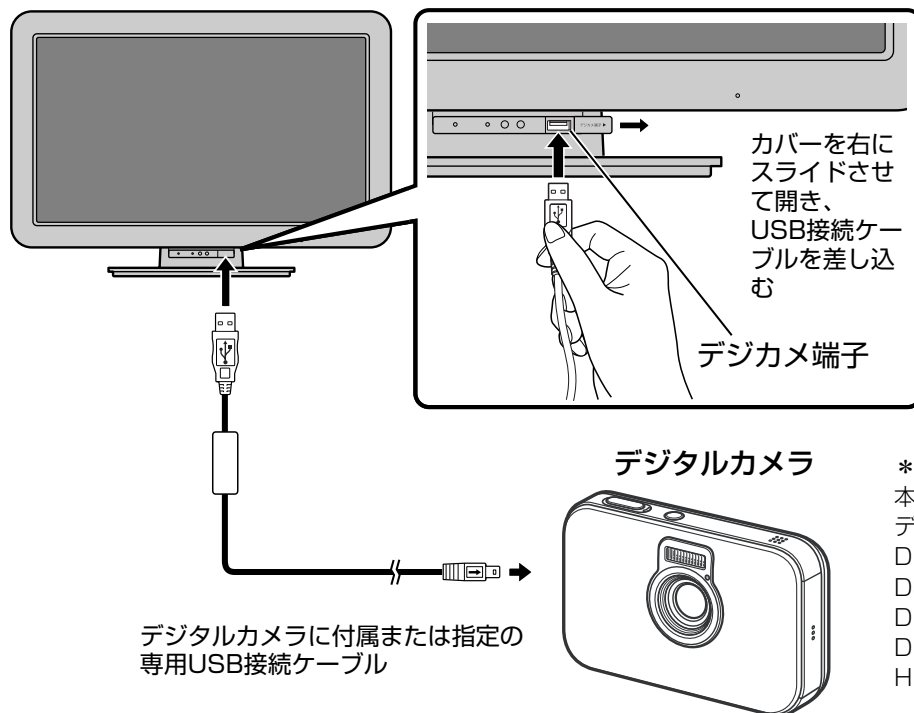
- 移動するタイトルの時間内に開始される予約がある場合は、「移動時間内に予約があります。番組の移動はできません。」と表示されて移動できません。
- デジタル放送出力の固定中は移動できません。また番組の移動中はデジタル放送出力の固定はできません。
- 再生や録画などでHDDが動作中のときは録画タイトルの移動ができません。また移動中は再生や録画などHDDの操作はできません。
- 移動の途中でD-VHSビデオテープの残量がなくなったときは移動が中断されますのでご注意ください。
- 本機に複数のi.LINK機器を接続している場合、録画タイトルの移動中は、別のi.LINK機器の電源を入れないでください。移動が中断する恐れがあります。
- アトみる機能で録画時間を「15分」または「30分」に設定して録画したタイトルは移動できません。

番組の移動中に本機の不具合等により、番組の移動が正常にできなかった場合の内容の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

デジタルカメラの画像を再生する

デジタルカメラを接続して、カメラに記録した画像を静止画再生することができます。

デジタルカメラのつなぎかた

本機の前面、「デジカメ端子」のカバーを開き、デジタルカメラの専用USB接続ケーブルで、デジタルカメラを接続します。

お知らせ

- 本機の電源が入った状態のまま、接続することができます。
- カメラ側の接続方法や使用するUSB接続ケーブルについてはデジタルカメラの取扱説明書をよくお読みください。

＊
本機発売時点において、三洋電機製デジタルカメラDSC-J4、DSC-S3、DSC-S4、DSC-S5、DSC-E6、DSC-S6、デジタルムービーカメラDMX-C1、DMX-C4、DMX-C5、DMX-C40、DMX-C6、DMX-HD1で接続検証済み。

■本機で再生できる画像データについて

再生できる画像データ

- DCF規格で記録された静止画データ（画像ファイル形式：Exif2.1以上）
  ただし、ファイル名が日本語の場合は、表示できません。

※画像データの状態、記録形式などによっては再生できないものがあります。

DCF(Design rule for Camera File system)
デジタルカメラで撮影した画像ファイルをどのような構造で保存するかを定めた統一規格です。この規格に準拠したデジタル機器間では、画像ファイルを相互に利用することができます。

Exif（Exchangeable Image File Format）
サムネイルや撮影情報など、画像以外の付加情報をファイル内部に記録できる画像データ形式です。

ご注意

- デジカメ端子はUSBマスストレージクラス対応のデジタルカメラ以外には対応していません。
- デジタルカメラやメモリーカードの種類によっては本機で静止画再生できない場合があります。
- デジタルカメラの静止画再生中（静止画再生画面での操作中）は、本機の電源を切ったり、デジタルカメラの接続を抜かないでください。データが破壊されることがあります。
- デジタルカメラからのデータを読み込み中は、画面下に「データアクセス中...」と表示されます。この間はデジタルカメラの接続を抜かないでください。データが破壊される場合があります。
- デジタル放送の予約実行中やデジタル放送出力の固定中、また内蔵HDDの動作中は静止画再生できません。
- デジタルカメラの静止画再生中に予約した番組が始まったときは、予約実行の動作に移ります。
- 接続したデジタルカメラにテレビの映像や音声を記録することはできません。
- 静止画再生画面では、録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。

デジタルカメラから画像データを読み込むと、まず小さなマルチ画面で表示されます。（マルチ表示）

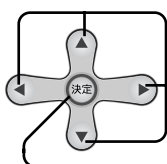
デジタルカメラの画像を読み込むには

準　備　●左ページの接続方法にしたがい、本機のデジカメ端子にデジタルカメラを接続します。

❶ デジタルカメラの電源を入れて、パソコン接続モードにする

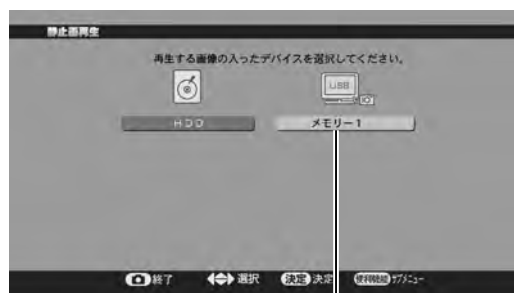
① デジタルカメラの電源を入れます。
② デジタルカメラを操作して、デジタルカメラをパソコンに接続するモードにします。
③ パソコンに接続するモードの中にも複数の選択がある場合は、「カードリーダー」など、画像データをパソコンに取り込むモードにしてください。

❷ 静止画再生ボタンを押す

●接続したデジタルカメラに内蔵している「メモリー」と「HDD」を選ぶデバイス選択画面が表示されます。

❸ カーソル▼▲◀▶ボタンを押して、「メモリー」を選び、

決定を押す

画像を再生するメモリーカードを選んで決定

●デジタルカメラから内のメモリーから画像データが読み込まれ、16個の小さな画面で表示されます（マルチ表示。詳しくは157ページをご覧ください）。
●マルチ表示が出るまでの間、画面の下に「データアクセス中...」と表示されます。
●画面の「HDD」は、内蔵HDDにコピーした静止画像を再生するモードです。（160ページ）

マルチ表示画面

お知らせ

●デジタルカメラの機種によっては、カメラの電源を入れてパソコン接続モードにすると、本機が検知して自動で画面が切り換わるものがあります。
●デジタルカメラ内に複数のメモリーカードがあるときは、複数のメモリーカードが表示されます。▲▼◀▶ボタンで再生するメモリーカードを選んで**決定**ボタンを押してください。
●選んだメモリーカードの中に複数のフォルダがあるときは、フォルダを選ぶ画面が表示されます。▲▼◀▶ボタンと**決定**ボタンで再生するフォルダを選んでください。（詳しくは156ページをご覧ください）

デジタルカメラの画像を再生する（つづき）

静止画再生をやめるとき/再開するとき

静止画再生ボタンを押す

- 表示画面の種類（マルチ、シングル、スライド）に関わらず静止画再生画面が消え、デジタル放送の画面に戻ります。
- **入力切換**ボタンや**地上アナログ/BS/CS/地上デジタル**ボタンを押したときも静止画再生画面が消え、画面が切り換わります。
- 静止画再生を再開するときは、**静止画再生**ボタンを押します。

デジタルカメラをはずすとき

デジタルカメラの接続をはずすときは、必ずリモコンの**静止画再生**ボタンを押して、静止画再生の画面を消してからはずしてください。データの読み込み中に接続をはずすとデータが破壊されることがあります。
また接続をはずす際の手順についてはデジタルカメラの取扱説明書もよくお読みください。

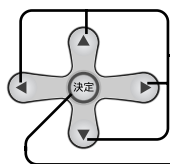
何みるガイドから静止画再生するとき

何みるガイドから静止画再生することができます。

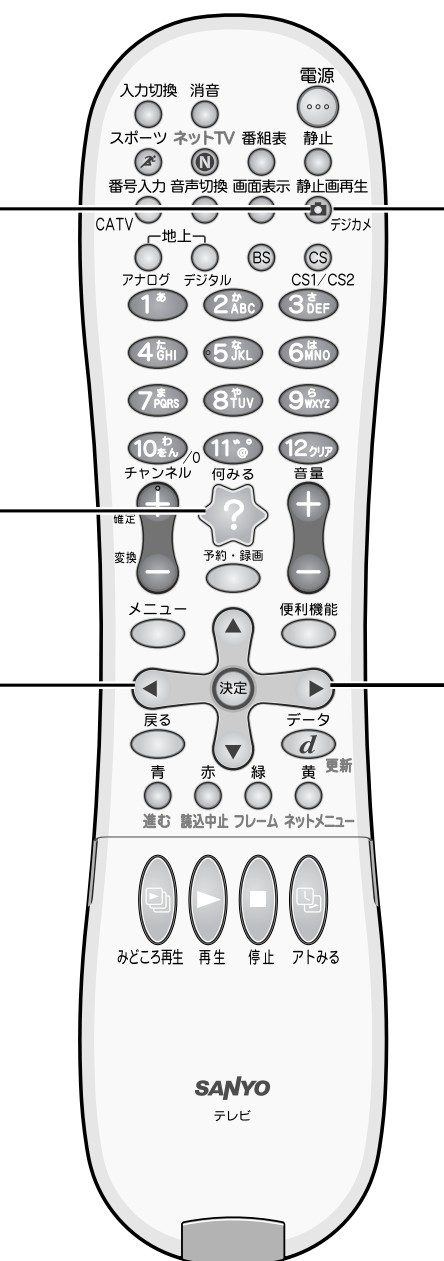
① **何みる？**ボタンを押して、何みるガイドを表示させる。
② **カーソル ◀ ▶** ボタンで「外部・ビデオ」を選ぶ。
③ **カーソル ▼▲** ボタンで「静止画再生」を選び、決定ボタンを押す。
（何みるガイドについては 44〜49ページをご覧ください）

「外部ビデオ」の「静止画再生」を選んで決定

デジタルカメラのメモリーカード内に複数のフォルダがあるとき

メモリーカードの中に複数のフォルダがあるときは、フォルダを選ぶ画面が表示されます。次のようにして、画像を再生するフォルダを選んでください。

カーソル▼▲ ◀ ▶ ボタンを押して、画像を再生するフォルダを選び、

決定を押す

画像を再生するフォルダを選んで決定

マルチ表示画面

カーソル（黄色のわく）
選択中の画像を示します。▲▼◀▶ ボタンでカーソルを移動させることができます。

画像の情報

静止画再生ボタンを押すと静止画再生を終了し、デジタル放送の画面に戻ります。

▲▼◀▶ ボタンで画像を選び、決定ボタンを押すと、選んだ画像のシングル表示に移ります。

カラーボタンで次のような操作ができます。

赤：次のページを表示します。
（16個以上の画像がある場合）
青：前のページを表示します。
（「(青) 前ページ」と表示された場合）
緑：HDDにコピーする画像を選んだり解除したりします。選んだ画像にはチェックマークが付きます。

画像の情報

- **フォルダ**
  表示中の画像データが入っているメモリーカード内のフォルダ名です。
- **ファイル**
  カーソルで選択中の画像データのファイル名です。
- **枚数（＊/＊）**
  カーソルで選択中の画像が何枚目であるかを表示します＊。

＊メモリーカード内に複数の画像フォルダがあるときは、フォルダ内の枚数のうち、選択中の画像が何枚目であるかを表示します。

- **撮影日**
  画像データに撮影日が記録されている場合は表示します。
- **ファイルサイズ**
  カーソルで選択中の画像データの画素数を表示します。

お知らせ

- 画像にサムネイル（小画像）データがない場合は、マルチ表示できません。

デジタルカメラの画像を再生する（つづき）

マルチ表示の中から選んだ画像を1個の大きな画像に拡大表示できます。（シングル表示）

シングル表示で映すには

1 マルチ表示の画面を表示させる（☞155～157ページ）

2

カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、シングル表示したい画像を選び

決定を押す

● データが読み込まれ、画像がシングル表示されます。

マルチ表示画面

シングル表示したい画像を選んで決定

シングル表示画面

画像の情報
現在、シングル表示している画像の情報を表示します。（詳しくは☞157ページをご覧ください）

「戻る」ボタンを押すとマルチ表示画面に戻ります。

カーソル◀ ▶ ボタンで…
◀：ひとつ前の画像ファイルを映します。
▶：次の画像ファイルを映します。

＊それぞれの操作に移り、データを読み込んだあと、画像を表示します。

カラーボタン（緑、黄）で…
緑：画像を時計回りに90度回転させます。
黄：スライド表示を始めます。

＊それぞれの操作に移り、データを読み込んだあと、画像を表示します。

お知らせ

- データを読み込むときは、画面下に「データアクセス中...」と表示されます。この間はデジタルカメラの接続をはずさないでください。データが破壊される場合があります。
- 静止画再生をやめるときは、**静止画再生**ボタンを押します。

シングル表示から、画像を次々に切り換えて映すスライド表示を始めることができます。

スライド表示で映すには

1 スライド表示を始めたい画像をシングル表示で映す
（☞158ページ）

黄ボタンを押す

●スライド表示が始まります。

シングル表示画面

リモコンの「黄」ボタンを押す

スライド表示の画面

例. 自動再生の画面

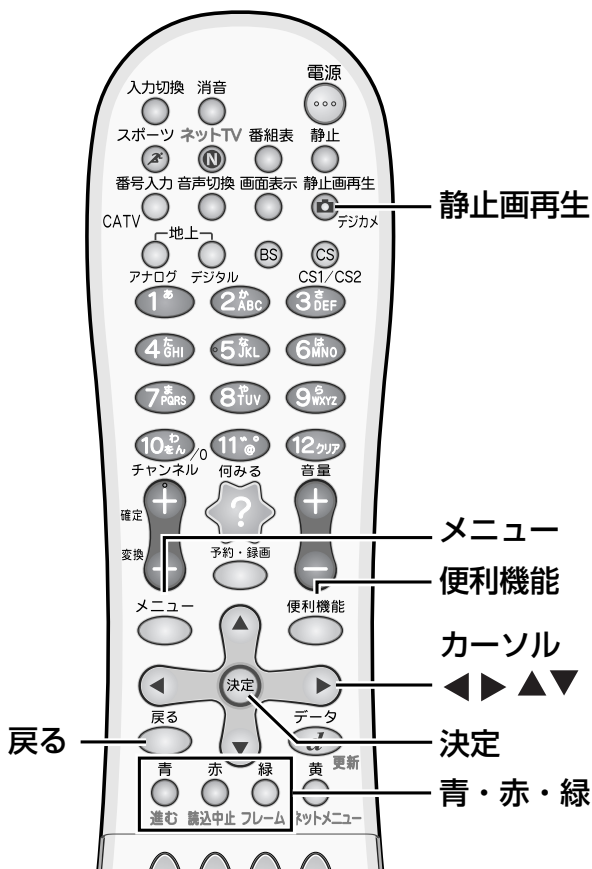
- 「自動再生」の場合は、一定時間ごとに自動で画像が切り換わります。
- 「手動再生」の場合、画像は自動では切り換わりません。**カーソル ◀▶** ボタンで画像を進めたり戻ったりできます。
- リモコンの**画面表示**ボタンを押すと、ガイド表示を消して表示することができます。もう一度**画面表示**ボタンを押すとガイド表示の付いた画面に戻ります。
- 自動再生/手動再生を選んだり、自動再生で画像が切り換わる時間を設定で変えることができます。（☞166ページ）

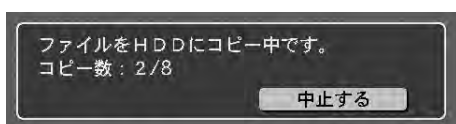
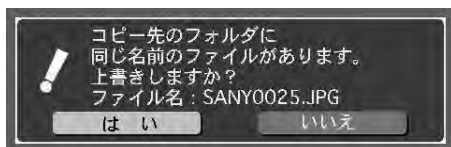
「戻る」ボタンを押すと、スライド表示をやめてマルチ表示画面に戻ります。

（お知らせ）

- シングル表示、スライド表示で表示される画像の大きさは、画像の画素数や向きによって異なる場合があります。また表示される画像の範囲はマルチ表示、シングル表示、スライド表示で多少異なることがあります。
- 1枚の画像を完全に表示するのにかかる時間は画素数によって異なります。画素数が多いものは数秒かかる場合があります。

デジカメ画像をHDDにコピーする

デジタルカメラの画像を本機のHDDにコピーしておくと、デジタルカメラをつながなくても画像の再生ができます。

お知らせ

- 画像のコピーを中止するときは、下のように「中止する」を表示中に**決定**ボタンを押します。

- コピーする先のフォルダの中に、すでに同じ名前の画像ファイルがある場合は、画像ファイルの上書きを問い合わせるメッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選んで**決定**ボタンを押します。「はい」を選んだときは、上書きされます。「いいえ」を選んだときは、同じ名前の画像ファイルはコピーされません。

静止画像をHDDにコピーする

HDDに新しいフォルダを作ってコピーするときは、サブメニューの「フォルダの新規作成」を行ってから以下の操作を始めてください（☞164ページ）。

1 マルチ表示の画面を表示させる（☞155～157ページ）

2 赤ボタンを押して、コピーする画像ファイルがあるマルチ表示を出す

前のページに戻すときは**青**ボタンを押します。

3 カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、コピーする画像を選び、

4 緑ボタンを押して「✔」マークを付ける

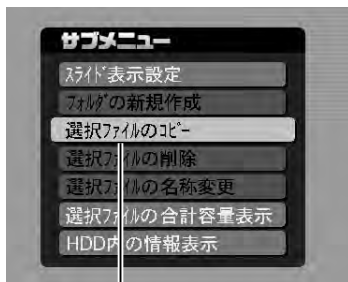
選んだ画像にチェックマークが付きます。

チェックマーク✔を付ける

- 操作3～4を繰り返して、表示中のマルチ表示の中からコピーしたい画像すべてにチェックマークを付けます。

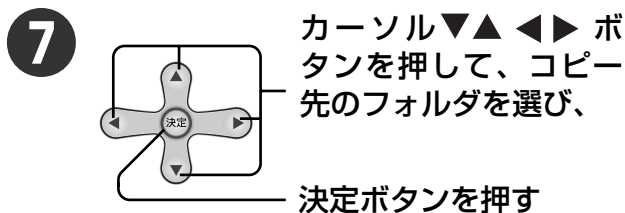
5 便利機能ボタンを押してサブメニューを表示させる

6 カーソル▼▲ボタンを押して、「選択ファイルのコピー」を選び、

決定ボタンを押す

「選択ファイルのコピー」を選び決定

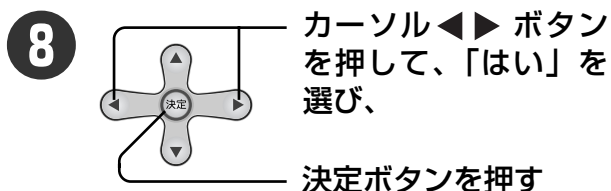
- コピー先のフォルダを選ぶ画面に変わります。
- 初めて画像をコピーしたときなど、HDDにフォルダがない場合はフォルダ選択画面は表示されません。次の❼をとばして❽へ進んでください。

カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、コピー先のフォルダを選び、

決定ボタンを押す

コピー先のフォルダを選び決定

マルチ表示に戻り、「ファイルをHDDにコピーしますか？」というメッセージが表示されます。

カーソル◀▶ ボタンを押して、「はい」を選び、

決定ボタンを押す

- 画面に「ファイルをHDDにコピー中です」というメッセージが出てコピーが始まります。
- コピーが終わると「コピーが完了しました」と表示されてマルチ表示に戻ります。
- 操作❷～❽を繰り返して、コピーしたい画像をコピーします。

HDDの静止画像を再生する

❶

静止画再生ボタンを押す

デバイス選択画面が表示されます。

❷

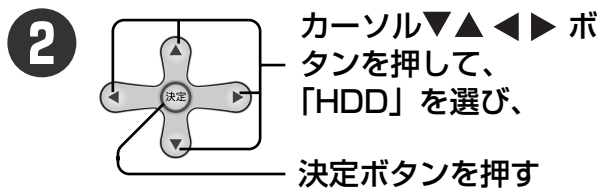
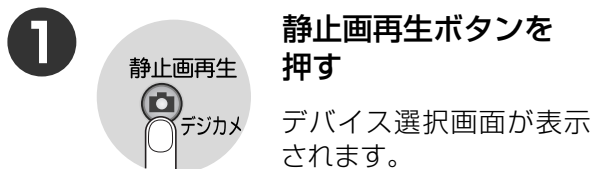
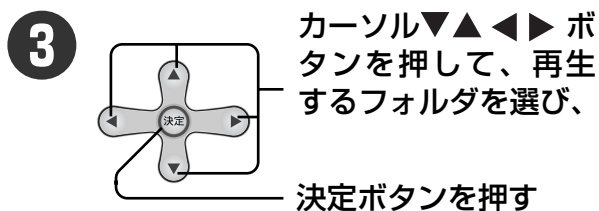
カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、「HDD」を選び、

決定ボタンを押す

「HDD」を選び決定

❸

カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、再生するフォルダを選び、

決定ボタンを押す

再生するフォルダを選び決定

- フォルダ選択画面には、HDDの静止画部分の空き容量と、選択中のフォルダの容量が表示されます。
- フォルダを選んで決定するとマルチ表示になり、HDD内の画像が表示されます。
- マルチ表示以後の操作手順はデジタルカメラのときと同じです。（☞ 156～159ページ）

デジカメ画像をHDDにコピーする（つづき）

デジタルカメラの中の画像を一括してHDDにコピーする方法もあります。

デジタルカメラの静止画像を一括でHDDにコピーする

❶ デジカメ端子にデジタルカメラを接続し、デバイス選択画面を表示させる

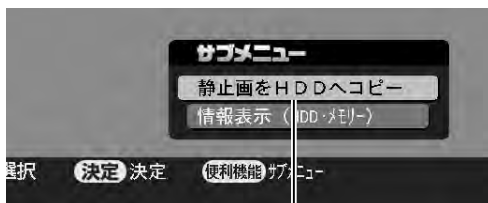
☞155ページの操作❶〜❷

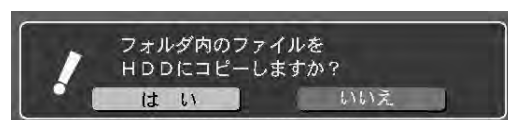
❷ カーソル▼▲ ◀▶ ボタンを押して、コピーするデジカメ（メモリー）を選び、

デジタルカメラのメモリーを選び決定

❸ 便利機能ボタンを押してサブメニューを表示させる

❹ カーソル▼▲ボタンを押して、「静止画をHDDへコピー」を選び、

決定ボタンを押す

静止画をHDDへコピー

「フォルダ内のファイルをHDDにコピーしますか？」というメッセージが表示されます。

❺ カーソル◀▶ボタンを押して、「はい」を選び、

決定ボタンを押す

- 画面に「ファイルをHDDにコピー中です」というメッセージが出てコピーが始まります。
- コピーが終わると「コピーが完了しました」と表示されてマルチ表示に戻ります。
- ❷で選んだデジタルカメラ（メモリー）の画像データすべてがコピーされます。

お知らせ

- 画像のコピーを始める前に、デジタルカメラの画像データの総容量と、HDDの空き容量を確認することができます。（☞167ページ）

ご注意

- サブメニューの「静止画をHDDへコピー」は、デバイス選択画面で「HDD」を選んだときは表示されません。「メモリー（デジタルカメラ）」を選んで**便利機能**ボタンを押してください。

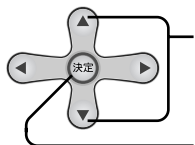
HDD内の静止画像をサブメニューを使って操作する

静止画再生の各画面で便利機能ボタンを押すと、サブメニューが表示されてさまざまな操作ができます。表示されるサブメニューは画面ごとに異なります。

1 デバイス選択画面、フォルダ選択画面、マルチ表示画面で便利機能ボタンを押してサブメニューを表示させる

● サブメニューが表示されます。表示されるサブメニューは画面によって異なります。

2 カーソル▼▲ ボタンを押して、希望のサブメニューを選び、

決定ボタンを押す

例. フォルダ選択画面のとき

サブメニューを選び決定

3 表示されるメッセージにしたがって操作する

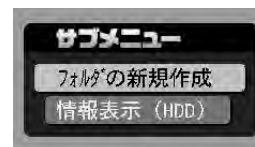
● ボタンカーソル ▲▼ ◀ ▶ボタンで「はい」、「いいえ」を選び、決定ボタンを押すなど、表示されるメッセージにしたがって操作してください。

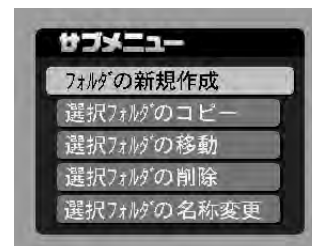
例. 「選択フォルダの削除」のとき

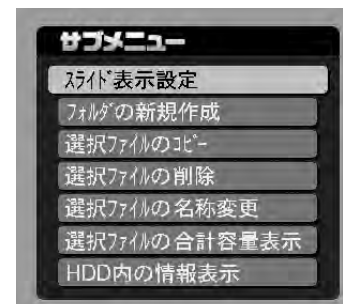
画面別・サブメニュー一覧

デバイス選択画面

HDDを選択時
- フォルダの新規作成
- 情報表示（HDD）

デジカメ（メモリー）選択時
- 静止画をHDDへコピー
- 情報表示（HDD・メモリー）

フォルダ選択画面

- フォルダの新規作成
- 選択フォルダのコピー
- 選択フォルダの移動
- 選択フォルダの削除
- 選択フォルダの名称変更

マルチ表示画面

- スライド表示設定
- フォルダの新規作成
- 選択ファイルのコピー
- 選択ファイルの削除
- 選択ファイルの名称変更
- 選択ファイルの合計容量表示
- HDD内の情報表示

各機能の詳細は 次ページ以降をご覧ください。

デジカメ画像をHDDにコピーする（つづき）

便利機能ボタンを押してサブメニューを表示させていろいろな操作ができます。

フォルダの新規作成

HDDの中に静止画像用の新しいフォルダを作成します。（ご注意：デジタルカメラ内のフォルダ選択画面やマルチ表示画面では、「フォルダの新規作成」が暗く表示され、実行できません。）

① デバイス選択画面の「HDD」選択時、「HDD」内のフォルダ選択画面、または「HDD」内のマルチ表示画面で**便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「フォルダの新規作成」を選び、**決定**ボタンを押します。

- HDDの中に新しいフォルダが作成されます。
- 作成されたフォルダには「new ＊（＊は数字)」という名前が付きます。

情報表示/HDD内の情報表示

HDD空き容量などの情報を表示します。

① デバイス選択画面またはマルチ画面で**便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「情報表示（HDD)」または「HDD内の情報表示」を選び、**決定**ボタンを押します。

- 画面の右下に情報表示が現れます。
- デバイス選択画面でHDDを選んで表示させたときや、マルチ画面で表示させたときは、HDDの空き容量が表示されます。
- デバイス選択画面でデジタルカメラ（メモリー、フォルダ）を選んで表示させたときは、HDDの空き容量に加えて選択中のデジタルカメラのデータ容量が表示されます。

例. デバイス選択画面（メモリー）のサブメニュー

静止画をHDDへコピー

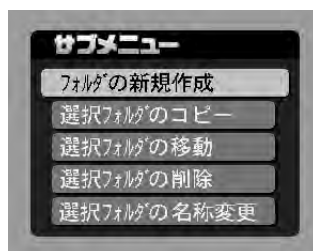
デジタルカメラの静止画像データを一括してHDDにコピーします。デバイス選択画面でデジタルカメラ（メモリー、フォルダ）を選んでサブメニューを出したときに操作できます。詳しくは☞162ページをご覧ください。

選択フォルダのコピー

HDDの中にあるフォルダの中身（静止画像ファイル）を新しいフォルダにコピーします。

① HDD内のフォルダ選択画面を表示させます。
② サブメニューを表示させ「フォルダの新規作成」を行い、コピー先のフォルダを作成します。（☞左記）
③ **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押してコピーしたいフォルダを選びます。
④ **便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させます。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「選択フォルダのコピー」を選び、**決定**ボタンを押します。「フォルダ内のファイルをこれから選択するフォルダにコピーしますか？」というメッセージが表示されます。
⑥ **カーソル◀▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。「コピー先となるフォルダを選択してください。」というメッセージが表示されます。
⑦ **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押してコピー先のフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。コピーが開始され、コピーが完了すると「...完了しました。」という表示が出ます。

フォルダ選択画面

フォルダ選択画面のサブメニュー

選択フォルダの移動

HDDの中にあるフォルダの中身（静止画像ファイル）を新しいフォルダに移動します。移動した元のフォルダの中身（静止画像）は削除されます。

① HDD内のフォルダ選択画面を表示させせます。
② サブメニューを表示させ「フォルダの新規作成」を行い、移動先のフォルダを作成します。（☞左記）
③ **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押して、中身を移動させたいフォルダを選びます。
④ **便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させせます。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「選択フォルダの移動」を選び、**決定**ボタンを押します。「フォルダ内のファイルをこれから選択するフォルダに移動しますか？」というメッセージが表示されます。
⑥ **カーソル◀▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。「移動先となるフォルダを選択してください。」というメッセージが表示されます。
⑦ **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押して移動先のフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。移動が開始され、移動が完了すると「...完了しました。」という表示が出ます。

選択フォルダの削除

HDD内の静止画像をフォルダごと削除します。

① HDD内のフォルダ選択画面を表示させせます。
② **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押して、削除したいフォルダを選びます。
③ **便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させせます。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「選択フォルダの削除」を選び、**決定**ボタンを押します。「フォルダを削除しますか？」というメッセージが表示されます。
⑤ **カーソル◀▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。削除が完了すると「...完了しました。」という表示が出ます。

選択フォルダの名称変更

HDDの中にあるフォルダの名前を変更します。中身の静止画像にあった名前にしておくと再生するときに便利です。

① HDD内のフォルダ選択画面を表示させせます。
② **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押して、名前を変えたいフォルダを選びます。
③ **便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させせます。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「選択フォルダの名称変更」を選び、**決定**ボタンを押します。画面キーボードが表示されます。画面キーボードでフォルダの名称を変更します。

文字入力のしかたについて ☞265〜269ページをご覧ください。

機器の接続

デジカメ画像をHDDにコピーする（つづき）

デジタルカメラの中の画像を一括してHDDにコピーする方法もあります。

スライド表示設定

静止画像をスライド表示するときの、自動再生/手動再生の選択ができます。自動再生のときは、次の画像に切り換える時間も設定できます。

① マルチ表示画面で**便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させます。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「スライド表示設定」を選び、**決定**ボタンを押します。スライド表示設定画面に切り換わります。

再生モードを切り換えるとき

カーソル▲▼ボタンを押して「手動再生」または「自動再生」を選び、**決定**ボタンを押します。選んだ再生モードにチェックマークが付き、再生モードが切り換わります。

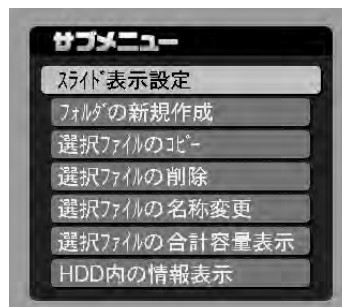
自動再生の静止画切換時間を設定するとき

① **カーソル◀ ▶**ボタンを押して「切換時間」の10の位を黄色に変えます。
② 希望の切換時間を設定します。切換時間は01～90秒の間で設定できます。
- **1～10の数字**ボタンで設定できます。数字ボタンで設定するときは、10の桁から入力します。例えば9秒と入力するときは0、9と入力します。0の入力には**10**ボタンを使います。1の桁を入力すると切換時間の囲みが黄色になります。
- **カーソル▲▼**ボタンでは1秒単位で入力できます。**カーソル▲▼**ボタンで希望の時間を設定して**決定**ボタンを押します。切換時間の囲みが黄色になります。

③ **決定**ボタンを押します。切換時間が設定されます。

- スライド表示設定画面からマルチ画面に戻るときは、**戻る**ボタンを押します。

スライド表示設定画面

マルチ表示画面のサブメニュー

選択ファイルのコピー

選択した静止画像ファイルをHDDにコピーします。同じマルチ表示画面内では複数の静止画像ファイルを選んで同時にコピーできます。

操作方法については☞160ページをご覧ください。

- HDD内の静止画像をコピーする場合は、「フォルダの新規作成」でHDD内にコピー先となるフォルダを作ってから行ってください。

選択ファイルの名称変更

HDDの中にある画像ファイルの名前を変更します。スライド再生では番号の若い順に再生されるので、名前を数字に変更して、画像を再生する順序を変えることができます。

- 名称変更できるのはHDD内の画像ファイルのみです。デジタルカメラ側の画像ファイルは名称変更できません。

① 名称変更したい画像があるマルチ表示画面を出します。
② **カーソル▲▼◀ ▶**ボタンを押して、名称変更する画像を選び、**便利機能**ボタンを押してサブメニューを表示させます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「選択ファイルの名称変更」を選び、**決定**ボタンを押します。画面キーボードが表示されます。画面キーボードで画像ファイルの名称を変更します。

文字入力のしかたについて ☞265～269ページをご覧ください。

選択ファイルの削除

選択したHDD内の静止画像ファイルを削除します。同じマルチ表示画面内では複数の静止画像ファイルを選んで同時に削除できます。

●削除できるのはHDD内の画像ファイルのみです。デジタルカメラ側の画像ファイルは削除できません。

① 削除したい画像があるマルチ表示画面を出します。
② **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押して、削除する画像を選び、**緑**ボタンを押します。選んだ画像にチェックマークが付きます。繰り返して同じマルチ表示画面の削除したい画像すべてにチェックマークを付けます。
③ **便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させます。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「選択ファイルの削除」を選び、決定ボタンを押します。「ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されます。
⑤ **カーソル◀▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押します。削除が完了すると「完了しました。」という表示が出ます。

選択ファイルの合計容量表示

選択した複数の画像ファイルの合計容量を表示します。

① これからコピーするなど、合計容量を確認したい画像があるマルチ表示画面を出します。
② **カーソル▲▼◀▶**ボタンを押して、合計する画像を選び、**緑**ボタンを押します。選んだ画像にチェックマークが付きます。繰り返して同じマルチ表示画面の合計したい画像すべてにチェックマークを付けます。
③ **便利機能**ボタンを押し、サブメニューを表示させます。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「選択ファイルの合計容量表示」を選び、**決定**ボタンを押します。画面右下に合計容量が数秒表示されます。

応用・順番を変えてスライド再生する

以上のような機能を応用して、HDDに静止画像をコピーして、順番を変えてスライド再生することができます。

① 静止画像をデジタルカメラからHDDにコピーします。（「選択ファイルのコピー」または「静止画をHDDへコピー」）
② マルチ表示画面を出し、スライド表示しない不要な画像ファイルは削除します。
（「選択ファイルの削除」）
③ スライド表示で再生する順番に合わせて、画像ファイルの名称を「001」、「002」のように変更します。（「選択ファイルの名称変更」）
④ スライド表示の再生モードを選びます。（「スライド表示設定」）
⑤ スライド表示を行います。

●ご希望に応じて、フォルダの名称を変更します。（「選択フォルダの名称変更」）

ご注意

●デジタルカメラ側の画像ファイルやフォルダは、本機からは削除や名称変更、新規作成、移動などはできません。
●画像ファイルやフォルダのコピーが行えるのは、デジタルカメラからHDDへ、またはHDD内のフォルダ間のみです。HDDからデジタルカメラへ、またはデジタルカメラ内でのコピーはできません。

ネット機能を楽しむ

本機に搭載されているネットワーク機能を楽しむ方法を説明します。

はじめに

本機のネットワーク機能

ホームページが見られるWebブラウザ機能*

インターネットのホームページをご覧になれます。検索サイトでキーワードを入力して検索したり、気に入ったホームページを「お気に入り」に登録しておくこともできます。

ホームネットワーク「ELiFES」に対応

本機は、ネットワークカメラ「HOVICA（ホビカ）」など、当社が提供するホームネットワーク「ELiFES（エリフェス）」に対応した機器を、ネットワークを通じて操作したり、テレビの画面に映したりすることができます。

*

ご注意・本機のブラウザ機能について

本機のブラウザ機能は、デジタル放送のデータ放送受信用の回路とソフトウェアの一部を活用し、限られた条件の中でインターネットのホームページを閲覧できるようにした機能です。そのためWebサイトによっては、データの受信に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。またパソコンのような高速な処理はできません。あらかじめご了承のうえお使いいただきますようお願いします。

ご注意とお願い/ネット機能をご使用になる前に

■ブロードバンドへの加入が必要です

本機のネット機能をお使いになる場合は、本機をブロードバンド回線に接続し、ADSLなどのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。この取扱説明書では、パソコンによるインターネット接続などで、すでにブロードバンド環境をお持ちになっていることを前提に説明を進めています。
ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をするお客さまは、サービスを提供する回線業者やプロバイダー、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
（詳しくは 258ページをご覧ください）

- 回線の接続環境や接続先のサーバの状況等によっては、正しく動作しない場合があります。
- Webサイトによっては、本機が対応していない場合があります。そのため画像や文字が正しく表示されなかったり、正しく動作しない場合があります。またデータの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 本機に搭載しているインターネット機能は、基本的なホームページの閲覧のみに対応しています。電子メールやインターネット上のプラグインソフトによる機能には対応していません。また、将来の新技術に対しても対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機で可能なインターネットへの接続は、本機のLAN端子を介してADSLなどのブロードバンド回線に接続する方式のみです。本機の電話回線端子を介して「ダイヤルアップ接続」することはできません。
- ネット機能を終了するときは、必ずリモコンのネットTVボタンを押して終了してください。テレビ本体の電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くなどして強制終了した場合は、お気に入りや履歴、Cookieなどの情報が正しく保存されません。
- ネットTVの起動中、データの取得中などにLANケーブルを抜いたり、ネットワークの接続環境を変更したりしないでください。本機の操作ができなくなるおそれがあります。本機の操作ができなくなったときには、テレビ本体の電源スイッチを切り、HDDの終了処理が終わった後、電源プラグをコンセントから抜いて1分程度放置したあと、再び電源プラグを差し込み電源スイッチを入れて動作を確認してください。
- 予約番組の実行中など、デジタル放送出力が固定されているときはネット機能が使用できません。
- この取扱説明書内の画面イラストの中のホームページは、架空または一時的なものです。ページによっては変更、消去される場合があります。
- ホームページの内容は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機は、放送電波やデータ記憶媒体によって内蔵ソフトウェアをバージョンアップすることにより、受信機の機能や性能を改善できるようになっています。改善の内容によっては操作方法や操作画面が変更されることがあり、その場合はお手元のカタログや取扱説明書の表記と実際の機器の表示や動作が異なる場合が発生します。
- 本機の仕様および機能などは、製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関して、当社は何ら責任を負うものではありません。

本機のネット機能をご使用になる前に下記の準備を行ってください。

❶ LAN（ブロードバンド回線）に接続します

☞258～259ページにしたがって、接続してください。

❷ LAN接続の設定を行います

☞260～264ページにしたがって、設定してください。

ブラウザ機能を使って、インターネットの
ホームページを見られるようになります。
☞172ページ

ネットワークカメラ「ホビカ」など、ホームネットワーク機器を接続するときはさらに…

❸ ホビカの接続を行ってください。☞184～185ページ

❹ ホビカに接続するための設定を行ってください。☞186～187ページ

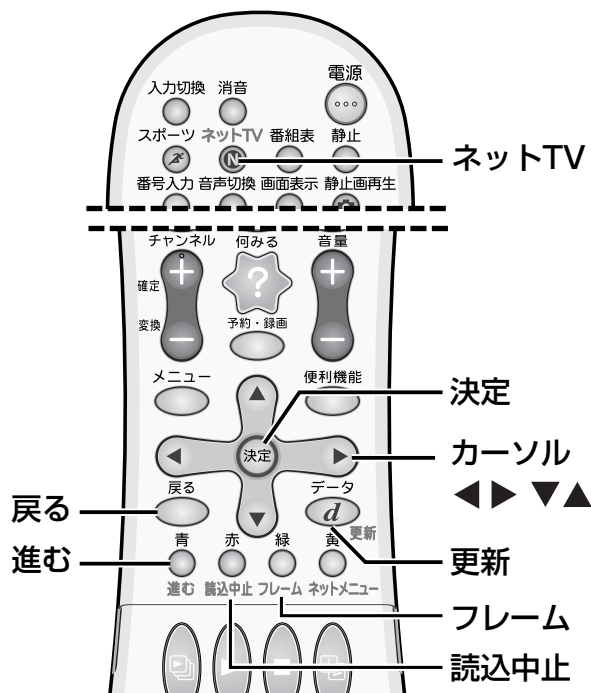
ホビカ側の接続や設定についてはホビカの取扱説明書にしたがって行ってください。

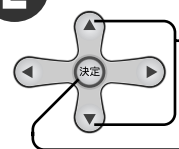
ホームページを見るには

ネット機能を使ってインターネットのホームページを見ることができます。

ホームページの見かた

準　備

- 本機をLAN（ブロードバンド回線）に接続します。
- LAN接続の設定を行います。
（☞260～264ページ）

❶ ネットTVボタンを押す

- HOVICA（ネットワークカメラ「ホビカ」）とブラウザのどちらかを選ぶ画面が表示されます。

❷ カーソル▼▲ ボタンを押して「ブラウザ」を選び、

決定を押す

「ブラウザ」を選んで決定

- すでにホームページのURL（http://...などホームページのアドレス）が設定されている場合は、「ネットTVを起動しています　しばらくお待ちください」と表示され、データが取得されるとホームページが表示されます。
- ネットTVの起動を中止するときは、**ネットTV**ボタンを押します。

URLが設定されていないとき

ホームページのURLが設定されていないときは、URLを設定するブラウザ設定画面に変わります。画面キーボードの文字入力機能を使って、ご希望のホームページのURLを入力します。

URLを入力

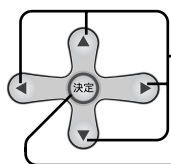
URL入力のしかた

① **カーソル▲▼** ボタンで「ホームURL設定」を選んで**決定**ボタンを押すと画面キーボードが表示されます。
② **赤**ボタンを数回押して「http://」などがある「記号」の画面キーボードを表示させ、**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで「http://」や「www.」を選び、**決定**ボタンを押して入力します。
③ **赤**ボタンを数回押して「ABC...半」の画面キーボードを表示させ、**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで文字を選び、**決定**ボタンを押してURLを入力します。
④ **赤**ボタンを数回押して「.co.jp/」などがある「記号」の画面キーボードを再び表示させ、**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで「.co.jp/」などを選び、**決定**ボタンを押して入力します。
⑤ **黄**ボタンを押して、画面キーボードの入力窓に入力したURLを確定します。
⑥ もう一度**黄**ボタンを押すと画面キーボードが消えて、URLが設定されます。

文字入力のしかたについて詳しくは ☞265ページをご覧ください。

URLを入力したあと、**戻る**ボタンを押すと操作❶の画面に戻りますので、続けて操作してください。

ホームページが表示されたら

3 **カーソル▼▲◀▶ ボタンを押して、ホームページ上で見たい項目を選び、決定ボタンを押す**

押して、見たい項目を選び、

決定を押す

- 選ばれている部分は青いわくで囲まれたり、塗りつぶされたりして表示されます。
- **決定**ボタンを押すと、選んだ項目のページに移ります。

4 **ホームページを見るのをやめるときは、ネットTVボタンを押す**

- ホームページの画面が消え、受信画面などに戻ります。

ホームページの操作に使うボタン

これらのボタンでホームページの操作ができます。

ボタン		ホームページ画面での働き
ネットTV	ネットTV (N)	ネットTV接続メニュー画面を映したり、ホームページやホビカの画面を終了するときに押します。
カーソル ◀▶▼▲ 決定	決定	カーソルボタンはホームページ上で項目を選ぶ働きをします。決定ボタンを押すと、選んだホームページに移動します。画面に表示されていない部分があるときはカーソルボタンを長く押すと表示させることができます。
戻る	戻る	ホームページを次々に移動してきたとき、ひとつ前のページに戻る働きをします。
進む（青）	青 進む	戻るボタンで前のホームページに戻った状態で、先のページに進む働きをします。
読込中止（赤）	赤 読込中止	ホームページのデータの読み込み中に押すと、データの読み込みを中止します。
フレーム（緑）	緑 フレーム	ホームページがフレームで区切られている場合、押すごとにフレームを選びます。
ネットメニュー（黄）	黄 ネットメニュー	いろいろな操作や設定ができるネットメニューを表示させたり消したりするボタンです。
更新（データ）	データ d 更新	現在のデータを再度読み込み、ホームページを更新して表示するボタンです。

(お知らせ)

- ホームページのデータが取得できなかったときは「データの取得に失敗しました。」とメッセージが表示されます。**決定**ボタンを押すとメッセージは消えます。
- ブラウザ起動時にホームページのデータが取得できなかったときは、ネットワーク接続・設定の確認をお願いする内容と「終了しますか？」と問い合わせるメッセージが表示されます。「はい」を選んで**決定**ボタンを押すと受信画面に戻ります。「いいえ」を選んで**決定**ボタンを押すと再度データの取得を実行します。
- ホームページは2画面でも楽しめます。2画面のときのホームページ画面内でカーソルボタンを使うときは、ホームページ画面を操作画面にして、**決定**ボタンを押すとホームページ画面内でカーソルボタンが使えるようになります。元に戻るときは**2画面**ボタンを押します。
- ネットTV（ホームページ）画面では音声は出ません。また録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。

ホームページを見るには（つづき）

ネットメニューを使ってホームページの操作やお気に入りの登録をしたり、各種の設定をしたりできます。

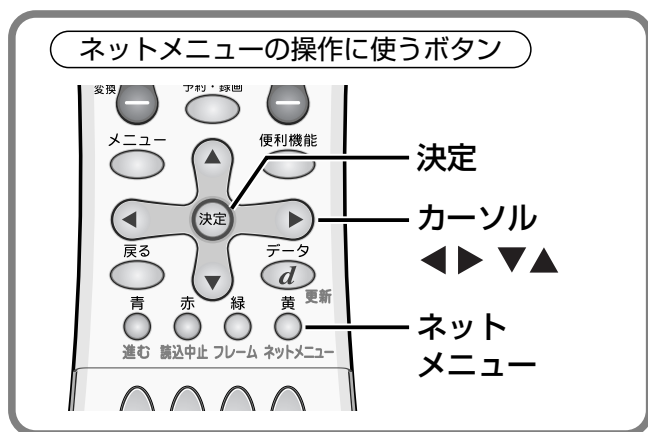
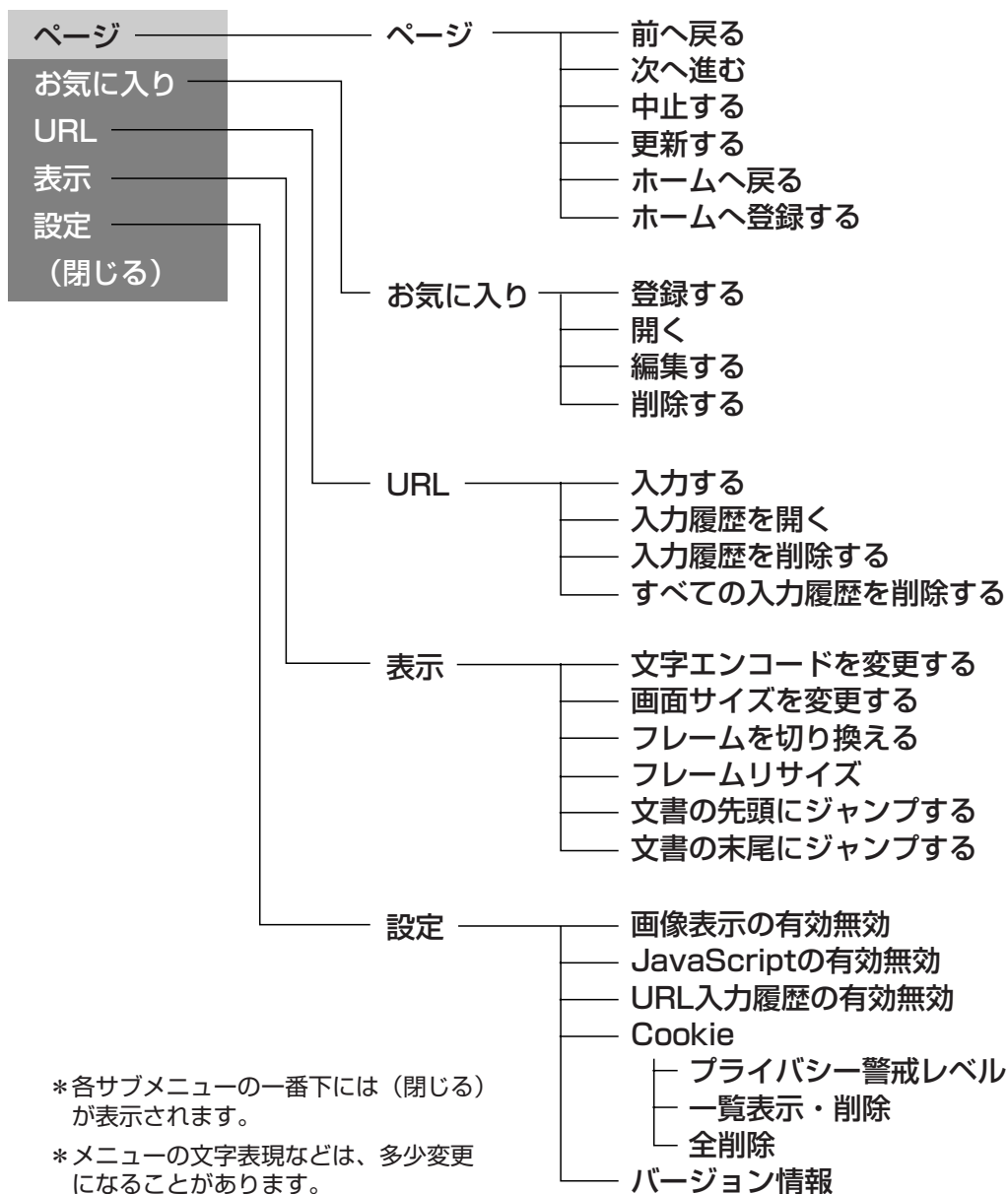
ネットメニューの操作に使うボタン

ネットメニュー　一覧

ネットメニュー

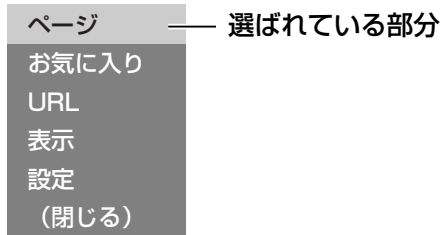
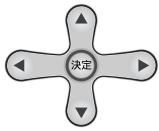
- ページ
  - 前へ戻る
  - 次へ進む
  - 中止する
  - 更新する
  - ホームへ戻る
  - ホームへ登録する
- お気に入り
  - 登録する
  - 開く
  - 編集する
  - 削除する
- URL
  - 入力する
  - 入力履歴を開く
  - 入力履歴を削除する
  - すべての入力履歴を削除する
- 表示
  - 文字エンコードを変更する
  - 画面サイズを変更する
  - フレームを切り換える
  - フレームリサイズ
  - 文書の先頭にジャンプする
  - 文書の末尾にジャンプする
- 設定
  - 画像表示の有効無効
  - JavaScriptの有効無効
  - URL入力履歴の有効無効
  - Cookie
    - プライバシー警戒レベル
    - 一覧表示・削除
    - 全削除
  - バージョン情報
- （閉じる）

＊各サブメニューの一番下には（閉じる）が表示されます。

＊メニューの文字表現などは、多少変更になることがあります。

ネットメニュー操作のしかた

❶ ホームページ画面でネットメニュー（黄）ボタンを押す

ネットメニューが表示されます。

ページ ── 選ばれている部分
お気に入り
URL
表示
設定
（閉じる）

❷ カーソル▼▲ボタンを押して、ご希望の項目を選び、決定またはカーソル▶ボタンを押す

- ネットメニューの右に、選んだメニューの中身が表示されます。
- 選んだ部分は色が変わって表示されます。

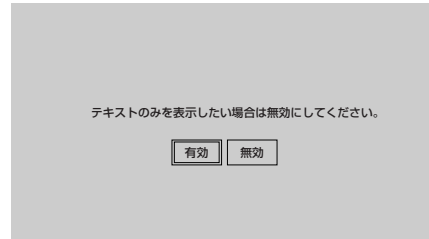
❸ カーソル▼▲ボタンを押して、設定するメニュー項目を選び、決定ボタンを押す

選んだ項目の設定表示に変わります。

例. ネットメニュー「設定」のとき

ページ	
お気に入り	
URL	
表示	
設定	画像表示の有効無効
（閉じる）	JavaScriptの有効無効
	URL入力履歴の有効無効
	Cookie
	バージョン情報
	（閉じる）

❹ カーソル▼▲◀▶ボタンを押して、設定する

例. 「画面表示の有効無効」のとき

- メニューによっては、さらに次の画面に切り換わって操作するものがあります。

■操作を中止・終了するときは

- **ネットメニュー（黄）**ボタンを押すと、ネットメニュー表示が消えて、操作を中止・終了できます。
- 設定画面に表示される「Cancel（キャンセル）」を**カーソル**ボタンで選んで、**決定**ボタンを押すと、表示が消えて操作を中止・終了できます。
- 何種類かの項目から選ぶメニューで設定を中止するときは、そのときの状態のままで**決定**ボタンを押すと表示が消えて終了することができます。

■メニューが暗く表示されるときは

そのときどきの状況によって操作を禁止しているメニューは暗く表示されます。暗く表示されたメニューは開くことができません。

■メニューを閉じるときは

各メニューの一番下の（閉じる）を選んで**決定**ボタンを押すと、メニューを閉じて消すことができます。

お知らせ

- メニューを選び**決定**ボタンを押してから動作に移るまでは、しばらく時間がかかる場合があります。

ホームページを見るには（つづき）

ネットメニューの「ページ」では、ホームページを見るための操作ができます。

ネットメニュー「ページ」を使ってできる操作

①ホームページ画面で**ネットメニュー（黄）**ボタンを押す

②**カーソル▲▼** ボタンを押して「ページ」を選び、**決定**または**カーソル▶**ボタンを押す

③**カーソル▲▼** ボタンを押して項目を選び、**決定**ボタンを押す

ページ	前へ戻る
お気に入り	次へ進む
URL	中止する
表示	更新する
設定	ホームへ戻る
（閉じる）	ホームへ登録する
	（閉じる）

前へ戻る
ホームページを次々に移動してきたとき、ひとつ前のページに戻る働きをします。

次へ進む
戻るボタンで前のホームページに戻った状態で、先のページに進む働きをします。

中止する
ホームページのデータの読み込み中に押すと、データの読み込みを中止します。

更新する
現在のデータを再度読み込み、ホームページを更新して表示します。

ホームへ戻る
「ブラウザ設定」の「ホームURL設定」に設定されているURL（ホームページのアドレス）のホームページへ戻ります。

ホームへ登録する
現在表示中のホームページを「ブラウザ設定」の「ホームURL設定」に登録します。ブラウザを起動させたときに最初に映るホームページを変えたいときに実行します。

ネットメニューの「お気に入り」では、ホームページを「お気に入り」に登録したり、
「お気に入り」からホームページを開いたりできます。

ネットメニュー「お気に入り」を使ってできる操作

①ホームページ画面で**ネットメニュー（黄）**ボタンを押す

②**カーソル▲▼** ボタンを押して「お気に入り」を選び、**決定**または**カーソル▶**ボタンを押す

③**カーソル▲▼** ボタンを押して設定する項目を選び、**決定**ボタンを押す

④**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンと**決定**ボタンを押して設定する

ページ	
お気に入り	登録する
URL	開く
表示	編集する
設定	削除する
（閉じる）	（閉じる）

登録する
表示中のホームページを「お気に入り」に登録します。「お気に入り」に登録する画面に切り換わり、表示中のホームページのタイトルが表示されます。**カーソル**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと登録します。タイトル窓が選ばれた状態で**決定**ボタンを押すと画面キーボードが表示されてタイトル文字の編集が可能になります。文字入力のしかたについては☞265ページをご覧ください。

お知らせ

●「お気に入り」へはホームページのタイトルを20個まで登録できます。

開く
「お気に入り」からホームページを開くことができます。「お気に入り」に登録されているタイトルが一覧表示されます。タイトルが多い場合は▲▼ ボタンで見ることができます。次のような操作でホームページを開くことができます。

①「お気に入り」を開く画面で、一覧窓が選ばれた状態で**決定**ボタンを押すと、一覧窓のわくの色が変わり、タイトルを選べるようになります。

②**カーソル▲▼** ボタンでホームページを開くタイトルを選び、**決定**ボタンを押します。

③**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと、選んだタイトルのホームページを開きます。

編集する
「お気に入り」に登録したホームページのタイトル文字を編集できます。

①「お気に入り」を編集する画面で、一覧窓が選ばれた状態で**決定**ボタンを押すと、一覧窓のわくの色が変わり、タイトルを選べるようになります。

②**カーソル▲▼** ボタンで文字を編集するタイトルを選び、**決定**ボタンを押すと選んだタイトルだけの表示になります。

③さらに**決定**ボタンを押すと画面キーボードが表示されてタイトルの編集が可能になります。文字入力のしかたについては☞265ページをご覧ください。

④**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと、編集したタイトル文字が確定されます。

削除する
登録されているホームページのタイトルを削除します。

①「お気に入り」を削除する画面で、一覧窓が選ばれた状態で決定ボタンを押すと、一覧窓のわくの色が変わり、タイトルを選べるようになります。

②**カーソル▲▼** ボタンで削除するタイトルを選び、**決定**ボタンを押します。

③**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押します。「..削除してよろしいですか？」という画面に変わります。

④**カーソル◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと削除されます。

ホームページを見るには（つづき）

ネットメニューの「URL」では、ホームページをURL（ホームページのアドレス）を入力して開いたり、保存されているURL入力履歴から開いたりできます。

ネットメニュー「URL」を使ってできる操作

①ホームページ画面で**ネットメニュー（黄）**ボタンを押す

②**カーソル▲▼** ボタンを押して「URL」を選び、**決定**または**カーソル▶**ボタンを押す

③**カーソル▲▼** ボタンを押して設定する項目を選び、**決定**ボタンを押す

④**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンと**決定**ボタンを押して設定する

入力する

URL（http://...などホームページのアドレス）を入力してページを開くときに使います。URLを入力する画面で、入力窓が選ばれた状態で**決定**ボタンを押すと、画面キーボードが表示されてURLの入力が可能になります。文字入力のしかたについては 265ページをご覧ください。URLの入力によく使う「http://」や「www.」、「co.jp/」などの定型文は画面キーボードの「記号」キーボードに用意しています。「URLを入力する」画面の入力窓にURLを入力したあと、**カーソル**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと、入力したURLのホームページを開きます。

お知らせ

- URLを入力して開いたページの履歴は、URL入力履歴に20個まで保存されます。
- URLを入力して開いたページをURL入力履歴に保存しないようにも設定できます。（180ページ「URL入力履歴の有効無効」）

入力履歴を開く

URLの入力履歴からホームページを開くときに使います。

保存されているURLが一覧表示されます。URLが多い場合は▲▼ ボタンで見ることができます。次のような操作で入力履歴からホームページを開くことができます。

①入力履歴を開く画面で、一覧窓が選ばれた状態で**決定**ボタンを押すと、一覧窓のわくの色が変わり、URLを選べるようになります。

②**カーソル▲▼** ボタンでホームページを開くURLを選び、**決定**ボタンを押します。

③**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと、選んだURLのページを開きます。

入力履歴を削除する

URL入力履歴からURLを選んで削除するときに使います。

画面を出すと、保存されているURLが一覧表示されます。次のような操作で入力履歴からURLを削除することができます。

①入力履歴を削除する画面で、一覧窓が選ばれた状態で**決定**ボタンを押すと、一覧窓のわくの色が変わり、URLを選べるようになります。

②**カーソル▲▼** ボタンで削除するURLを選び、**決定**ボタンを押します。

③**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押します。「..削除してよろしいですか？」という画面に変わります。

④**カーソル◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと削除されます。

すべての入力履歴を削除する

URL入力履歴に保存されたすべてのURLを一括して削除するときに使います。

「URL」メニューの「すべての入力履歴を削除する」を選んで**決定**ボタンを押すと、「..削除してよろしいですか？」という画面に変わります。**カーソル◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと、履歴に記憶しているすべてのURLが削除されます。

ネットメニューの「表示」では、ホームページの表示にかかわる操作ができます。

ネットメニュー「表示」を使ってできる操作

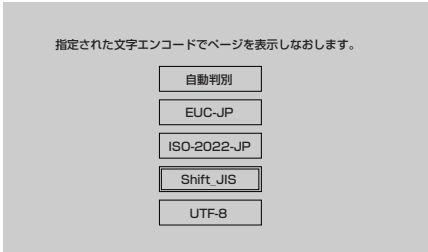
①ホームページ画面で**ネットメニュー（黄）**ボタンを押す

②**カーソル▲▼** ボタンを押して「表示」を選び、**決定**または**カーソル▶**ボタンを押す

③**カーソル▲▼** ボタンを押して設定する項目を選び、**決定**ボタンを押す

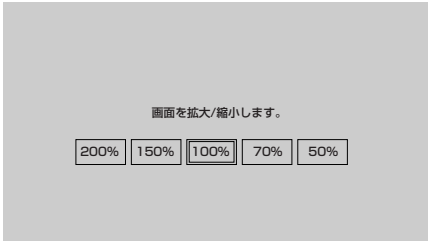
④**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンと**決定**ボタンを押して設定する

文字エンコードを変更する

ホームページの文字が正しく表示されないときなど、文字コードを変更することができます。変更できる文字コードが表示されますので、**カーソル**ボタンで選んで**決定**ボタンを押すと、選んだ文字コードに変更されます。文字コードを変更したあと、もう一度ホームページを開いて文字が正しく表示されるか確認します。

お知らせ

● 何種類かの項目から選ぶメニューで設定を中止するときは、そのときの状態のままで**決定**ボタンを押すと表示が消えて終了することができます。

画面サイズを変更する

表示されているホームページを拡大/縮小して見ることができます。拡大/縮小可能な比率が表示されますので、**カーソル**ボタンで選んで**決定**ボタンを押すと、選んだ比率で拡大/縮小されます。

フレームを切り換える

ホームページ上に複数のフレームがある場合に、フレームを切り換えます。「表示」メニューの「フレームを切り換える」を選んで**決定**ボタンを押すごとにフレームが切り換わり、フレーム内の操作ができるようになります。

フレームリサイズ

ホームページ上に複数のフレームがある場合に、そのとき選ばれているフレームを、ほぼ画面いっぱいに拡大して表示します。もう一度「表示」メニューの「フレームリサイズ」を選んで**決定**ボタンを押すと、もとのサイズに戻ります。

文書の先頭にジャンプする

ホームページの先頭が表示範囲にない状態のときに実行すると、ホームページの先頭を表示します。

文書の末尾にジャンプする

ホームページの末尾が表示範囲にない状態のときに実行すると、ホームページの末尾を表示します。

ホームページを見るには（つづき）

ネットメニューの「設定」では、ホームページを表示させたり、取得するデータなどについて設定しておくことができます。

ネットメニュー「設定」を使ってできる操作

①ホームページ画面で**ネットメニュー（黄）**ボタンを押す

②**カーソル▲▼** ボタンを押して「設定」を選び、**決定**または**カーソル▶**ボタンを押す

③**カーソル▲▼** ボタンを押して設定する項目を選び、**決定**ボタンを押す

④**カーソル▲▼ ◀▶**ボタンと**決定**ボタンを押して設定する

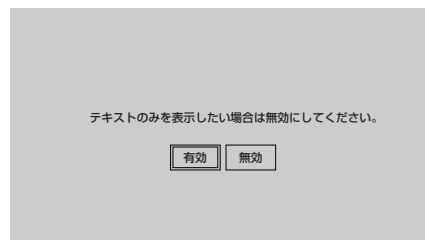
ページ
お気に入り
URL
表示
設定
（閉じる）

画像表示の有効無効
JavaScriptの有効無効
URL入力履歴の有効無効
Cookie
バージョン情報
（閉じる）

お知らせ

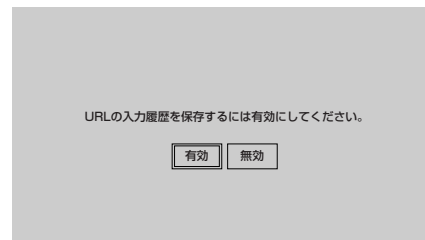
● 何種類かの項目から選ぶメニューで設定を中止するときは、そのときの状態のままで**決定**ボタンを押すと表示が消えて終了することができます。

画像表示の有効無効

画像を表示させず、ホームページを文字だけで早く表示させたいときなどに設定します。**カーソル**ボタンで「無効」選んで**決定**ボタンを押すと、画像が表示されなくなります。

JavaScriptの有効無効

JavaScript（ジャバ・スクリプト）を使用して作られたホームページが正しく表示されないとき、JavaScriptを無効にすると、スクリプト部分を飛ばして表示されるようになります。無効にするには、**カーソル**ボタンで「無効」選んで**決定**ボタンを押します。「無効」にすると、ホームページによっては正しく表示されない場合があります。

URL入力履歴の有効無効

「URL」メニューの「入力する」で、URLを入力して開いたホームページを履歴に残すか残さないかを設定できます。**カーソル**ボタンで「無効」選んで**決定**ボタンを押すと、URLを入力して開いたホームページを履歴に残さないようになります。

Cookie

ホームページを閲覧した際に、ユーザーの情報やアクセスした履歴などをWebサーバーから受信機側に送り、保存できる機能で、本機をはじめ、多くのインターネットブラウザが対応しています。一般的には、ホームページをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もあります。
本機では「設定」メニューの「Cookie」で、Cookieに関する設定が行えるようになっています。

①**カーソル▲▼** ボタンを押して「Cookie」を選び、**決定**または**カーソル▶**ボタンを押す

②**カーソル▲▼** ボタンを押して設定する項目を選び、**決定**ボタンを押す

画像表示の有効無効	
JavaScriptの有効無効	
URL入力履歴の有効無効	
Cookie	プライバシー警戒レベル
バージョン情報	一覧表示・削除
（閉じる）	全削除
	（閉じる）

お知らせ

- 何種類かの項目から選ぶメニューで設定を中止するときは、そのときの状態のままで決定ボタンを押すと表示が消えて終了することができます。

プライバシー警戒レベル

Webサーバーからの Cookieの保存や、本機からのCookieの読み出しを制限できます。プライバシー警戒レベルを「最高」、「高」、「中-高」、「中」、「低」、「最低」の6段階に設定できます。プライバシー警戒レベルを高く設定しますと、セキュリティーの度合いは高くなりますが、表示できるホームページが制限されます。「最高」はすべてのCookieの保存と読み出しを禁止します。「最低」はCookieの保存と読み出しに制限を設けない設定です。

一覧表示・削除

保存されているCookieを一覧表示します。またCookieを選んで削除することもできます。

①「一覧表示・削除」の画面で、一覧窓が選ばれた状態で**決定**ボタンを押すと、一覧窓のわくの色が変わり、Cookieを選べるようになります。

②**カーソル▲▼** ボタンでCookieを選ぶと、画面の下部に選んだCookieの属性を表示します。

③表示中のCookieを削除するときは、**カーソル▲▼◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押します。「..削除してよろしいですか？」という画面に変わります。

④**カーソル◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと削除されます。削除しないときは「Cancel」を選んで**決定**ボタンを押します。

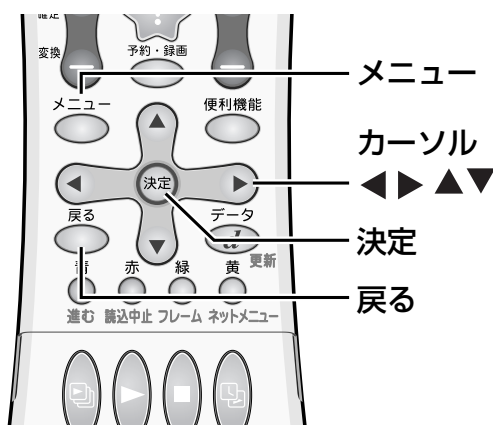
全削除

保存されているすべてのCookieを削除します。「Cookie」メニューの「全削除」を選んで**決定**ボタンを押すと、「..削除してよろしいですか？」という画面に変わります。**カーソル◀▶**ボタンで「OK」を選んで**決定**ボタンを押すと、保存されているすべてのCookieが削除されます。

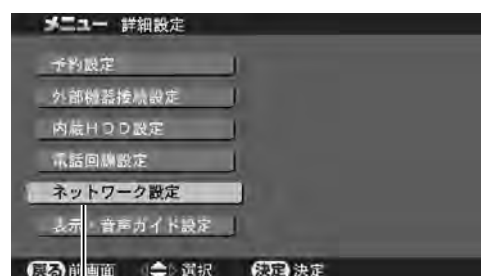
バージョン情報

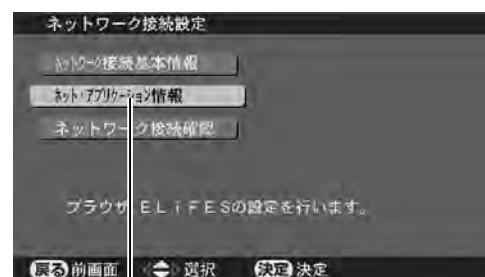
本機に搭載されているブラウザのバージョン情報を表示します。

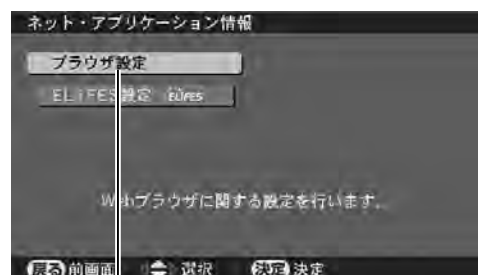
ブラウザ機能の設定を変えるには

デジタル設置メニューの「ブラウザ設定」でホームページを見るときの各種設定や初期化ができます。

「デジタル設置」の「詳細設定（デジタル）」を選んで決定

ブラウザ設定のしかた

1. メニューボタンを押して、メニュー画面を出す
2. カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、
3. カーソル▼▲ ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」を選び、決定ボタンを押す
4. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ネットワーク設定」を選び、決定ボタンを押す

「ネットワーク設定」を選んで決定

5. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ネット・アプリケーション情報」を選び、決定ボタンを押す

「ネット・アプリケーション情報」を選んで決定

6. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ブラウザ設定」を選び、決定ボタンを押す

「ブラウザ設定」を選んで決定

ホームURL設定

ブラウザ機能を起動させたときに、最初に開くホームページのURLを設定できます。

①**カーソル▲▼** ボタンで「ホームURL設定」を選んで**決定**ボタンを押します。
②画面キーボードが表示されます。画面キーボードの文字入力機能を使って、ご希望のホームページのURLを入力します。

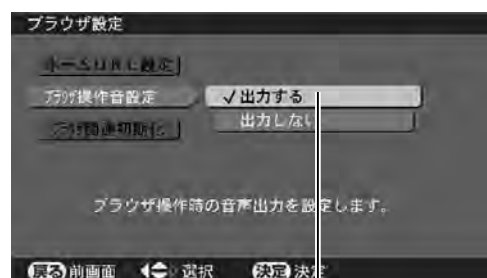
文字入力のしかたについては 265ページをご覧ください。URLの入力によく使う「http://」や「www.」、「co.jp/」などの定型文は画面キーボードの「記号」キーボードに用意しています。

URLを入力

ブラウザ操作音設定

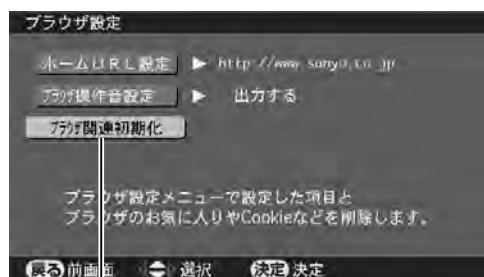
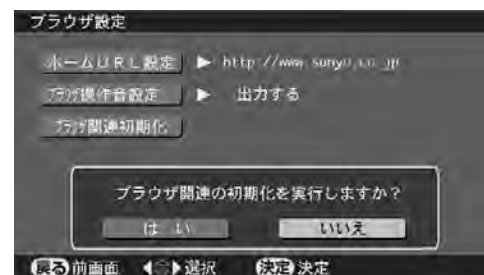
ホームページ上でカーソルボタンで操作したときなどに、操作音を出したり、出さなかったりする設定ができます。

①**カーソル▲▼** ボタンで「ブラウザ操作音設定」を選んで**決定**ボタンを押します。
②**カーソル▲▼** ボタンで設定します。

出力する　：操作音が出るようになります。
出力しない：操作音が出ないようになります。

出力する/しないを設定

ブラウザ関連初期化

「ブラウザ設定」で設定した内容（ホームURL、ブラウザ操作音）、ネットメニューで設定した内容、お気に入りやURL入力履歴、Cookieなどの情報を初期化し、工場出荷時の状態に戻すときに設定します。

①**カーソル▲▼** ボタンで「ブラウザ関連初期化」を選んで**決定**ボタンを押します。
②「ブラウザ関連の初期化を実行しますか？」というメッセージが表示されますので、**カーソル◀▶**ボタンで「はい」を選んで**決定**ボタンを押すと初期化されます。

「ブラウザ関連初期化」を選んで決定

お知らせ

「ブラウザ関連初期化」で初期化される内容は、デジタルメニュー「制限事項/初期化」の中にある「工場出荷設定」を行ったときも初期化されます。

ホームネットワークに接続するには

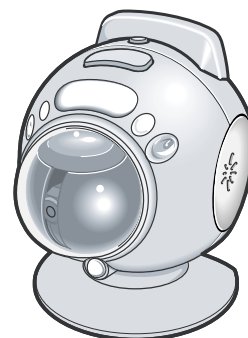
本機は、ネットワークカメラ「HOVICA（ホビカ）」など、当社が提供するホームネットワーク「ELiFES（エリフェス）」に対応した機器を、ネットワークを通じて操作したり、テレビの画面に映したりすることができます。

ネットワークカメラ<HOVICA>「ホビカ」

この取扱説明書ではネットワークカメラ「ホビカ」を機器の例として説明を進めます。

ネットワークカメラ「ホビカ」について、詳しくは下記のホームページをご覧ください。

http://www.sanyo-ipc.com/

「HOVICA」は三洋電機株式会社の商標です。

屋内用　無線/有線タイプ
IPC-H1W(S)
屋内用　有線タイプ
IPC-H1L(S)

ELiFES とは

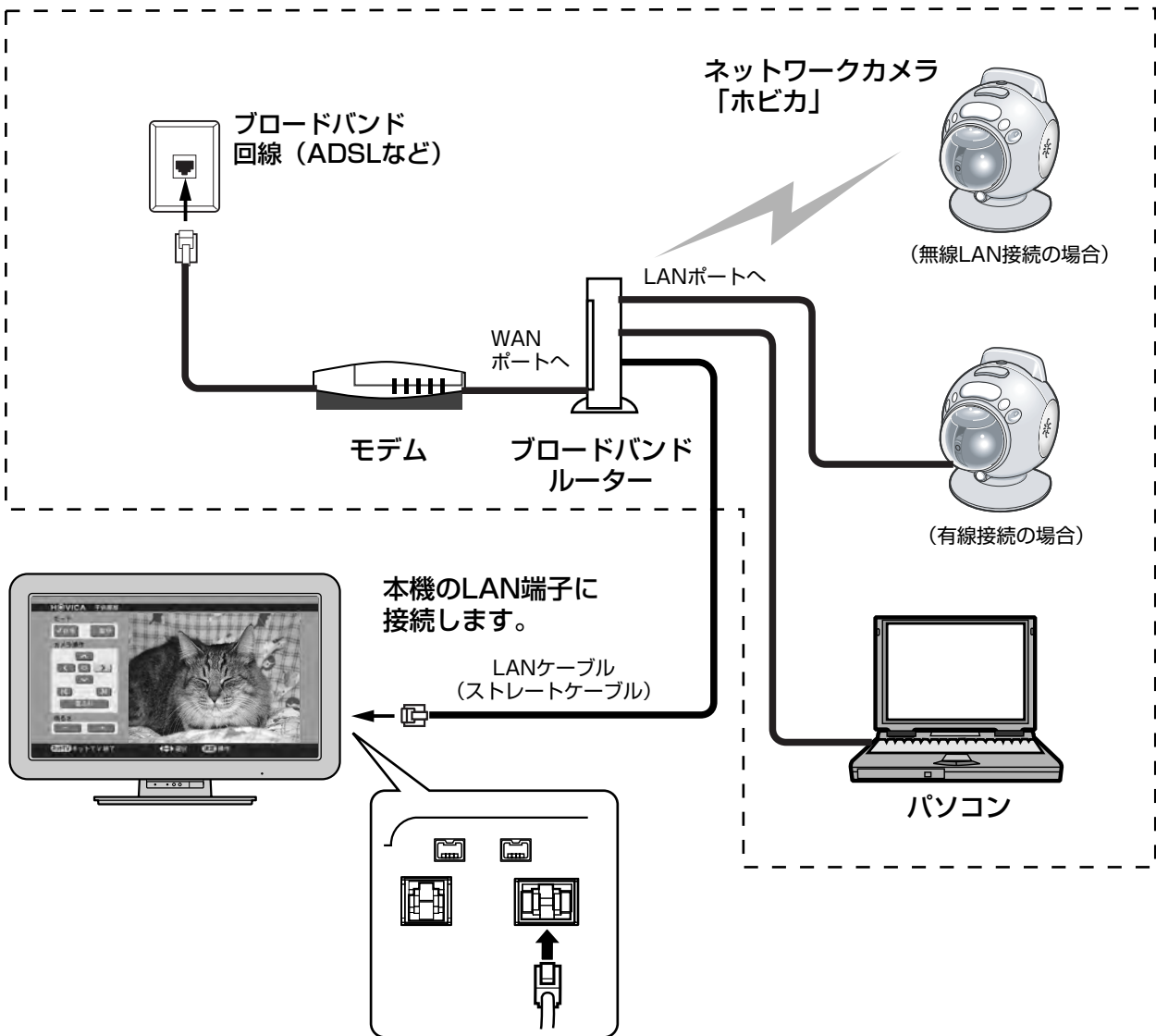
「ELiFES（エリフェス）」とは、家庭内のさまざまな機器や携帯端末をネットワークに接続し、より快適な生活環境や暮らしをサポートするコミュニケーション環境・サービスを提供する三洋ホームネットワークシステムの総称です。

接続について

- 右ページの図の点線で囲んだ部分の接続は、ネットワークカメラ「ホビカ」の使用形態に合わせ、「ホビカ」の取扱説明書にしたがって接続してください。
- 「ホビカ」をネットワークに接続する際に必要なルーターなどの設定は本機ではできません。設定は「ホビカ」の取扱説明書にしたがってパソコンで行ってください。
- 「ホビカ」を無線LANでネットワークに接続する場合は、無線LAN用のルーターが必要です。
- 右ページの図はデジタル放送のデータ放送で行われる双方向サービスや、有料放送の課金情報の送信に必要な電話回線の接続について省略しています。本機を電話回線に接続する場合は、市販のスプリッタや電話線分配器、電話回線コードを使って接続してください。接続については 199ページ、259ページをご覧ください。

ホビカ側の設定について

- 「ホビカ」のネットワーク設定では、ユーザID「Guest」、「Admin」にパスワードを設定しておき、カメラにアクセスするときにパスワードの入力が必要なように設定できますが、これらパスワードが設定されていると、本機から「ホビカ」に接続する際、ユーザIDとパスワードを入力する画面が表示され、入力と認証が必要になる場合があります（187ページ）。「ホビカ」のネットワーク設定でパスワードを下記のように設定しておきますと、認証作業を省略することができます。
  「Guest」のパスワード：空欄にする
  「Admin」のパスワード：Adminと入力する
  「ホビカ」のネットワーク設定は本機ではできません。「ホビカ」の取扱説明書にしたがってパソコンで行ってください。またパスワードは実際のパソコン画面では「＊＊＊..」で表示されます。
- 「ホビカ」のネットワーク設定で通信暗号処理（SSL）の設定を「ON」にしているときは「ホビカ」との接続に時間がかかります。

接続例.「ホビカ」を接続するとき

- 本機のLAN端子に接続したあとは、☞260〜264ページにしたがって、LAN接続の設定をしてください。
- 本機で「ホビカ」の画面を映したり、ホビカを本機から操作するために、☞次ページからの設定を行ってください。

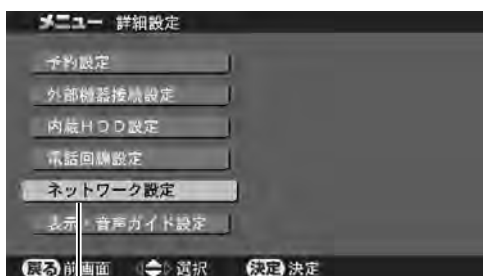
ご注意

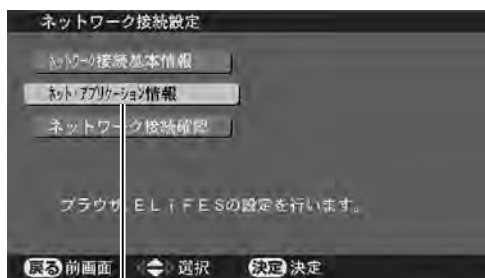
☞次ページからの設定は、「ホビカ」の電源を入れた状態で行ってください。

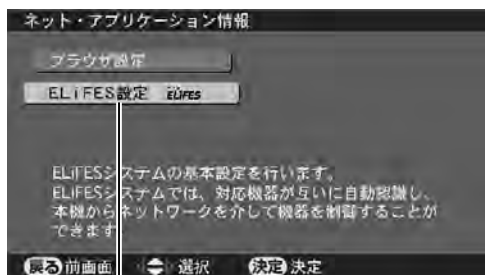
ホームネットワークに接続するには（つづき）

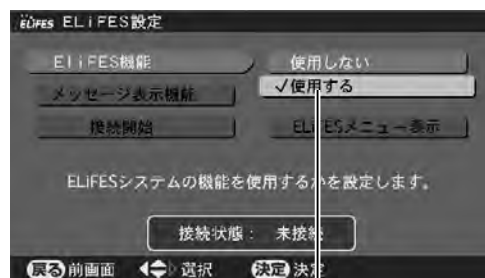
ホビカなどの機器をネットワークを通じて本機から操作したり、画面を本機に映すためには、次のように設定してください。

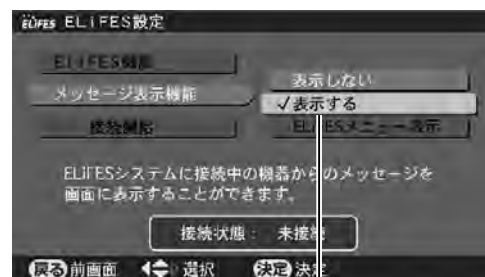
ホビカなどのネットワークと接続する設定のしかた

1. メニューボタンを押して、メニュー画面を出す
2. カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、
3. カーソル▼▲ ボタンを押して「詳細設定(デジタル)」を選び、決定ボタンを押す
4. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ネットワーク設定」を選び、決定ボタンを押す

「ネットワーク設定」を選んで決定

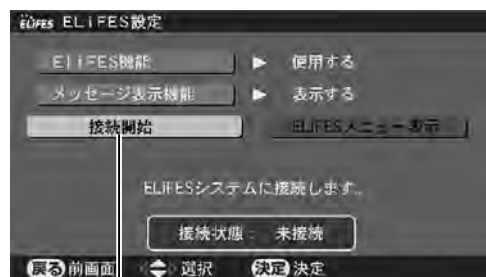
5. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ネット・アプリケーション情報」を選び、決定ボタンを押す

「ネット・アプリケーション情報」を選んで決定

6. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ELiFES設定」を選び、決定ボタンを押す

「ELiFES設定」を選んで決定

7. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ELiFES機能」を選び、決定ボタンを押す
8. カーソル▼▲ ボタンを押して、「使用する」を選び、決定ボタンを押す

「ELiFES機能」を「使用する」に設定

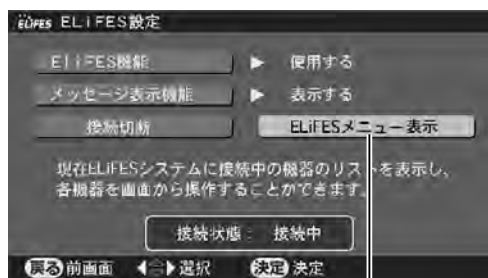
9. カーソル▼▲ ボタンを押して、「メッセージ表示機能」を選び、決定ボタンを押す
10. カーソル▼▲ ボタンを押して、「表示する」を選び、決定ボタンを押す

「メッセージ機能」を「表示する」に設定

メッセージ機能は、機器からの情報を検知したときに本機の画面にメッセージを表示する機能です。メッセージを表示しないようにするときは「表示しない」の設定でご使用ください。

11. カーソル▼▲ ボタンを押して、「接続開始」を選び、決定ボタンを押す

「接続開始」を選んで決定

接続に成功すると、「ELiFESシステムに接続しました。」とメッセージが表示され、画面の「接続機器リスト表示」が選べるようになります。

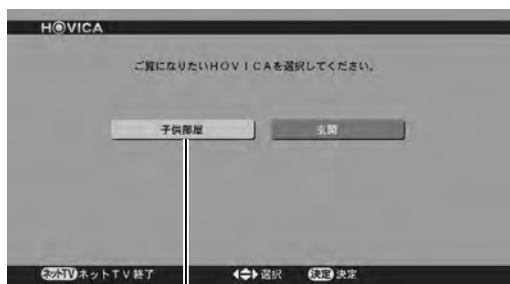
接続前は「接続開始」だった項目が、接続中は「接続切断」に変わります。選んで**決定**ボタンを押すとELiFESシステムとの接続を切断します。

⓬ カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「ELiFESメニュー表示」を選び、決定ボタンを押す

「ELiFESメニュー表示」を選んで決定

- 画面に「ネットTVを起動しています　しばらくお待ちください」と表示されます。
- 接続している機器が一覧表示される画面に変わります。
- 機器が1個しか接続されていない場合は、選択画面は表示されず、直接機器の画面になります。

⓭ カーソル◀ ▶ ▼▲ ボタンを押して、表示する機器を選び、決定ボタンを押す

- 機器の画面に切り換わります。
- ネットTVの起動を中止するときは、**ネットTV**ボタンを押します。
- 機器の画面における機器の操作方法については、次のページをご覧ください。

例. ホビカのとき

表示する機器を選んで決定

機器の画面が表示されます。
(例.ネットワークカメラ「ホビカ」の場合)

⓮ 終了するときは、ネットTVボタンを押す

機器の画面が消え、放送などの画面に切り換わります。

ID、パスワードの入力が必要なとき

ホビカなど機器側の設定によっては、接続する際にユーザIDとパスワードの入力が必要な場合があります。ユーザIDとパスワードの入力画面が表示されたときは、次のようにして入力します。

① **カーソル▲▼** で「ユーザID」を選んで**決定**ボタンを押すと画面キーボードが表示されます。
② 画面キーボードでユーザIDに「Guest」または「Admin」を入力します。
③ **カーソル▲▼** で「パスワード」を選んで**決定**ボタンを押すと画面キーボードが表示されます。
④ 画面キーボードで「Guest」または「Admin」のパスワードを入力します。
⑤ **カーソル▲▼ ◀ ▶**で「認証する」を選び、**決定**ボタンを押します。(入力終わり)

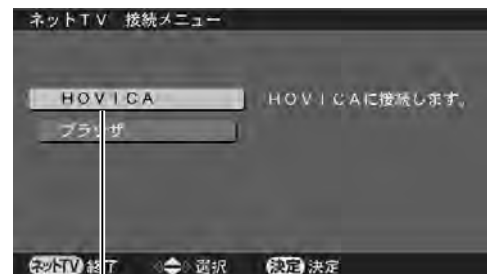
文字入力のしかたについては ☞ 265ページをご覧ください。

ホームネットワークに接続するには（つづき）

ネットワークカメラ「ホビカ」など、ネットワークに接続している機器を本機から操作できます。

ホビカなど、機器の操作のしかた

❶ ホビカの画面を出す

- ネットワークカメラ「ホビカ」の場合は、リモコンのネットTVボタンを押すと右のような画面が表示されますので、カーソル▲▼ ボタンで「HOVICA」を選んで決定ボタンを押すと「ホビカ」の画面になります。「ホビカ」を数台つないでいる場合は、選択画面が表示されますのでカーソル◀ ▶▲▼ ボタンで選んで決定ボタンを押すと選んだカメラの画面になります。
- 「ホビカ」以外のELiFES機器の場合は、☞186～187ページの操作❶～❻、⓬、⓭を行うか、何みるガイドの「外部・ビデオ」から選択して、ELiFES機器の画面を表示させます。

「HOVICA」を選んで決定

※ご注意
ホビカの電源が入っていないなど、接続できないときは選べません。

❷ カーソル▼▲ ボタンと決定ボタンで、画面上のボタンを選択/決定して操作します

- 画面における操作ボタンの表示を、カーソル◀ ▶▲▼ ボタンで選んで決定ボタンを押すと、操作ができます。
- 選んだボタンは色が変わったり線でかこまれたりして表示されます。
- 画面上の操作ボタンを選んで決定ボタンを押してから、機器が反応するまでは時間がかかる場合があります。

例. ネットワークカメラ「ホビカ」の場合

1 ホビカの画像です。

2 ホビカの在宅モード、留守モードを切り換えます。

3 カメラレンズが上下左右に移動します。※ はカメラレンズが中心に移動します。

4 カメラレンズが右端または左端に移動します。

5 カメラレンズが右端から左端に移動し、元の位置に戻ります。

6 画像の明るさを切り換えることができます。

- 操作の画面や操作方法は機器によって異なります。
- ホビカの画面では録画や再生など内蔵HDDの操作はできません。

❸ 画面を終了するときは、ネットTVボタンを押す

機器からのメッセージを映す

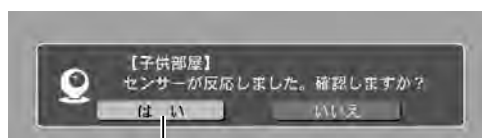
ELiFES設定の「メッセージ表示機能」が「表示する」に設定されているときは、機器から発信されるメッセージを本機の画面に映すことができます。（メッセージ表示機能の設定 186ページの操作❾～❿）

例. ホビカの場合

デジタル放送を映しているとき

①ネットワークカメラ「ホビカ」を留守モードにします。「ホビカ」のセンサーが留守モード中に何かを感知すると、本機の画面に「センサーが反応しました。確認しますか？」というメッセージが表示されます。

②**カーソル◀▶**ボタンで「はい」を選んで**決定**ボタンを押すと、「ネットTVを起動しています　しばらくお待ちください」と表示されたあと、「ホビカ」の画面が表示され、画像が確認できます。

③「ホビカ」の画面を終了するときは、**ネットTV**ボタンを押します。

「はい」を選んで決定を押すと画像を表示

その他の画面を映しているとき

デジタル放送以外の画面を映しているときに「ホビカ」が反応すると、本機の画面に「ＥＬｉＦＥＳシステムからメッセージがあります。デジタルへ切り換えると内容を確認できます。」というメッセージが表示されます。デジタル放送の画面に切り換えると上記のメッセージが表示されますので、同様に操作してください。

お知らせ

- センサーが反応しても画像を確認しないときは「いいえ」を選んで**決定**ボタンを押します。
- 本機に表示されるメッセージは、機器によって異なります。
- デジタル放送の予約番組実行中やデジタル放送出力固定中など、メッセージが表示されてもホビカの画面が映せない場合があります。

何みるガイドに追加されます

186～187ページの操作❶～⓮のようにELiFES機器の設定を行うと、何みるガイドの「外部・ビデオ」に「ELiFESメニュー表示」が追加され、何みるガイドから機器の画面を映せるようになります。

何みるガイドに追加されます。

何みるガイドから映すとき

何みるガイドから機器の画面を映すときは、次のようにします。

①何みるガイドの「外部・ビデオ」を表示させます。（何みるガイドの操作については、44～49ページをご覧ください。）

②**カーソル▲▼** ボタンで「ELiFESメニュー表示」を選んで**決定**ボタンを押します。「ネットTVを起動しています　しばらくお待ちください」と表示され、機器を選択する画面に変わります。

③**カーソル◀▶▲▼** ボタンで機器を選んで**決定**ボタンを押すと、選んだ機器の画面が映ります。

- 機器が1個しか接続されていない場合は、機器を選択する画面は表示されず、直接機器の画面になります。

電源を入れたとき

ホビカなどを接続して使用しているとき（ELiFES画面の「ELiFES機能」を「使用する」に設定しているとき）は、本機の電源を入れたときに自動的にシステムとの接続を確認する動作をします。ホビカの電源が入っていないときなど、接続できなかったときは「接続できませんでした」とメッセージが表示されます。

ネットワーク証明書と接続確認

デジタル放送やインターネットで安全性の高い通信を行うためのデジタル証明書を確認することができます。

ネットワーク証明書一覧を見る

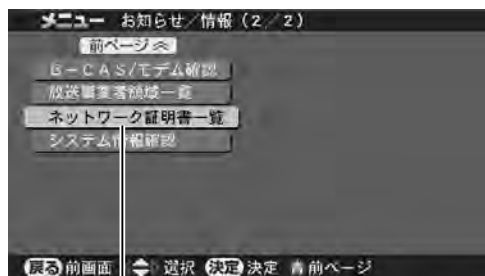
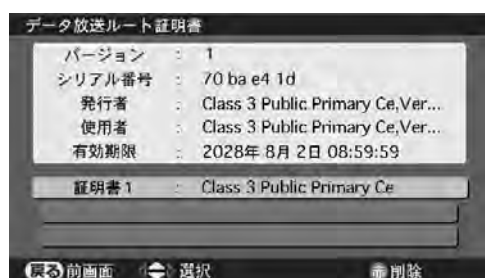
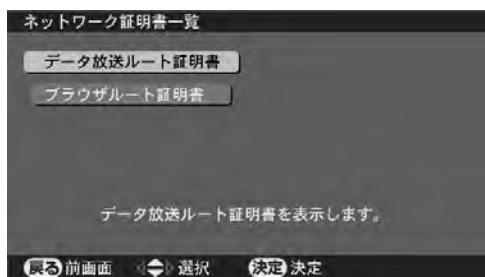
① メニューボタンを押して、メニュー画面を出します。
② **カーソル◀▶**ボタンを押して、「デジタル設置」を選びます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「お知らせ/情報」を選び、**決定**ボタンを押します。
④ **カーソル▼**ボタンを押して、「お知らせ/情報」画面の次ページを表示させせます。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「ネットワーク証明書一覧」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑥ **カーソル▲▼**ボタンを押して、確認する証明書の種類を選び、**決定**ボタンを押します。

データ放送ルート証明書

デジタル放送で行われるデータ放送のルート証明書です。

ブラウザルート証明書

インターネットでのデータの安全性を保護するためのルート証明書です。

お知らせ/情報　2/2画面

「ネットワーク証明書一覧」を選んで決定

お知らせ

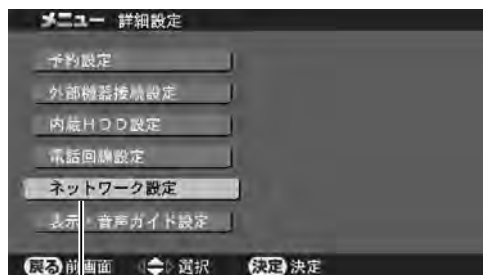
- 複数の証明書がある場合は、**カーソル▲▼**ボタンを押して選ぶと、画面の上部に選んだ証明書の内容が表示されます。
- リモコンの**赤**ボタンを押すと、選ばれている証明書を削除しますか？というメッセージが表示されます。**カーソル◀▶**ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押すと証明書が削除されます。

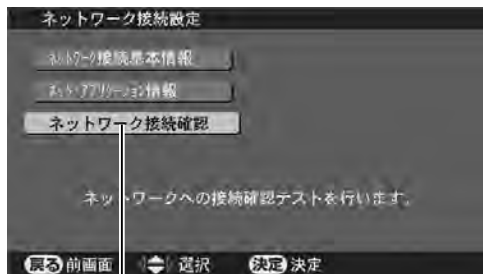
ご注意

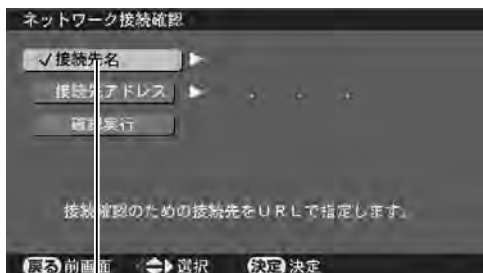
- 証明書は放送ダウンロードなどで変更される場合があります。
- 特別な理由がない限り、証明書を削除しないでください。

ネットワーク接続確認機能で、特定のホームページへの接続確認ができます。

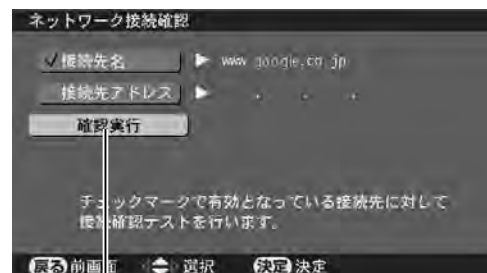
ネットワーク接続確認を行う

① **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を出します。
② **カーソル◀ ▶**ボタンを押して、「デジタル設置」を選びます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」を選び、**決定**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して「ネットワーク設定」を選び、**決定**ボタンを押します。

「ネットワーク設定」を選んで決定

⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して「ネットワーク接続確認」を選び、**決定**ボタンを押します。
「ネットワーク接続確認」画面が表示されます。

「ネットワーク接続確認」を選んで決定

⑥ **カーソル▲▼**ボタンを押して、「接続先名」を選び、**決定**ボタンを押します。
⑦ 画面キーボードが表示されてURLの入力や変更が可能になりますので希望のホームページのURL（ホスト名のみ）を入力します。

「接続先名」を選んで決定

文字入力のしかたについては 265ページをご覧ください。URLはホスト名のみを入力し、冒頭の「http://」や末尾の「/」以降は入力しないでください。これらを入力するとネットワーク接続確認が正しく行われません。

⑧ **カーソル▲▼**ボタンを押して、「確認実行」を選び、**決定**ボタンをします。（確認が実行されます）

「確認実行」を選んで決定

お知らせ

接続先のアドレスがわかっている場合は、アドレスを入力して接続確認を行うことができます。
① **カーソル▲▼**ボタンを押して、「接続先アドレス」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル◀ ▶**ボタンで入力位置を選び、**数字1～10**ボタンで入力し、**決定**ボタンを押して確定します。繰り返してアドレスを入力します。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して、「確認実行」を選び、**決定**ボタンをします。

「接続先アドレス」の入力や変更を途中で取り消すときは、リモコンの**黄**ボタンを押します。

ご注意

接続や設定が正しくてもホームページによってはネットワーク接続確認が正しく行えない場合があります。「接続先名」に別のホスト名を入力して確認してみてください。また本機のブラウザ機能でホームページが見られるようであれば接続に問題はありません。

ネット機能

ネット機能で困ったとき/用語・仕様

こんなときは、ここを確認してください。

症　状	原因と対応	参照ページ
インターネットに接続できない（ホームページが表示されない）	LAN端子の接続は正しいですか。確認してください。	259
	LAN接続のための設定は正しく設定されていますか。確認してください。	260
	同じブロードバンド回線に接続しているパソコンでインターネットに接続できるか確認してみてください。パソコンでインターネットに接続できるようであれば、本機のLAN端子への接続や、LAN接続の設定に原因があることが考えられます。パソコンでもインターネットに接続できないようであれば、ルーターなどの接続・設定やブロードバンド回線に問題があることが考えられます。	
	「ブラウザ設定」画面の「ホームURL設定」に設定されているURLは正しいですか。	183
操作の反応が遅い	回線の混み具合によって読み込みにかかる時間は異なります。	
	画像が多い場合など、ホームページによっては読み込みに時間がかかる場合があります。画像やJavaScriptを無効にする設定をお試しください。	180
	本機のブラウザ機能はパソコンのように高速でホームページを表示できません。	169
ELiFES機器の画面が映らない	ELiFES機器の接続や設定は正しいですか。確認してください。	
	ELiFES機器の電源は入っていますか。電源を入れてください。	

メッセージ表示

メッセージ	表示される状況	参照ページ
内部エラーが発生しました。 データの取得に失敗しました。 データを表示できませんでした。 データの設定に失敗しました。	データが読み込みできないなどの原因で、ホームページが表示できない場合に表示されます。ホームページがはじめからまったく表示できない場合は、LANの接続や設定を確認してください。	259 260
	接続できていたのに、接続できなくなった場合は一度終了し、しばらくしてからもう一度ホームページを映してみてください。	
セキュリティで保護された接続でサイトのページを表示しますか？	セキュリティで保護されたホームページを映すときに表示されます。	
セキュリティで保護されたサイトから保護されていないサイトへ接続してページを表示しますか？	セキュリティで保護されたページから、保護されていないページへ入るときに表示されます。「はい」、「いいえ」を選んで、入る/入らないを選択できます。	
ELiFESシステムとの接続が切れました。	ELiFES機器の電源を切ったときなど、ELiFESシステムとの接続が切れたときに表示されます。	
ELiFESシステムと接続できませんでした。	ELiFES機器との間に認証ができなかったなどの原因で、ELiFES機器と接続できなかったときに表示されます。LAN、ELiFES機器の接続や設定を確認してください。	
ELiFES機能でエラーが発生しました。	ELiFES機器との接続でエラーが発生したときに表示されます。	

● メッセージの種類は上記以外にもあります。また語句や表現が変更される場合があります。

用語について

お気に入り
表示中のホームページを登録することによって、登録したリストの中から選択するだけで、表示させせることができる機能です。

セキュリティ
データの暗号化やパスワードによる管理などを行って、ネットワーク上で安全を得るための方法やシステムを指します。

デジタル証明書
受信機や、インターネット上のサーバーなどが信頼できることを照明するため、認証局（CA：Certification Authority）と呼ばれる、信頼できる第三者により発行されたデータ・ファイルのことです。サーバー証明書、ルート証明書、クライアント証明書などがあります。

URL
ホームページのアドレスのことです。「http://www. ...」で始まるものが一般的です。

Cookie（クッキー）
ホームページを閲覧した際に、ユーザーの情報やアクセスした履歴などをWebサーバーから受信機側に送り、保存できる機能で、本機をはじめ、多くのインターネットブラウザが対応しています。一般的には、ホームページをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もあります。
本機では「設定」メニューの「Cookie」で、Cookieに関する設定が行えるようになっています。

JavaScript（ジャバスクリプト）
米Netscape社が開発したホームページの機能を高めるためのスクリプト言語の一種です。

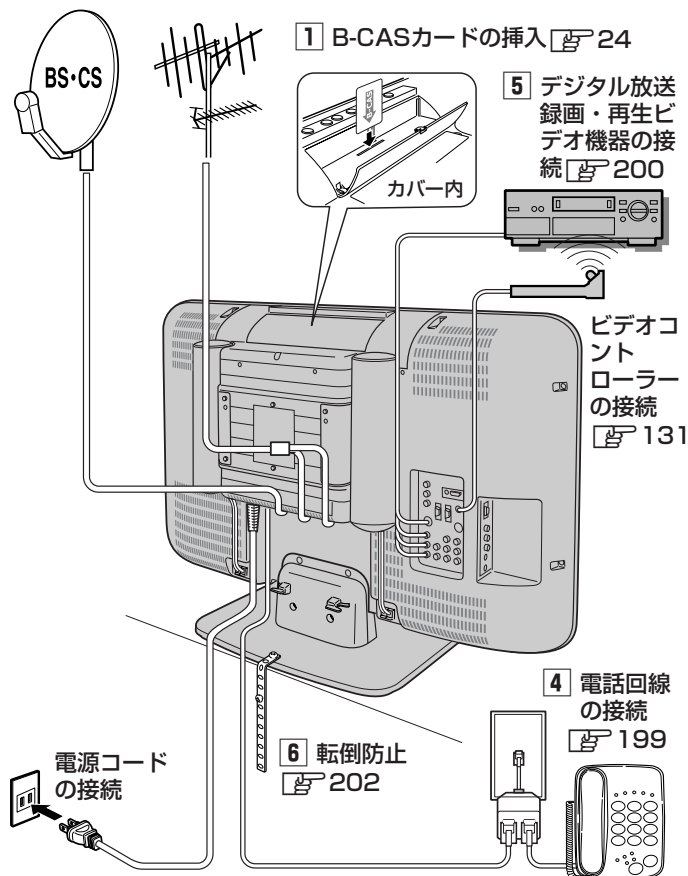
ブラウザ仕様

HTMLブラウザは株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパンのMediaTrekkerを使用しています。

記述言語	: HTML 4.01 Transitional/Frameset (Subset)
スタイルシート規格	: CSS1/CSS2 (Subset)
ドキュメントオブジェクトモデル	: DOM Level1及びLevel2のCSSインタフェース（Subset）
動作記述言語	: JavaScript 1.5 (ECMA-262 3rd) ※
セキュア通信	: SSL3.0 , TLS1.0
Cookie	: バージョン0
モノメディア	: JPEG , PNG , GIF
プラグイン	: 非対応
画面解像度	: 最大960×540（実機の設定による）

※ JavaScriptエンジンはMozilla FoundationのRhino 1.6R1を使用しています。

準備と設定（接続/設置編）

この章では、ご使用になる際に必要な準備と設定のうちの接続と設置について説明します。

＊
B-CASカードのユーザー登録（カード台紙についているハガキに記入・郵送 24ページ）も忘れずに行ってください。

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するための各種設定は、お住まいの地域で地上デジタル放送が始まり、電波が受信できるようになってから行ってください。電波が受信できない状態ではチャンネルの設定などはできません。
- 地上デジタル放送はUHFの電波を使って行われます。これまでVHF帯域のみを受信していたご家庭では、UHFアンテナの新設が必要です。また、現在使っているUHFアンテナの受信帯域と異なる帯域で地上デジタル放送が始まる場合は、UHFアンテナその他受信設備の交換・調整が必要です。

詳しくは 294ページ「地上デジタル放送の受信について」をご覧ください。

必要な接続と設定

次の接続と設定をしてください。

必要な接続と設置

掲載ページ

1 B-CASカードの挿入	付属のB-CASカードを本機に差し込みます。	24
2 VHF／UHFアンテナの接続	地上放送のアンテナ線（VHF/UHF）をつなぎます。	196
3 BS・110度CSアンテナの接続	BS・110度CSアンテナをつなぎます。	197
4 電話回線の接続	デジタル放送の双方向サービスや有料放送サービスを利用するために電話回線へ接続します。	199
5 デジタル放送録画・再生用ビデオ機器の接続	外部のビデオ機器（録画・再生用）を使用するときの接続例です。	200
6 転倒防止の対策	安全確保とご使用中の事故を防止するため転倒防止策の実施をお願いします。	202

ご注意

- 安全と機器の保護のため、各種の接続は電源プラグをコンセントから抜いた状態で行い、接続後に電源プラグをコンセントへ差し込んでください。
- 本機は電源コンセントの近くに設置し、万一異常が生じたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。
- 壁などに設置した場合でも、万一異常が生じたときにすぐに電源プラグを抜くことができるコンセントから電源をとってください。

必要な設定

掲載ページ

受信チャンネルの設定（地上アナログ放送）	お住まいの地域で受信できる地上アナログ放送のチャンネルを設定してください。	207～219
居住地域の設定（各デジタル放送共通）	お客さまの地域に関する緊急警報放送やデータ放送、地上デジタル放送の受信に必要です。	220
BS・110度CSアンテナの設定（BS・110度CSデジタル放送）	BS・110度CSデジタル放送用のアンテナへ電源を供給する設定が必要です。	222～225
地上デジタル放送のチャンネル設定	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを設定します。	226～233
電話回線の設定（各デジタル放送共通）	デジタル放送の双方向サービスや有料放送サービスを利用するためには電話回線へ接続し、回線に応じた設定が必要です。	234～237

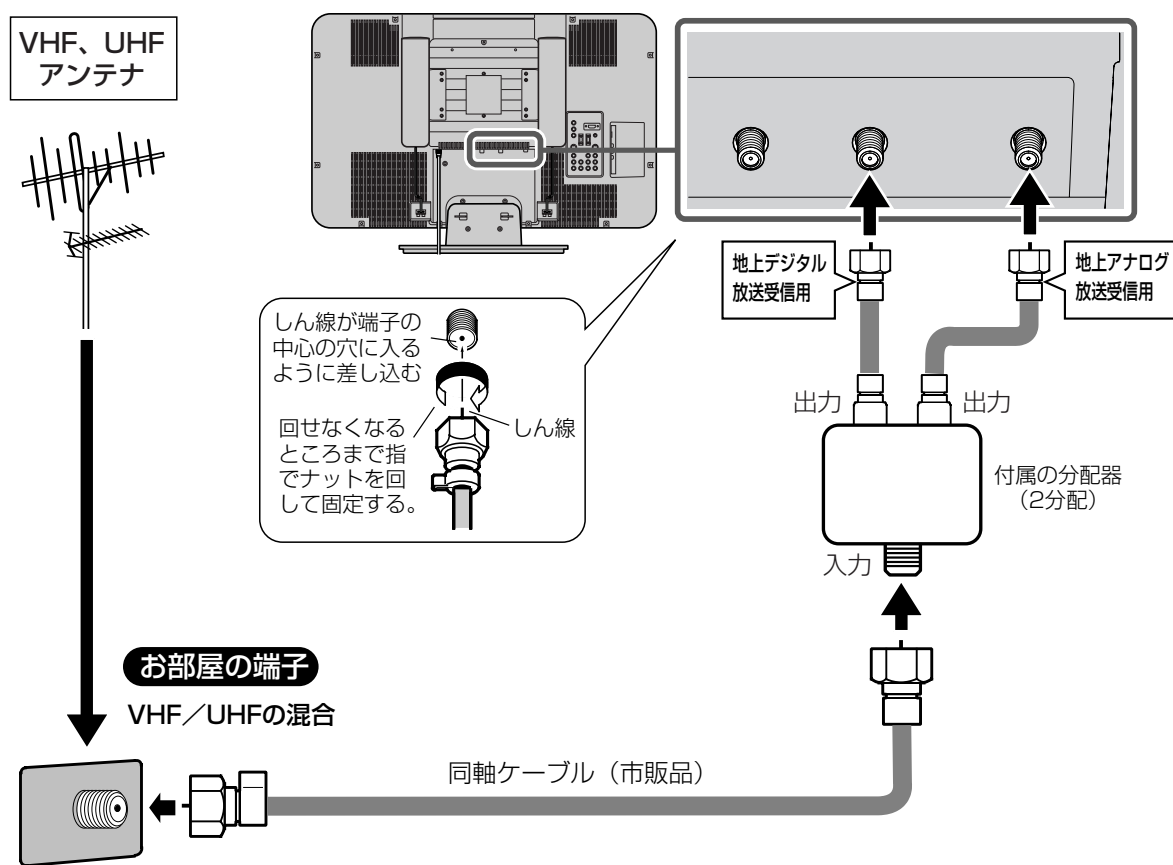
デジタル放送を受信しない状態で使用するときは、日付と時刻を設定してください。

デジタル放送を受信している状態では日付と時刻が自動で設定されますが、デジタル放送を受信しない状態では設定されません。日付と時刻が設定されていないと内蔵HDD（ハードディスク）で録画を行うことができません。デジタル放送を受信しない状態でお使いになるときは、日付と時刻を設定してください。（61ページ）

デジタル放送を外部機器で録画するときに使用するビデオコントローラーの接続や設定については、130～135ページをご覧ください。映像信号を検出して自動で録画を行う同期検出録画に設定したときは、ビデオコントローラーは使用できません。136～138ページ

アンテナの接続

お部屋の端子や使うケーブルに合った方法でつないでください。

VHF/UHFアンテナの接続例

■地上デジタル放送局の向きが地上アナログ放送局と異なるとき

地上デジタル放送の電波が、今まで受信していた地上アナログのUHF放送と異なる向きの放送局から放送される場合は、今まで受信していたUHFアンテナとは別に、地上デジタル放送局に向けて設置した地上デジタル放送用UHFアンテナが必要になります。そのような場合は、地上アナログ放送用のアンテナ線は本機の地上アンテナ入力VHF/UHF端子に、地上デジタル放送用のアンテナ線は本機の地上デジタルアンテナ入力端子にそれぞれ接続してください。

■VHFとUHFの端子が別々のとき

お部屋のアンテナ端子のVHFとUHFが別々のときは、市販のアンテナ混合器を使って接続してください。詳しくはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

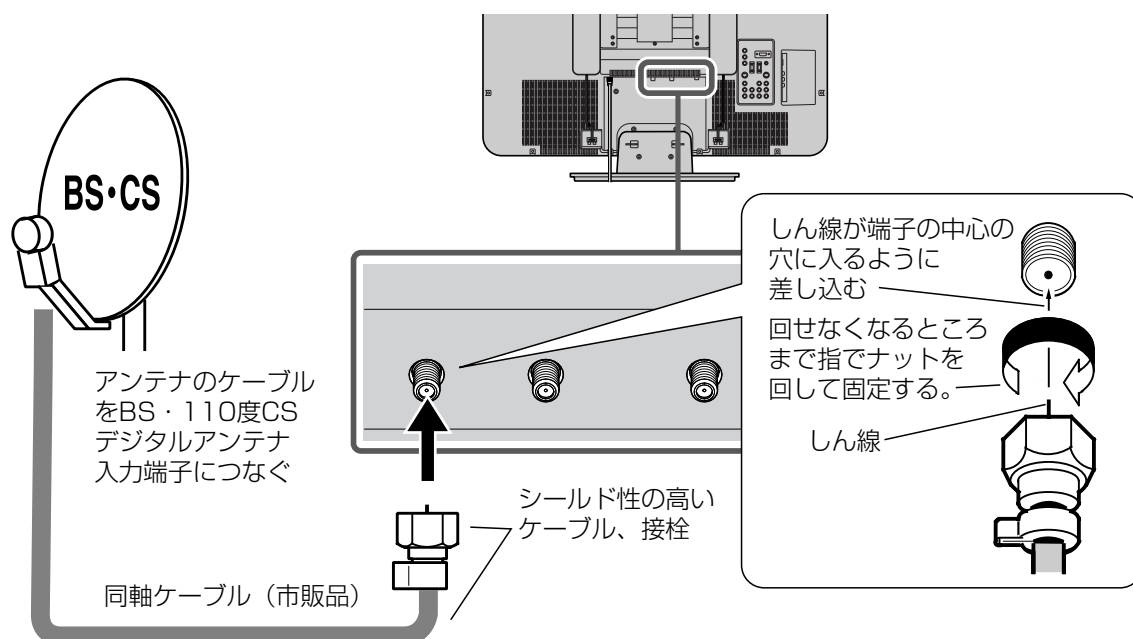
■ケーブルテレビのとき

ケーブルテレビの方式によって接続が異なります。ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

ご注意

- アンテナ線には同軸ケーブルをご使用ください。フィーダー線の場合は良好な受信が得られない場合があります。

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の両方を良好な状態でご覧になるため、
次の事項に注意してアンテナを接続してください。

BS・110度CSアンテナの接続例

接続後はBS・110度CSアンテナへ供給するコンバータ電源の設定をしてください。お買い上げ時は「切（供給しない）」になっています。 222～225ページ

■BS・110度CSアンテナをお使いください

BSと110度CS両方のデジタル放送をご覧になるには、2つの放送を1本のアンテナで受信できるBS・110度CSアンテナ（「110度CS対応BSデジタルハイビジョンアンテナ」などメーカーによって呼び名が異なります）が必要です。ご購入の際は「BSデジタル放送」に加え、「110度CSデジタル放送」にも対応していることを確認のうえお求めください。110度CSデジタル放送対応でないアンテナでは110度CSデジタル放送はご覧になれません。

■ブースターや分配器を使用している場合

アンテナからの信号をブースターを使用して増幅したり、分配器で分配する場合、110度CSデジタル放送の広帯域（上限周波数2150MHz）に対応した機器をお使いください。対応していない場合は110度CSデジタル放送を受信できません。

■ケーブルや接栓はシールド機能の高いものを

アンテナのケーブルや接栓（コネクター）には、シールド機能が高く損失の少ないものをお使いください。ケーブルには同軸ケーブルでS-5C-FB以上のものを、接栓にはC15形などの性能が保証されたものをお使いください。

■マンションなどの共同受信の場合

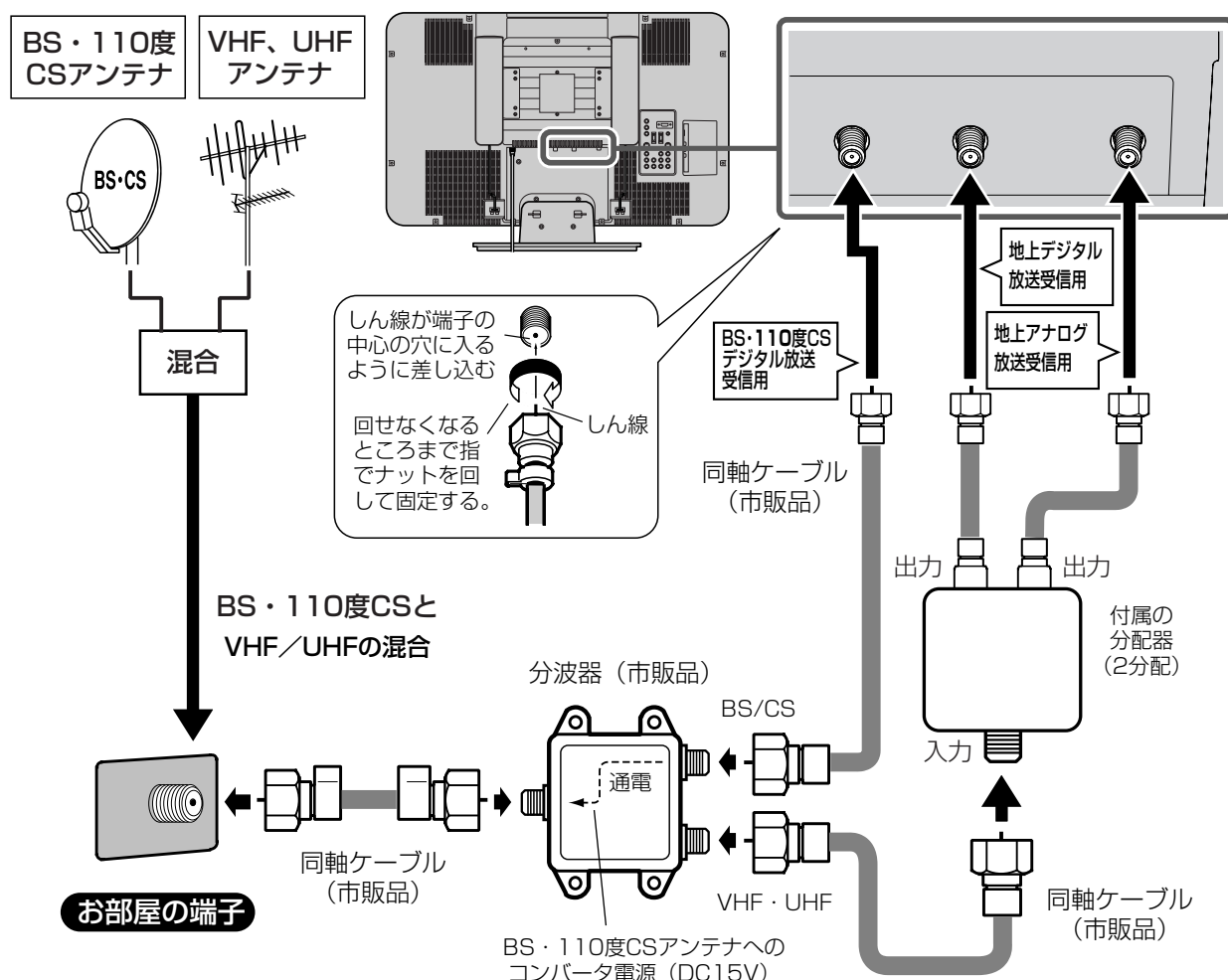
マンションの管理会社などに受信が可能かお問い合わせください。既存の設備で受信できない場合はベランダなどにBS・110度CSアンテナを設置する必要がありますが、衛星の方向（南西）に障害物があると受信できません。

■こんなときは

- これまでに使っていたBSアンテナでも、性能や方向調整が十分な場合はBSデジタル放送を受信できます。ただし、110度CSデジタル放送の受信にはBS・110度CSアンテナが必要です。
- スカイパーフェクTV！のアンテナでは110度CSデジタル放送は受信できません。

アンテナの接続（つづき）

お部屋に引き込まれているアンテナが地上（VHF／UHF）とBS・110度CSの混合のときは、市販の分波器を使ってこのページのように接続できます。

地上とBS・110度CSが混合のときの接続例

ご注意

- アンテナの取扱説明書もよくお読みください。
- ビデオ機器と組合わせるときは200ページをご覧ください。
- BS・110度CS用のアンテナ入力にVHF／UHFのアンテナ線を接続しないでください。故障の原因になります。
- BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子のDC15Vがショートしますと、回路保護のためBS・CSコンバータ電源設定が自動的に「切」になります。ショートの原因を解決したあと、電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込んでから、BS・CSコンバータ電源を再設定してください。VHF／UHF用のアンテナプラグを差し込むとショートする場合がありますのでご注意ください。
- 付属の分配器は地上放送アンテナの分配にお使いください。入力端子から入力したアンテナ信号を2つの出力端子へ分配して出力します。
- 市販の分波器は電流通過型のものを使い、「通電」と表示された「CS/BS-IF」端子のケーブルを本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子へ接続してください。本機から分波器を経由してBS・110度CSアンテナへコンバータ電源が供給できないとBS・110度デジタル放送が受信できません。（共同受信の場合を除く）
- 110度CSデジタル放送を受信するには、110度CSデジタル放送の受信に対応したBS・110度CSアンテナの設置が必要です。またBS・110度CSアンテナから本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子へ至る経路（混合器、分岐器、分波器、ブースター、ケーブル、コネクタ等）が、110度CSデジタル放送の広帯域に対応していない場合やシールド性能などが十分でない場合は受信できません。

電話回線の接続

デジタル放送では、テレビ受信機(本機)と放送局の間を電話回線でつないで通信を行います。本機をご家庭の電話コンセントに接続してご使用ください。

次のサービスを利用するときは必ず電話回線に接続してください。接続しないと利用できません。
- データ放送の双方向サービスの利用
- 有料放送のPPV(ペイパービュー)番組の購入

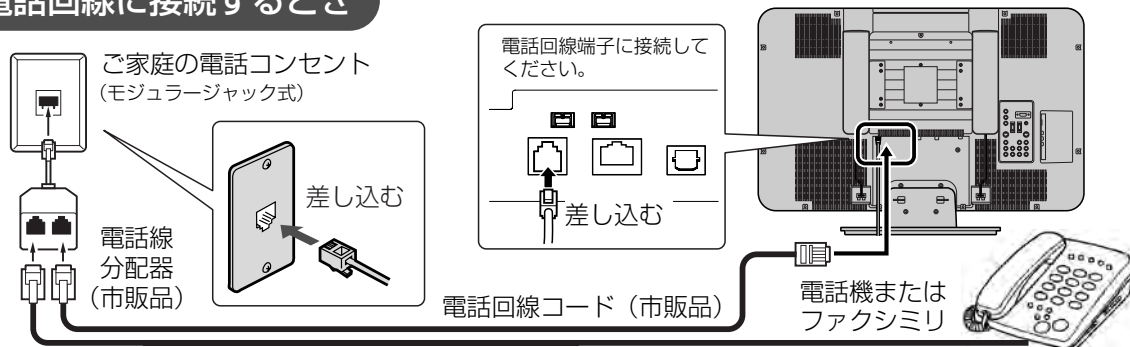
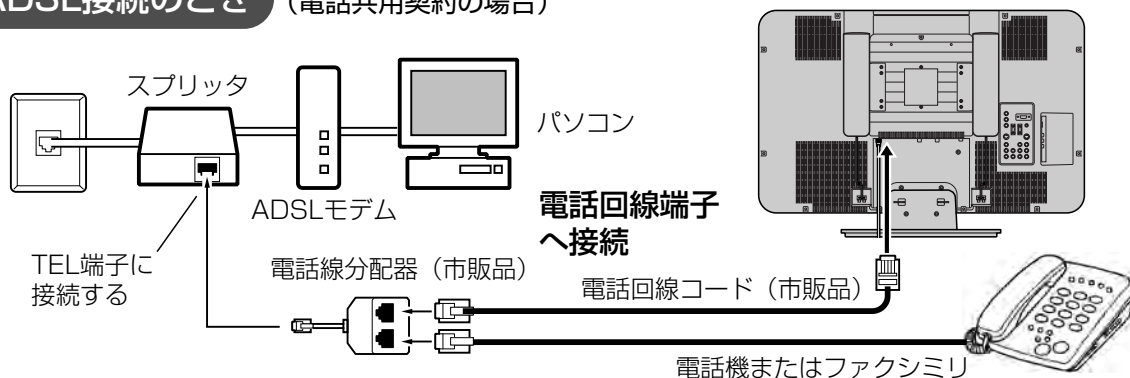
接続するときのご注意

- 接続は、本機と電話機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電話機の取扱説明書もよくお読みください。
- 電話線のプラグは、モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込んでください。
- 構内交換機やその他の専用線の中には通信に使用できないものがあります。(ホームテレホン、ビジネスホン、6芯のものなど)

接続の後に確認してください

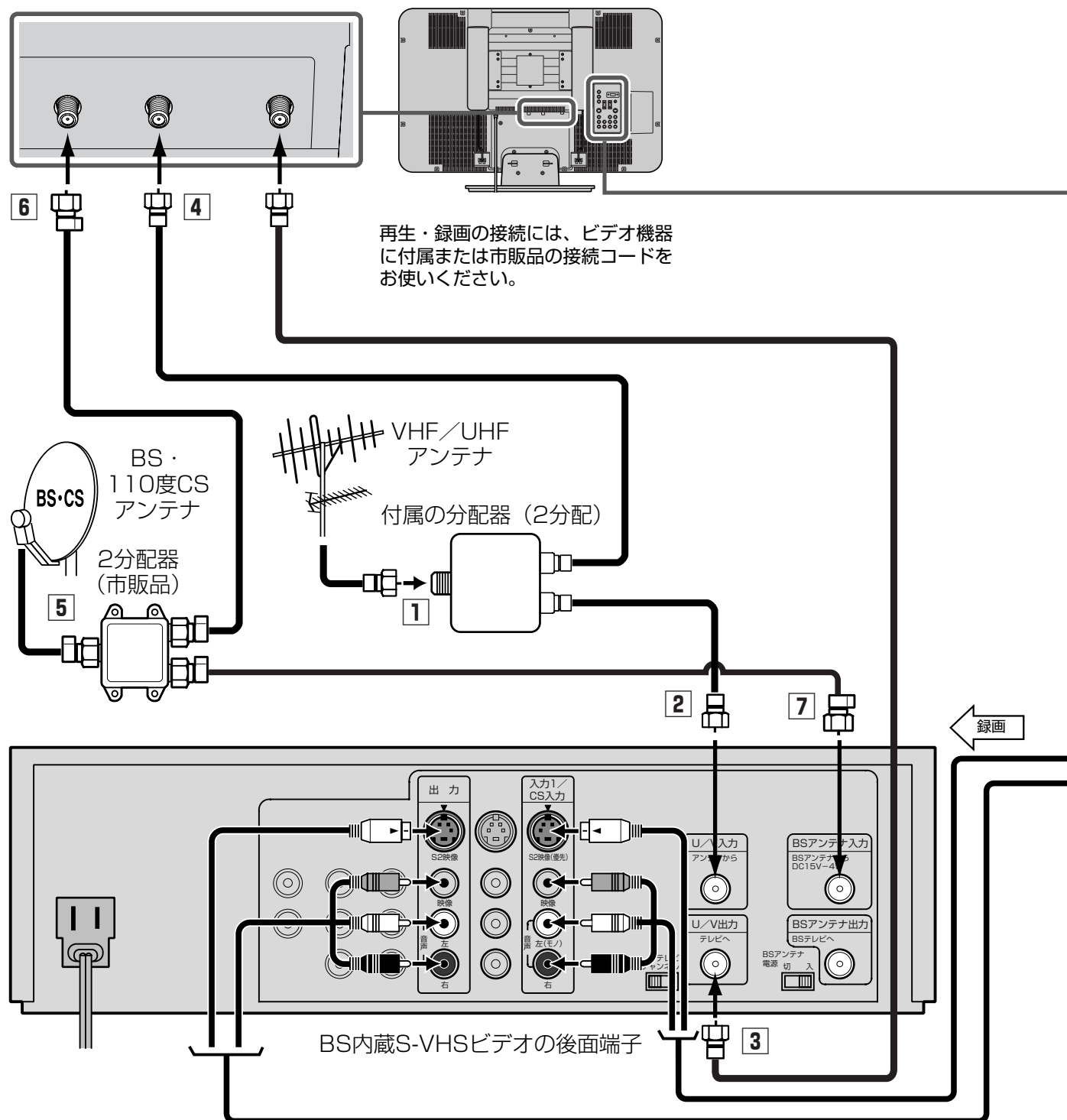
① まず電話コンセント・本機・電話機が電話線で正しくつながっているか確認します。
② 電話機の電源プラグをコンセントに差し込み、受話器を上げて発信音が聴こえることを確認します。「117(時報)」などをダイヤルして通話できることを確認してください。
③ 最後に本機の電源プラグをコンセントへ差し込みます。

接続例

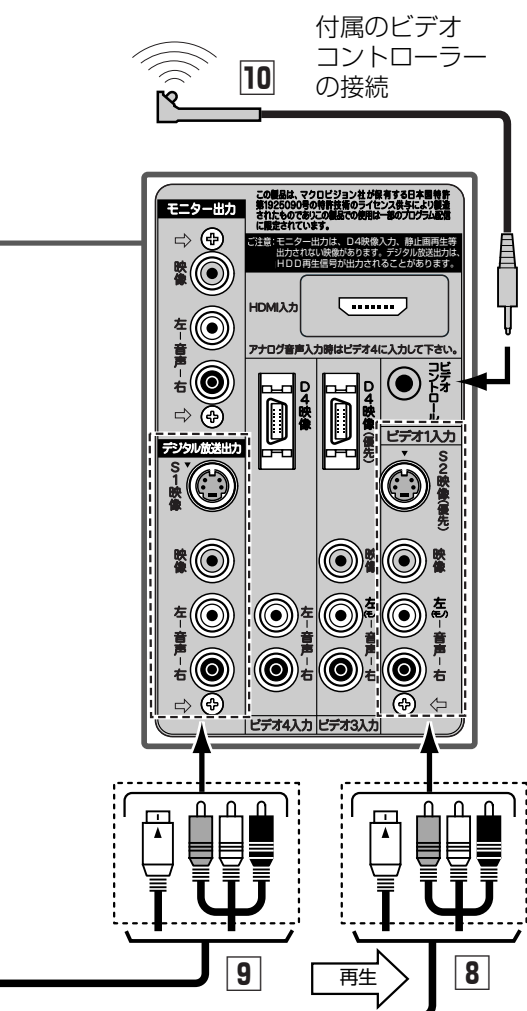
電話回線に接続するとき

ADSL接続のとき (電話共用契約の場合)

お知らせ
- 本機から発信するときに、接続したファクシミリが通信状態になる場合は、電話線分配器を使わずに市販の自動転換機(秘話式)を使って接続してください。
- お部屋の電話回線端子がモジュラージャック式でない場合は、NTTまたは販売店にご相談ください。
- ISDN回線の場合はターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。

録画機器を接続する（ビデオ/DVDレコーダー）

デジタル放送を録画したり再生するためのビデオ機器を接続します。

録画/再生用ビデオ機器のつなぎかた

- 接続するビデオ機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ビデオ機器側の端子の呼び名はメーカーや機種によって異なります。

ご注意

この例のようにBS内蔵ビデオ機器を接続したときは、本機の電源を切っていても、BS内蔵ビデオでBS放送が受信できるよう、BS内蔵ビデオ機器のBSアンテナ電源スイッチを「入」にします。

★BS・110度CSアンテナの同軸ケーブルや分配器には、110度CSデジタル放送の広帯域に対応したデジタル放送用のものをお使いください。十分でない性能のものですとBSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信できないことがあります。

★この例のようにBS内蔵のビデオ機器を接続するときは、本機の電源を切っていても、BS内蔵ビデオ機器でBS放送を受信できるよう、分配器には全端子電流通過型のものをお使いください。

接続のしかた

次のように接続します。

1 VHF／UHFアンテナを接続する

1 VHF／UHFアンテナのアンテナ線を、付属の分配器の入力端子へつなぎます。
2 分配器の出力を、ビデオ機器のU／V入力端子へつなぎます。
3 ビデオ機器のU／V出力端子を本機の地上アンテナ入力端子へつなぎます。
4 分配器の出力のもう一方を、本機の地上デジタルアンテナ入力端子へつなぎます。

2 BS・110度CSアンテナを接続する

(BS内蔵ビデオのとき)
5 BS・110度CSアンテナのケーブルを、2分配器(110度CSデジタル放送対応の市販品)の入力側につなぎます。
6 2分配器の出力の一方を、本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子へつなぎます。
7 2分配器の出力のもう一方を、ビデオ機器のBSアンテナ入力端子につなぎます。

3 「ビデオ再生」の接続をする

8 ビデオ機器の出力(映像、S端子付きのときはS映像、音声左・右)を本機のビデオ1入力端子につなぎます。再生はビデオ1画面で見られます。

4 デジタル放送録画の接続をする

9 本機のデジタル放送出力(映像、S映像、音声左・右)をビデオ機器の入力(外部)につなぎます。

5 ビデオコントローラーの接続をする

10 付属のビデオコントローラーを本機のビデオコントロール端子につなぐと、デジタル放送の番組予約録画が行えます。(☞131ページ)

VHF／UHFアンテナ、BS・110度CSアンテナの接続については☞196～198ページもご覧ください。

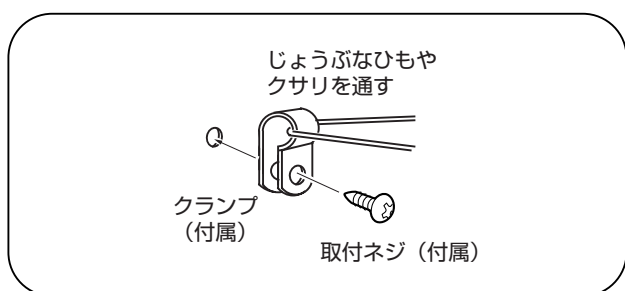
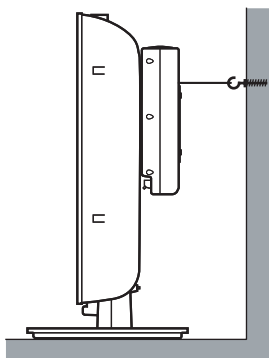
転倒防止策を行う

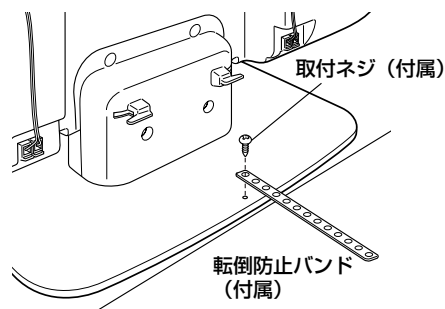
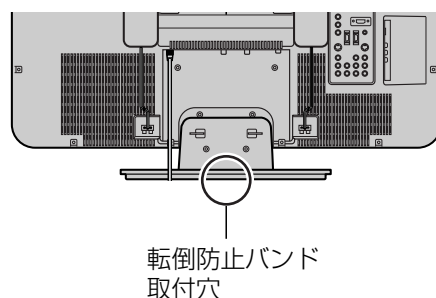
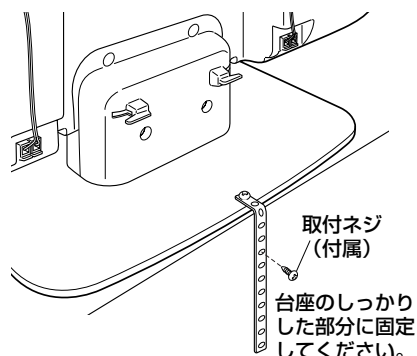
安全確保と事故防止のため転倒防止策を行ってください

⚠注意

ご使用中や地震のときの安全確保のため、下記の転倒防止策を実施してください。

本体を壁などに取り付ける

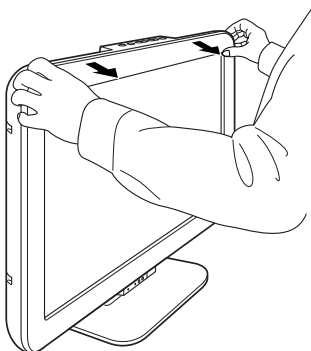
1 テレビ後面に、ネジ（付属）で付属のクランプを取り付けます。

2 クランプにじょうぶなひもやクサリを通し、壁や柱など、強固な部分にしっかりと取り付けます。

スタンドを台などに取り付ける

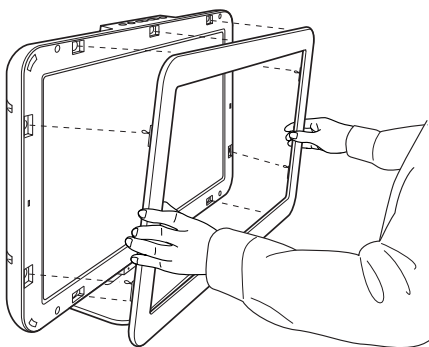
1 スタンドの後ろにある穴に、転倒防止バンドを取り付ける

2 転倒防止バンドを台などへ取り付ける

ご注意

- ひも・クサリ・ネジなどは市販品をご利用ください。
- 移動させるときは転倒防止策をはずしてください。
- 設置する台がキャスター（車）つきのときは、止め具をしてください。
- 万一、地震などのときにテレビが倒れてくる場所には就寝しないでください。

別売の着せ替えフレームに交換するとき

キャビネット前面のフレーム部分は、数種類の色が用意された別売の着せ替えフレームと交換して、インテリアとのコーディネートが楽しめます。

- キャビネット前面のフレーム部分は少しの力で取り外せるようになっています。テレビを持ち上げるときなどにフレーム部分を持たないでください。落下などによりケガや破損の原因となることがあります。
- フレーム部分とキャビネットの間に指などをはさまないようにご注意ください。ケガの原因となることがあります。

■取り外すとき

図のようにフレーム部分に指をかけ、手前に引くと止め具が外れます。10カ所の止め具すべてをはずすと、フレーム部分が取り外せます。

■取り付けるとき

フレーム部分の止め具をキャビネットの止め具にはまるように位置を合わせ、軽く押して止めます。まず電源ランプ部分の位置を合わせ、下部の方から止めてください。10カ所の止め具すべてをはめ込んでフレーム部分を取り付けます。

お願い

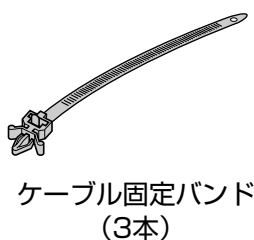
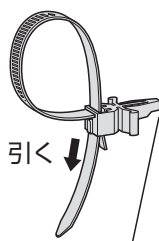
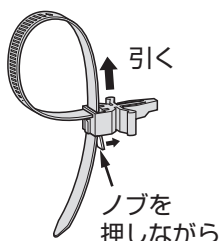
別売の着せ替えフレームの品番などについてはカタログ等をご覧ください。また、販売店に注文される際は、型（27V型用と32V型用があります）と色をよくご確認ください。

ご注意

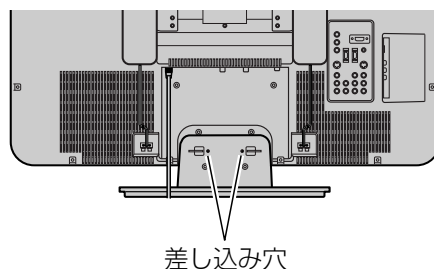
- 取り外したフレーム部分に力を加えないでください。破損する恐れがあります。
- 上下を正しく取り付けてください。上下が逆ですと電源ランプの部分が当たって正しく取り付けられません。

ケーブル類のまとめかた

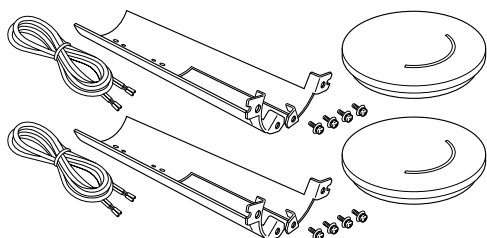
アンテナケーブルや接続した機器のケーブル類は、付属のケーブル固定バンドでまとめておくことができます。

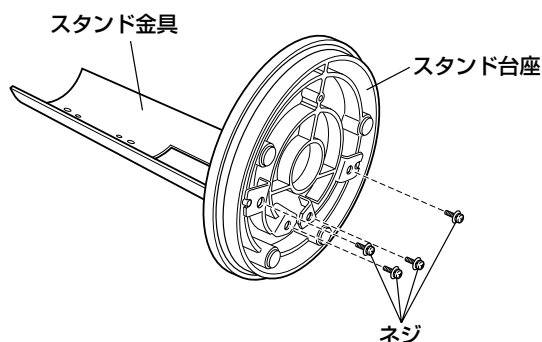
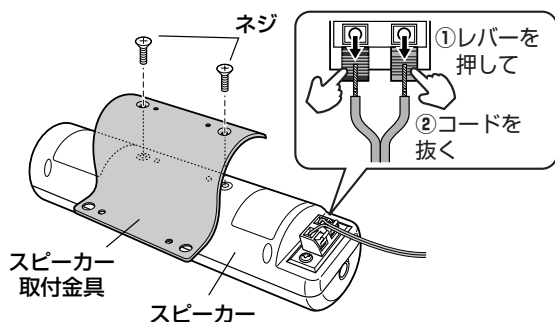
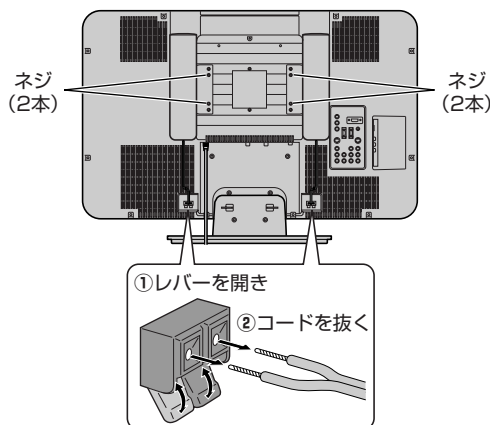
ケーブル固定バンドの使いかた

ケーブル固定バンドは、ケーブル類を束ねて左の図のように締めて固定することができます。さらにテレビ背面の下図の穴に差し込んで固定することもできます。

ケーブル固定バンド
（3本）

締めかた　　**緩めかた**

スピーカーを取り外して使うとき

本機のスピーカーはテレビから取り外し、付属のスタンドに立てて設置することができます。

使用する付属品：
スピーカースタンド　　2セット
（スピーカーコード 2m、スタンド金具、ネジ、スタンド台座）

推奨設置位置

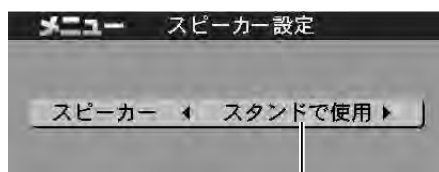
横方向はテレビ本体からスピーカー1個分ほど離した位置、前後方向は画面と同じか、画面より少し前の位置に置かれることをお勧めします。

1. スピーカーを取り外す

① 後面のスピーカー出力端子から、左右のスピーカーコードを外します。端子のレバーを押し下げ、スピーカーコードを抜きます。
② 図のネジ（片側2本、計4本）を抜き取り、スピーカーを取り付け金具ごと取り外します。
③ スピーカーを取り付け金具に固定しているネジ（片側2本）を抜き取り、スピーカーから取り付け金具を取り外します。スピーカーと取り付け金具の間にはさんであるクッションシートと、抜き取ったネジは後で使います。
④ スピーカーの端子から、スピーカーコードを外します。端子のレバーを押してスピーカーコードを抜きます。

お知らせ

スピーカーを取り外したときに使わなくなった取り付け金具とスピーカーコードは、再びスピーカーをテレビ本体に取り付けるときのために保管しておいてください。

2. スタンドを組み立てる

スタンド台座の底面からスタンド金具を通し、ネジ4本で締めて固定します。もう一方のスタンドも同様に組み立てます。

3. スタンドにスピーカーを取り付ける

① 図のようにスピーカー背面とスタンド金具内側の間にクッションシートをはさみ、ネジ（片側2本）で固定します。クッションシートとネジは、テレビ本体からスピーカーを取り外したときのものを使います。

4. スピーカーコードをつなぐ

＋と－の接続を間違えないようにご注意ください。

② 付属のスピーカーコード（2m）の先端を図のように準備し、スピーカーの端子へ取り付けます。端子のレバーを押してスピーカーコードの芯線を差し込み、指を離すとはさみこまれます。
- スピーカーコードの黒い線が入った方を黒の端子（－）に、黒い線が入っていない方を赤の端子（＋）に接続します。

③ スピーカーコード（2m）のもう一方の端を、テレビ本体のスピーカー出力端子へ接続します。端子のレバーを押し下げ、スピーカーコードの芯線を差し込み、レバーを戻すとはさみこまれます。
- 左右両方のスピーカーを、スピーカーコードで左右のスピーカー出力端子へ接続します。

メニューの「スピーカー設定」画面

「スタンドで使用」に設定

5. スピーカー設定を変更する

本機のスピーカーを取りはずし、スタンドに立てて使用するときは情報・調整メニューの「スピーカー設定」を「スタンドで使用」に設定して使用してください。スピーカーをテレビから離して使用する状況に合った音の特性に切り換わります。

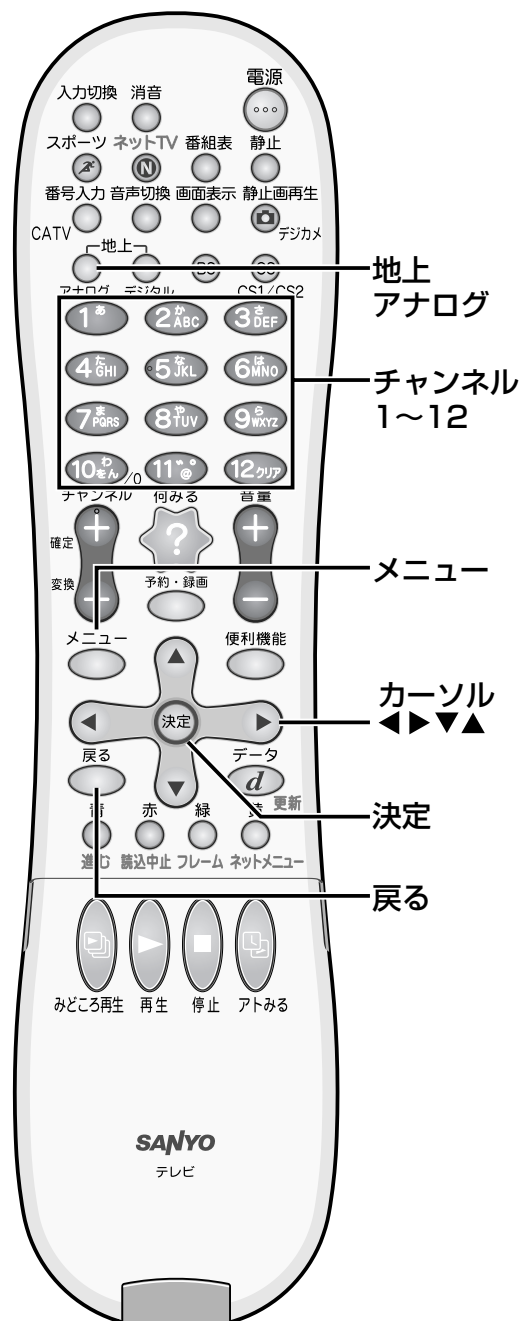
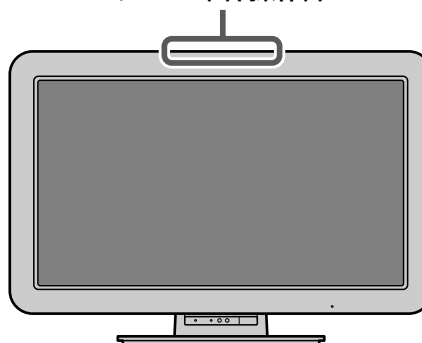
① **メニュー**ボタンを押してメニュー表示を出します。
② **カーソル◀▶**ボタンを押して「情報・調整」を選びます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「スピーカー設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
④ **カーソル◀▶**ボタンを押して「スタンドで使用」を選び、**決定**ボタンを押します。

「スピーカー設定」については 58ページもご覧ください。

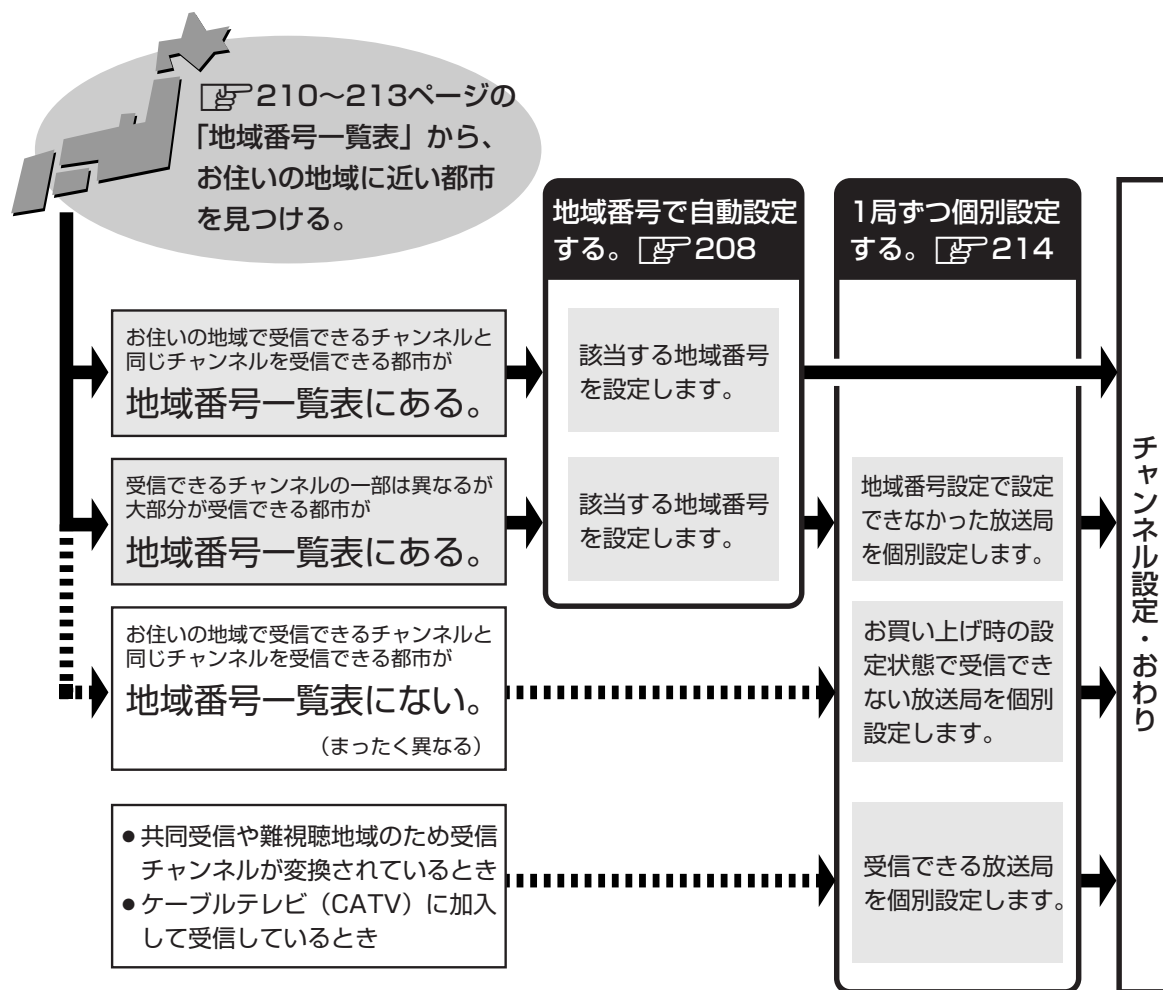
準備と設定（設定編）

この章では、ご使用になる際に必要な準備と設定のうちの設定について説明します。

【設定編・地上アナログ放送のチャンネル設定】

設定編・デジタル放送の設定】

受信チャンネルの設定（地上アナログ放送）

地上アナログ放送のチャンネルは地域によって異なります。お住まいの地域で受信できるチャンネルを設定してご覧ください。本機には、地域番号を入力して自動設定する方法と、1局ずつ個別に設定する方法があります。

チャンネル設定の進めかた

こんなときは

チャンネル表示を書き換えたり微調整するときは下記のページをご覧ください。

- 新聞などの番組覧のチャンネル表示に合わせるとき（表示の変更） 216
- きれいに映らないチャンネルがあるとき（チャンネルの微調整） 216
- チャンネルを飛び越したいとき（チャンネルのスキップ設定） 216
- GR（ゴーストリダクション）の設定を変えるとき 218

■映っていたチャンネルが映らなくなったとき

本機では、地上デジタル放送の開始に先立って地域によって行われることがある「アナログ周波数変更（アナアナ変更）」で受信できなくなったチャンネルを設定し直すため、チャンネルボタンごとに個別設定する方法を用意しています。217

お知らせ

- お買い上げ時（工場出荷時）は1〜12ボタンにVHFの1〜12チャンネルを設定しています。
- スキップ設定が「する」に設定されたチャンネルは、チャンネル－/＋ボタンで選局したときに飛び越します。
- 地上アナログ放送のチャンネル設定は、地上アナログ放送以外の画面ではできません。地上アナログ放送以外の画面ではメニューの「チャンネル設定」が灰色で表示され、設定できません。

地域番号で自動設定するとき

210〜213ページの一覧表に掲載されている地域番号を設定すると、その番号の地域で受信できるチャンネルが自動で設定されます。

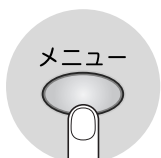
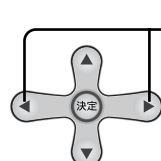
210〜213ページの「地域番号一覧表」から
お住いの地域の番号を探してください。

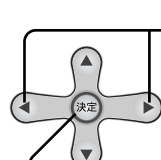
お住いの地域の地域番号

都市名	地域番号

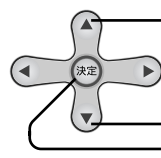
地域番号設定のしかた

地上アナログボタンを押して、地上アナログ放送の画面に切り換える

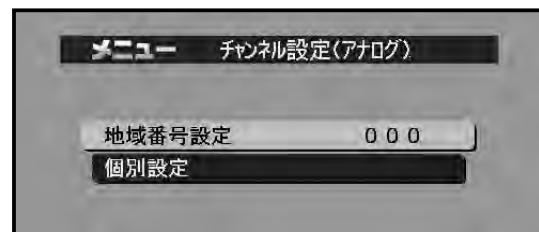
受信チャンネルの設定は地上アナログ放送の画面で行ってください。地上アナログ放送以外の画面ではメニューの「チャンネル設定（アナログ）」が暗く表示され、設定できません。

メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

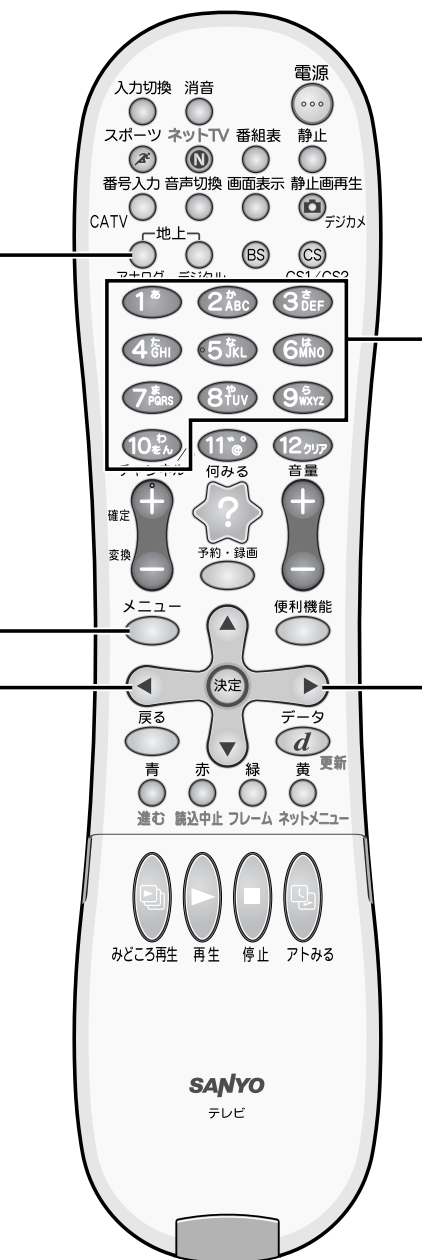
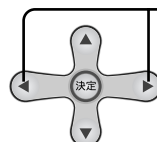
カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「TV機能」を選ぶ

カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「チャンネル設定（アナログ）」を選び、

決定ボタンを押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

カーソル▼▲ ボタンを押して、「地域番号設定」を選び、

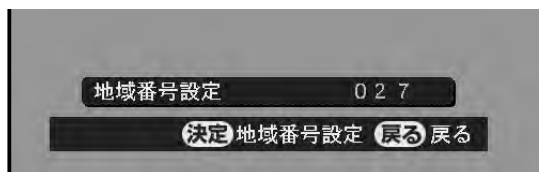
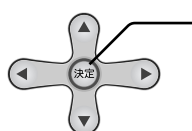
決定ボタンを押す

地域番号を設定する画面に変わります。

お知らせ

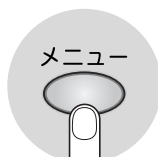
- 地域番号は表のとおりに3桁で入力してください。3桁で入力しないと設定されません。
- テレビ本体の**メニュー、決定、▲▼ ◀ ▶**ボタンでも設定できます。

6 0～9の数字ボタンまたは、

カーソル◀▶ボタンで地域番号を設定する

◀▶ボタンでは000～160まで順に設定できます。

（例）大阪「027」のとき

●0（ゼロ）は「10」ボタンで入力します。

7 **決定ボタンを押す**

入力した地域番号の受信チャンネルが設定されます。

■地域番号設定で設定できなかった放送局を追加するときは個別設定をします。（☞214ページ）
■表示だけを変更するとき（☞216ページ）
■微調整が必要なとき（☞216ページ）

8 **メニューボタンを押して、表示を消す（設定終了）**

※設定したあとは、希望のチャンネルが受信できることを確認してお使いください。

設定編

準備と設定

地域番号一覧表

お買い上げ時(工場出荷時)の設定状態

工場出荷時	地域番号	表示チャンネル、(受信チャンネル)、放送局名											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

全国の地域番号と受信チャンネル

受信チャンネルと表示チャンネルが異なるときのみ受信チャンネルを(　)内に示します。

都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
北海道	札幌	001	北海道放送 1	テレビ北海道 17	NHK総合 3	北海道文化 27	札幌テレビ 5	北海道テレビ 35						NHK教育 12
	旭川	048	テレビ北海道 33	NHK教育 2	北海道文化 37	北海道テレビ 39			札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	北見	049	北海道放送 53	NHK教育 2	北海道文化 59	北海道テレビ 61			札幌テレビ 7		NHK総合 9			
	帯広	050	北海道文化 32	北海道テレビ 34		NHK総合 4		北海道放送 6				札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路	051	北海道テレビ 39	NHK教育 2	北海道文化 41				札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	函館	052	テレビ北海道 21	北海道文化 27	北海道テレビ 35	NHK総合 4		北海道放送 6				NHK教育 10		札幌テレビ 12
	小樽	069	テレビ北海道 24	NHK教育 2	北海道文化 26	北海道テレビ 4			札幌テレビ 7		北海道放送 9		NHK総合 11	
	室蘭	070	テレビ北海道 29	NHK教育 2	北海道文化 37	北海道テレビ 39			札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	苫小牧	071	テレビ北海道 47	NHK教育 49	NHK総合 51	北海道文化 53	北海道放送 55	札幌テレビ 57	北海道テレビ 61					
	名寄	101	北海道テレビ 24	北海道文化 26		NHK総合 4		札幌テレビ 6				北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内	102	札幌テレビ 22	北海道テレビ 24	北海道文化 26	NHK総合 28	NHK教育 30					北海道放送 10		
	網走	103	北海道放送 1	北海道文化 27	NHK総合 3	北海道テレビ 35	札幌テレビ 5							NHK教育 12
	根室	104	北海道テレビ 60	NHK教育 2	北海道文化 62				札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
青森	青森	002	青森放送 1	青森朝日 34	NHK総合 3	青森テレビ 38	NHK教育 5							
	八戸	053	岩手めんこい 29	岩手放送 2	青森朝日 31	青森テレビ 33	テレビ岩手 37	岩手朝日 27	NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	
	むつ	105	青森朝日 56	青森テレビ 58		NHK総合 4						青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡	003	岩手朝日 31	岩手めんこい 33	テレビ岩手 35	NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8				
	釜石	106	NHK総合 2			テレビ岩手 58	岩手めんこい 60	岩手朝日 62				岩手放送 10		NHK教育 12
	一関	151	岩手朝日 23	NHK教育 2	岩手めんこい 25	テレビ岩手 37					NHK総合 9		岩手放送 11	
	二戸	107	岩手朝日 27	岩手放送 2	岩手めんこい 29	テレビ岩手 37	NHK総合 5							NHK教育 12
宮城	仙台	004	東北放送 1	東日本放送 32	NHK総合 3	宮城テレビ 34	NHK教育 5							仙台放送 12
	石巻	072	NHK教育 49	NHK総合 51	宮城テレビ 55	仙台放送 57	東北放送 59	東日本放送 61						
	気仙沼	108	宮城テレビ 37	NHK総合 2	東日本放送 43	東北放送 4		仙台放送 6				NHK教育 10		
秋田	秋田	005	秋田朝日 31	NHK教育 2	秋田テレビ 37						NHK総合 9		秋田放送 11	
	大館	054	青森放送 1	秋田テレビ 57	秋田朝日 59	NHK総合 4		秋田放送 6		NHK教育 8				
	大曲·横手	109	秋田朝日 41	NHK教育 43	NHK総合 45	秋田放送 47	秋田テレビ 51							
山形	山形	006	さくらんぼテレビ 30	テレビユー山形 36	山形テレビ 38	NHK教育 4				NHK総合 8		山形放送 10		
	鶴岡·酒田	055	山形放送 1	テレビユー山形 22	NHK総合 3	さくらんぼテレビ 24	山形テレビ 39	NHK教育 6						
	米沢	110	NHK教育 50	NHK総合 52	山形放送 54	テレビユー山形 56	山形テレビ 58	さくらんぼテレビ 60						
	新庄	111	テレビユー山形 26	NHK教育 2	さくらんぼテレビ 28	山形テレビ 58					NHK総合 9		山形放送 11	
福島	福島·郡山	007	テレビユー福島 31	NHK教育 2	福島中央 33	福島放送 35					NHK総合 9		福島テレビ 11	
	いわき	057	テレビユー福島 32	福島中央 34	福島放送 36	NHK総合 4				福島テレビ 8		NHK教育 10		
	会津若松	056	NHK総合 1	福島中央 37	NHK教育 3	福島放送 41	テレビユー福島 47	福島テレビ 6						
	原町	152	福島放送 48	テレビユー福島 50	福島中央 58	NHK教育 4				NHK総合 8		福島テレビ 10		
茨城	水戸	008	NHK総合 1(44)	千葉テレビ 46(39)	NHK教育 3(46)	日本テレビ 4(42)		TBSテレビ 6(40)		フジテレビ 8(38)		テレビ朝日 10(36)		テレビ東京 12(32)
	日立	073	NHK総合 1(52)	千葉テレビ 46(46)	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		TBSテレビ 6(56)		フジテレビ 8(58)		テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)

都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
栃木	宇都宮	009	NHK総合 1(51)	とちぎテレビ 31	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)		TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(41)		テレビ東京 12(44)
	矢板	068	NHK総合 1(40)	とちぎテレビ 33	NHK教育 3(30)	日本テレビ 4(36)		TBSテレビ 6(42)		フジテレビ 8(45)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
	今市	153	NHK総合 1(52)	群馬テレビ 48	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		TBSテレビ 6(56)		フジテレビ 8(58)		テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
群馬	前橋	010	NHK総合 1(52)		NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)	群馬テレビ 48	TBSテレビ 6(56)	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8(58)	放送大学 16(40)	テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
	桐生	074	NHK総合 1(51)	放送大学 16(40)	NHK教育 3(57)	日本テレビ 4(53)	群馬テレビ 48(41)	TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(35)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
埼玉	さいたま	011	NHK総合 1	放送大学 16	NHK教育 3	日本テレビ 4	テレビ埼玉 38	TBSテレビ 6	千葉テレビ 46	フジテレビ 8	群馬テレビ 48	テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	熊谷·児玉	075	NHK総合 1(51)	放送大学 16	NHK教育 3(35)	日本テレビ 4(53)	テレビ埼玉 38(30)	TBSテレビ 6(55)	群馬テレビ 48	フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
	秩父	112	NHK総合 1(14)		NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(16)	テレビ埼玉 47	TBSテレビ 6(18)		フジテレビ 8(29)		テレビ朝日 10(38)		テレビ東京 12(44)
千葉	千葉	012	NHK総合 1	放送大学 16	NHK教育 3	日本テレビ 4	テレビ埼玉 38	TBSテレビ 6	テレビ神奈川 42	フジテレビ 8	千葉テレビ 46	テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	成田	154	NHK総合 1(51)	千葉テレビ 46	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)		TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
	銚子	113	NHK総合 1(51)	千葉テレビ 39	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)		TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
東京	東京	013	NHK総合 1	東京メトロポリタン 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBSテレビ 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
	八王子	076	NHK総合 1(33)	東京メトロポリタン 14	NHK教育 3(29)	日本テレビ 4(35)	放送大学 16	TBSテレビ 6(37)	テレビ神奈川 42	フジテレビ 8(31)		テレビ朝日 10(45)		テレビ東京 12(62)
	多摩	077	NHK総合 1(49)	放送大学 16	NHK教育 3(47)	日本テレビ 4(51)	東京メトロポリタン 61	TBSテレビ 6(53)	テレビ神奈川 42	フジテレビ 8(55)		テレビ朝日 10(57)		テレビ東京 12(59)
神奈川	横浜	014	NHK総合 1	放送大学 16	NHK教育 3	日本テレビ 4	テレビ神奈川 42	TBSテレビ 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	平塚	078	NHK総合 1(33)	放送大学 16	NHK教育 3(29)	日本テレビ 4(35)	テレビ神奈川 42(31)	TBSテレビ 6(37)		フジテレビ 8(39)		テレビ朝日 10(41)		テレビ東京 12(43)
	秦野	079	NHK総合 1(47)	テレビ神奈川 42(61)	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(51)		TBSテレビ 6(53)		フジテレビ 8(55)		テレビ朝日 10(57)		テレビ東京 12(59)
	小田原	080	NHK総合 1(52)	テレビ神奈川 42(46)	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		東京放送 6(56)		フジテレビ 8(58)		テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
	横浜みなと	114	NHK総合 1(52)	テレビ神奈川 48	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		TBSテレビ 6(56)		フジテレビ 8(58)		TV朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
	南足柄	155	NHK総合 1(51)	テレビ神奈川 45	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)		TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
新潟	新潟	015	新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟総合 35		新潟放送 5			NHK総合 8				NHK教育 12
	上越	081	NHK教育 1	テレビ新潟 27	NHK総合 3	新潟総合テレビ 33	新潟テレビ21 37					新潟放送 10		
山梨	甲府	019	NHK総合 1	テレビ山梨 37	NHK教育 3		山梨放送 5							
長野	長野 (美ヶ原)	020	長野朝日 20	NHK総合 2	テレビ信州 30	長野放送 38					NHK教育 9		信越放送 11	
	松本	083	信越放送 40	長野放送 42	NHK総合 44	NHK教育 46	テレビ信州 48	長野朝日 50						
	飯田	058	長野放送 40	テレビ信州 42	NHK教育 3	NHK総合 4	長野朝日 44	信越放送 6						
	長野 (善光寺平)	115	テレビ信州 40	NHK総合 2(44)	長野放送 42	信越放送 48	長野朝日 50				NHK教育 9(46)			
	岡谷·諏訪	116	長野放送 47	テレビ信州 59	長野朝日 61	NHK総合 4		信越放送 6		NHK教育 8				
富山	富山	016	北日本放送 1	チューリップ 32	NHK総合 3	富山テレビ 34		北陸放送 6				NHK教育 10		
	高岡	082	北日本放送 1(50)	チューリップ 42	NHK総合 3(48)	富山テレビ 44						NHK教育 10(46)		
石川	金沢	017	北陸朝日 25	テレビ金沢 33	石川テレビ 37	NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8				
	七尾	117	石川テレビ 55	テレビ金沢 57	北陸朝日 59		NHK教育 5				NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井	018	福井テレビ 39		NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	
	敦賀	118	福井テレビ 38					NHK総合 6		福井放送 8				NHK教育 12
岐阜	岐阜	021	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35	岐阜放送 37		NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
	高山	119	中京テレビ 26	NHK教育 2	岐阜放送 38	NHK総合 4		中部日本放送 6		東海テレビ 8				名古屋テレビ 12
	中津川	120	中京テレビ 26	岐阜放送 28		NHK総合 4		名古屋テレビ 6		中部日本放送 8		東海テレビ 10		NHK教育 12
	長良	121	中京テレビ 47	NHK教育 49	NHK総合 53	中部日本放送 55	東海テレビ 57	名古屋テレビ 59	岐阜放送 61					
	各務原	122	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35	岐阜放送 37		NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
静岡	静岡	022	静岡第一 31	NHK教育 2	静岡朝日 33	テレビ静岡 35					NHK総合 9		静岡放送 11	
	富士	084	静岡第一 27	静岡朝日 29	テレビ静岡 39	静岡放送 41	NHK総合 52	NHK教育 54						
	三島·沼津	085	NHK教育 51	NHK総合 53	静岡放送 55	静岡朝日 57	テレビ静岡 59	静岡第一 61						
	浜松	059	テレビ愛知 25	静岡朝日 28	静岡第一 30	NHK総合 4	テレビ静岡 34	静岡放送 6		NHK教育 8				

地域番号一覧表（つづき）

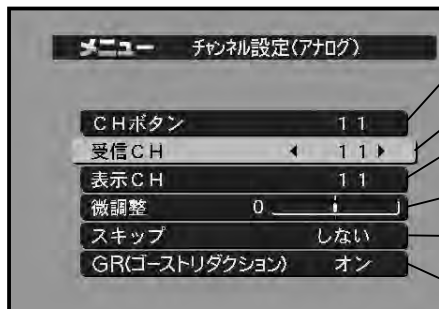
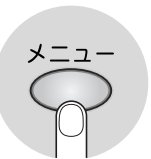
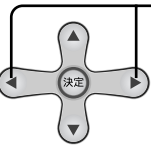
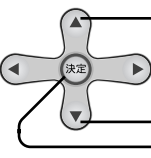
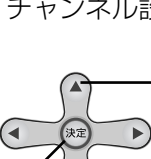
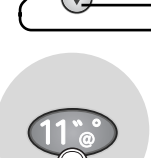
都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
静岡	島田	123	NHK総合 1	静岡第1 48	NHK教育 3	静岡朝日 50	静岡放送 5	テレビ静岡 58						
	藤枝	124	静岡第1 24	静岡朝日 26	テレビ静岡 38	静岡放送 40	NHK総合 42	NHK教育 44						
愛知	名古屋	023	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35	岐阜放送 37		NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
	豊田	086	テレビ愛知 49	NHK教育 51	NHK総合 53	中部日本放送 55	東海テレビ 57	中京テレビ 59	名古屋テレビ 61					
	豊橋	087	NHK教育 50	テレビ愛知 52	NHK総合 54	東海テレビ 56	中京テレビ 58	名古屋テレビ 60	中部日本放送 62					
	蒲郡田原	156	テレビ愛知 32	中部日本放送 36	東海テレビ 38	中京テレビ 40	名古屋テレビ 42	NHK総合 44	NHK教育 46					
三重	津	024	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35			NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
	伊勢	088	中京テレビ 47	NHK教育 49	NHK総合 53	中部日本放送 55	東海テレビ 57	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61					
	名張	125	NHK教育 50	NHK総合 52	中京テレビ 54	名古屋テレビ 56	三重テレビ 58	中部日本放送 60	東海テレビ 62					
滋賀	大津	025	琵琶湖放送 30	NHK総合 2(28)	京都放送 34	毎日放送 4(36)		朝日放送 6(38)		関西テレビ 8(40)		読売テレビ 10(42)		NHK教育 12(46)
	彦根	089	琵琶湖放送 30(56)	NHK総合 2(52)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(50)
京都	京都	026	テレビ大阪 19	NHK総合 2(32)	京都放送 34	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞鶴	126	京都放送 34(57)	NHK総合 2(51)		毎日放送 4(53)		朝日放送 6(55)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(49)
	福知山	127	京都放送 34(56)	NHK総合 2(50)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(52)
	山科	128	京都放送 34(62)	NHK総合 2(52)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(56)		関西テレビ 8(58)		読売テレビ 10(60)		NHK教育 12(50)
大阪	大阪	027	テレビ大阪 19	NHK総合 2	京都放送 34	毎日放送 4	サンテレビ 36	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸	028	テレビ大阪 19	NHK総合 2(28)	サンテレビ 36	毎日放送 4(31)		朝日放送 6(41)		関西テレビ 8(43)		読売テレビ 10(47)		NHK教育 12(45)
	神戸VHF 受信地区	027	テレビ大阪 19	NHK総合 2	京都放送 34	毎日放送 4	サンテレビ 36	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	神戸灘	090	テレビ大阪 19	NHK総合 2(52)	サンテレビ 36(62)	毎日放送 4(54)		朝日放送 6(56)		関西テレビ 8(58)		読売テレビ 10(60)		NHK教育 12(50)
	川西	091	サンテレビ 36(33)	NHK総合 2(29)		毎日放送 4(35)		朝日放送 6(37)		関西テレビ 8(39)		読売テレビ 10(41)		NHK教育 12(31)
	北淡・垂水 地区	066	テレビ大阪 19	NHK総合 2(51)	サンテレビ 36(55)	毎日放送 4(53)		朝日放送 6(57)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(49)
	明石・ 加古川	092	テレビ大阪 19	NHK総合 2(51)	サンテレビ 36(55)	毎日放送 4(53)		朝日放送 6(57)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(49)
	姫路	093	テレビ大阪 19	NHK総合 2(50)	サンテレビ 36(56)	毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(52)
	三木	129	サンテレビ 36	NHK総合 2(44)		毎日放送 4(34)		朝日放送 6(38)		関西テレビ 8(40)		読売テレビ 10(42)		NHK教育 12(46)
	長田	130	サンテレビ 36(34)	NHK総合 2(44)		毎日放送 4(38)		朝日放送 6(40)		関西テレビ 8(42)		読売テレビ 10(48)		NHK教育 12(46)
奈良	奈良	029	テレビ大阪 19	NHK総合 2	NHK総合奈良 51	毎日放送 4	奈良テレビ 55	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	五条	131	奈良テレビ 41	NHK総合 2(43)		毎日放送 4(33)		朝日放送 6(35)		関西テレビ 8(37)		読売テレビ 10(39)		NHK教育 12(45)
	生駒	132	奈良テレビ 26	NHK総合 2		毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
和歌山	和歌山	030	テレビ和歌山 30	NHK総合 2(32)		毎日放送 4(42)		朝日放送 6(44)		関西テレビ 8(46)		読売テレビ 10(48)		NHK教育 12(25)
	海南地区	067	テレビ和歌山 56	NHK総合 2(50)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(52)
	新宮	133	テレビ和歌山 34	NHK総合 2(44)		毎日放送 4(36)		朝日放送 6(38)		関西テレビ 8(40)		読売テレビ 10(42)		NHK教育 12(46)
	田辺北	157	テレビ和歌山 30(20)	NHK総合 2(16)		毎日放送 4(22)		朝日放送 6(25)		関西テレビ 8(27)		読売テレビ 10(29)		NHK教育 12(18)
	那賀	158	テレビ和歌山 30(53)	NHK総合 2(49)		毎日放送 4(55)		朝日放送 6(57)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(51)
鳥取	鳥取	031	日本海テレビ 1	山陰放送 22	NHK総合 3	NHK教育 4	山陰中央 24							
	米子	134	日本海テレビ 30	NHK総合 32	山陰中央 34							山陰放送 10		NHK教育 12
	倉吉	135	日本海テレビ 1	山陰放送 56	NHK総合 3	NHK教育 4	山陰中央 58							
島根	松江	032	日本海テレビ 30	山陰中央 34				NHK総合 6				山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田	061	日本海テレビ 54	NHK総合 2	山陰中央 58		山陰放送 5				NHK教育 9			
岡山	岡山	033	テレビせとうち 23	瀬戸内海放送 25	NHK教育 3	岡山放送 35	NHK総合 5				西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山	136	テレビせとうち 56	NHK総合 2	西日本放送 58	岡山放送 60	瀬戸内海放送 62		山陽放送 7					NHK教育 12
	笠岡	137	西日本放送 34	NHK総合 2	テレビせとうち 22	NHK教育 4	瀬戸内海放送 55	山陽放送 6	岡山放送 60					
	水島	159	テレビせとうち 38	西日本放送 14	瀬戸内海放送 16	NHK教育 54	NHK総合 58	岡山放送 56	山陽放送 62					

都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
広島	広島	034	テレビ新広島 31	広島ホームテレビ 35	NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7					広島テレビ 12
	福山(東)	138	テレビ新広島 54	広島ホームテレビ 57	NHK総合 3		NHK教育 5		中国放送 7				広島テレビ 11	
	呉	094	NHK教育 1	広島ホームテレビ 24	テレビ新広島 26		広島テレビ 5				中国放送 9		NHK総合 11	
	尾道 福山(西)	060	NHK総合 1	広島ホームテレビ 24	テレビ新広島 26				NHK教育 7			中国放送 10		広島テレビ 12
山口	山口	035	NHK教育 1	山口朝日 28	テレビ山口 38						NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	095	山口朝日 21	九州朝日 2	テレビQ 23	山口放送 4	テレビ山口 33	福岡放送 35	NHK総合 39	RKB毎日 8	NHK教育 41	テレビ西日本 10		
	宇部	096	NHK教育 14	NHK総合 16	山口放送 18	テレビ山口 20	山口朝日 31					テレビ西日本 10		
	岩国	139	NHK教育 1	テレビ山口 22	山口朝日 28						NHK総合 9		山口放送 11	
	防府	140	NHK教育 1	山口朝日 28	テレビ山口 38						NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	036	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12(38)
香川	高松	037	テレビせとうち 19	山陽放送 29	岡山放送 31	瀬戸内海放送 33	NHK総合 37	NHK教育 39	西日本放送 41					
	丸亀	141	テレビせとうち 16	山陽放送 18	西日本放送 20	岡山放送 22	NHK教育 40	瀬戸内海放送 42	NHK総合 44					
愛媛	松山	038	愛媛朝日 25	NHK教育 2	あいテレビ 29	テレビ愛媛 37		NHK総合 6				南海放送 10		
	今治	097	愛媛朝日 14	あいテレビ 27	NHK教育 30	NHK総合 32	南海テレビ 34	テレビ愛媛 36	広島ホームテレビ 38					
	新居浜	062	愛媛朝日 14	NHK総合 2	あいテレビ 27	NHK教育 4	テレビ愛媛 36	南海放送 6						
	宇和島	142	NHK教育 1	愛媛朝日 16	愛媛放送 32	あいテレビ 34		NHK総合 6				南海放送 10		
高知	高知	039	テレビ高知 38	高知さんさん 40		NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8				
	中村	143	NHK教育 1	高知さんさん 14	高知放送 3	テレビ高知 32							NHK総合 11	
福岡	福岡	040	九州朝日 1	テレビQ 19	NHK総合 3	RKB毎日 4	福岡放送 37	NHK教育 6			テレビ西日本 9			
	北九州	063	テレビQ 23	九州朝日 2	福岡放送 35			NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	久留米	098	テレビQ 14	佐賀テレビ 36	NHK総合 46	RKB毎日 48	福岡放送 52	NHK教育 54	九州朝日 57	テレビ西日本 60				
	大牟田	099	テレビQ 19	福岡放送 43	NHK教育 50	NHK総合 53	テレビ西日本 55	九州朝日 58	RKB毎日 61					
	行橋	144	テレビQ 19	福岡放送 43	NHK教育 46	NHK総合 49	テレビ西日本 54	九州朝日 57	RKB毎日 60					
	宗像	160	テレビQ 27	テレビ西日本 45	福岡放送 47	RKB毎日 49	九州朝日 51	NHK総合 53	NHK教育 55					
佐賀	佐賀	041	テレビQ 14	テレビ熊本 34	サガテレビ 36	NHK総合 38	NHK教育 40	RKB毎日 48	福岡放送 52	九州朝日 57	テレビ西日本 60		熊本放送 11	
	伊万里	145	テレビQ 14	サガテレビ 41	NHK教育 44	RKB毎日 48	NHK総合 51	福岡放送 52	九州朝日 57	テレビ西日本 60			熊本放送 11	
長崎	長崎	042	NHK教育 1	長崎国際 25	NHK総合 3	長崎文化 27	長崎放送 5	テレビ長崎 37						
	佐世保	065	長崎国際 17	NHK教育 2	長崎文化 31	テレビ長崎 35				NHK総合 8		長崎放送 10		
	諫早	146	長崎国際 20	長崎文化 24	テレビ長崎 42	NHK教育 45	NHK総合 47	長崎放送 49						
熊本	熊本	043		NHK教育 2						熊本朝日 16	NHK総合 9	熊本県民 22	熊本放送 11	テレビ熊本 34
	水俣	147	NHK教育 1	熊本朝日 32	熊本県民 36	NHK総合 4	テレビ熊本 38	熊本放送 6						
大分	大分	044	大分朝日 24	テレビ大分 36	NHK総合 3		大分放送 5							NHK教育 12
	中津	148	大分朝日 17	テレビ大分 37	NHK教育 45	NHK総合 48	大分放送 51							
	佐伯	149	NHK教育 1	大分朝日 31	テレビ大分 49				NHK総合 7		大分放送 9			
宮崎	宮崎	045	テレビ宮崎 35							NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡	064	テレビ宮崎 39	NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6						
鹿児島	鹿児島	046	南日本放送 1	鹿児島読売 30	NHK総合 3	鹿児島放送 32	NHK教育 5	鹿児島テレビ 38						
	阿久根	100	鹿児島読売 17	鹿児島放送 23	鹿児島テレビ 35					NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋	150	NHK教育 2	鹿児島読売 25	鹿児島放送 31	NHK総合 4	鹿児島テレビ 33	南日本放送 6						
沖縄	那覇	047	琉球朝日 28	NHK総合 2						沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

1局ずつ個別設定するとき

地域番号一覧表に当てはまらない地域でお使いになるときや、地域番号で設定した後、希望のチャンネルを追加するときは、1局ずつ個別に設定してください。

個別設定の表示

テレビ本体のメニュー、決定、▲▼ ◀▶ボタンでも設定できます。

画面の表示	設定の範囲と内容	
CHボタン	1～12	リモコンの1～12ボタン
受信CH、表示CH	1～12	VHF放送
	13～62	UHF放送
	C13～C63	ケーブルテレビ
微調整	受信チャンネルの微調整 ☞216	
スキップ	する／しない	チャンネル－／＋で飛び越す ☞216
GR	オン／オフ	ゴーストリダクション ☞218

個別設定のしかた

例 UHF放送の「35」チャンネルをリモコンの「11」ボタンに設定するとき

1 **地上アナログボタンを押して、地上アナログ放送の画面に切り換える**

受信チャンネルの設定は地上アナログ放送の画面で行ってください。地上アナログ放送以外の画面ではメニューの「チャンネル設定（アナログ）」が暗く表示され、設定できません。

2 **メニューボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 **カーソル◀▶ ボタンを押して、「TV機能」を選び、**

4 **カーソル▼▲ ボタンを押して、「チャンネル設定（アナログ）」を選び、**

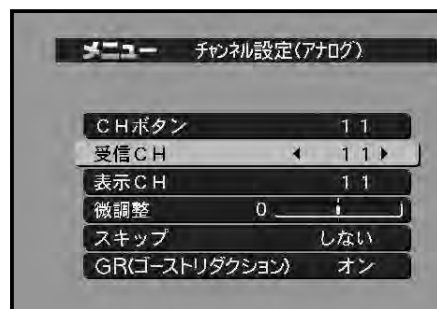
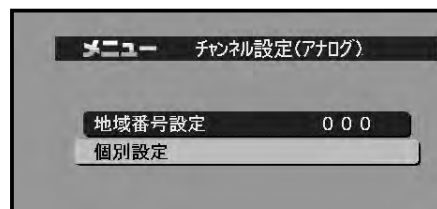
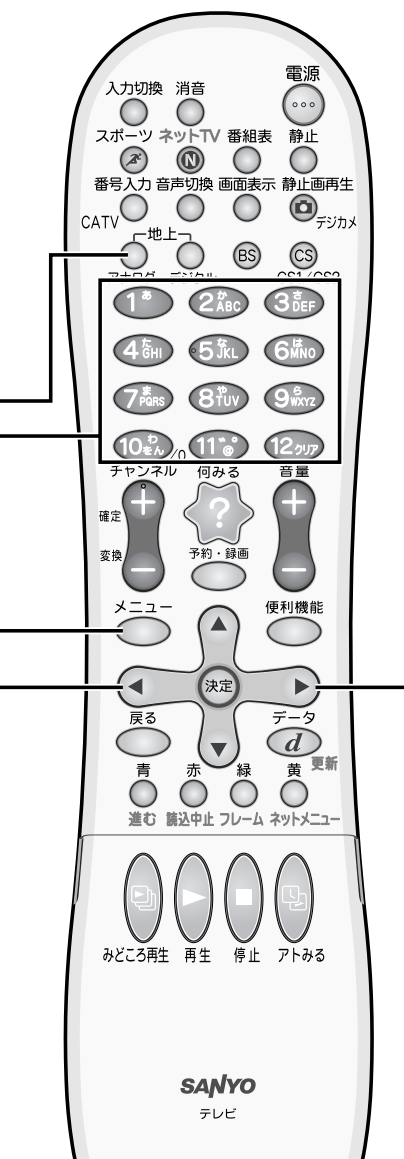
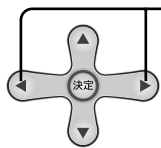
決定ボタンを押す

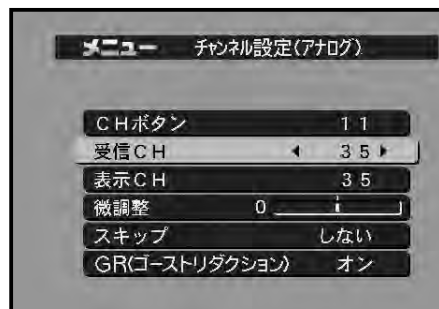
●チャンネル設定の画面が表示されます。

5 **カーソル▼▲ ボタンを押して、「個別設定」を選び、**

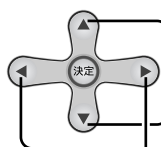
決定ボタンを押す

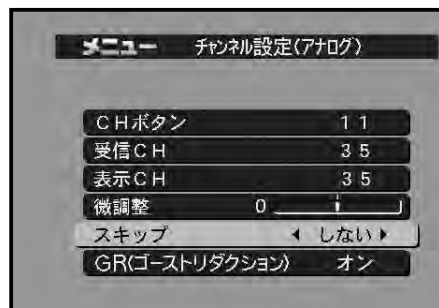
6 **設定するチャンネルボタンを押す**

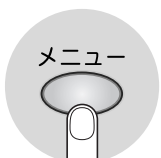
放送が映らないボタンなどこれから放送局を設定するボタンを押します（例では11）。画面の「CHボタン」の表示が押したボタンの数字に変わり「受信CH」が選ばれます。

ご注意
- 放送がないチャンネルは砂あらしのような画面になりますが失敗や故障ではありません。そのまま操作を続けてください。
- 受信チャンネルが異なる地域に転居されたときはVHF、UHFとも、転居先で受信できるチャンネルに設定し直してください。

7

カーソル◀▶ボタンを押して、「受信CH」の数字を希望の放送局の番号に変える

「受信CH」の数字を、設定する放送局のチャンネル番号に変えます。（この例では「35」に変える）変えた放送局が受信されます。

■表示だけを書き換えるときは▲▼で「表示CH」を選択して◀▶で書き換えます。（☞216）

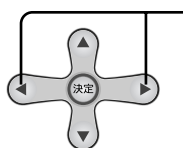
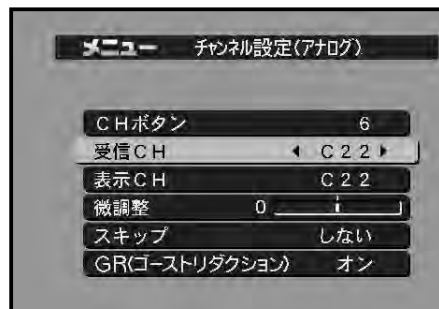
■微調整するときは▲▼で「微調整」を選択して◀▶で調整します。（☞216）

スキップ設定「する」になっていたときは..

カーソル▼▲ボタンを押して、「スキップ」を選び、

◀▶ボタンを押して、「しない」に変える

- スキップ設定「する」のときは、**チャンネル−／+**ボタンで選局したときに飛び越してしまいます。スキップ設定「する」になっていたときは、▲▼ボタンで「スキップ」を選び、◀▶ボタンで「しない」に変えます。
- 続けて別のチャンネルを設定するときは操作❻〜❽を繰り返します。

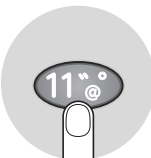
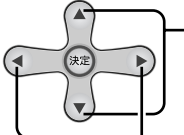
9

メニューボタンを押して、表示を消す（設定終了）

ケーブルテレビを設定するとき

同じ手順でケーブルテレビのチャンネルを設定しておくと、ボタンを押すだけで選局できます。

◀▶ボタンを押して、「受信CH」を希望のケーブルテレビのチャンネル番号に変える

- 個別設定の操作❶〜❾と同じ手順で設定します。操作❼で「受信CH」の数字を、ケーブルテレビのチャンネル(C13〜C63)にすると設定できます。（例は6ボタンを押したときにC22チャンネルを受信する設定）

※ケーブルテレビはサービスの行われている地域で受信できます。

テレビ本体で設定するとき

テレビ本体のボタンでチャンネル設定するときは、左ページの操作6でチャンネルボタンを押す代わりに、▼▲ボタン（チャンネル−／+）で「CHボタン」を選び、◀▶ボタン（音量−／+）で希望のチャンネルボタン番号に変えてください。その後、▼ボタンで「受信CH」を選んでから操作7へ進みます。

表示・微調整・スキップ設定

個別設定の画面で、チャンネル表示の変更や微調整、スキップ設定ができます。

表示変更・微調整・スキップ設定のしかた

❶ 個別設定の画面を出します。

214ページの操作❶〜❺をご覧ください。

❷

表示変更、微調整、スキップ設定をしたいチャンネルのボタンを押す

❸

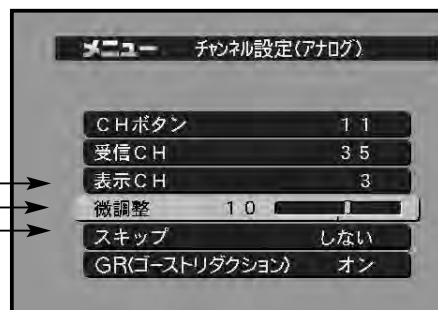
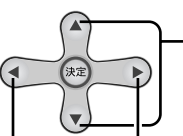
カーソル▼▲ボタンを押して、表示CH（表示変更）、微調整、スキップ設定を選び、

◀▶ ボタンを押して、表示変更、微調整、スキップ設定を行う

■表示CH
選局したとき画面に表示されるチャンネルの数字を変更できます。VHFからUHFへなど、チャンネルを変換して放送している場合、表示を変えて元のチャンネル番号で表示させることができます。

■微調整
受信状態が良くないチャンネルは、微調整で見やすくなることがあります。バー表示を参考に画面を見ながら最良の状態に調整します。

■スキップ設定
放送局のないチャンネルをスキップ設定「する」に設定しておくと－／＋ボタンで選局するときに飛び越します。

（例）微調整の場合

ケーブルテレビを微調整するには

10（テン）キー選局で受信するケーブルテレビの微調整は次の手順で行います。

例 C30チャンネルを微調整する

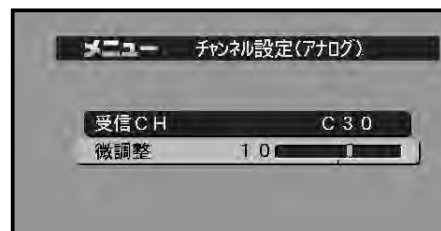
❶ 微調整するケーブルテレビ局を番号入力で選局する

❷ 個別設定の画面を出します。

214ページの操作❷〜❺をご覧ください。

❸

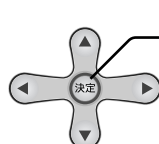
カーソル▼▲ボタンを押して、「微調整」を選び、

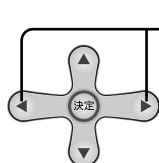
◀▶ ボタンを押して、最良の受信状態に微調整する

続けて別のチャンネルを微調整するときは、▲で「受信CH」を選び、◀▶で他のケーブルテレビのチャンネルを受信して、操作❸をくり返します。

ご注意

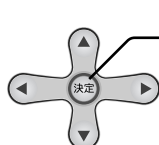
個別設定でチャンネルボタンに設定したケーブルテレビの微調整は、通常のチャンネルと同様の操作（上記）で微調整してください。

映っていたチャンネルが映らなくなったとき

地上デジタル放送の開始に先立って地域によって行われることがある「アナログ周波数変更（アナアナ変更）」で受信できなくなったチャンネルを設定し直すため、チャンネルボタンごとに個別設定する方法を用意しています。

ボタンごとに個別設定するやりかた

例 7ボタンに設定していたUHF放送「24」チャンネルが「41」チャンネルに移動した場合の設定

以下の設定は地上アナログ放送の画面で行ってください。地上アナログ放送以外の画面では設定できません。

1

地上アナログボタンを押して、地上アナログ放送の画面に切り換える

2 **放送が受信できなくなったチャンネルのボタンを押す**

3

決定ボタンを3秒以上押す

赤で表示

アナログ周波数変更対応チャンネル設定

CHボタン	7
受信CH	◀ 24 ▶
表示CH	24
微調整	0
スキップ	しない
GR(ゴーストリダクション)	オン

- 右のような画面が表示されます。操作2で押したチャンネルボタン専用の設定画面です。
- 「CHボタン」の項目は赤で表示され、▼▲ボタンで選ぶことはできません。また、**チャンネル1〜12**ボタンを押しても切り換わりません。

4

カーソル◀ ▶ ボタンを押して、受信できなくなった放送をさがして受信する

アナログ周波数変更対応チャンネル設定

CHボタン	7
受信CH	◀ 41 ▶
表示CH	41
微調整	0
スキップ	しない
GR(ゴーストリダクション)	オン

- ◀ ▶ボタンを押すと「受信CH」の設定チャンネルが順に選局され、放送があると判定されたチャンネルで自動で止まります。◀ ▶ボタンを繰り返し押して、受信できなくなった放送を探します。
- すでに別のチャンネルボタンに設定されているチャンネルは選局が止まらずに通過します。
- 映像や音声が十分に再生されないチャンネルでも、放送があると判定し、選局が止まる場合があります。

■表示だけを書き換えるときは▲▼で「表示CH」を選択して◀ ▶で書き換えます。（☞216）

■微調整するときは▲▼で「微調整」を選択して◀ ▶で調整します。（☞216）

■スキップ設定「する」のときは▲▼で「スキップ」を選択して◀ ▶で「しない」に変えます。（☞216）

5

決定ボタンを押して、表示を消す（設定終了）

続けて別のチャンネルを設定するときは操作2〜5を繰り返します。

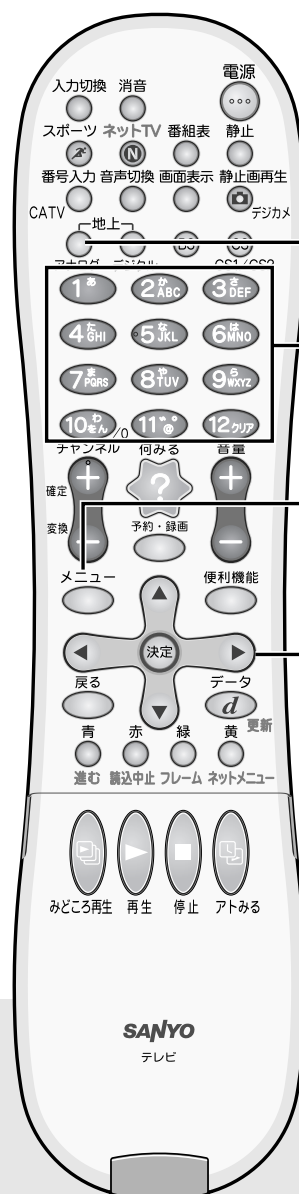
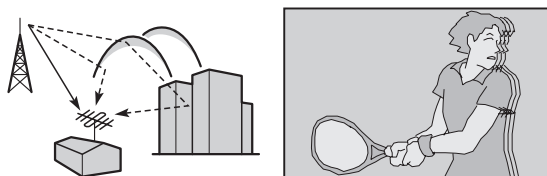
アナログ周波数変更とは

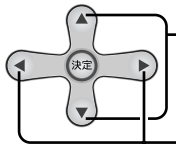
2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とした3大広域圏（関東・中京・近畿）の一部で開始され、その後地域を拡大して2006年末までには全国で開始が予定されている地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送ですでに使用しているUHF帯の電波を使って放送されます。非常に過密になっている現在の電波状況の中で地上デジタル放送に必要な電波の帯域を確保するため、地域によっては現在行われている地上アナログ放送のチャンネルを別のチャンネルに変更する「アナログ周波数変更（アナアナ変更）」が行われます。アナログ周波数変更の対象地域の場合、送信所からのチャンネルが変更されるとご家庭のテレビはそのままでは受信できなくなるため、チャンネル設定の変更や、場合によってはアンテナなど受信設備の交換・調整が必要になる場合があります。これらのアナログ周波数変更対策は、国の方針である地上放送のデジタル化に向けた国の事業として行われることになっています。アナログ周波数変更の対象地域では、国の指定機関から対策についてお知らせが行われますので、そのお知らせにしたがってください。

ゴーストを目立たなくするには

GR（ゴーストリダクション）機能は、地上アナログ放送で映像が二重、三重に映るゴースト障害を目立たなくする機能です。

ゴーストって何？

- 地上アナログ放送のテレビ電波が地形や建物に反射して映像が二重、三重に映ることをゴースト（幽霊）といいます。GR機能は地上アナログ放送のテレビ電波に含まれるゴースト除去基準信号を利用してゴーストをリダクション（減少）させる機能です。
- お買い上げ時はどの地上アナログ放送のチャンネルも「オン（GRが働く）」に設定されており、選局後、2～3秒でゴーストを目立たなくします。必要な場合に「オフ」に設定してご覧ください。

ご注意

- GRオンのチャンネルを選局した後で画面がゆれたりちらつくように見えることがありますが、GR機能の判別回路が働いているためで故障ではありません。
- チャンネルを受信してからゴーストを目立たなくするまでは2～3秒かかります。
- GR機能が有効なのは、ゴースト除去基準信号が含まれた放送電波を受信するときです。ビデオの再生映像などゴースト除去基準信号がないときは効果がありません。
- アンテナの設置や調整をするときはオフにしてください。
- ゴーストの出かたはお住いの地域の状況や、受信するチャンネルによって異なります。アンテナの向きを調整することで改善されることもあります。
- ゴーストを完全になくすことはできません。次の場合は効果が十分得られないことがありますので、オン／オフどちらかの見やすい方でご覧ください。
  - ・室内アンテナなどで設置や調整が正しくない場合
  - ・ゴーストが本当の像から遠く離れて出る場合
  - ・飛行機など移動するものが原因で出るゴーストの場合
  - ・10以上のたくさんのゴーストが出る場合。

GRオン／オフの切り換えかた

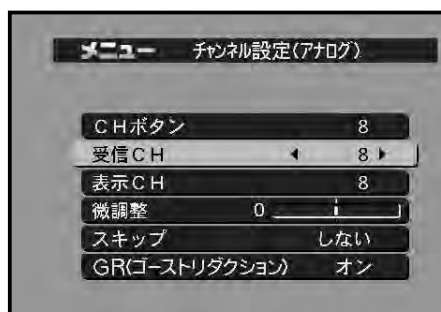
例 8チャンネルのGRを「オフ」にするとき

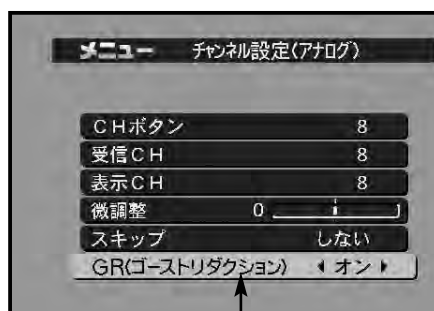
❶ 「個別設定」の画面を出す
（☞214ページの操作❶～❺）

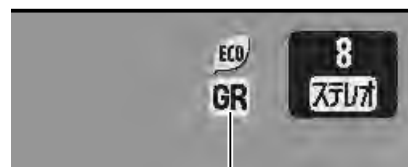
（☞214ページの操作❶～❺）

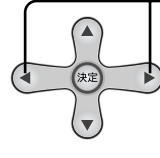
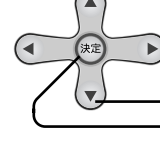
❷

GRの設定を変えるチャンネルのボタンを押す

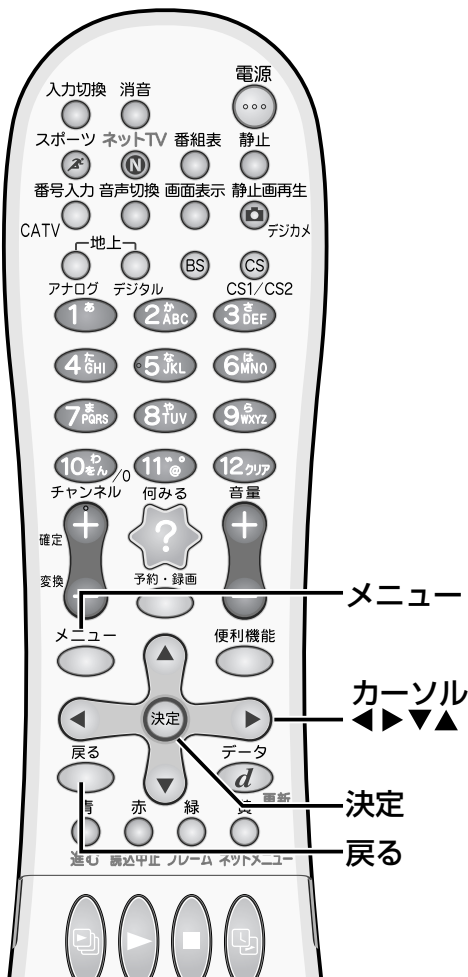
❸

カーソル▼▲ボタンを押して、「GR」を選び、

カーソル◀▶ボタンを押して、設定を変える

オン	GRが働きます。
オフ	GRが働きません。

- 背景の映像で効果を確認しながら、見やすい方に設定してください。背景は、動きの少ない映像のほうがオン/オフの変化がわかりやすくなります。
- GRが「オン」に設定されたチャンネルを選局したときは、チャンネル番号の左にゴーストリダクション・オンのＧＲマークが表示されます。

ゴーストリダクション・オンのマーク

（設定終了）
続けて別のチャンネルのGRを変えるときは、操作❷～❸をくり返します。

居住地域の設定

お客さまの地域に関する緊急警報放送やデータ放送、地上デジタル放送の受信に必要ですので、郵便番号と居住地域を設定してください。

デジタル放送の設定に使うボタン

居住地域設定のしかた

❶

メニューボタンを押して、メニュー画面を出す

❷

カーソル◀▶ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

❸

カーソル▼▲ボタンを押して、「居住地域設定」を選び、

決定ボタンを押す

「居住地域の設定」の画面に変わります。

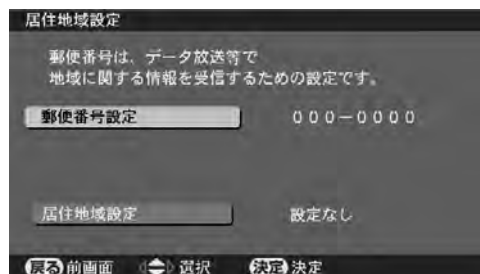
メニュー画面

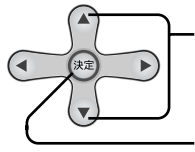
「デジタル設置」の「居住地域設定」を選んで決定

引っ越したときは

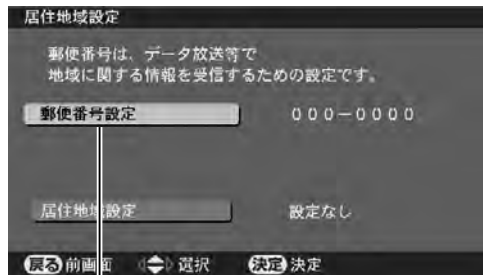
- お引っ越した先の郵便番号、居住地域を設定し直してください。前の設定内容のままですと、デジタル放送が正しく受信できなくなります。
- 地上デジタル放送は地域によって受信できるチャンネルが異なりますので、引っ越した先の郵便番号、居住地域を設定し直した後、地上デジタル放送のチャンネル設定をやり直してください。

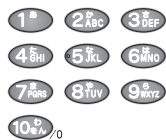
お知らせ

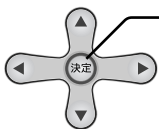
- 郵便番号による設定は、データ放送などで地域に関する情報を受信するために必要です。
- 居住地域の設定は、緊急放送や、地上デジタル放送のチャンネル設定のために必要です。

郵便番号設定

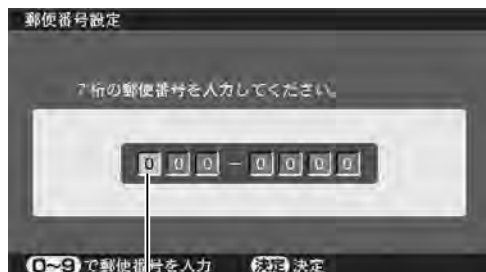
4

カーソル▼▲ボタンを押して、「郵便番号設定」を選び、

決定ボタンを押す

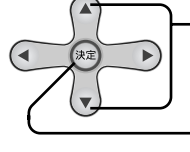
「郵便番号設定」の画面に変わります。

「郵便番号設定」を選んで決定

5

1〜10ボタンを押して、お住まいの地域の郵便番号を入力する

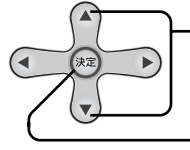
6

決定ボタンを押す

郵便番号が設定され、居住地域設定の画面に戻ります。

1〜10ボタンで郵便番号を入力して決定

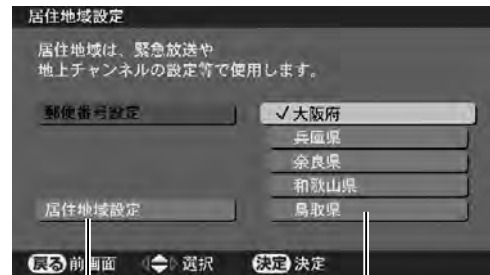
居住地域設定

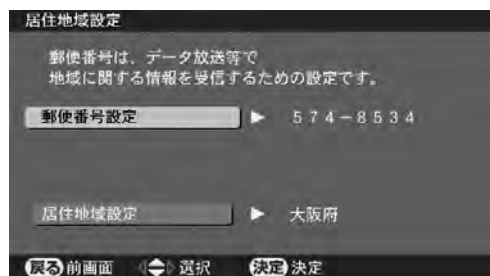
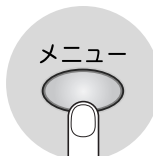
7

カーソル▼▲ボタンを押して、「居住地域設定」を選び、

決定ボタンを押す

8

カーソル▼▲ボタンを押して、お住まいの地域を選び、

決定ボタンを押す

お住まいの居住地域が設定されます。
（居住地域設定終わり）

▼▲ボタンで「居住地域設定」を選んで決定

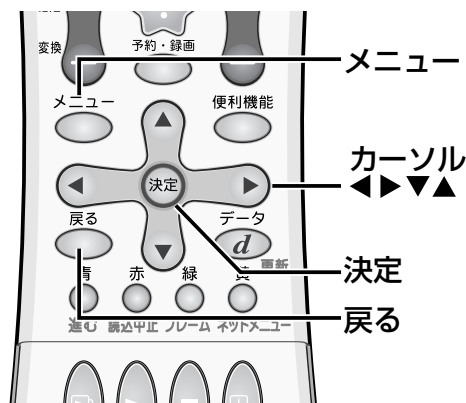
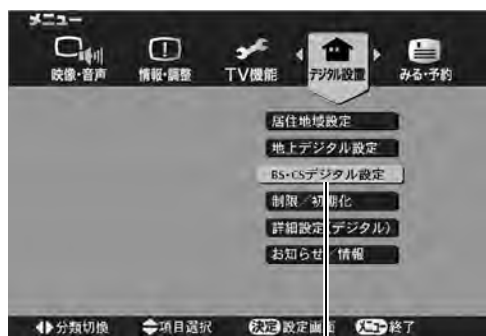
▼▲ボタンでお住まいの地域を選んで決定

9

設定を終えるときは、メニューボタンを押す

メニューが消えます。

設定終わり

BS・110度CSアンテナの設定

BS・110度CSアンテナへ供給するコンバータ電源は、お買い上げ時「切」に設定されています。BS・110度CSアンテナを設置してご覧になるときは、「入」に設定してください。

デジタル放送の設定に使うボタン

※マンションなどでの共同受信で個々の受信機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給する必要がない場合は、お買い上げ時の「BS・CS電源　切」のままお使いください。

BS・110度CSアンテナの設定

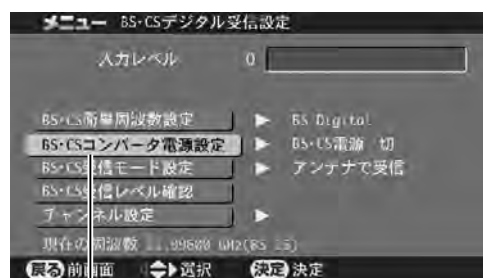
1. メニューボタンを押して、メニュー画面を出す

2. カーソル◀▶ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

3. カーソル▼▲ボタンを押して、「BS・CSデジタル設定」を選び、決定ボタンを押す

「BS・CSデジタル受信設定」の画面に変わります。

4. カーソル▼▲ボタンを押して、「BS・CSコンバータ電源設定」を選び、決定ボタンを押す

BS・CSデジタル受信設定画面

「BS・CSコンバータ電源設定」を選んで決定

5. カーソル▼▲ボタンを押して、「BS・CS電源入」を選び、決定ボタンを押す

本機のデジタル受信部に電源が入っているときに、BS・110度CSアンテナへ電源（DC15V）を供給するようになります。

ご注意

- BS・CSコンバータ電源設定を「BS・CS電源　入」に設定した場合、本機のデジタル受信部に電源が入っているときのみ、BS・110度CSアンテナへ電源（DC15V）を供給します。
- 本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子からBS・110度CSアンテナへ供給されるDC15Vがショートしますと、回路保護のためBS・CSコンバータ電源が自動的に「BS・CS電源　切」になります。ショートの原因を解決したあと、電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込んでから、「BS・CS電源　入」に再設定してください。誤ってVHF／UHF用のアンテナプラグを差し込むとショートする場合がありますのでご注意ください。
- 入力レベル表示は、もっとも良好なアンテナ設置方向を確認するための目安としてお使いください。表示される数値（受信C/Nの換算値）は各メーカーによって異なります。

「BS・CS電源 入」を選んで決定

6

設定を終えるときは、メニューボタンを押す

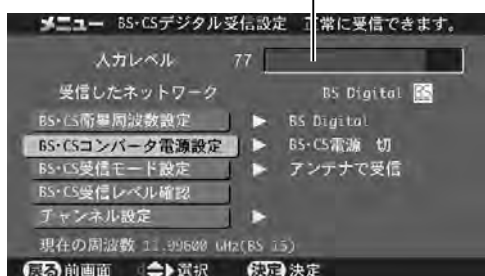
メニューが消えます。

設定終わり

入力レベル表示を設置調整に使うとき

入力レベルがもっとも大きくなる位置にBS・110度CSアンテナの方位と角度を調整して固定します。調整後はBSデジタル放送と110度CSデジタル放送の受信画面それぞれで「BS・CSデジタル受信設定」画面を出して十分な入力レベルが得られているか確認してください。

- 入力レベルの目安：晴天時で60以上
- 調整の方法についてはBS・110度アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

入力レベル表示

設定がうまくできないとき

設定がうまくいかないときは、「アンテナ接続が異常のためコンバータ電源を切にしました。接続をもう一度確認してください。」というメッセージが表示されます。アンテナ線の接続や設定内容を確認してやり直してください。

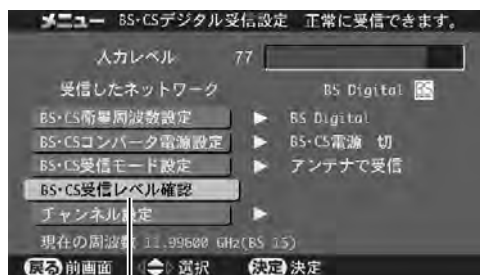
受信レベルを確認するとき

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の、各中継機ごとの受信レベルを確認することができます。

受信レベル確認のしかた

▼▲ ボタンを押し「BS・CS受信レベル確認」を選び、決定ボタンを押すと受信レベルの確認画面に切り換わり、確認できた中継機から受信レベルが表示されます。確認を中止するときは戻るボタンを押します。

ご注意

受信レベル確認画面を出している間は、巡回して受信レベルを確認し続けます。確認が済みましたら**戻る**ボタンを押して確認を中止してください。

「BS・CS受信レベル確認」を選んで決定

BSデジタル放送　110度CSデジタル放送

お知らせ

BSデジタル放送の受信レベルは十分なのに、110度CSデジタル放送のレベルが低いときは、アンテナから本機までの伝送路に問題があることが考えられます。ケーブル、ブースター、分配器などは、110度CSデジタル放送の広帯域に対応したものをお使いください。

BS・110度CSアンテナの設定（つづき）

放送を受信できないとき

入力レベルが表示され、電波は受信されているのに、放送が受信できないときは、衛星周波数設定を設定し直し、データを取得すると改善されることがあります。

データ取得のしかた

① 「BS・CSデジタル受信設定」画面で、▼▲ ボタンで「BS・CS衛星周波数設定」を選びます。

② **決定**ボタンを押します。サブメニューが表示されます。現在設定されているデジタル放送が黄色で表示されます。

③ そのまま**決定**ボタンを押します。（現在設定されているデジタル放送は変えないでください。）画面右上に「データを取得しています。」と表示され、データの取得が始まります。データの取得には数秒～数十秒かかります。

データ取得がうまくいった場合は、画面右上に「正常に受信できます。」と表示され、放送が受信できるようになります。

＊

そのままの衛星周波数で決定を押す

- 「受信できません。」と表示されたときは、別に原因があります。お買い上げ販売店にご相談ください。
- 数十秒経過しても「データを取得しています。」と表示されたままのときは、「戻る」ボタンを押すとデータ取得を中断します。別に原因があります。お買い上げ販売店にご相談ください。
- 「BS・CS衛星周波数設定」は、普段設定する必要はありません。

周波数マニュアル入力

衛星周波数をマニュアル入力して受信する放送もあります。

ご注意

- 通常は設定を変えないでください。

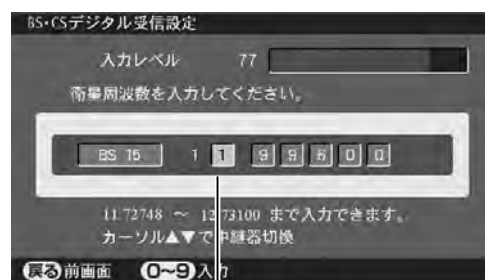
周波数マニュアル入力のしかた

① ▼▲ ボタンで「周波数マニュアル入力」を選び、**決定**を押すと衛星周波数をマニュアル入力する画面が出ます。

② ▼▲ ボタンで中継機を切り換えることができます。

③ **チャンネル１～10**ボタンで周波数を入力して、**決定**ボタンを押します。

＊

「周波数マニュアル入力」を選んで決定

1～10ボタンで周波数を入力して決定

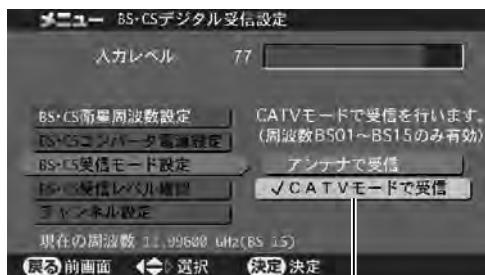
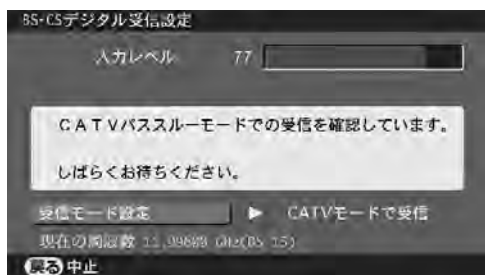
＊110度CSデジタル放送の表示は変更になる場合があります。

ケーブルテレビで受信するとき

BSデジタル放送をケーブルテレビ（CATV）で受信するとき、次のように「受信モード設定」を「CATVモードで受信」に設定する必要がある場合があります。（ケーブルテレビの方式によって異なります。この設定はBSデジタル放送でのみ有効です。）

受信モード設定のしかた

① ▼▲ ボタンを押して「BS・CS受信モード設定」を選び、**決定**ボタンを押します。

② ▼▲ ボタンで「CATVモードで受信」を選び、**決定**ボタンを押します。設定完了まで画面に「CATVパススルーモードで受信を確認しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。受信確認には多少の時間がかかります。

「CATVモードで受信」を選んで決定

お知らせ

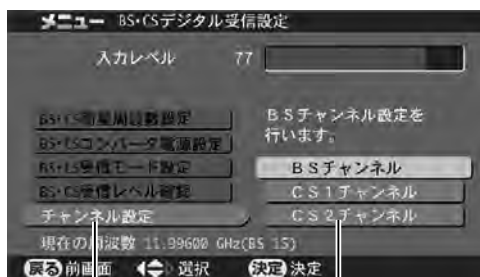
- CATVモードで受信できるときは、「正常に受信できます。」と表示されます。受信できないときは、「受信できませんでした。」と表示されます。
- ケーブルテレビによるＢＳデジタル放送の受信方法についてはご加入のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

チャンネル設定 (BS/110度CSのとき)

１～１２ボタンに設定されているBSデジタル放送や110度CSデジタル放送のチャンネルを確認したり変更することができます。

チャンネル設定のしかた

① ▼▲ ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、**決定**ボタンを押します。

② ▼▲ ボタンでチャンネル設定を変えたいデジタル放送を選び、**決定**ボタンを押します。

③**カーソル◀ ▶**ボタンを押して設定を変えるボタンを選び、**決定**ボタンまたは▼ボタンを押します。

④▼▲ ボタンを押して、新しく設定するチャンネルを選び、**決定**ボタンを押します。

操作③と④をくり返して設定します。

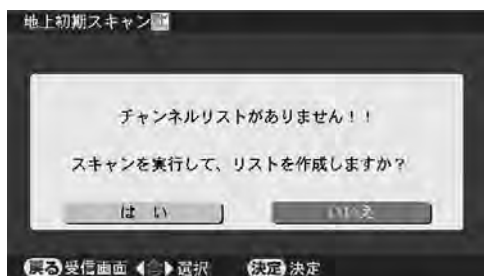
お知らせ

ボタンに登録されているチャンネルを選んで決定を押すと、登録がない状態にすることができます。

地上デジタル放送のチャンネル設定

地上デジタル放送では、地域によって割り当てられるチャンネルが異なるため、お買い上げ時はチャンネルが設定されていません。初めて地上デジタル放送をご覧になるときは、手順にしたがってチャンネルを設定してください。

地上デジタルのチャンネルが設定されていないとき

お買い上げ時は地上デジタル放送のチャンネルが設定されていないので「地上」ボタンを押すと下のような画面が表示されます。

「居住地域設定」が設定されていない場合は、「居住地域が設定されていません！！」と表示されます。まず「居住地域設定」を行ってください。
☞220ページ

デジタル放送の設定に使うボタン

確定
変換
予約・録画
メニュー
便利機能
決定
戻る
データ
青 赤 緑 黄 更新
進む 読込中止 フレーム ネットメニュー

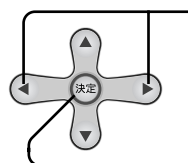
メニュー
カーソル ◀▶▼▲
決定
戻る

受信画面から設定するとき

前もって「居住地域設定」を正しく設定しておいてください。（☞220ページ）

1

地上デジタルボタンを押して、地上デジタル放送の画面に切り換える

- お買い上げ時はチャンネルが設定されていないので左のようなメッセージが表示されます。
- 「居住地域が設定されていません...」と表示されるときは先に「居住地域設定」を行ってください。

カーソル◀▶ ボタンを押して、「はい」を選び、

決定を押す

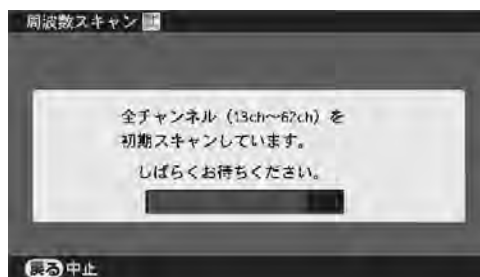
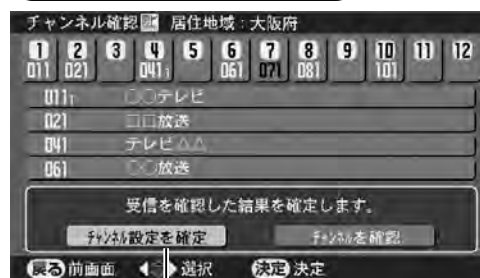
- 周波数スキャンの画面に変わり、チャンネルをさがすスキャンが始まります。終了するまでには数十秒〜数分かかります。しばらくお待ちください。
- スキャンが終了すると、見つかったチャンネルを確認する画面に変わります。

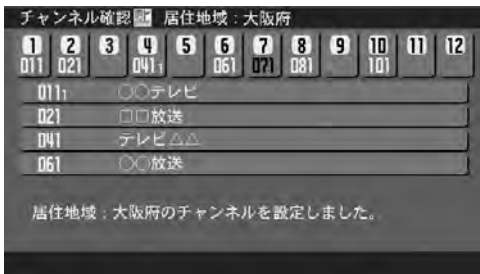
初期スキャン実行中の画面

チャンネル確認の画面

「チャンネル設定を確定」を選んで決定

ご注意

地上デジタル放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域は2006年末までに放送が開始される予定です。チャンネルを設定する前に、お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかお確かめください。地上デジタル放送の電波が受信できない状態ではチャンネル設定できません。

3 カーソル◀▶ ボタンを押して、「チャンネル設定を確定」を選び、決定ボタンを押す

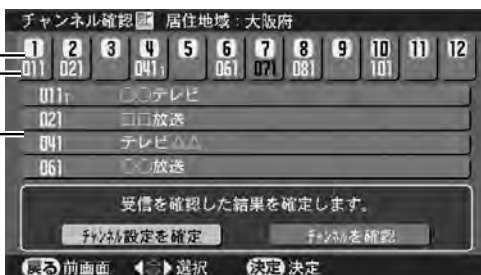
「居住地域：○○のチャンネルを設定しました。」と数秒表示され、表示が消えて地上デジタル放送の受信画面に変わります。（設定終わり）

数秒表示して、地上デジタル放送の受信画面に変わる

設定終わり

チャンネルボタンへの割り当て

- 地上デジタル放送のチャンネルは、スキャンの結果にしたがってチャンネル1～12ボタンに割り当てられます。
- どのボタンが何チャンネルかは、デジタルメニューの「チャンネル設定」で確認や変更ができます。

チャンネル確認の画面

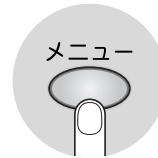
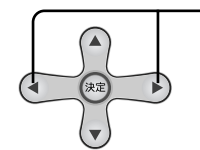
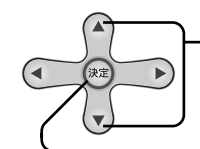
チャンネル1～12

チャンネルリスト

白で表示されるチャンネル：開局済み
緑で表示されるチャンネル：未開局

デジタル設置メニューから設定するとき

地上デジタル放送のチャンネル設定については、デジタル設置メニューの中に設定画面を用意しています。新しい地上デジタルチャンネルを追加したいとき、受信レベルを確認したいときなどは、これらのデジタルメニュー内で行います。

新しく始まった地上デジタルチャンネルを追加するときなどは、デジタル設置メニュー画面からスキャンをしてチャンネルを設定してください。

1 メニューボタンを押して、メニュー画面を出す

2 カーソル◀▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

3 カーソル▼▲ ボタンを押して、「地上デジタル設定」を選び、決定ボタンを押す

「地上デジタル受信設定」の画面に変わります。

メニュー画面

「デジタル設置」の「地上デジタル設定」を選んで決定

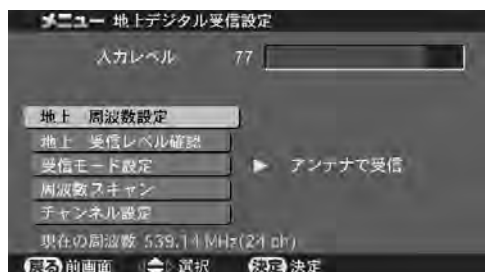
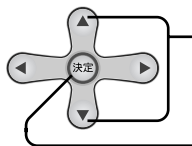
次ページへ続く

設定編

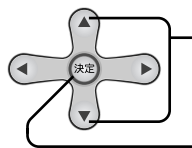
準備と設定

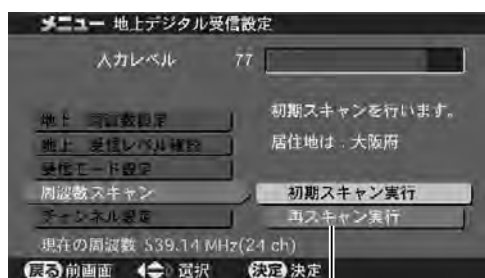
地上デジタル放送のチャンネル設定（つづき）

デジタルメニューから設定するとき

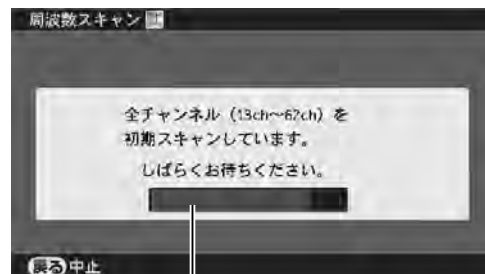
地上デジタル受信設定画面

4

カーソル▼▲ ボタンを押して、「周波数スキャン」を選び、

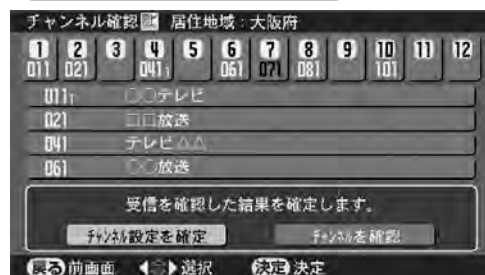
決定ボタンを押す

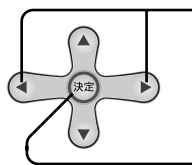
5

カーソル▼▲ ボタンを押して、「初期スキャン実行」または「再スキャン実行」を選び、

決定ボタンを押す

スキャン方法を選んで決定

- 「周波数スキャン」の画面に変わり、スキャンが始まります。
- スキャンの経過とともに、画面上のバーが右へ延びます。
- 全チャンネルのスキャンには3分程度かかります。スキャンが終わるまでしばらくお待ちください。
- スキャンが終わると「チャンネル確認」の画面に変わります。

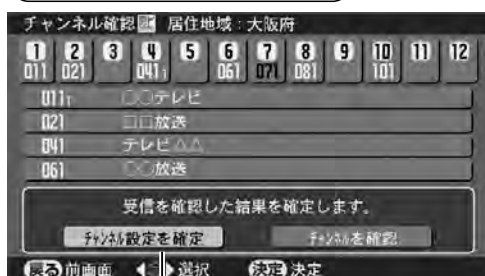
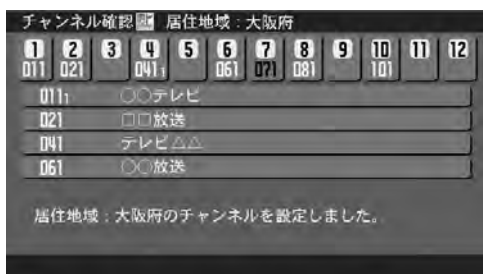
初期スキャン実行中の画面

スキャンの経過とともにバーが延びます

チャンネル確認の画面

- チャンネル確認画面の上部には、リモコンの**1**〜**12**ボタンに割り当てられた地上デジタル放送のチャンネルが表示されます。緑で表示されるのは未開局など受信できないチャンネルです。
- その下には、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送が4つまで表示されます。
- ◀ ▶ボタンで「チャンネルを確認」を選んで**決定**ボタンを押すと、▲▼ボタンで別のチャンネルを確認できるようになります。

6

カーソル◀▶ボタンを押して、「チャンネル設定を確定」を選び、

決定ボタンを押す

「居住地域：○○のチャンネルを設定しました。」と数秒表示され、表示が消えて地上デジタル放送の受信画面に変わります。

チャンネル確認の画面

「チャンネル設定を確定」を選んで決定

数秒表示して、受信画面に変わる

7

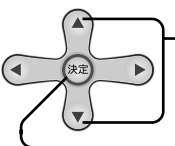
押して、地上デジタル放送のチャンネルが受信できることを確認する

設定終わり

初期スキャンと再スキャン

- 「初期スキャン実行」は、スキャン結果にしたがって全チャンネルの設定を最初から行うスキャン方式です。チャンネル設定機能（☞233ページ）で空きボタンに追加したチャンネルや、入れ換えたチャンネルは解除されます。初めてチャンネル設定するときや、引っ越し先でチャンネル設定をするときは「初期スキャン実行」でスキャンします。
- 「再スキャン実行」は、すでに設定されているチャンネルはそのまま残し、新しく見つかったチャンネルを追加設定します。チャンネル設定機能（☞233ページ）で追加・変更したチャンネルは保持されます。お住まいの地域で新しい地上デジタル放送が始まったときなどに行います。

ご注意

デジタル放送が受信できない、または受信状態がよくないときは、デジタルメニューが表示できなかったり、選べるメニューが制限されたりすることがあります。

地上デジタル放送のチャンネル設定（つづき）

周波数を設定して受信するとき

受信を確認するときなどのために、周波数を設定して受信できるようになっています。

❶ 「地上デジタル受信設定」の画面を出す
227ページの操作❶～❸参照。

❷

カーソル▼▲ ボタンを押して、「地上　周波数設定」を選び、

決定ボタンを押す

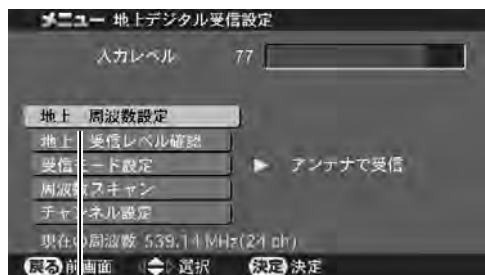
周波数を入力する画面に変わります。

地上デジタル受信設定画面

「地上　周波数設定」を選んで決定

チャンネルを選んで受信するとき

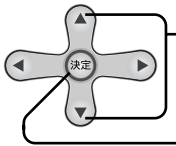
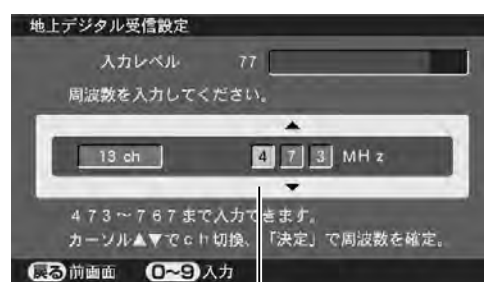
カーソル▼▲ ボタンを押して、13～62チャンネルのどれかを選び、

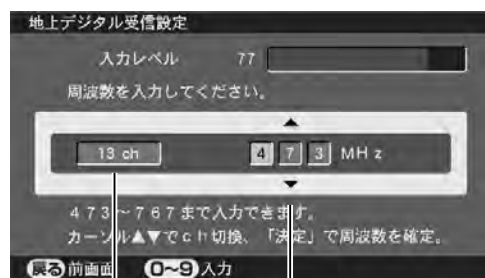
決定ボタンを押す

周波数設定　画面

13～62チャンネル

▲▼で選んで決定

周波数を入力して受信するとき

1～10ボタンで周波数を入力し、

決定ボタンを押す

1～10ボタンで入力して決定

- **決定**ボタンを押した後、「地上デジタル受信設定」画面に戻り、画面右上に「データを取得しています。」と表示されます。
- 受信できたときは表示が「正常に受信できます。」に変わります。
- 受信できなかったときは表示が「受信できませんでした。」に変わります。

ケーブルテレビで受信するとき

本機に搭載している地上デジタルチューナーは、UHFのほかVHFとケーブルテレビ（CATV）の帯域（VHF1～12、C13～C63）をカバーしています。地上デジタル放送の電波をこれらの帯域に変換して送信しているケーブルテレビや共同受信設備などの場合、受信モードを「CATVモードで受信」に切り換えて受信できる場合があります。

ご注意

ケーブルテレビや共同受信設備における地上デジタル放送の再送信については、ケーブルテレビ会社や共同受信設備によって方式やサービス内容が異なります。詳細はご加入のケーブルテレビ会社や共同受信設備の管理者にお問い合わせください。

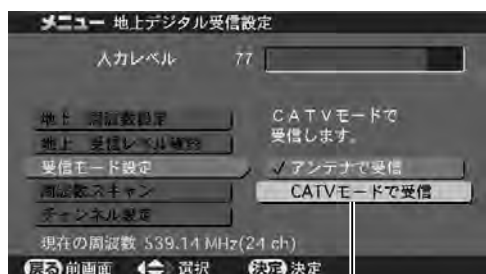
❶ 「地上デジタル受信設定」の画面を出す

227ページの操作❶～❸参照。

❷ カーソル▼▲ボタンを押して、「受信モード設定」を選び、

決定ボタンを押す

❸ カーソル▼▲ボタンを押して、「CATVモードで受信」を選び、

決定ボタンを押す

「CATVモードで受信」を選んで決定

画面に「受信モードの設定が変わりました。周波数スキャンを行ってください。」と表示されます。

228～229ページの操作❺～❼を行い、CATVモードで周波数スキャンを行い、チャンネルを設定します。

受信レベルを確認するとき

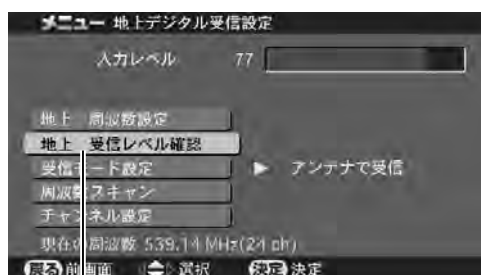
地上デジタル放送の受信レベルを、チャンネルごとに表示させることができます。

❶ 「地上デジタル受信設定」の画面を出す

227ページの操作❶～❸参照。

❷ カーソル▼▲ボタンを押して、「地上　受信レベル確認」を選び、

決定ボタンを押す

- 受信レベル確認画面に変わります。
- 全チャンネルをスキャンし受信レベル表示します。すべてのチャンネルの受信レベルを表示するには3分程度かかります。
- 受信レベル確認を中止するとき**戻る**ボタンを押します。

「地上　受信レベル確認」を選んで決定

（アンテナで受信時）

ご注意

受信レベル確認画面で表示されるのは、地上デジタル放送が行われているUHF13～62チャンネル別の受信レベルです。ここで表示される受信レベルが、お住まいの地域の地上デジタル放送の、どのチャンネルに該当するかは、希望の地上デジタル放送を受信してから「受信設定」画面を出したときに表示される周波数表示で確認することができます。

地上デジタル放送のチャンネル設定（つづき）

放送事業者領域一覧

本機内部には、地上デジタル放送の電波によって送られてきた放送事業者の情報などを保管しておくメモリー領域が確保されていますが、異なる地域で何回もスキャンを行った場合など、メモリー領域がいっぱいになる場合が考えられます。そのようなときは「放送事業者領域一覧」画面でいずれかの放送事業者を削除してください。

メモリー領域がいっぱいになると、画面にメッセージが表示されます。

> 放送事業者の領域が確保できません。デジタルメニュー、視聴者情報設定の放送事業者領域一覧を表示し、いずれかの事業者を削除してください。

①**メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を出す。

②**カーソル◀ ▶**ボタンを押して、「デジタル設置」を選ぶ。

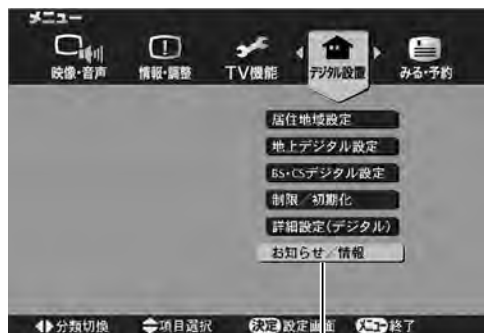
③**カーソル▲▼**ボタンを押して、「お知らせ/情報」を選び、**決定**ボタンを押す。

④▼ボタンを押し続けて、「お知らせ/情報」メニューの2/2ページ目を表示させる。

⑤▲▼ボタンで、「放送事業者領域一覧」を選び、**決定**ボタンを押す。

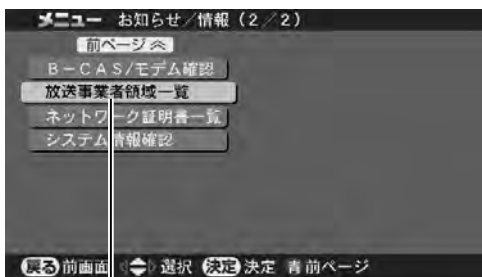
⑥▲▼ ◀ ▶ボタンで、以前の地域の放送局など、不要な放送事業者を選び**決定**ボタンを押す。

⑦「この事業者領域を削除しますか？」というメッセージが表示されるので、◀ ▶ボタンで「はい」を選んで決定ボタンを押す。

メニュー画面

「デジタル設置」の「お知らせ/情報」を選んで決定

お知らせ/情報　1/2画面

▼ボタンで次ページへ移る

お知らせ/情報　2/2画面

「放送事業者領域一覧」を選んで決定

放送事業者領域一覧　画面

削除する放送事業者領域を選んで決定

チャンネル設定を追加・変更するとき

リモコンのチャンネル1～12ボタンに設定した地上デジタル放送のチャンネルを確認したり追加・変更することができます。

❶ 「地上デジタル受信設定」の画面を出す

227ページの操作❶～❸参照。

❷

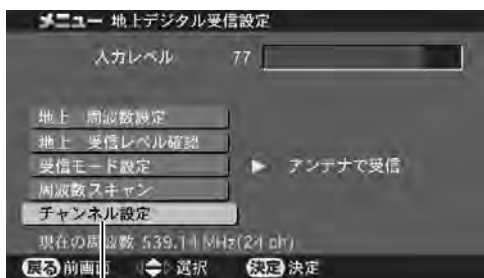
カーソル▼▲ ボタンを押して、「チャンネル設定」を選び、

決定ボタンを押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

地上デジタル受信設定　画面

「チャンネル設定」を選んで決定

❸

カーソル◀ ▶ ボタンを押して、設定を変えるボタンを選び、

決定または▼ボタンを押す

- チャンネルを追加するときは空欄のチャンネルを選び**決定**ボタンを押します。
- **決定**または▼ボタンを押すと、▲▼ボタンでチャンネルリストから選べるようになります。

◀ ▶で選んで決定

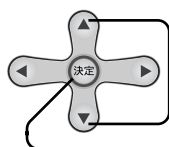
チャンネルリスト

推奨されるリモコンの割り当て番号

番号を白で表示：開局済み
番号を緑で表示：未開局

❹

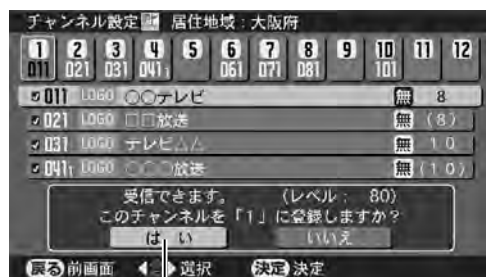
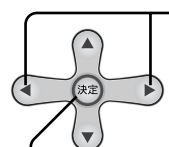
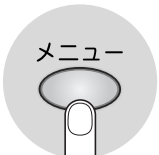
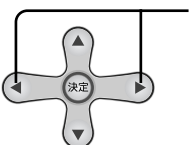
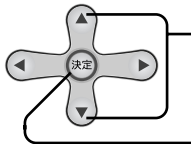
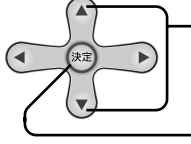
カーソル▼▲ ボタンを押して、設定するチャンネルを選び、

決定ボタンを押す

- 受信レベルを確認する画面に変わり、確認後、チャンネルを登録する画面に変わります。
- ボタンに登録されているチャンネルを選んで**決定**を押すと登録がない状態にすることができます。

▲▼で選んで決定

❺

カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「はい」を選び、

決定ボタンを押す

◀ ▶で「はい」選んで決定

- 選んだチャンネルがボタンに登録されます。
- 他のボタンにも設定するときは、操作❸～❺を繰り返します。

電話回線の設定

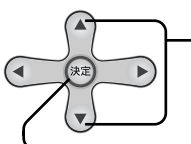
データ放送の双方向サービスを利用したり、有料放送を受信するために電話回線を接続したときは、
電話回線の設定を行ってください。

電話回線/設定のしかた

メニューボタンを押して、メニュー画面を出す

2

カーソル◀▶ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

3

カーソル▼▲ボタンを押して、「詳細設定（デジタル）」を選び、

決定ボタンを押す

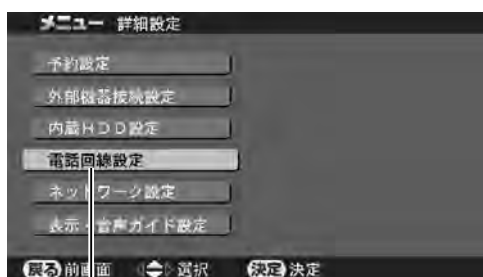
「詳細設定（デジタル）」の画面が表示されます。

4

カーソル▼▲ボタンを押して、「電話回線設定」を選び、

決定ボタンを押す

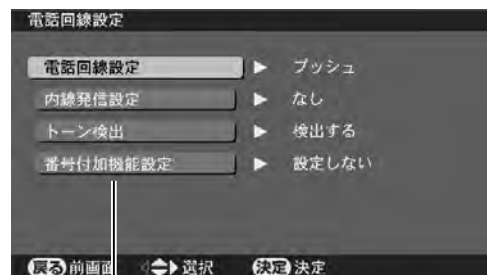
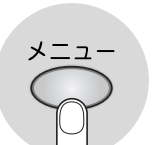
「電話回線設定」の画面が表示されます。

詳細設定　画面

「電話回線設定」を選んで決定

5

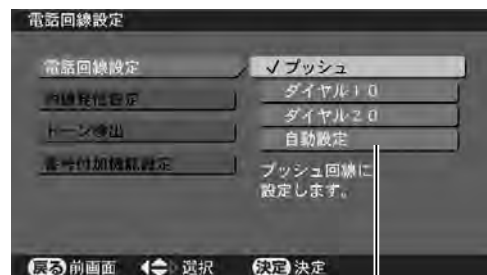
カーソル▼▲ボタンを押して、設定する項目を選び、

決定ボタンを押す

電話回線の設定画面

設定する項目を選んで決定

6

カーソル▼▲ボタンを押して、項目を設定し、

決定ボタンを押す

詳しくは各項目の説明をご覧ください。

項目を設定して決定

操作5、6を繰り返して必要な項目を設定します。それぞれの項目については次ページ以降をご覧ください。

7

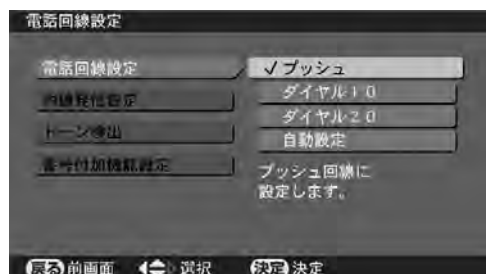
設定を終えるときはメニューボタンを押す（操作終了）

デジタルメニューが消えます。

お知らせ

1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。

電話回線の設定

ご家庭の電話回線に合わせて設定を変えてください。

プッシュ …プッシュ回線を使用している場合に設定してください。

ダイヤル10 …10PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

ダイヤル20 …20PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

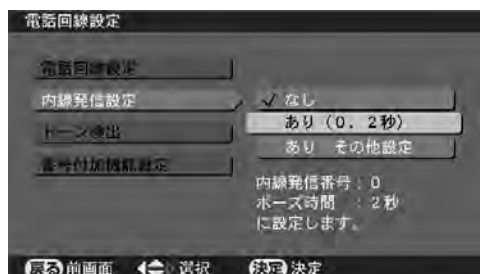
自動設定 …電話回線と内線発信が自動で設定されます。

※
ご使用の回線に内線発信設定がある場合は、先に右記の内線発信設定をすませてから自動設定を行ってください。内線発信設定があるときは、自動設定に数分かかることがあります。

お知らせ

- 「電話回線の設定」で「自動設定」を行ったときは、「電話回線を自動設定中です。しばらくお待ちください。」と表示が出て確認が行われ、設定できたときは「電話回線を自動設定しました。」と表示されます。設定できなかったときは「電話回線を自動設定できません。」と表示されますので、手動で設定を行ってください。
- 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定をご確認のうえ、設定してください。また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。
- 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。
- ターミナルアダプターのアナログポートに接続するときは、回線設定は「プッシュ」にしてください。
- 接続する回線によっては、回線設定「自動」ではうまく働かない場合があります。そのような場合には、接続する電話回線に合わせて設定してください。

内線発信設定

内線発信が必要な電話回線のときに設定してください。

な　し …内線発信する必要がないときに設定します。

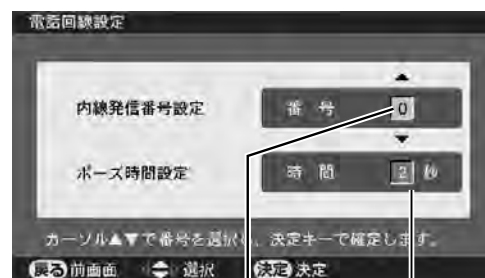
あり（0、2秒） …外線通話をするとき、番号の前に「0」をつける必要がある電話のときに設定します。

あり その他設定 …外線通話をするとき、番号の前に「0」以外の番号をつける必要がある電話のときに設定します。（下記参照）

「あり　その他設定」のとき

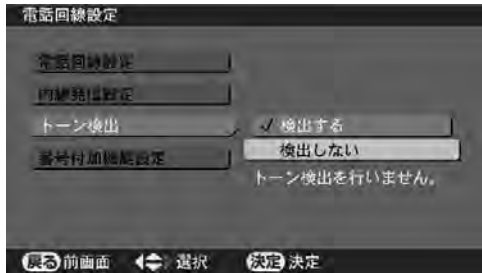
内線発信設定が必要で、内線発信番号が「０」以外の回線をお使いの場合は、内線発信設定の「あり　その他の設定」で設定してください。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「あり　その他設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
内線発信番号とポーズ時間を設定する画面に変わります。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して内線発信番号を設定し、**決定**ボタンを押します。
（1～9、0と＊、＃が設定できます）
③ **カーソル◀▶**ボタンを押してポーズ時間を設定し、**決定**ボタンを押します。
（0、2、4、6、8秒が設定できます）

設定編

準備と設定

電話回線の設定（つづき）

トーン検出

トーン検出は、本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。お買い上げ時は「検出する」に設定されています。通常、設定を変える必要はありません。電話回線設定、内線発信設定を正しく設定したのに正常に動作しないなどの場合に「検出しない」に設定します。

検出する …通常はこの設定でご使用ください。

検出しない …受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

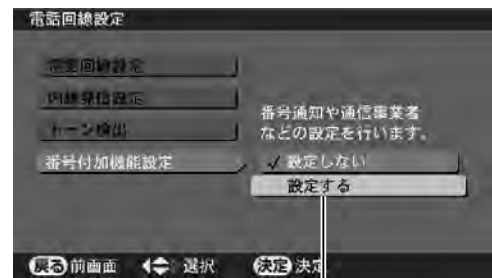
お知らせ

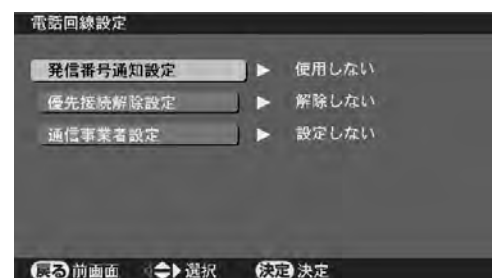
「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などを使用中に本機で送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。

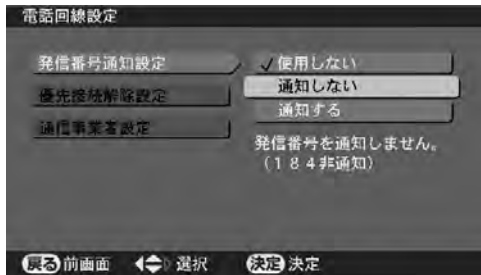
番号付加機能を設定するとき

電話回線設定画面の「番号付加機能設定」では、次の設定ができます。必要な場合は設定してください。

- 発信番号通知設定
- 優先接続解除設定
- 通信事業者設定

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「番号付加機能設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「設定する」を選び、**決定**ボタンを押します。
3種類の設定ができる画面に変わります。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して設定する項目を選び、**決定**ボタンを押します。
④ **カーソル▲▼**ボタンを押して設定し、**決定**ボタンを押します。
操作③、④を繰り返して必要な項目を設定します。

「設定する」を選んで決定

番号付加機能設定の画面

発信番号通知設定

本機から発信する際に、電話番号を着信者（放送局側）に通知するかどうかを設定します。お買い上げ時は「使用しない」に設定しています。

使用しない …登録している電話番号をそのままダイヤルします。番号通知を通知するか否かは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。

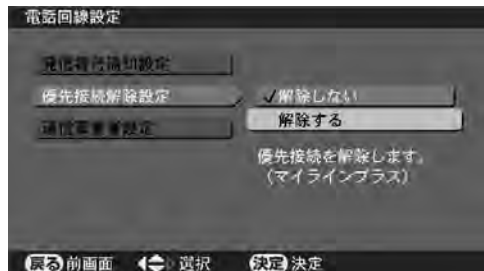
通知しない …登録している電話番号の頭に「184」を付けてダイヤルします。

通知する …登録している電話番号の頭に「186」を付けてダイヤルします。

(お知らせ)

設定が「使用しない」の場合は、お客さまとＮＴＴとの間の「ナンバーディスプレイ契約」に従った動作となります。

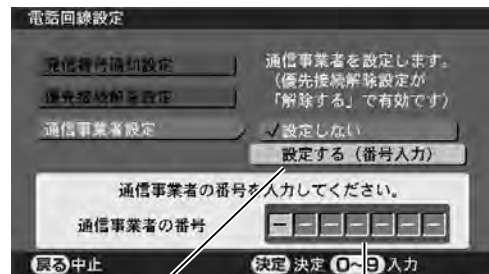
優先接続解除設定

お買い上げ時は「解除しない」に設定されています。電話会社の優先接続サービス（マイラインプラス）に加入している場合は「解除する」に設定を変えてご使用ください。

(お知らせ)

優先接続サービス（マイラインプラス）に加入していない場合は、お買い上げ時の「解除しない」のままご使用ください。

通信事業者設定

電話の発信をする際に、使用する電話会社を設定できます。設定するときは、発信するときに電話番号の前につける数字を入力します。

① **カーソル▲▼**ボタンを押して「通信事業者設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
② **カーソル▲▼**ボタンを押して「設定する（番号入力）」を選び、**決定**ボタンを押します。
通信事業者の番号を入力する画面に変わります。
③ **チャンネル1〜10**ボタンを押して、通信事業者（電話会社）の番号を入力し、**決定**ボタンを押します。
（設定終わり）

「設定する（番号入力）」を選んで決定　　数字を入力して決定

(お知らせ)

通信事業者の設定を行った場合でも、データ放送のサービスなどによっては適用されない場合があります。

(お知らせ)

次のような症状が出るときは…

電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状が出ることがあります。

- **本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る**
  この症状が出るときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。
- **電話機にノイズ（雑音）が入る**
  この症状が出るときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

デジタル放送の特殊設定／その他

この章では、デジタル放送で機能を改善するとき（ダウンロード）や、設定をお買い上げ時の状態に戻す方法などを説明しています。また、巻末には困ったときやアフターサービスに役立つ情報を掲載しています。

ダウンロードについて

ダウンロードとは、デジタル放送の電波を使って受信機のソフトウェアを最新のものに更新するサービスです。ダウンロード用の電波は必要な期間に1日数回、一定時間ごとに5～10分間送信されます。送信される時間帯にテレビの電源をリモコンで切っておくと、ダウンロード電波の送信に応じて自動的にテレビのデジタルチューナー部に電源が入り、ダウンロードが行われます。

ダウンロードの電波は一定時間ごと（2～4時間ごとなど）に送信されますので、夜おやすみになっている間など、リモコンで電源を切った状態で長時間放置されている間にダウンロードは自動で実行されます。

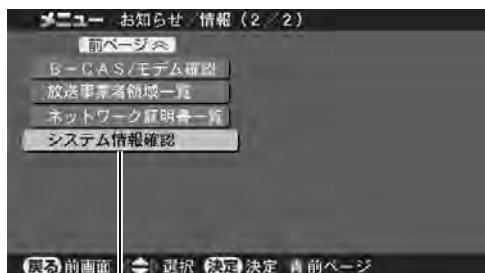
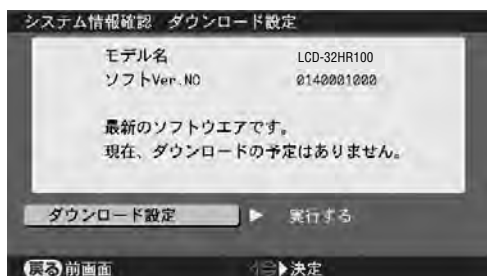
デジタルメニュー「お知らせ/情報」画面の出しかたは、☞246ページでも説明しています。

システム情報確認とダウンロード

システム情報を確認するには

① メニューボタンを押して、メニュー画面を出します。
② カーソル◀ ▶ボタンを押して、「デジタル設置」を選びます。
③ カーソル▲▼ボタンを押して「お知らせ/情報」を選び、決定ボタンを押します。
④ カーソル▼ボタンを押して、「お知らせ/情報」メニューの2/2ページを表示させます。
⑤ カーソル▲▼ボタンを押して「システム情報確認」を選び、決定ボタンを押します。

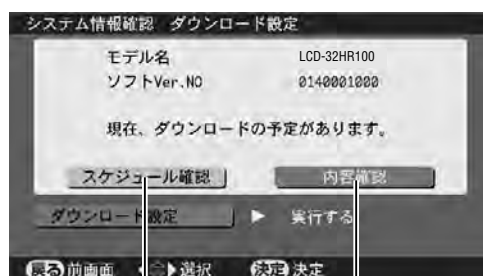
- 「システム情報確認」の画面が表示され、ソフトウェアのバージョンナンバーなどを画面で確認できます。
- ダウンロードの予定があるときは、画面に「スケジュール確認」のボタンが表示されます。決定ボタンを押すとスケジュールを確認できます。

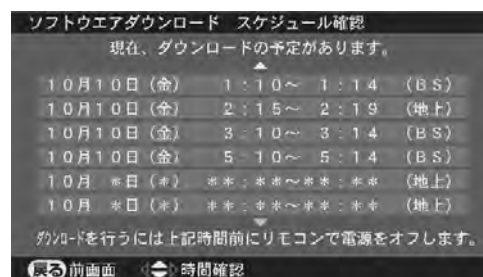
お知らせ/情報　2/2画面

「システム情報確認」を選んで決定

例. ダウンロードの予定がないとき

ダウンロードが可能なとき

ダウンロードを知らせる信号（告知信号）を受信したときや、告知信号を受信した後、デジタル放送の画面で電源を入れたときは、画面に次のようなメッセージが表示されます。

只今、ダウンロードが可能です。
メニューでスケジュールを確認してください。

ダウンロードが可能なときは、デジタルメニューの「システム情報確認」画面でダウンロードのスケジュールを見ることができます。

スケジュール確認　　内容確認

◀ ▶ボタンで「スケジュール確認」を選んで決定ボタンを押すとスケジュール確認の画面に変わり、ダウンロードが行われる時間帯を確認することができます。

◀ ▶ボタンで「内容確認」を選んで決定ボタンを押すと内容確認の画面に変わり、ダウンロードの内容を確認することができます。

ご注意

ダウンロードの有無はデジタル放送の電波で送られてくる告知信号で検出します。デジタル放送が受信できない状態の場合はダウンロードの有無、スケジュール、内容などは検出できません。

ダウンロードを行うとき

ダウンロードを実行するとき

ダウンロードの時間帯が確認できましたら、次のようにダウンロードを実行します。

リモコンの電源ボタンを押して、ダウンロードが行われる時間帯の間、本機の電源を切った状態にしておく

①「システム情報確認」のスケジュール確認画面で確認したダウンロードの時間帯の中で、都合のよい時間帯の前に、本機の電源をリモコンで切ります。

②ダウンロードの開始時間になり、ダウンロード電波を受信すると、自動でダウンロードを実行します。ダウンロード中はテレビ本体の**予約/回線使用中**ランプがオレンジに点灯します。

③ダウンロードは自動的に終了します（**予約/回線使用中**ランプが消灯）。

ダウンロードの電波は一定時間ごと（2～4時間ごとなど）に送信されます。夜おやすみになっている間など、リモコンで電源を切った状態で長時間放置されている間にダウンロードは自動で実行されます。

ダウンロード中は次の操作をしないでください

ダウンロード中は次の操作をしないでください。ダウンロードに要する時間が長くなったり、もう一度ダウンロードが必要になったりします。

- アンテナの接続をはずさないでください。
- Ｂ－ＣＡＳカードを抜き差ししないでください。
- テレビ本体の電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。ダウンロードが中断されます。

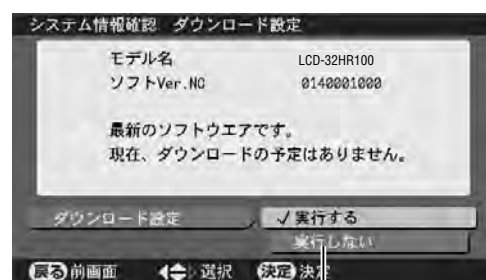
実行を確認するには

「システム情報確認」画面を表示させると「最新のソフトウェアです。現在、ダウンロードの予定はありません。」と表示され、ソフトＶｅｒ．ＮＯ．が更新されます。

ダウンロードを禁止するとき

「システム情報確認」画面の「ダウンロード設定」を「実行しない」に変えるとダウンロードが実行されなくなります。

①**カーソル ▼▲ ◀▶**ボタンを押して「ダウンロード設定」を選び、**決定**ボタンを押す。

②**カーソル ▼▲** ボタンを押して「実行しない」を選び、**決定**ボタンを押す。

「実行しない」を選んで決定

ダウンロードについて

- ダウンロードはすべての信号の読み込みに成功した時点で新しいシステムに切り換えるようになっています。天候悪化や中断などで読み込みに失敗したときは以前の状態に戻り、セットに異常をきたすことはありません。
- ダウンロードによって更新できるのはデジタル放送の関連機能に限ります。地上アナログ放送や他の機能は更新できません。
- ダウンロードには特定メーカーの機器を対象に行われるソフトダウンロード（スケジュール、内容の確認ができる）のほか、すべての受信機を対象にチャンネルのロゴマークなどを更新するために行われる共通データダウンロード（スタンバイ状態で即時実行される）があります。

ご注意

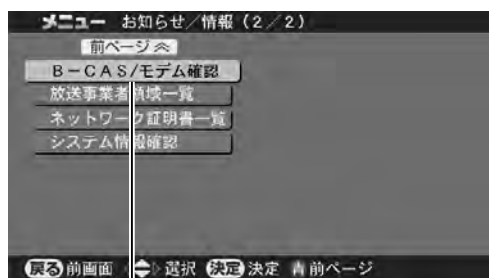
- ダウンロードはBSデジタル放送または地上デジタル放送の電波によって行われますので、これらのアンテナをつないでいないなど、電波を受信できない状態では実行できません。
- ダウンロード開始前にリモコンで電源を切るときの画面はどの画面でもかまいません。
- 電源をテレビ本体の**電源**スイッチで切ったり、電源プラグをコンセントから抜くとダウンロードできません。必ずリモコンの**電源**ボタンで切ってください。
- ダウンロードは、1回成功すれば以後同じダウンロード電波が来ても実行しなくなります。

B-CASカード/モデム確認

B-CASカード（ICカード）、通信用の内蔵モデムをテストできます。

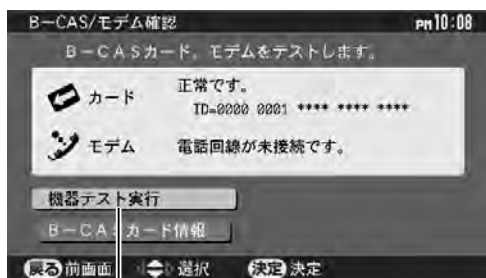
B-CASカード/モデム確認のしかた

1. メニューボタンを押して、メニュー画面を出す
2. カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、
3. カーソル▼▲ ボタンを押して「お知らせ/情報」を選び、決定ボタンを押す
4. カーソル▼ボタンを押して、「お知らせ/情報」メニューの2/2ページを表示させる
5. カーソル▼▲ ボタンを押して、「B-CAS/モデム確認」を選び、決定ボタンを押す

「B-CAS/モデム確認」の画面が表示されます。

「B-CAS/モデム確認」を選んで決定

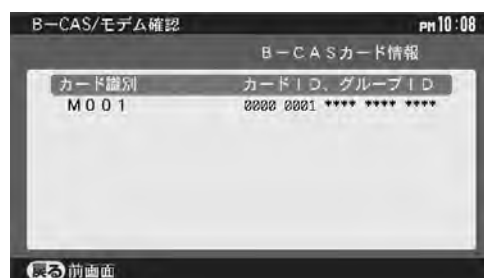
機器テストをするとき

カーソル▼▲ ボタンを押して「機器テスト実行」を選び、決定ボタンを押す

機器テストが実行されます。モデムのテストには数秒かかります。正常に動作する状態ならば「正常です。」と表示されます。

「機器テスト実行」を選んで決定

B-CASカードの情報を見るとき

カーソル▼▲ ボタンを押して「B-CASカード情報」を選び、決定ボタンを押す

本機のB-CASカード挿入口に差し込んでいる付属のB-CASカードのＩＤ番号が画面に表示されます。

お知らせ

モデムのテストは、ダイヤルトーン（受話器を上げたときにツーと聞こえる音）の検出を確認するもので、トーンやパルスを識別するものではありません。

詳細設定メニューでできること

「詳細設定」メニューには予約や外部機器、表示などに関する機能があります。

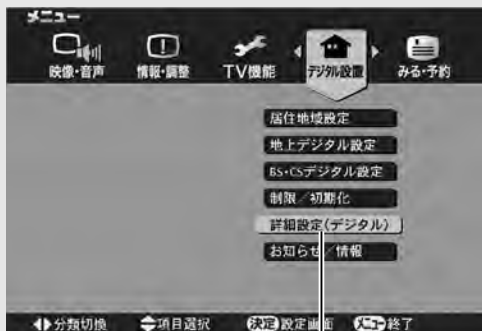
「詳細設定（デジタル）」メニューを出す

❶ メニューボタンを押してメニューを出す

❷ カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

❸ ▼▲ ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」を選び、決定ボタンを押す

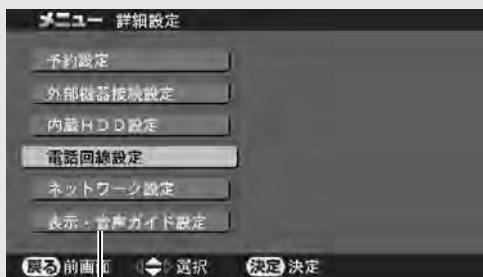
「詳細設定（デジタル）」の画面に切り換わります。

メニュー画面

「詳細設定（デジタル）」を選んで決定

詳細設定（デジタル）画面

設定する項目を選んで決定

下記のメニュー項目は別のページで説明しています。

- 接続VTR設定 132ページ
- i.LINK接続機器設定 144ページ
- 内蔵HDD設定 116ページ
- 電話回線設定 234ページ
- ネットワーク設定 260ページ

時間変更予約設定

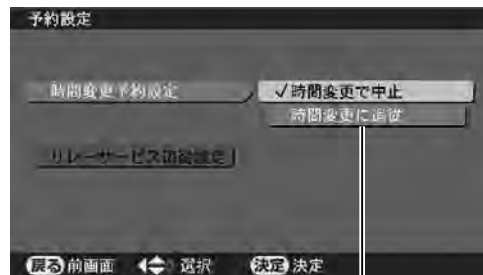
予約した番組の開始時刻が変更されたときでも追従して予約を実行するように設定できます。（お買い上げ時は、番組の開始時刻が変更されたときは予約実行を中止する設定です）

❶ ▼▲ ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」メニューの「予約設定」を選び、決定ボタンを押す

予約設定の画面が表示されます。

❷ ▼▲ ボタンを押して「時間変更予約設定」を選び、決定ボタンを押す

時間変更予約設定の項目が表示されます。

❸ ▼▲ ボタンを押して、希望の設定を選び、決定ボタンを押す

希望のモードを選んで決定

開始時刻の変更に追従して予約を実行させるときは「時間変更に追従」に設定してください。

お知らせ

- 番組の終了時刻が変更になった場合は設定に関係なく自動的に追従します。
- 番組の開始時間が3時間以上変更された場合は予約が破棄されます。

リレーサービス追従設定

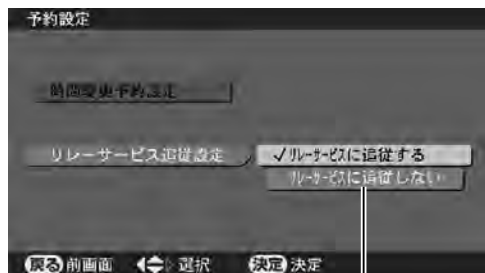
リレーサービスとは、番組が予定の終了時間になっても終わらないとき、別のチャンネルで続きを放送するサービスです。リレーサービスに追従する／しないを設定できます。（お買い上げ時は「追従する」に設定されており、予約した番組の延長部分が他のチャンネルで放送されるときは、自動でそのチャンネルを選局します）

❶ ▼▲ ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」メニューの「予約設定」を選び、決定ボタンを押す

予約設定の画面が表示されます。

❷ ▼▲ ボタンを押して「リレーサービス追従設定」を選び、決定ボタンを押す

リレーサービス追従設定の項目が表示されます。

❸ ▼▲ ボタンを押して、希望の設定を選び、決定ボタンを押す

希望のモードを選んで決定

リレーサービスに追従しないようにするときは「...追従しない」に設定してください。

i.LINK自動切換設定

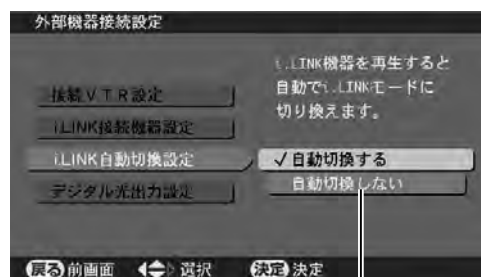
D-VHSビデオなどのi.LINK機器を再生したとき、再生を検知して本機の画面を自動でi.LINKモードに切り換える機能です。

❶ ▼▲ ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」メニューの「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す

外部機器接続設定の画面が表示されます。

❷ ▼▲ ボタンを押して「i.LINK自動切換設定」を選び、決定ボタンを押す

i.LINK自動切換設定の項目が表示されます。

❸ ▼▲ ボタンを押して、希望の設定を選び、決定ボタンを押す

希望のモードを選んで決定

「自動切換する」に設定したとき
本機に接続したi.LINK機器を再生したとき、自動でi.LINK機器の再生画面に切り換えます。

「自動切換しない」に設定したとき
自動切換を行いません。i.LINK機器の再生画面を映すときは、何みるガイドの「外部・ビデオ」や機器操作パネルを表示させるなどしてi.LINK画面に切り換えてください。

i.LINKについて詳しくは ☞142～151ページをご覧ください。

詳細設定メニューでできること（つづき）

デジタル光出力設定

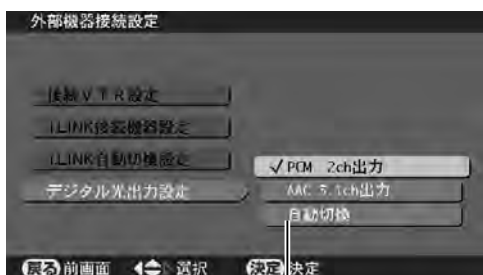
本機のデジタル音声出力（光）端子の出力を変える設定です。AAC 5.1チャンネルデコーダを内蔵したＡＶアンプなどに接続して、5.1チャンネルサウンド音声を楽しむときに設定します。

❶ ▼▲ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」メニューの「外部機器設定」を選び、決定ボタンを押す

外部機器設定の画面が表示されます。

❷ ▼▲ボタンを押して「デジタル光出力設定」を選び、決定ボタンを押す

デジタル光出力設定の項目が表示されます。

❸ ▼▲ボタンを押して、希望の設定を選び、決定ボタンを押す

希望のモードを選んで決定

■PCM 2ch出力
デジタル音声を左と右の2チャンネルに変換（ダウンミックス）して出力します。

■AAC 5.1ch出力
デジタル音声を放送そのままのチャンネルで出力します。

■自動切換
3チャンネル以上の音声およびデュアルモノラルの音声はAAC 5.1チャンネルで、2チャンネル以下の音声はPCM 2チャンネル（ダウンミックス）で出力します。

（お知らせ）

- AAC 5.1チャンネルに対応していない機器に接続するときは「PCM 2ch出力」に設定してお使いください。対応していない機器へAAC 5.1チャンネルの信号を出力した場合、正しく再生や録音がされません。
- デジタル光出力設定は、デジタル音声出力（光）端子から出力する以外の音には影響しません。

表示・音声ガイド設定

「表示・音声ガイド設定」では表示や音声ガイドの設定を変えることができます。

❶ ▼▲ボタンを押して「詳細設定（デジタル）」メニューの「表示・音声ガイド設定」を選び、決定ボタンを押す

表示・音声ガイド設定の画面が表示されます。

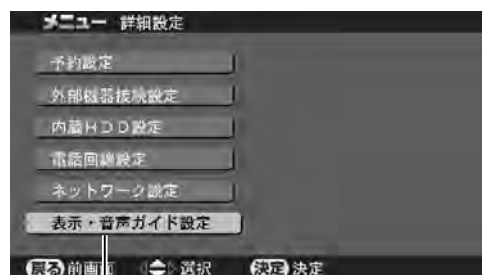
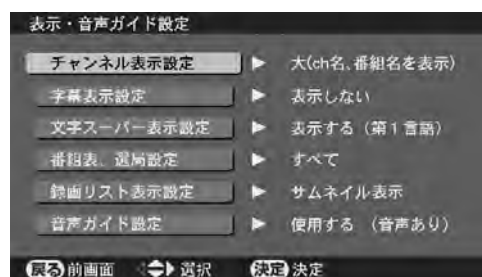
❷ ▼▲ボタンを押して設定する項目を選び、決定ボタンを押す

選んだ設定の項目が表示されます。

❸ ▼▲ボタンを押して、希望の設定を選び、決定ボタンを押す

「表示・音声ガイド設定」を選んで決定

表示・音声ガイド設定

チャンネル表示設定	▶ 大(ch名、番組名を表示)
字幕表示設定	▶ 表示しない
文字スーパー表示設定	▶ 表示する（第１言語）
番組表、選局設定	▶ すべて
録画リスト表示設定	▶ サムネイル表示
音声ガイド設定	▶ 使用する （音声あり）

戻る 前画面　選択　決定 決定

チャンネル表示設定

デジタル放送を受信したとき画面に現れる表示を、大/小/表示しない、に切り換えることができます。

■大（ch名、番組名を表示）
チャンネル名や番組名がバナーに表示される設定です。

■小（ch番号、ロゴを表示）
チャンネル番号と放送のロゴマークが画面右上に表示される設定です。

■表示しない
選局してもチャンネルなどを表示しない設定です。

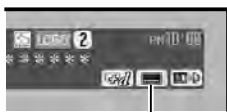
字幕表示設定

デジタル放送には字幕のついた番組があります。字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。（リモコンの字幕ボタンでも設定できます。☞81）

■表示する（第1言語）
第1言語で字幕が表示されます。

■表示する（第2言語）
第2言語で字幕が表示さされます。

■表示しない
字幕を表示しない設定です。

字幕が放送されているときは、このマークが明るく表示されます。

お知らせ

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。

文字スーパー表示設定

デジタル放送には文字スーパーが表示される番組もあります。表示の言語を切り換えたり、表示しないように設定できます。（お買い上げ時は「表示する（第１言語)」です）

ご注意

- 地上アナログ放送などの字幕放送は表示できません。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が働かないものもあります。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。

番組表、選局設定

お買い上げ時はテレビ放送、ラジオ放送、データ放送のすべてが選局できますが、番組表や選局をテレビ放送だけに限定することができます。

■テレビ放送
デジタル放送のテレビ放送だけを選局したり番組表のデータを取得したりするようになります。ラジオ放送やデータ放送を選局したり番組表のデータを取得したりはできなくなります。

■すべて
デジタル放送で行われている放送（テレビ、ラジオ、データ）は、すべて選局したり番組表のデータを取得したりできます。

お知らせ

- 番号入力でチャンネル番号を入力して選局したときは、ラジオ放送やデータ放送も選局できます。
- リモコンの「d」ボタンを押して利用するデータ放送はご覧になれます。
- 元に戻すときは「番組表、選局設定」を「すべて」に設定します。

録画リスト表示設定

内蔵HDD（ハードディスク）に録画したタイトルのリスト表示を設定します。「リスト表示」に設定するとサムネイル画像なしの8タイトルをリストで表示します。「サムネイル表示」に設定するとサムネイル画像付きの4タイトルをリストで表示します。

ご注意

- 何みるガイド画面の「HDD」で表示される録画タイトルリストにはサムネイル画像は付きません。

音声ガイド設定

簡単操作ガイドの音声ガイダンスや、各種の操作をしたときの動作音を出ないように設定できます。

■使用する（音声あり）
音声ガイダンスや動作音が出る設定です。

■使用しない（音声なし）
音声ガイダンスや動作音が出ない設定です。

お知らせ/情報メニューでできること

「お知らせ/情報」メニューでは放送局から届くメールや予約番組の記録などを見ることができます。

「お知らせ/情報」メニューを出す

1 **メニューボタンを押してメニューを出す**

2 **カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、**

3 **▼▲ ボタンを押して「お知らせ/情報」を選び、決定ボタンを押す**

「お知らせ/情報」の画面に切り換わります。

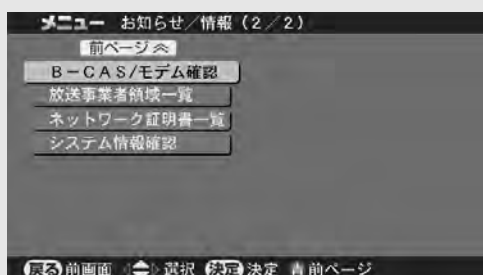
メニュー画面

「お知らせ/情報」を選んで決定

お知らせ/情報メニュー　1/2画面

設定する項目を選んで決定

「お知らせ/情報」メニューは2ページで構成されています。2/2ページに移るときは、2/2ページが表示されるまで**カーソル▼**ボタンを押してください。1/2ページに戻るときは**カーソル▲** ボタンを押します。

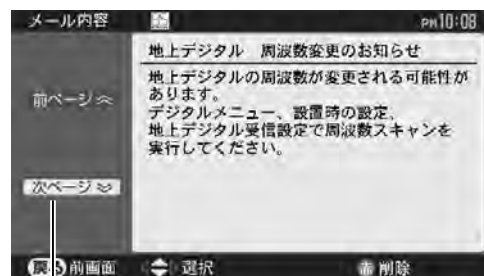
お知らせ/情報メニュー　2/2画面

メール一覧

放送局から届くメールを見る機能です。

1 **▼▲ ボタンを押して「お知らせ/情報」メニューの「メール一覧」を選び、決定ボタンを押す**

- メールがないときは「メールはありません」と表示されます。

2 **▼▲ ボタンを押して、読みたいメールを選び、決定ボタンを押す**

読むメールを選んで決定

次ページ

- 次ページと表示されるときは、▼ボタンを押すと続きが表示されます。▲ボタンを押すと前の内容に戻ります。
- メール内容の画面でリモコンの**赤**ボタンを押すとメールを削除することができます。
- 本機で受信できるメールは31通までです。

下記のメニュー項目は別のページで説明しています。

- B-CAS/モデム確認　☞241ページ
- 放送事業者領域一覧　☞232ページ
- ネットワーク証明書一覧　☞190ページ
- システム情報確認　☞239ページ

ボード一覧

ボード（掲示板）は、110度CSデジタル放送局から全員に送られてくるお知らせです。

1 CSボタンを押して、110度CSデジタル放送に切り換える

2 デジタルメニューの「お知らせ/情報」を選び、決定ボタンを押す

3 ▼▲ボタンを押して「ボード一覧」を選び、決定ボタンを押す

- ボード一覧の画面が表示されます。
- ボードがないときは「ボードはありません」と表示されます。

4 ▼▲ボタンを押して、読みたいボードを選び、決定ボタンを押す

- 選んだボードの内容が表示されます。
- 次ページと表示されるときは、▼ボタンを押すと続きが表示されます。▲ボタンを押すと前の内容に戻ります。

読むボードを選んで決定

（お知らせ）

- BSデジタル放送、地上デジタル放送にボードはありません。
- データ取得には時間がかかる場合があります。また背景の映像と音声が消える場合があります。

予約番組一覧

予約した番組を一覧表で見ることができます。一覧表から予約の変更や取り消しもできます。

▼▲ボタンを押して「お知らせ/情報」メニューの「予約番組一覧」を選び、決定ボタンを押す

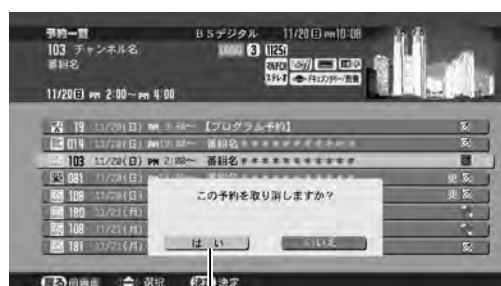
選択中の予約番組の情報

予約の種類

- 予約番組一覧の画面が表示されます。
- 各デジタル放送の予約番組がいっしょに表示されます。
- プログラム予約した内容は【プログラム予約】と表示されます。
- 実行を中止した予約などには「破棄」と表示され、ガイド表示に理由が表示されます。

一覧画面から予約を取消すには

▼▲ボタンで番組を選び、リモコンの赤ボタンを押すと取消しの確認画面が表示されます。◀▶ボタンで「はい」を選んで決定ボタンを押すと予約が取り消されます。「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと取り消しを中止します。

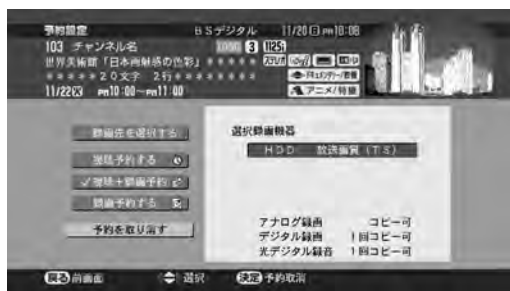
（予約の取消し画面）

「はい」を選び決定を押すと取り消し

次ページへ続く

お知らせ/情報メニューでできること（つづき）

予約番組一覧（つづき）

一覧画面から予約を変更するには

- ▼▲ボタンで変更したい番組を選び、**決定**ボタンを押すと番組予約の画面が表示され、予約の種類を変更したり、予約を取消したりできます。
- プログラム予約のときは、プログラム予約の設定画面が表示されます。設定と同じ操作で内容の変更ができます。変更は「次画面」まで行ってください。
- 地上デジタル放送の予約を変更するにはチャンネルの切り換えとデータ取得が必要な場合がありますが自動で行います。

※番組表からの予約のとき

（お知らせ）

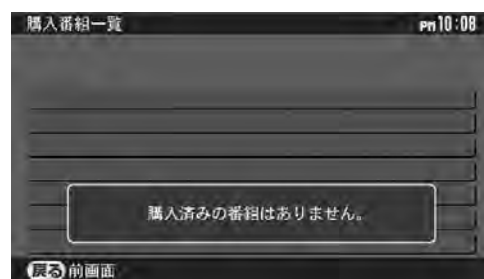
プログラム予約で時間帯が重複したなどの理由で実行できない予約は、予約番組一覧画面で「重複　予約非実行」などと表示され、そのままでは予約が実行されません。時間帯が重なる別の予約を取り消すなどの操作が必要です。

購入番組一覧

有料番組（PPV番組）の購入記録を画面で確認することができます。

▼▲ ボタンを押して「お知らせ/情報」メニューの「購入番組一覧」を選び、決定ボタンを押す

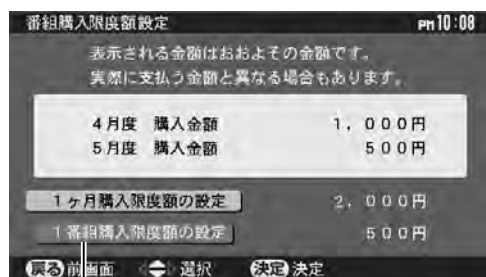
購入番組一覧画面が表示され、番組の放送時間・料金・番組名などが表示されます。

画面例.購入番組がないとき

放送を問わず16件の番組購入まで記録します。16以上になると古い記録から取り消されます。

番組購入限度額設定

有料番組（PPV番組）の購入記録を画面で確認したり、限度額を設定したりできます。

▼▲ ボタンを押して、「お知らせ/情報」メニューの「番組購入限度額設定」を選び、決定ボタンを押す

番組購入限度額設定の画面が表示され、確認できます。

限度額を設定するときは選んで決定

ご注意

表示される購入金額はおよその金額です。実際に支払う金額と異なる場合があります。

限度額を超えるときは

番組購入時、設定した限度額を超えるときは「この番組を購入すると、＊＊の購入限度額を超えます。購入しますか？」のようなメッセージが出て購入する／購入しないを問い合わせてきます。◀▶ボタンで「購入する」または「購入しない」を選んで決定ボタンを押します。（限度額を超えても購入はできます）

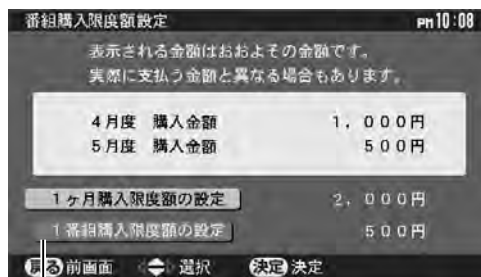
購入限度額を設定するとき

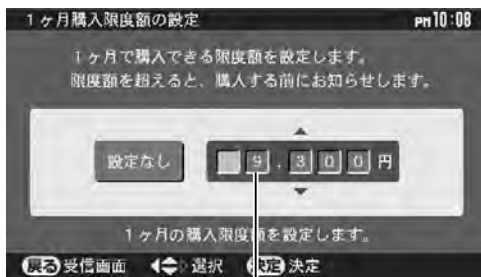
1ヶ月に購入する合計の限度額や、番組一つに対する購入限度額を設定しておき、限度額を超えるときは購入時にメッセージを出すことができます。

❶ 番組購入限度額設定の画面で、▼▲ ボタンを押して「1ヶ月購入限度額の設定」または「1番組購入限度額の設定」を選び、決定ボタンを押す

❷ ▼▲ ボタンを押して限度額を入力し、決定ボタンを押す

- ▼▲ ボタンを押すごとに100円単位で金額が増減します。
- 金額は**チャンネル1〜10**ボタンでも入力できます（5桁で入力します）。

番組購入限度額設定の画面

限度額を設定するときは選んで決定

例. 1ヶ月購入限度額設定の画面

限度額を入力して決定

限度額の取り消しと変更

- 設定を取り消すときは、◀▶ボタンで「設定なし」を選んで**決定**ボタンを押します。設定を変更するときは、設定の手順で新しい限度額に変更します。
- 「設定なし」の状態から、金額を設定する状態に変えるときは、▶ボタンを押します。

お知らせ/情報メニューでできること（つづき）

チャンネル一覧

デジタル放送のチャンネルをリストで表示します。リストから選局したり情報を見たりできます。

1 **BS/CS/地上デジタルボタンを押して、チャンネル一覧を見たいデジタル放送の画面に切り換える**

2 **「お知らせ/情報」メニューを出す**

246ページをご覧ください。

3 **▼▲ボタンを押して「チャンネル一覧」を選び、決定ボタンを押す**

チャンネル一覧画面が表示されます。そのとき選局しているチャンネルが一番上に表示されます。

■の中の文字は「無」が無料放送を表すなど、放送の種類を知らせます。
無 … 無料放送
契 … 契約チャンネル（契約済み）
未 … 契約チャンネル（未契約）

(お知らせ)

- １１０度CSデジタル放送のチャンネル一覧は、CS1とCS2が混在して表示されます。
- ガイド表示に「(黄）データ更新」などと表示されるときはリモコンの**黄**ボタンを押してデータを取得・更新することができます。データ取得中は背景の映像や音声は消えることがあります。またデータ取得には時間がかかる場合があります。

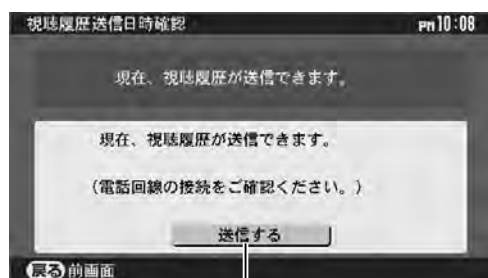
チャンネル一覧からできること

- ▼▲ボタンを押すと表示されている以外のチャンネルを見られます。
- リモコンの**1～10**ボタンでチャンネル番号を入力すると、入力したチャンネルからの一覧が表示されます。
- ▼▲ボタンで希望の番組を黄色に変えて**決定**ボタンを押すと選んだチャンネルを受信します。
- **映像切換/メディア**ボタンを押すごとにテレビ/データなど、メディアごとのチャンネル一覧が見られます。

視聴履歴送信日時確認

視聴履歴（有料番組の購入記録）は、本機に差し込んだB-CASカードに記録され、電話回線を通じて自動的に放送局側に送信されます。送信される日時を確認することができます。

▼▲ボタンを押して「お知らせ/情報」メニューの「視聴履歴送信日時確認」を選び、決定ボタンを押す

- 視聴履歴の送信画面が表示されます。
- 送信の予定がないときは「現在、発呼予定は無しか、不明です。」と表示されます。

手動送信するときは
「送信する」を選んで決定

手動で視聴履歴を送信するには

**「送信する」が黄色の状態で
決定ボタンを押す**

- 視聴履歴が送信されます。送信が完了するまでは約1分程度かかります。
- 送信できたときは「正常に視聴履歴を送信しました」と表示されます。
- 送信できなかったときは「視聴履歴を送信できませんでした」と表示されますので電話線の接続などを確認してやり直してください。

ご注意

- 手動で送信できないときは「現在、視聴履歴は送信できません。」と表示されます。
- 視聴履歴が正しく送信されなかったときは「メール一覧」に「トラブルのお知らせ」が表示されます。B－ＣＡＳカードや電話線を確認してください。
- 視聴履歴の自動送信は、テレビ本体の電源スイッチを切っていたり、電源コードがコンセントから抜かれた状態ではできません。

制限/初期化メニューでできること

暗証番号や視聴可能年齢の設定、各種設定の初期化ができます。

制限/初期化の画面を出す

暗証番号や視聴可能年齢の設定、デジタル設定やHDDの初期化はデジタル設置メニューの「制限/初期化」で行います。

1 メニューボタンを押して、メニュー画面を出す

2 カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、

3 カーソル▼▲ ボタンを押して「制限/初期化」を選び、決定ボタンを押す

「制限/初期化」を選んで決定

4 カーソル▼▲ ボタンを押して、項目を選び、決定ボタンを押す

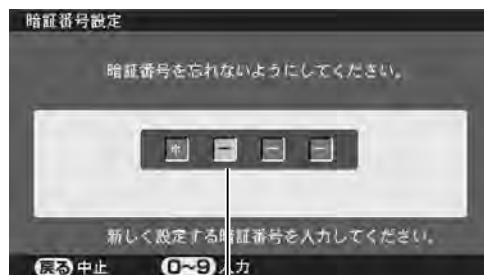
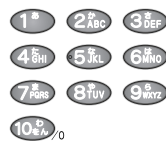
選んだ項目の画面が表示されます。

項目を選んで決定

暗証番号を設定する

視聴可能年齢の設定などでは暗証番号が必要になりますので、４桁の数字を設定してください。

① カーソル▲▼ボタンを押して、「制限事項/初期化」メニューの「暗証番号設定」を選び、**決定**ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
② もう一度**決定**ボタンを押します。入力画面の1桁目が黄色になります。
③ 1〜10ボタンを押して、暗証番号を4桁で入力します。（0の入力は10ボタンで行います）
④ 確認のためもう一度1〜10ボタンで同じ番号を入力します。
⑤ **決定**ボタンを押します。（設定終わり）

暗証番号の設定画面

1〜10ボタンで暗証番号（4桁）を入力後、確認のためもう一度入力する

暗証番号を変えるとき

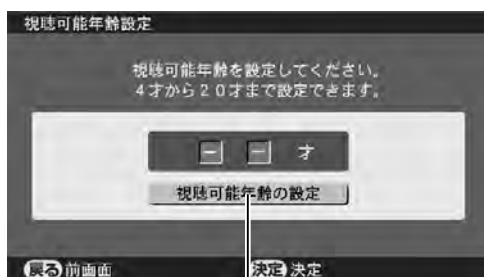
「暗証番号設定」画面を出します。画面のガイドにしたがって登録済みの暗証番号をまず入力します。次に新しく登録する暗証番号を入力します。つづいて確認のために新しい暗証番号を再び入力し、**決定**ボタンを押すと変更されます。

- 暗証番号は忘れないようにしてください。
- 暗証番号を取り消すとき ☞256ページ

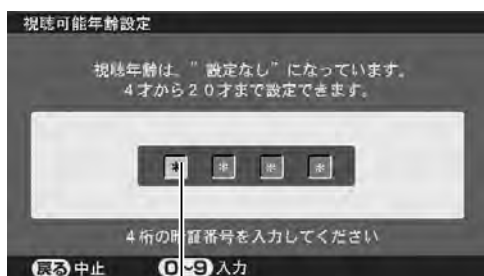
視聴可能年齢の設定

年齢制限がある番組のとき、暗証番号を入力しないと見られないように設定できます。
（暗証番号を設定してから設定してください）

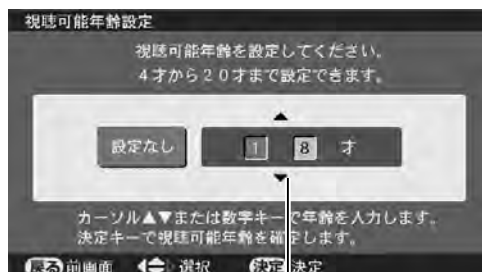
① **カーソル▲▼**ボタンを押して、「制限事項/初期化」メニューの「視聴可能年齢設定」を選び、**決定**ボタンを押します。視聴可能年齢設定の画面が表示されます。

視聴可能年齢設定の画面

もう一度決定を押す

② もう一度**決定**ボタンを押します。暗証番号を入力する画面に変わります。
③ **1〜10**ボタンを押して、暗証番号を4桁で入力します。（0の入力は10ボタンで行います）入力し終えると視聴可能年齢を設定する画面に変わります。

0の入力は**10**ボタンで行います。
入力し終えると視聴可能年齢を設定する画面に変わります。

1〜10ボタンで暗証番号（4桁の数字）を入力

④ ▶ボタンを押します。年齢を入力する部分が黄色に変わります。
⑤ **カーソル▲▼**ボタンを押して年齢を設定し、**決定**ボタンを押します。（設定終わり）

- ◀ ▶ボタンを押すと年齢を設定する部分が黄色になります。
- ▼▲ ボタンまたは**チャンネル1〜10**ボタンで視聴可能年齢を入力します。
- 年齢は4才から20才まで設定できます。

視聴可能年齢を入力して決定

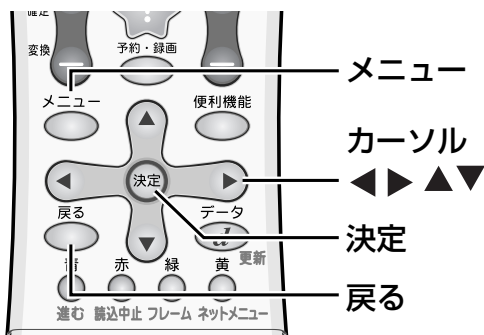
視聴年齢制限のある番組の受信

設定した視聴可能年齢を上まわる年齢制限の番組を受信すると「視聴年齢制限のため視聴できません。暗証番号を入力して下さい。」と表示されます。暗証番号を入力すると視聴できるようになります。

視聴可能年齢の取り消しと変更

設定を取り消すときは、◀ ▶ボタンで「設定なし」を選んで**決定**ボタンを押します。設定を変更するときは、設定と同じ手順で新しい年齢に変更します。

デジタルの設定を初期化するとき

誤った設定をして放送が受信できなくなったときなど、デジタル放送の各種設定を初期化することができます。

ご注意

- 本製品内のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイント等が記録される場合があります。
- 本製品を廃棄、譲渡等する場合には、本製品内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
- データ放送の双方向サービス等で本機のメモリーに記憶されたお客様の登録情報やポイント情報等の一部あるいは全てが変化または消失した場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

本製品内のメモリーに記録されているデータの消去は、「工場出荷設定」で行えます。（☞256ページ）

「設定の初期化」各種で初期化される設定内容

設置時の設定初期化（1）		●「居住地域設定」、「地上デジタル設定」、「BS・CSデジタル設定」の各種メニューで設定した内容 ●「詳細設定（デジタル）」メニューの下記の項目の初期化 「予約設定」の時間変更予約設定、リレーサービス追従設定 「表示設定」のチャンネル表示設定、番組表,選局設定
設置時の設定初期化（2）		●「詳細設定（デジタル）」メニューの下記の項目の初期化 「電話回線設定」の各種メニューで設定した内容 「ネットワーク設定」で設定した内容
外部機器設定初期化		●「詳細設定（デジタル）」メニュー内の「外部接続機器設定」の各種メニューで設定した内容の初期化
その他の設定値初期化	暗証番号消去	●「制限事項/初期化」メニューの「暗証番号設定」で設定した暗証番号の消去
	地上 設定値初期化	●1〜12ボタンに設定された地上デジタルチャンネルの初期化 ●何みるガイド「よくみる」に登録されている地上デジタルチャンネルの初期化
	工場出荷設定	●デジタル設置メニューで設定した全内容の初期化 ●メール、予約番組一覧、番組購入一覧など本機の使用中に取得・蓄積したデータの消去 ●データ放送の双方向サービスで取得・蓄積した得点・ポイント、会員登録の個人情報などの消去 （デジタル受信部分を工場出荷時の状態に戻します）

ご注意

- 「設定の初期化」で初期化されるのはデジタル設置メニュー機能の中で行われた設定に限られます。メニュー機能で行われた地上アナログ放送のチャンネル設定などは初期化されません。
- ダウンロードによって更新された機能は初期化されません。
- 初期化を行うと設定やデータが取り消されます。必要な場合以外はむやみに初期化しないでください。
- 初期化後、デジタル放送をご覧になるときは、必要な設定を正しく行ってください。
- メニュー機能で行われた地上アナログ放送のチャンネル設定などを初期化するときは、「TV設定初期化」を行います。（☞59ページ）

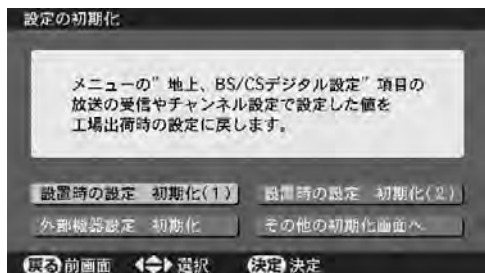
設定の初期化を行うとき

❶ デジタル設置メニューの「制限/初期化」画面を出す

252ページをご覧ください。

❷ カーソル▼▲ ボタンを押して、「設定の初期化」を選び、決定ボタンを押す

「設定の初期化」の画面が表示されます。

「設定の初期化」を選んで決定

次のような初期化があります。

設置時の設定 初期化（1）
設置時に設定した受信やチャンネルに関する設定を工場出荷状態に戻します。

設置時の設定 初期化（2）
設置時に設定した電話回線やネットワークに関する設定を工場出荷状態に戻します。

外部機器設定 初期化
「外部機器設定初期化」を行うと、デジタル設置メニュー「詳細設定（デジタル）」の「外部機器接続設定」の中で設定した、外部機器に関する設定を工場出荷状態に戻します。

その他の初期化画面へ
選んで**決定**ボタンを3秒以上押すと、暗証番号消去、地上設定値初期化、工場出荷設定の3種類が行えます。

❸ カーソル▼▲ ◀ ▶ ボタンを押して、実行する初期化を選び、決定ボタンを押す

実行する初期化を選んで決定

❹ カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「はい」を選び、決定ボタンを押す

「はい」を選んで決定

- 「...初期化実行中です。しばらくお待ちください。」と数秒表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「...初期化しました。」と表示され、「設定の初期化」画面に戻ります。

「その他の初期化画面へ」を選んだときは、決定ボタンを3秒以上押すと、暗証番号消去、地上設定値初期化、工場出荷設定の3種類が行える画面に切り換わります。詳しくは次のページをご覧ください。

デジタル放送の特殊設定/その他

デジタルの設定を初期化するとき（つづき）

その他の設定値初期化画面を出す

「その他の設定値初期化」画面へ移ると、「暗証番号消去」、「地上 設定値初期化」「工場出荷設定」の3つの初期化を実行できます。

1 「設定の初期化」画面を出す

255ページをご覧ください。

2 カーソル▼▲◀▶ ボタンを押して、「その他の設定値初期化へ」を選び、決定ボタンを3秒以上押す

「その他の設定値初期化」画面に変わります。

暗証番号消去

設定した暗証番号を消去することができます。

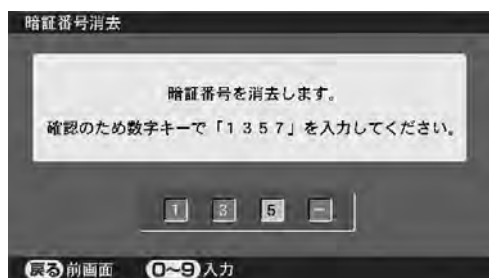
① カーソル▲▼◀▶ボタンを押して、「暗証番号消去」を選び、決定ボタンを押します。
② 1～10ボタンを押して、「1357」と入力します。

初期化が終わると「暗証番号を消去しました。」と表示され、「その他の設定値初期化」画面に戻ります。

地上 設定値初期化

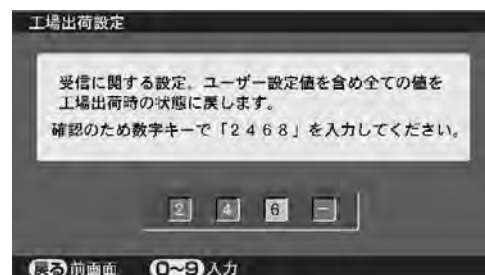
地上デジタル放送の受信に関連する設定だけを初期化することができます。

① カーソル▲▼◀▶ボタンを押して、「地上 設定値初期化」を選び、決定ボタンを押します。
② 1～10ボタンを押して、「1324」と入力します。
- 「地上デジタルの設定値を初期化しています。しばらくお待ちください。」と数秒表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「地上デジタルの設定値を初期化しました。」と表示されます。

③ テレビ本体の電源スイッチを切り、30秒ほど放置してから、もう一度入れます。

工場出荷設定

デジタル設置メニューで行った各種の設定や、デジタル受信部分に保存されているデータを取消し、工場出荷状態に初期化することができます。

① カーソル▲▼◀▶ボタンを押して、「工場出荷設定」を選び、決定ボタンを押します。
② 1～10ボタンを押して、「2468」と入力します。
- 「すべての設定値を工場出荷に戻しています。しばらくお待ちください。」と数秒表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「すべての設定値を工場出荷に戻しました。」と表示されます。

③ テレビ本体の電源スイッチを切り、30秒ほど放置してから、もう一度入れます。

HDDを初期化するとき

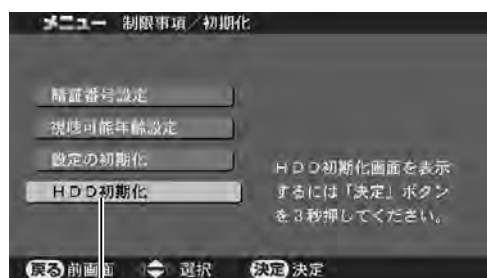
本機をどなたかに譲ったり、廃棄するときはHDDを初期化して、記録した録画タイトルや、コピーした静止画を消去することをお勧めします。

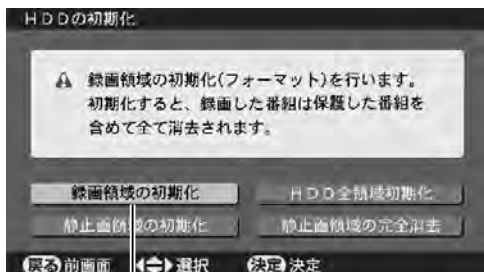
HDDの初期化を行うとき

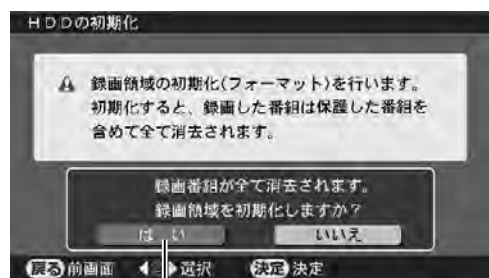
1 デジタル設置メニューの「制限/初期化」画面を出す

☞252ページをご覧ください。

2 カーソル▼▲ ボタンを押して、「HDD初期化」を選び、決定ボタンを3秒以上押す

「HDDの初期化」の画面が表示されます。

「HDD初期化」を選んで決定

3 カーソル▼▲ ◀ ▶ ボタンを押して、実行する初期化を選び、決定ボタンを押す

実行する初期化を選んで決定

4 カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「はい」を選び、決定ボタンを押す

「はい」を選んで決定

- 「...初期化実行中です。しばらくお待ちください。」と表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「...初期化が完了しました。」と表示されます。**戻る**ボタンを押すと「HDDの初期化」画面に戻ります。

次のような初期化があります。

録画領域の初期化
内蔵HDDの録画領域の初期化（フォーマット）を行います。録画したタイトルは保護したタイトルも含めてすべて消去されます。

静止画領域の初期化
内蔵HDDの静止画領域の初期化（フォーマット）を行います。保存した静止画はすべて消去されます。

静止画領域の完全消去
内蔵HDDの静止画領域にあるデータを消去し、0のデータを書き込みます。完全消去には数分かかります。

HDD全領域初期化
内蔵HDDの全領域の初期化を行います。録画タイトルや静止画は保護したものも含めてすべて消去されます。

ご注意

- 初期化を実行して消去された録画タイトルや静止画は二度と再生することはできません。
- 本機を譲渡したり廃棄するときは「HDD全領域初期化」と「静止画領域の完全消去」を行い、本機のHDDに記録された内容（お客さまの個人情報が含まれている場合があります）を消去することをおすすめします。

LAN(ブロードバンド回線)に接続するとき

デジタル放送では、インターネットで情報が伝送できるしくみになっています。また本機にはネットワーク関連機能が搭載されています。ADSLなどのブロードバンド回線を本機のLAN（ラン）端子へつないでインターネットに接続する場合は、以下にしたがって接続してください。

ブロードバンドの加入契約が必要です

本機をブロードバンド回線に接続するには、ADSLなどのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。この取扱説明書では、パソコンによるインターネット接続などで、すでにブロードバンド環境をお持ちになっていることを前提に説明を進めています。
ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をするお客さまは、サービスを提供する回線業者やプロバイダー、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

回線業者、プロバイダーによって必要な機器や接続方法が異なります

右ページの図は接続例のひとつです。必要な機器や接続方法は回線業者やプロバイダーによって異なります。

- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、本機やパソコンなどの端末機器を何台も接続できない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。契約内容をご確認ください。
- 接続に必要なADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルなどは、回線業者やプロバイダーの指定された製品を使って接続や設定をしてください。
- 回線業者やプロバイダーから提供される説明書や、ADSLモデム、ブロードバンドルーターなど、製品の取扱説明書もよくお読みください。
- ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの製品について不明な点は、回線業者やプロバイダー、またはこれら製品のメーカーへお問い合わせください。
- ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムの設定は、本機ではできません。設定が必要な場合はパソコンから行ってください。
- USB接続のADSLモデムをお使いのときは回線業者やプロバイダーへご相談ください。

接続に必要な機器について

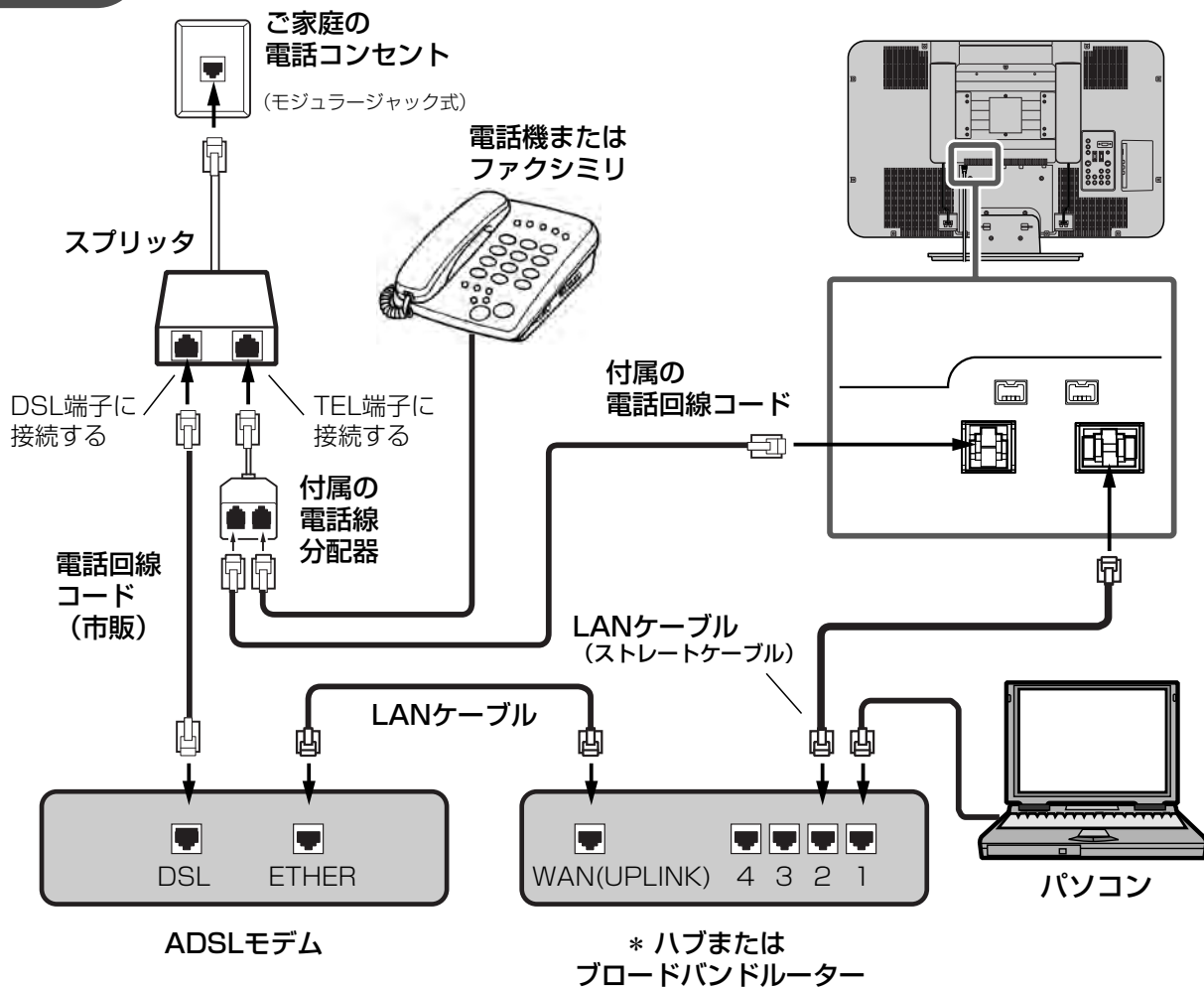
スプリッター・・・・・・・電話用の信号とブロードバンド用の信号を分ける機器です。
ADSLモデム・・・・・・・パソコンや本機などをADSLなどのブロードバンドと接続するための機器です。
ブロードバンドルーター・・パソコンや本機などの複数の端末を同時にインターネットへ接続するため、信号の割り振りをする機器です。
ハブ・・・・・・・・・・・・パソコンや本機などの複数の端末を回線へ接続するための機器です。

本機のLAN端子について

本機のLAN端子は（10BASE-T）と（100BASE-TX）のどちらにも対応しています。

ご注意

- デジタル放送では、データ放送での双方向サービスや、PPV（ペイパービュー）番組購入の課金などを電話回線で行います。これらのサービスを利用する場合はLAN接続とは別に、電話回線の接続と設定が必要です。（☞199、234ページ）
- 本機で可能なインターネットへの接続は、本機のLAN端子を介してADSLなどのブロードバンド回線に接続する方式のみです。本機の電話回線端子を介して「ダイヤルアップ接続」することはできません。

接続例

＊ADSLモデムにブロードバンドルーター機能があり、モデムポートに空きがない場合はハブを接続します。ADSLモデムにブロードバンドルーター機能がない場合はブロードバンドルーターを接続します。

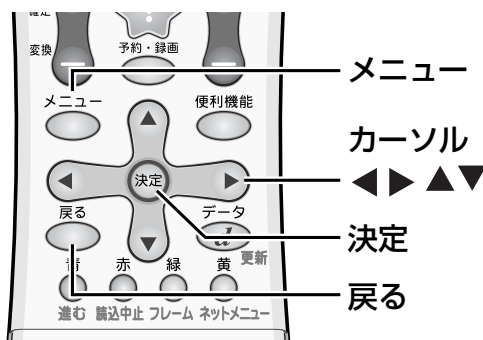
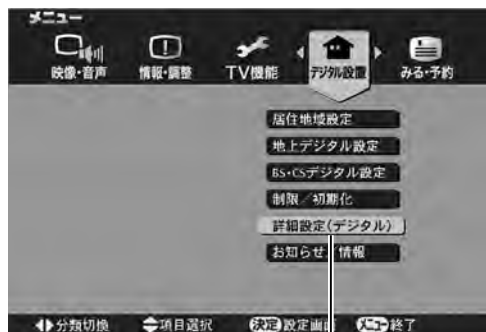
LAN接続でインターネットにつなぐ場合は、必ずLAN設定を行ってください。
詳しくは 260～264ページをご覧ください。

ご注意

- LAN端子は電話回線端子と形状がよく似ています。電話用のコード（モジュラーコード）を誤ってLAN端子へ差し込まないようにご注意ください。故障の原因となります。

LAN接続の設定

デジタル放送では、番組に関連した情報を提供するなど、インターネットを使ったサービスが行えるしくみになっています。

デジタル放送の設定に使うボタン

「デジタル設置」の「詳細設定（デジタル）」を選んで決定

設定には、1～10ボタンやカラーボタン（青・赤・緑・黄）も使用します。

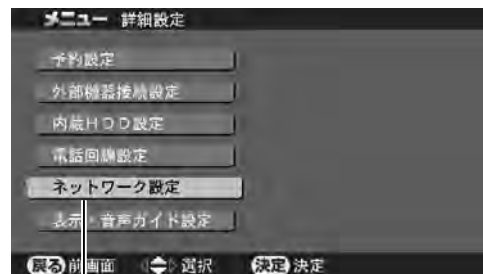
お買い上げ時の設定

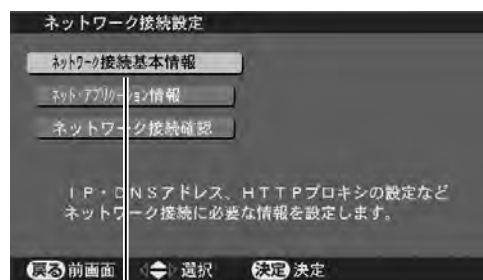
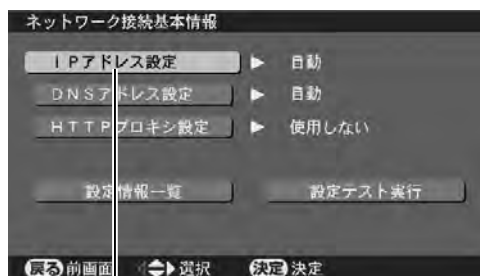
お買い上げ時、LAN設定の各項目は...

IPアドレス設定：自動取得する
DNS設定：自動取得する
HTTPプロキシ設定：使用しない

に設定されています。この設定内容のままでインターネットに接続できる場合は、264ページの設定テストを行ってみてください。

通信(LAN)設定のしかた

1. メニューボタンを押して、メニュー画面を出す
2. カーソル◀ ▶ ボタンを押して、「デジタル設置」を選び、
3. カーソル▼▲ ボタンを押して「詳細設定(デジタル)」を選び、決定ボタンを押す
4. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ネットワーク設定」を選び、決定ボタンを押す

「ネットワーク設定」を選んで決定

5. カーソル▼▲ ボタンを押して、「ネットワーク接続基本情報」を選び、決定ボタンを押す

「ネットワーク接続基本情報」を選んで決定

IPアドレス設定

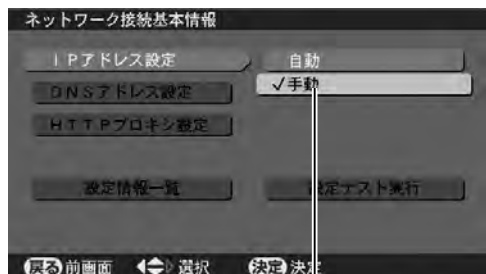
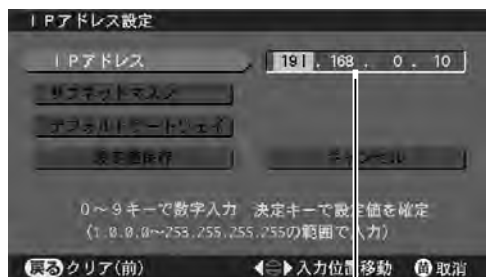
IPアドレスの設定

6 **通常はお買い上げ時の、IPアドレス設定「自動」の設定のままお使いください。下記はIPアドレスを手動で設定する場合の操作方法です。**

①**カーソル▲▼** ボタンで「IPアドレス設定」を選んで**決定**ボタンを押します。
②**カーソル▲▼** ボタンで「手動」を選んで**決定**ボタンを押します。
「IPアドレス設定」画面に変わります。

③**カーソル▲▼** ボタンで「IPアドレス」を選んで**決定**ボタンを押し、**1〜10**ボタンと**決定**ボタンで入力します。

④**カーソル▲▼** ボタンで「サブネットマスク」を選んで**決定**ボタンを押し、**1〜10**ボタンと**決定**ボタンで入力します。

⑤**カーソル▲▼** ボタンで「デフォルトゲートウェイ」を選んで**決定**ボタンを押し、**1〜10**ボタンと**決定**ボタンで入力します。

「手動」を選んで決定

それぞれの項目を入力する

項目に入力するときは

- **1〜10**ボタンで数字を入力します。**決定**ボタンを押すと入力わくが移動します。
- それぞれの項目には入力できる数字の範囲があります。画面に表示される範囲にしたがって入力してください。

確定前の入力を変更するとき

- ◀ ▶ボタンを押して、削除する数字の後ろにカーソルを移動させます。次に**戻る**ボタンを押すとカーソルの前の数字が1つ取り消されます。取り消されたら**1〜10**ボタンを押して正しい数字を入力します。
- リモコンの**黄**ボタンを押すと、そのとき入力した数字が取り消され、入力を中止します。

⑥入力が終わったら、**カーソル▲▼◀ ▶**ボタンを押して「設定値保存」を選び、**決定**ボタンを押します。（設定値が保存されます）

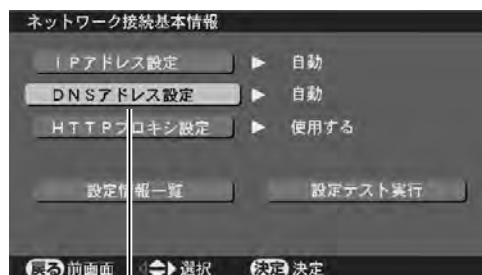
「キャンセル」を選び、**決定**ボタンを押したときは、設定を取り消します。

DNSアドレスの設定

7 **通常はお買い上げ時のDNS（ドメイン・ネーム・サーバIP）アドレス設定「自動」のままお使いください。下記はDNSアドレスを手動で設定する場合の操作方法です。**

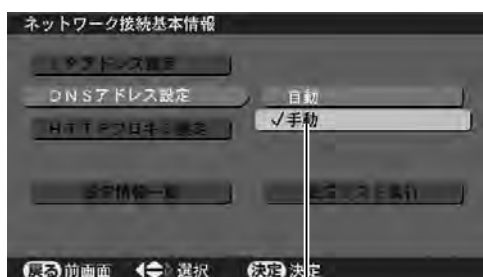
①ネットワーク接続基本情報画面で、**カーソル▲▼◀ ▶**ボタンを押して「DNSアドレス設定」を選び、**決定**ボタンを押します。
②**カーソル▲▼** ボタンで「手動」を選んで**決定**ボタンを押します。
「DNSアドレス設定」画面に変わります。

「DNSアドレス設定」を選んで決定

次ページへ続く

LAN接続の設定（つづき）

DNSアドレスの設定（つづき）

③カーソル▲▼ ボタンで「優先DNSアドレス」を選んで決定ボタンを押し、1〜10ボタンと決定ボタンで入力します。

④カーソル▲▼ ボタンで「代替DNSアドレス」を選んで決定ボタンを押し、1〜10ボタンと決定ボタンで入力します。

「手動」を選んで決定

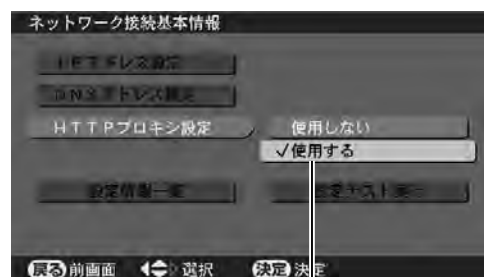
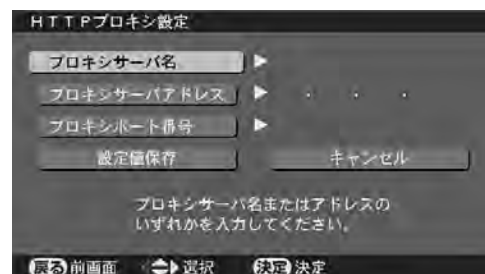
DNSアドレスを入力

⑤入力が終わったら、カーソル▲▼◀▶ボタンを押して「設定値保存」を選び、決定ボタンを押します。（設定値が保存されます）

「キャンセル」を選び、決定ボタンを押したときは、設定を取り消します。

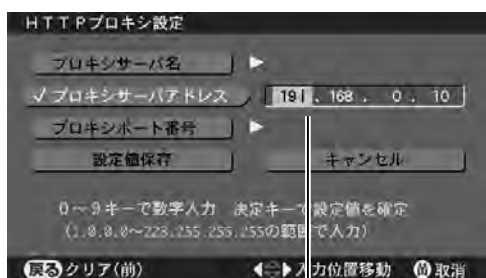
HTTPプロキシの設定

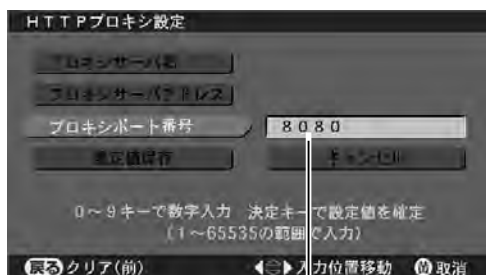
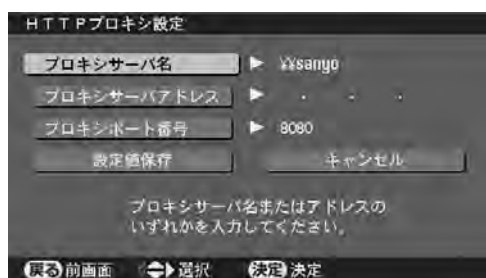
8 通常はお買い上げ時の、HTTPプロキシ設定「使用しない」の設定のままお使いください。下記はプロキシ設定を使用する場合の操作方法です。

①ネットワーク接続基本情報画面で、カーソル▲▼◀▶ボタンを押して「HTTPプロキシ設定」を選び、決定ボタンを押します。
②カーソル▲▼ ボタンで「使用する」を選び、決定ボタンを押します。
「HTTPプロキシ設定」画面に変わります。

「使用する」を選んで決定

③カーソル▲▼ ボタンで「プロキシサーバ名」または「プロキシサーバアドレス」を選んで決定ボタンを押します。
- 「プロキシサーバ名」と「プロキシサーバアドレス」は、一方を設定すると、もう一方が自動的に「設定なし」になります。

プロキシサーバ名を入力するとき
表示される画面キーボードを使って入力します。
（文字入力のしかた ☞265ページ）

プロキシサーバアドレスを入力するとき

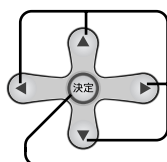
1〜10ボタンと決定ボタンで入力します。

プロキシサーバアドレスを入力

④カーソル▲▼ ボタンで「プロキシポート番号」を選んで決定ボタンを押し、1〜10ボタンで入力します。入力後は決定ボタンを押して入力を確定します。

プロキシポート番号を入力

⑤入力が終わったら、カーソル▲▼◀▶ボタンを押して「設定値保存」を選び、決定ボタンを押します。（設定値が保存されます）

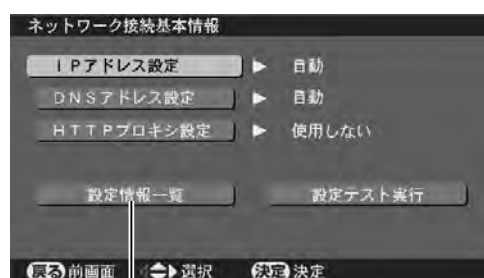
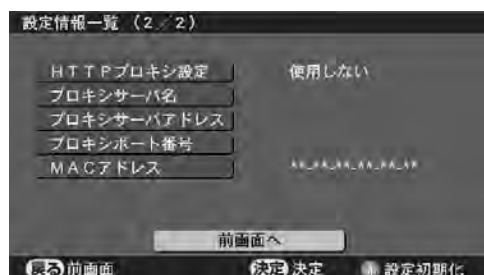
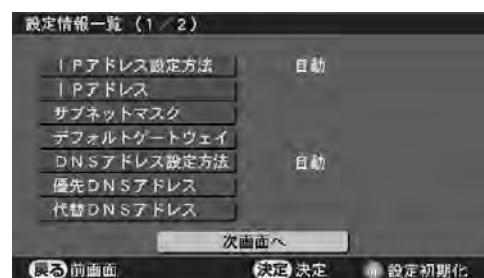
「キャンセル」を選び、決定ボタンを押したときは、設定を取り消します。

LAN設定の確認

ここまでの設定を終えたら、設定内容を確認します。

9

カーソル▼▲◀▶ボタンを押して、「設定情報一覧」を選び、

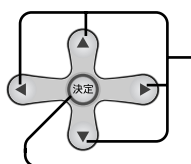
決定を押す

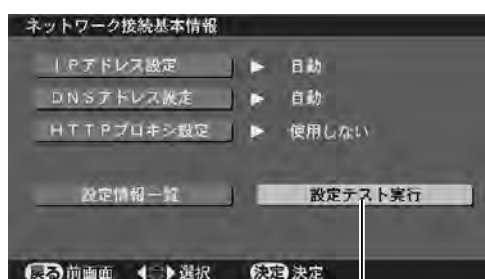
- 「設定情報一覧　1/2」画面に変わり、設定内容が一覧表示されます。
- 「設定情報一覧」画面は2つのページで構成されています。決定ボタンを押すと次の2/2ページに移ります。もう一度決定ボタンを押すと1/2ページに戻ります。
- この画面は確認専用です。設定の変更は、「LAN設定」のそれぞれの設定画面で行ってください。

「設定情報一覧」を選んで決定

次ページへ続く

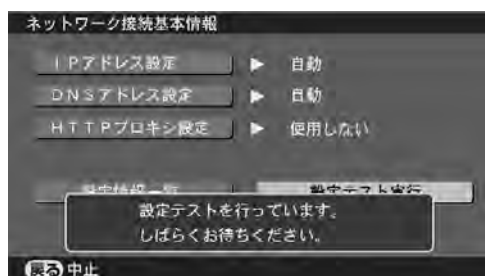
デジタル放送の特殊設定/その他

LAN接続の設定（つづき）

LAN設定のテスト

設定内容を確認したらLANの接続テストを行います。

カーソル▼▲◀▶ボタンを押して、「設定テスト実行」を選び、

決定を押す

「設定テスト実行」を選んで決定

- テスト実行中の画面に変わります。

- テストが終わると結果を知らせる画面に変わります。
- 接続に成功したときは、「接続を確認しました。…正しく設定しました。」と表示されます。（設定終わり）

- 接続できなかったときは、「接続できません」と表示されます。まずリモコンの**戻る**ボタンを押してテストを中止してから、設定内容などを確認し、原因を解決した後、もう一度テストを実行してください。

接続できない原因

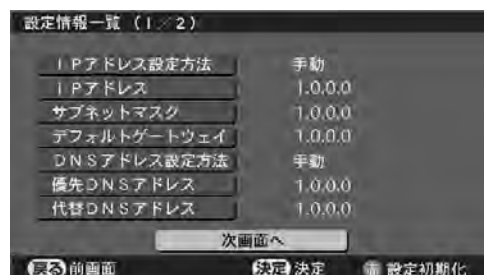
- 接続が正しく行われていない。（☞259）
- ADSLモデムやルーターの設定が正しくない。
- 「LAN設定」の各種設定内容が正しく設定されていない。（設定の抜け、文字入力の誤りなど）

LAN設定を初期化するとき

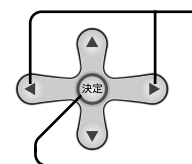
設定情報一覧画面でリモコンの**赤**ボタンを押すと、ネットワーク接続基本情報設定の内容を工場出荷時の状態に初期化することができます。

ご注意

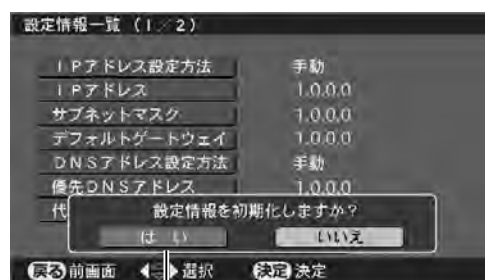
初期化するとLAN接続に関する各種の設定が工場出荷時の状態に戻り、インターネットへ接続できなくなります。

❶

赤ボタンを押す

- 初期化の実行を選ぶ表示が出ます。

❷

カーソル◀▶ボタンを押して、「はい」を選び、

決定を押す

- 初期化が実行されます。

「はい」を選んで決定

ご注意

設定テストを行った場合、定額制ではないブロードバンドの契約の場合は、別に接続料金がかかります。

文字入力のしかた

データ放送の双方向サービスや、本機の各種設定で文字を入力することがあります。
画面キーボードを出して入力します。（☞266ページ）

画面キーボード

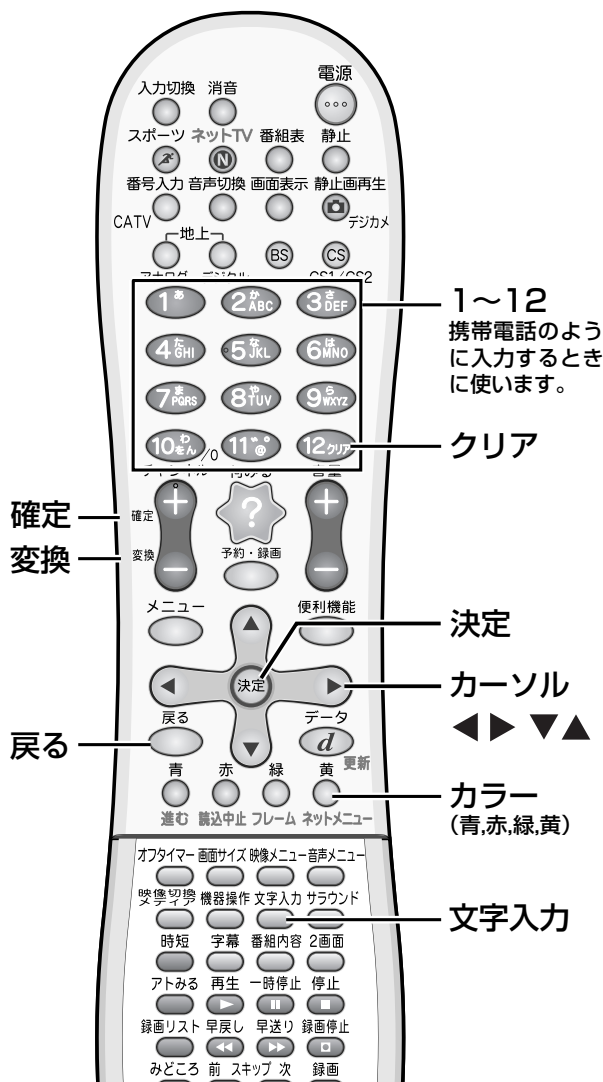
カラーボタンの働き

画面キーボードの表示中は、カラーボタンが次のような働きをします。

青：ひらがな入力のとき、漢字に変換します。
赤：画面キーボードの種類（文字種）を切り換えます。
緑：画面キーボードの表示位置を切り換えます。
黄：入力した文字を確定します。

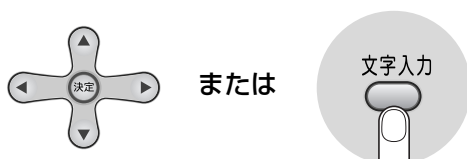
空白、消去、◀▶、中止

画面キーボード上の「空白」、「消去」、「◀▶」、「中止」は、どの画面キーボードにも共通で表示されます。**カーソル**ボタンで選んで**決定**ボタンを押すと、次のような働きをします。

空白：カーソルの後ろに1文字分のスペースをあけます。
消去：カーソルの前の1文字を消去します。
◀▶：カーソルを1文字分動かします。
中止：文字入力を中止します。

文字入力のしかた（つづき）

画面キーボードを出して文字を入力するには

1 文字を入力するわくをカーソル▼▲◀▶ ボタンで選んで決定ボタンを押したときや、文字入力ができる項目で文字入力ボタンを押すと、画面キーボードが表示されます。

または

例. 何みるガイド・地上アナログのとき

画面キーボード

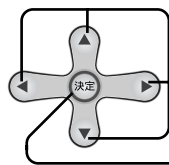
2 赤ボタンを押して、入力したい文字の画面キーボードに切り換える

- 押すごとに画面キーボードが切り換わります。
- 文字種の誤りを防ぐため、入力する状況に応じて選べる画面キーボードが制限されます。
- かな・漢字変換のしかたについては ☞269ページをご覧ください。

かな・漢字	：ひらがな入力と漢字変換
カタカナ	：カタカナ入力
ABC...半	：半角英字入力
ＡＢＣ全	：全角英字入力
１２３...	：数字（全角・半角）入力
記号	：記号とhttp://などの定型文

3

カーソル▼▲◀▶ボタンを押して、希望の文字を選び、

決定を押す

- 選んだ文字は黄色で表示されます。決定ボタンを押すと選んだ文字が、画面キーボードの入力窓に入力されます。繰り返して希望の文字を入力します。
- 入力した文字は、まだ未確定です。未確定な文字には下線が表示されます。
- 画面キーボードの文字をカーソルで選んで入力する方法のほか、リモコンの1～12ボタンを使って携帯電話のように文字入力することもできます。☞268ページ

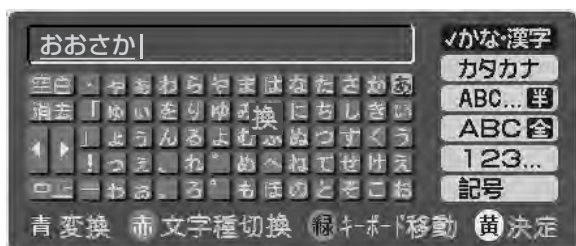
4 黄ボタンを押して、入力した文字を確定する

- 入力した文字が、画面キーボードの入力窓内で確定されます。

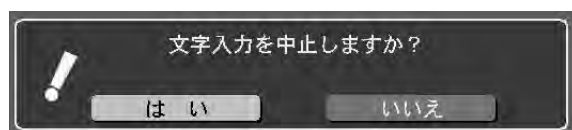
操作2～4を繰り返して、ご希望の文字を入力窓に入力します。

5 画面キーボードの入力窓に希望の文字が入力できたら、黄ボタンを押して文字を流し込みます。（文字入力終わり）

- 画面キーボードの入力窓に入力した文字が、画面の入力部分に流し込まれます。
- 画面キーボードは消えます。
- 文字の確定は、リモコンの確定（チャンネル＋）ボタンでもできます。

画面キーボードの種類

(˜)チルダ

文字入力を中止するとき

文字入力を中止するときは、カーソルボタンで画面キーボード上の「中止」を選んで**決定**ボタンを押すか、リモコンの**文字入力**ボタンを押します。画面に「文字入力を中止しますか？」とメッセージが表示されますので、**カーソル◀ ▶**ボタンで「はい」を選んで**決定**ボタンを押すと、画面キーボードが消え、文字入力を中止します。

入力した文字の削除・変更

文字の削除

- カーソルが文字の最後にある状態のときは、リモコンの数字ボタン「12（クリア）」または**戻る**ボタンを押すと、カーソルの左側の文字を1文字ずつ削除できます。
- 画面キーボードの「◀ ▶」を選んで**決定**ボタンを押し、カーソルが文字の間にある状態のときは、リモコンの数字ボタン「12（クリア）」または**戻る**ボタンを押すと、カーソルの右側の文字を1文字ずつ削除できます。
- 画面キーボードの「消去」を選んで**決定**ボタンを押す方法でも文字を削除できます。

文字の変更

- 上記の方法でいらない文字を削除したあと、新たに文字を入力します。

お知らせ

- 画面キーボードを切り換えたときは、画面キーボードの入力窓にある未確定の文字は確定されます。

文字入力のしかた（つづき）

数字ボタンを使って携帯電話のように文字入力するには

画面キーボードが表示されている状態では、携帯電話で文字入力するときのように、リモコンの数字ボタンが文字入力ボタンとして使えます。

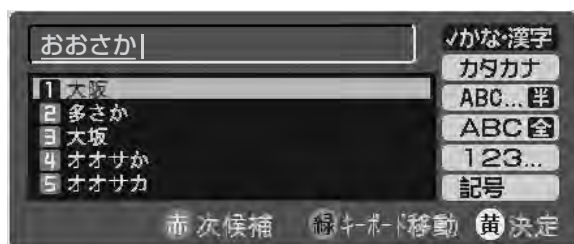
- 画面キーボードが表示された状態で、数字ボタンを押すごとに、下の表のような文字を入力できます。
- 入力できる文字は表示している画面キーボードによって異なります。画面キーボードを切り換えてからボタンを押してください。
- ボタンを押して入力すると、入力した文字が画面キーボード上でも黄色で表示されます。
- ひらがなやカタカナで同じ行の文字（「あい」、「かき」など）を続けて入力するときは、カーソルボタンを押してから次の文字を入力してください。

各ボタンの入力文字

ボタン	入力文字	ボタン	入力文字
1 あ あ	かな・漢字のとき：あ、い、う、え、お、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、… カタカナのとき：ア、イ、ウ、エ、オ、ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ、… 数字のとき：1（全角）、1（半角）、…	7 ま PQRS ま PQRS	かな・漢字のとき：ま、み、む、め、も、… カタカナのとき：マ、ミ、ム、メ、モ、… ABC…半のとき：p、q、r、s、P、Q、R、S… ＡＢＣ全のとき：ｐ、ｑ、ｒ、ｓ、Ｐ、Ｑ、Ｒ、Ｓ、… 数字のとき：7（全角）、7（半角）、…
2 か ABC か ABC	かな・漢字のとき：か、き、く、け、こ、… カタカナのとき：カ、キ、ク、ケ、コ、… ABC…半のとき：a、b、c、A、B、C、… ＡＢＣ全のとき：ａ、ｂ、ｃ、Ａ、Ｂ、Ｃ、… 数字のとき：2（全角）、2（半角）、…	8 や TUV や TUV	かな・漢字のとき：や、ゆ、よ、ゃ、ゅ、ょ、… カタカナのとき：ヤ、ユ、ヨ、ャ、ュ、ョ、… ABC…半のとき：t、u、v、T、U、V、… ＡＢＣ全のとき：ｔ、ｕ、ｖ、Ｔ、Ｕ、Ｖ、… 数字のとき：8（全角）、8（半角）、…
3 さ DEF さ DEF	かな・漢字のとき：さ、し、す、せ、そ、… カタカナのとき：サ、シ、ス、セ、ソ、… ABC…半のとき：d、e、f、D、E、F、… ＡＢＣ全のとき：ｄ、ｅ、ｆ、Ｄ、Ｅ、Ｆ、… 数字のとき：3（全角）、3（半角）、…	9 ら WXYZ ら WXYZ	かな・漢字のとき：ら、り、る、れ、ろ、… カタカナのとき：ラ、リ、ル、レ、ロ、… ABC…半のとき：w、x、y、z、W、X、Y、Z… ＡＢＣ全のとき：ｗ、ｘ、ｙ、ｚ、Ｗ、Ｘ、Ｙ、Ｚ… 数字のとき：9（全角）、9（半角）、…
4 た GHI た GHI	かな・漢字のとき：た、ち、つ、て、と、っ、… カタカナのとき：タ、チ、ツ、テ、ト、ッ、… ABC…半のとき：g、h、i、G、H、I、… ＡＢＣ全のとき：ｇ、ｈ、ｉ、Ｇ、Ｈ、Ｉ、… 数字のとき：4（全角）、4（半角）、…	10 わ をん わ をん	かな・漢字のとき：わ、を、ん、ゎ、… カタカナのとき：ワ、ヲ、ン、ヮ、… ABC…半のとき：(?)、(/)、(,)、(:)、… 数字のとき：0（全角）、0（半角）、…
5 な JKL な JKL	かな・漢字のとき：な、に、ぬ、ね、の、… カタカナのとき：ナ、ニ、ヌ、ネ、ノ、… ABC…半のとき：j、k、l、J、K、L、… ＡＢＣ全のとき：ｊ、ｋ、ｌ、Ｊ、Ｋ、Ｌ、… 数字のとき：5（全角）、5（半角）、…	11 ゛゜ @ ゛ ゜ @	かな・漢字のとき：「゛」濁点、「゜」半濁点… カタカナのとき：「゛」濁点、「゜」半濁点… ABC…半のとき：(@)、(.)、(-)、(_)、(!)、(&)、(')、(˜)チルダ、(;)、…
6 は MNO は MNO	かな・漢字のとき：は、ひ、ふ、へ、ほ、… カタカナのとき：ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、… ABC…半のとき：m、n、o、M、N、O、… ＡＢＣ全のとき：ｍ、ｎ、ｏ、Ｍ、Ｎ、Ｏ、… 数字のとき：6（全角）、6（半角）、…	12 クリア	クリア：文字削除

ひらがなを漢字に変換して入力するには

1 「かな・漢字」の画面キーボードを表示させて、ひらがなで文字を入力する

2 青ボタンを押して、変換候補画面を出す

- 変換候補画面が表示され、漢字に変換する候補が5個まで表示されます。
- 変換候補画面は、リモコンの**変換**（**チャンネル ー**）ボタンを押すことでも表示できます。
- 次の候補を表示させるときは**赤**ボタンを押します。前の候補に戻るときは**青**ボタンを押します。

3 変換する候補を選んで、決定ボタンを押す

- **カーソル▲▼** ボタンで候補を選ぶことができます。
- 候補に表示されている数字1〜5をリモコンの**1〜5**ボタンで押しても候補を選ぶことができます。
- **決定**ボタンを押すと選んだ候補が確定し、画面キーボードの入力窓に変換した漢字が入力されます。

保護機能が働いたとき

本機には内蔵した冷却ファンに異常が発生したときや内部の温度が上昇したとき、故障を防ぐために自動で電源を切る機能などがあります。

冷却ファンに異常が起きたとき

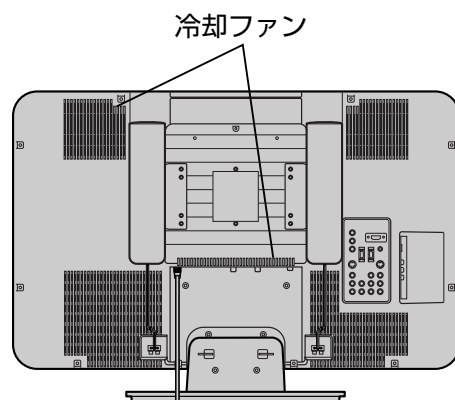
■メッセージを表示したあと自動で電源が切れます。

本機は内部を冷却するためにファンを内蔵しています。ファンは内部温度によって回転速度が変わります。動作中はファンの回転音と風切り音が発生します。
異物の挿入や故障などが原因で冷却ファンが動作しない状況で本機内部の温度が一定以上に上昇したときは、画面に右のようなメッセージを約10秒間表示したあと、保護のため自動で電源が切れます。

内部ファン異常です
セットの電源を自動的に切ります

赤で約10秒間表示後、電源オフ

■内部ファン異常が起きるときは

冷却ファンの回転を妨げる異物がないか点検し、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口（☞288ページ）にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。
冷却ファンの状態は、情報・調整メニューの「テレビ情報」で確認できます。（「テレビ情報」の見かたは☞右ページをご覧ください）

内部温度が異常に上昇したとき

■メッセージを表示したあと自動で電源が切れます。

冷却ファンの異常やそのほかの原因で、内部が一定温度を超えると、右のようなメッセージを約10秒間表示したあと、保護のため自動で電源が切れます。

内部温度異常です
セットの電源を自動的に切ります

赤で約10秒間表示後、電源オフ

■内部温度異常が起きるときは

内部温度異常による自動オフが働くときは、次のような理由が考えられます。点検し、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口（☞288ページ）にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。また、壁などに設置している場合の、お客さまによる取り外しや移動は危険ですので絶対におやめください。

＜内部温度異常の原因＞

- 冷却ファンの異常（回転を妨げる異物、故障など）
- 通風孔をふさぐような設置方法
  （テーブルクロスなどをかける、狭い所での使用など）
- 使用温度の範囲を超えた場所での使用（直射日光が当たる場所や熱器具の近く、暖房の吹き出し口の近くなど）

■電源を入れるときは

テレビが冷えるのを待って、リモコンの電源ボタンまたはテレビ本体の電源スイッチで電源を入れることができます。ただし内部温度が高いままのときは再び電源が切れます。

保護機能／電源ランプの点滅

本機の電源ランプは、テレビ本体の電源状態を知らせるほか、内部温度上昇などの異常を知らせる働きをします。

■電源ランプが点滅して電源が入らなくなったら

電源ランプが点滅して、リモコンの電源ボタンやテレビ本体の電源スイッチで電源が入らないときは、本機の保護機能が働いています。テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(288ページ)にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。

■保護機能が働いたあとで電源を入れるには

電源ランプが点滅し、リモコンの電源ボタンやテレビ本体の電源スイッチで電源が入らないときは、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込んで確認してください。電源が入った場合でも、何らかの異常が発生して保護機能が働いたと考えられますので、すぐにお買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(288ページ)にご連絡ください。

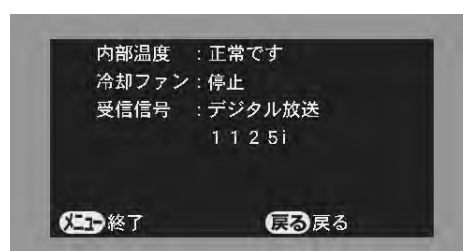
■電源ランプについて

本機は内部温度上昇などの異常個所を自己診断し、電源ランプの点滅でお知らせします。
異常個所によって点滅の色と回数が異なります。

「テレビ情報」機能で確認

情報・調整メニューの「テレビ情報」機能を使うと、本機の内部温度や冷却ファンの状態、映像信号の種類などを知ることができます。

① **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を出します。
② **カーソル◀ ▶**ボタンを押して、「情報・調整」を選びます。
③ **カーソル▲▼**ボタンを押して「テレビ情報」を選び、**決定**ボタンを押します。

「テレビ情報」の画面が表示されます。

「テレビ情報」の画面

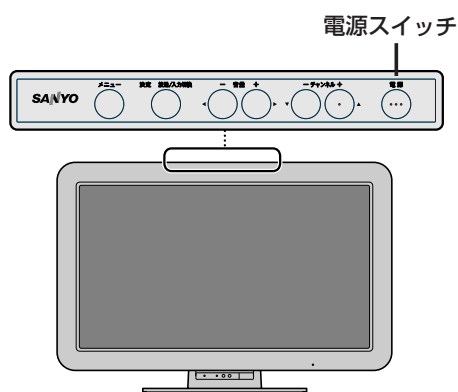
- 内部温度に異常があるときは「異常です」と表示されます。
- そのときの冷却ファンの動作状態が表示されます。
- 受信信号には、映している信号の種類が表示されます。
- 「テレビ情報」表示を消すときはメニューボタンを押します。

■「異常です」と表示されたとき

内部温度が「異常です」と表示されたときは、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(288ページ)にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼する前にご確認ください。

音声や画面が変だ/操作を受け付けなくなった

本機を制御しているマイコンに対する、外部からの雑音や妨害ノイズの影響で、音声や画面に異常が生じたり、操作を受け付けなくなることがあります。

このようなときは、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、再び電源スイッチを入れて動作を確認してください。

それでも改善されないときは、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、電源プラグをコンセントから抜き、1分ほど放置したあと、再び電源プラグを差し込み電源スイッチを入れて動作を確認してください。

これらの症状がたびたび発生するような場合は、お買い上げの販売店または当社お客さまご相談窓口へお問い合わせください。

ご注意ください。故障ではありません。

症　状	原因と処理	ページ
映像の跡が残る	液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。映す映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。スクリーンセーバー機能をお試しください。	☞65
映像が尾を引くように映る	冬期など、液晶テレビが非常に冷えている状態で映像を映したとき、映像が尾を引く残像のような現象が見られることがあります。これは、低温では応答速度が鈍るという、液晶特有の性質によって起こるもので、故障ではありません。液晶パネルが暖まってくると正常に戻りますので、映像を映したまましばらくお待ちください。	
画面上に周囲と異なる点がある	液晶パネルは非常に高精度の技術で製造されており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が含まれる場合があります。故障ではありません。	
電源を入れてもなかなか映像が出ない	しばらく電源を切った状態から電源を入れたときは映像が出るまでに時間がかかることがあります。	
画面やチャンネルを切り換えたときに一瞬黒い画面が映る	画面やチャンネルを切り換えた瞬間に不安定な映像が映るのを防ぐため、ごく短時間、映像を映さないようにしています。	
音が急に大きくなる	モノラル音声の番組中にステレオ音声のコマーシャルが入ったときなどに起こります。故障ではありません。スムース音量機能をお試しください。	☞57
時々「ピシッ」と音がする	温度変化によってキャビネットなどの機構部品がわずかに伸び縮みして、音を発する場合があります。画面や音声に異常がなければ故障ではありません。	
画面が暗い	ナイトモードにしていませんか。節約機能を働かせると画面が暗くなります。	☞38、63
操作中なのに画面表示が消える	液晶ディスプレイパネルを保護するため、本機の画面表示は数秒～約1分で消えるようになっています。（ただしデジタル放送関連の画面表示は消えません）	
雨の日、映りが悪くなった（BSデジタル放送や110度CSデジタル放送のとき）	激しい雨のときや厚い雨雲があるときは、衛星から地上に届く電波が弱まって音声が途切れたり画面がモザイク状になるなど映りが悪くなります。天候が回復すればもとの受信状態に戻ります。お住いの地域の天候が良好でも、衛星に向けて電波を送信する放送局側の天候が悪いときは、映りが悪くなる場合があります。放送によっては降雨対応放送に切り換わります。	
デジタル放送が映らない	2004年4月以後は、B-CASカードを挿入しないとBS/地上デジタル放送が映らなくなります。B-CASカードを挿入してご覧ください。	☞24
デジタル放送を録画したビデオのダビングができない	2004年4月以後、デジタル放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。DVDレコーダーなどのデジタル録画機器では録画・複製・移動などができないことがあります。詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどでご確認ください。	☞83

こんなときは、ここを確認してください。

症　状	原因と処理（テレビ全般・地上アナログ放送）	ページ
電源が入らない（絵も音も出ない）	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源スイッチを入れてください。	
	絵や音が出るまでにしばらく時間がかかる場合があります。	
リモコンが働かない	乾電池の入れかたは正しいですか。消耗していませんか。	23
	テレビ本体のリモコン受光部に蛍光灯などの強い照明光が当たっていると、働かないことがあります。光が当たらないよう置きかたを変えてください。	
映りが悪い	アンテナ線が端子からはずれてませんか。アンテナ線のしん線と網線が接触していませんか。アンテナやアンテナ線が破損していませんか。付属の同軸ケーブルを使って接続してください。	196 198
	チャンネル設定（プリセット）がずれていませんか。	206
画面に斑点が出る	自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアードライヤーなどからの妨害が考えられます。アンテナやアンテナ線、テレビ本体をこれらからできるだけ離してください。	
二重三重に映る（ゴースト障害）	山や建物からの反射電波の影響が考えられます。強風などでアンテナの向きがずれて起こることもあります。アンテナの位置、高さ、方向などを変えてみてください。	218
色のついた模様が出る	他のテレビやラジオ、パソコン、ファクシミリから出る妨害電波の影響が考えられます。それらの電源を切ってみてください。また無線局などからの電波が混信して起こることもあります。	
色が消える	色あいや色の濃さの調節がずれていませんか。	52
	チャンネル設定（プリセット）がずれていませんか。微調整してみてください。	216
雪が降ったような画面になる（スノーノイズ）	アンテナ線が正しく接続されていますか。線が切れたり、はずれたりしていませんか。アンテナの方向が変わったり、破損したりしていませんか。	196 198
－／＋ボタンで飛び越すチャンネルがある	受信チャンネルの設定でスキップ設定が「する」になっているチャンネルは飛び越します。	216
音が出ない	ヘッドホンを差し込んでいませんか。抜いてください。音量を上げてみてください。	40
	ビデオなど他の機器の音が出ない場合は、音声の接続が正しいか確認してください。	122
操作を受け付けなくなったとき	テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、再び電源スイッチを入れて動作を確認してください。それでも改善されないときは、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、電源プラグをコンセントから抜き、1分ほど放置したあと、再び電源プラグを差し込み電源スイッチを入れて動作を確認してください。	272
ワイド画面の上下が欠ける	ピッタリワイドは映像を上下にも拡大しますので文字などが欠けることがあります。画面上下機能や画面縦サイズ調整機能をお試しください。また画面サイズを切り換えても映像ソフトによっては黒い帯が残ることがあります。上下の帯に対しては画面縦サイズ調整機能をお試しください。	59
人物が太って映る	画面サイズボタンで画面サイズを切り換えてみてください。	31
同じ画面から始まる	各種設定メニューの「ビデオ入力スタート」を設定していませんか。	64
操作していないのに電源が切れる	映していた地上アナログ放送が終了すると約15分後に自動で電源が切れる「放送終了オフ」機能が働くようになっていませんか。3時間操作がないと自動で電源が切れる「無操作オフ」機能が働くよう設定されていませんか。	60
画面サイズボタンが働かない	デジタル放送など、画面によっては画面サイズボタンが働かない場合があります。	
	S2映像やD4映像入力端子から、画面サイズの切り換え信号を含む映像を入力したときは、画面サイズが固定され、画面サイズボタンの働きが制限されます。	
選局の直後に画像がゆれたり、ちらついたりする	地上アナログ放送のチャンネルを切り換えたとき、GR（ゴーストリダクション。複数の電波による多重映りを抑える機能）がオンのチャンネルでは、画像がゆれたりちらつくように見えるときがあります。GR機能が働いているためで、故障ではありません。	218

故障かなと思ったら（つづき）

アフターサービスを依頼する前にご確認ください。

症　状	原因と対応（BS・110度デジタル放送について）	参照ページ
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信できない	BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子の接続を確認してください。	☞197、198
	BS・CSコンバータ電源が「切」のままになっていませんか。「切」だと接続したBS・110度CSデジタルアンテナへ電源が供給されず、受信できません。「入」に設定してください。（マンションなどの共同受信では「切」のまま使用）	☞222
	BS・CSコンバータ電源がショートすると、保護のため自動でBS・CSコンバータ電源が「切」になります。原因を解決した上で「入」に再設定してください。	☞198、222
	アンテナや受信設備の性能によっては十分な受信が得られないことがあります。BS・110度CSデジタルアンテナのご使用をお勧めします。	
	アンテナ設定画面で受信レベルが表示されているのに放送が受信されないときは、衛星周波数の再設定を行うと受信できることがあります。	☞224
110度CSデジタル放送を受信できない	110度CSデジタル放送の受信には、110度CSデジタル放送に対応したBS・110度CSデジタルアンテナが必要です。BSデジタル放送のみに対応したBSアンテナでは受信できません。	☞197
	ブースターを使用したりアンテナ線の分配・分岐をしている場合は、110度CSデジタル放送の広帯域に対応した機器が必要になります。	☞197
NHKを選局したときにメッセージが出る	受信確認のメッセージです。B-CASカードのユーザー登録はお済みですか？詳しくは付属のパンフレットをご覧ください。	
データ放送や番組ガイドが表示されるまでに時間がかかる	データ取得中のためです。多少の時間がかかることがあります。	
映像や音声が出なくなったりまたは時々出なくなる 映像が静止したりまたは時々静止する	アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか、またはアンテナ線の劣化などが考えられます。アンテナを調整してください。	
	着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。	
有料放送の視聴ができない	B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。	☞24
	有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 →視聴契約手続きをしてください。	
	電話回線の接続や設定は正しいですか。 →電話回線を接続し、「電話回線設定」を正しく行ってください。	☞199、234
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	本機とアンテナを接続するとき、110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。 →110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよい110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	☞197
急に画質や音質が悪くなった	降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	
一部のBSデジタル放送が受信できない	アンテナで受信しているのに「BS・CS受信モード設定」が「CATVモードで受信」に設定されていると一部のBSデジタル放送が受信されなくなります。アンテナで受信する場合は「アンテナで受信」で使用してください。	☞225

※ネット機能で困ったときは 192ページをご覧ください。

症　状	原因と対応（地上デジタル放送について）	参照ページ
地上デジタル放送を受信できない	チャンネル設定は行いましたか？（お買い上げ時は設定されていません）	226
	お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていますか？	294
	UHFアンテナは設置されていますか？　向き・接続は正しいですか？	
	お使いのUHFアンテナの受信帯域が地上デジタル放送の帯域と合っていますか？合わない場合は交換が必要です。	
	アンテナからの伝送経路（ブースター、混合器、分配器、フィルター、ケーブルなど）の帯域や性能が適さない場合は交換が必要になります。	
	デジタル放送の特性として受信レベルが一定以下になると急に受信できなくなります。また電界強度が十分でもノイズが多いと受信できません。	
チャンネル設定ができない	居住地域設定が正しく設定されていますか？	220
	アンテナや伝送経路の状態が、地上デジタル放送に合っていますか？	294
	スキャン後のチャンネル確認画面やチャンネル設定画面に表示されるチャンネル番号で、緑で表示されるものは、チャンネルの割り当てはありますがまだ開局していないチャンネルです。	
放送の映り具合が変わった	地上デジタル放送は小出力の電波で放送を開始し、他の放送への影響を確認しながら電波の出力を上げていく計画といわれています。電波の出力を上げていく過程で地上デジタル放送、地上アナログ放送で受信の状況が変わる場合があります。	
番組表や番組内容が表示されない、データ取得を促すメッセージが出る	地上デジタル放送や110度CSデジタル放送では、最新のデータによる番組表や番組内容を表示するにはデータの取得・更新が必要になります。そのような場合は「(黄) データ取得」などのメッセージを出すようにしています。画面の指示にしたがって黄ボタンを押すなどの操作をしますとデータを取得・更新します。データの取得中は背景の映像や音が消えます。またデータ取得には時間がかかる場合があります。	

症　状	原因と対応（デジタル放送について・共通）	参照ページ
チャンネルの切り換えができない	便利機能でデジタル放送出力を固定したとき、番組予約の実行中、購入した有料番組の受信中などのときはチャンネルが固定され、他のチャンネルに切り換えられなくなります。	139
データ放送の双方向サービスが利用できない	本機を電話回線に正しく接続していますか？	199
	電話回線の設定は正しいですか？	234
	放送局によっては会員登録が必要な場合があります。登録はお済みですか？	
ビデオコントローラーで予約録画ができない	ビデオコントローラーの接続や設定は正しいですか？	131
	ビデオのリモコン受光部位置をお確かめの上、ビデオコントローラーの発光部がビデオのリモコン受光部を向くように設置してください。	131
	あらかじめ設定されているメーカーのビデオでも動作しない製品があります。	
	同期検出録画で録画するように設定されていませんか。同期検出録画を使用する設定になっているときは、ビデオコントローラーが働きません。	136
電源を切っているのに内部からカチッという音がする、予約ランプがつく	デジタル放送の番組データなどを送受信するため、内部の回路が自動的に動作することがあります。	
	録画予約をした場合は予約の実行と同時に内部の回路が自動的に動作します。	
デジタル放送が受信できない	B-CASカードを差し込む向きは正しいですか。正しく差し込まないとデジタル放送を受信できません。	24

故障かなと思ったら（つづき）

症　状	原因と対応（デジタル放送について・共通）	ページ
本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	一部の電話機やファクシミリで電話線分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →電話線分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	
電話機にノイズ（雑音）が入る	一部の電話機やファクシミリで電話線分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。 再度設定をやり直してください。	239
操作できなくなった場合は…	テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、再び電源スイッチを入れて動作を確認してください。それでも改善されないときは、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、電源プラグをコンセントから抜き、1分ほど放置したあと、再び電源プラグを差し込み電源スイッチを入れて動作を確認してください。	272

症　状	原因と対応（i.LINK機器について）	ページ
i.LINK機器で録画できない、再生映像が映らない	本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。	143
	i.LINK機器の接続は正しいですか。確認してください。	143
	数台のi.LINK機器を接続している場合、録画や再生をしようとしているi.LINK機器を選択しましたか。	144
	3台以上のi.LINK機器を接続している場合、録画や再生をしようとしているi.LINK機器をi.LINK接続機器設定で登録しましたか。 →i.LINK接続機器設定で登録を確認し、登録されていなかった場合は登録してお使いください。	145

ご注意とお願い

- 本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、接続や設定が正しいか確認してください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、有料放送の受信や番組の購入、または録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、データ放送の双方向サービスにおいて、送信の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。

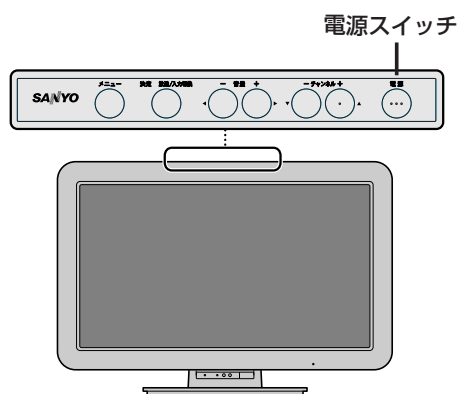
症　状	原因と対応（デジタルカメラの静止画再生について）	ページ
デジタルカメラの画像が再生できない	デジタルカメラのつなぎかたは正しいですか。デジカメ端子へしっかり奥まで差し込んでください。	☞154
	デジタルカメラはパソコン接続モードにしてください。パソコン接続モードの中にも設定モードがある場合は、「カードリーダー」モードなど、デジタルカメラの画像をパソコンへ取り込むモードにしてください。	☞155
	デジタルカメラの中に複数のメモリーカードがある場合や、複数のフォルダがある場合は画面で選択してください。	☞156
静止画像再生ができない	デジタル放送の画面に切り換えたうえで、リモコンの静止画再生ボタンを押してみてください。	☞155
	画像が正しく記録されていますか。	
	画像は本機で再生できる記録形式ですか。	
	記録形式などについてはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。	
	デジタル放送の予約実行中やデジタル放送出力固定中は静止画再生できません。	
	本機では動画は再生できません。	
	静止画再生画面では音声は出ません。	
表示画面の大きさが異なる	画像の解像度（データ量の多さ）によってシングル表示やスライド表示の画面の大きさは異なります。	
画像がなかなか表示されない	画像を再生するまでには画像のデータ量に応じた読み込み時間がかかります。	
スライド再生で画像が切り換わらない	「手動再生」にしていませんか。「手動再生」の場合は自動では切り換わりません。	☞159
	「スライド表示設定」の静止画切換時間を長く設定していませんか。	☞166

症　状	原因と対応（スピーカー、その他）	ページ
スピーカーから音が出ない	スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか。	
テレビから取り外し、スタンドに立てたスピーカーから音が出ない。または音が変だ	スピーカーコードがスピーカー端子に正しく接続されていますか。プラス（＋）とマイナス（－）が正しく接続されていますか。	☞205
	スピーカーコードの芯線が他の端子や線に接触していませんか。	
	「スピーカー設定」は「スタンドで使用」になっていますか。	☞58
HDMI入力の音声が再生されない	「HDMI設定」の「音声入力」が「アナログ」になっていませんか。HDMIの接続1本で映像と音声を再生するときは「音声入力」を「HDMI」で使用してください。	☞129

故障かなと思ったら（つづき）

症　状	原因と対応（HDDの録画・再生について）	ページ
録画ボタンでHDDの録画ができない	時計は設定されていますか？時計が設定されていないと録画ボタンで録画できません。デジタル放送を受信しているときは時計が自動で設定・更新されますが、デジタル放送を受信しない環境では時計の設定を行う必要があります。	☞61
	録画禁止のコピー制御信号が入っている番組は録画できません。またデジタル放送のラジオ放送やデータ放送チャンネルは録画できません。	
	再生中などHDDが動作中ではありませんか。動作中は録画できません。	
	HDDがいっぱいで容量が不足していたり、録画タイトル数が上限（199個）になっていませんか。不要な録画タイトルを削除してください。	☞113
録画ボタンで開始した録画が途中で切れる	地上アナログ放送や外部入力を録画した場合、終了時刻を設定しないと30分で録画は自動停止します。録画ボタンでご希望の録画終了時刻を設定してください。	☞88
	デジタル放送を録画した場合は、番組の終了で録画が自動停止します。録画したい番組が始まる前に録画ボタンを押すと、前の番組の終了時点で録画が停止してしまうことになりますのでご注意ください。録画ボタンでご希望の番組の終了時刻に録画の終了時刻を設定してください。	
	HDDがいっぱいで容量が不足していませんか。不要な録画タイトルを削除してください。	☞113
外部入力が録画できない	i.LINK、HDMI入力、ビデオ2～4のD4映像入力はHDDに録画できません。	
	録画禁止のコピー制御信号が入っている入力は録画できません。	
録画の予約ができない	番組表を表示できるのはデジタル放送だけです。地上アナログ放送では表示できません	
	時計が設定されていないと予約ができません。デジタル放送を受信しているときは時計が自動で設定・更新されますが、デジタル放送を受信しない環境では時計の設定を行う必要があります。	☞61
録画したタイトルが見つからない	録画リスト画面でカーソル ▲▼ ボタンを押して探してみてください。	☞106
	アトみる履歴にはアトみる録画の履歴しか表示されません。日付順リストやタイトル順リストに切り換えて探してみてください。	
再生ができない	録画リスト画面に（0m）と表示されるタイトルは短時間のため再生できません。	
	最後まで再生したタイトルではありませんか。録画リスト画面で便利機能ボタンを押し、サブメニューの「先頭から再生」を行ってみてください。	☞112
録画タイトルのダビングができない	デジタル放送の番組（1回コピー可）をHDDに録画したタイトルは、DVDレコーダーなどのデジタル機器にはダビングできません。	
録画タイトルをD-VHSビデオに移動できない	本機に対応していないD-VHSビデオではないですか。	☞143
	D-VHSビデオの接続やi.LINK登録は正しく行われていますか。	☞143
	番組の移動に必要な時間に開始される録画予約があるときは、番組の移動ができません。	☞152
寒いときに正常に動作しない	寒冷地における冬期の使用など、HDDの温度が極めて低いときは正常に動作しない場合があります。温度が平常に戻っても正常に動作しない場合は、テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、再び電源スイッチを入れて動作を確認してください。	
HDDが操作できるようになるまで時間がかかる	停電が起きたり、電源プラグをコンセントから抜くなど、HDDの動作中に電源が切れた場合は、次に本機の電源を入れてから、HDDが操作できるようになるまでに時間がかかる場合があります。	
スタンバイ中なのに回転音がする	本機は、HDDランプが点灯していたり、予約/回線使用中ランプが赤またはオレンジに点灯しているときは、スタンバイ中でもHDDやHDD冷却用のファンが動作しています。このため回転音などの音が発生します。	

症　状	原因と対応（HDDの録画・再生について）	ページ
HDD再生中の音が変だ	音声切換ボタンでHDD再生中の音声を切り換えてみてください。	
録画した内容が消えてしまった	内蔵HDD設定の「自動消去設定」を「自動消去する」に設定しているときは、HDDの容量が残り少なくなったとき、保護されていない録画タイトルは自動で消去されます。	☞118
	予約録画で「この時間帯で繰り返し予約する」で予約し、HDDの録画設定を「更新する」に設定している場合は、繰り返し予約が実行されるたびに、前の録画内容を消して、新しい内容に更新されます。	☞97
	「アトみる録画設定時間」が、リング動作の「15分」または「30分」に設定された状態で、アトみる録画をした場合、録画のたびに、前の録画内容を消して、新しい内容に更新されます。	☞91
	停電が起きたり、電源プラグをコンセントから抜くなど、HDDの動作中に電源が切れた場合は、HDDの記録内容が失われる場合があります。	
HDDの映像が乱れる、ノイズが出る	受信状態などが原因で、録画した放送自体にノイズが入っている場合は、再生にもノイズが発生します。	
	HDDの特性上、まれに映像が乱れたり、ノイズが発生したりすることがあります。	

HDDが正常に動作しなくなったとき

操作を受け付けないなど、万一、HDDが正常に動作しなくなったときは、次の手順で動作を確認してください。

1. テレビ本体の電源スイッチを切り30秒ほど放置したあと、再び電源スイッチを入れて動作を確認してください。

2. それでも改善されないときは、HDDの初期化を行うと動作が回復する場合があります。ただし、HDDの初期化を行うとHDDの記録内容は消去されます。

   （HDDの初期化のしかた　☞257ページ）

上記を行っても改善されないときは、お買い上げの販売店または当社お客さまご相談窓口へお問い合わせください。
HDDを交換修理する場合、HDDの記録内容（データ）を新しいHDDに移すことはできません。HDDに記録された内容は補償されません。

メッセージ表示一覧（デジタル放送）

デジタル放送受信時は次のようなメッセージが画面に表示されることがあります。
（メッセージの種類は下記以外にもあります。また語句や表現が変更される場合があります。）

メッセージ	表示される状況	参照ページ
データが取得されていません。	地上デジタル放送で選択した番組表、番組内容、詳細内容などのデータが取得されていないときに表示されます。（黄）ボタンを押すなど、画面の指示にしたがってデータ取得すると表示できます。	
このキーには、プリセットの設定がされていません。	プリセット設定がされていない１～１２キーを押したときに表示します。	
居住地域が設定されていません！！	居住地域の設定が済んでいないため、地上デジタル放送のチャンネル設定ができません。居住地域を正しく設定してください。	220
地上のチャンネルリストがありません！！	地上デジタル放送のチャンネル設定が済んでいません。スキャンを実行しチャンネル設定を行ってください。	226
チャンネルが重複しています。	地上デジタル放送で同じ番号のチャンネルが重複しています。どちらかを選んで選局できます。	70
アンテナ接続が異常のためコンバータ電源を切にしました。接続をもう一度確認してください。【E209】	BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子がショートし、保護のため「BS・CSコンバータ電源」が「切」になりました。接続を確認してください。	198 222
信号が受信できません。【E202】	アンテナ線が外れている、降雨などで受信状態が悪いときに表示します。	
B-CASカードの交換が必要です。カスタマーセンターへ連絡してください。	B-CASカードの故障が考えられます。	295
受信レベルが低下しているため、低階層用の映像・音声に切換えます。【E201】	BS・110度CSデジタル放送の、低階層用の信号を送信しているチャンネル（ＮＨＫなど）において、降雨などにより受信レベルが低下したときに表示します。	
現在、放送されていません。【E203】	放送休止中のときに表示します。	
B-CASカードが正しく挿入されていることを確認してください。	スクランブルがかかった放送で、視聴にB-CASカードが必要な番組にもかかわらず、B-CASカードが挿入されていないときに表示します。	24
このチャンネルは契約されていません。カスタマーセンターへご連絡ください。	スクランブルがかかった放送で、契約していないために番組を提示できないときに表示します。	80
受付時間を過ぎていますので購入できません。	PPV（ペイ・パー・ビュー）番組で、すでに購入期間が終了している（購入禁止期間）ため、番組を購入できないときに表示します。	80
まもなく予約番組に切換えます。	予約開始時刻の10秒前に表示します。（視聴中のとき）	
まもなく予約番組が始まります。B-CASカードを挿入してください。	B-CASカードが挿入されていない状態で、予約開始時刻の10秒前に表示します。（視聴中のとき）	
番組開始時間が変更されたため、予約を破棄しました。	予約番組の開始時刻に、開始時刻遅延や消失などが原因でその番組が放送されておらず、予約を破棄したときに表示します。	
信号を受信できないため、予約を破棄しました。	アンテナ線が外れている、降雨などで受信状態が悪く、予約を破棄したときに表示します。	
現在、この操作はできません。	必要な設定が行われていないとき、また別の設定や動作が行われているなどの理由で操作ができないときに表示されます。	

※ネット機能に関するメッセージ表示は☞192ページをご覧ください。

メッセージ	表示される状況	参照ページ
メモリーカードが挿入されていません。メモリーカードを挿入してください。	デジタルカメラが接続されていない状態（接続されていてもデジタルカメラにメモリーカードが装着されていない場合も含む）で静止画再生しようとしたときに表示されます。接続やカメラ内部のメモリーカードを確認してください。	☞154
メモリーカードを認識することができません。メモリーカードをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードを認識することができなくなったときに表示されます。 デジタルカメラやカメラ内部のメモリーカードを確認してください。	☞154
メモリーカードに異常が発生しました。メモリーカードをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードからデータを読み出す際、メモリーカード自体にエラーが発生したときに表示されます。	
ファイル異常が発生しました。メモリーカードとファイルをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードからデータを読み出す際、ファイルにエラーが発生したときに表示されます。	
サポート外のエラーが発生しました。メモリーカードをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカード内のファイルが、本機が対応していない画像ファイルであったり、ファイルのデータ量が大きすぎたりしたときに表示されます。	
再生できる静止画が記録されていません。	デジタルカメラ内部のメモリーカードや、本機の内蔵HDD内に本機が対応している画像ファイルがひとつもなかったときに表示されます。	
予期せぬエラーが発生しました。もう一度メモリーカードをご確認ください。	その他のエラーが発生したときに表示されます。デジタルカメラ内部のメモリーカードを確認してください。	
機器の接続に失敗しました。機器と接続をご確認ください。	本機のデジカメ端子に対応していない機器が接続されたときや、接続に失敗したときに表示されます。	

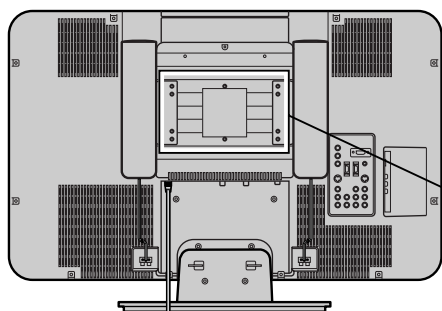
メッセージ表示一覧（HDD関連）

内蔵HDDの録画・再生時は次のようなメッセージが画面に表示されることがあります。
（メッセージの種類は下記以外にもあります。また語句や表現が変更される場合があります。）

メッセージ	表示される状況	参照ページ
テレビ放送以外では録画できません。	デジタル放送のテレビ放送以外（ラジオ放送、データ放送）のチャンネルでHDDに録画しようとしたときに表示されます。テレビ放送以外は録画できません。	
現在、この操作はできません。	そのときの条件によってHDDができない操作を行ったときに表示されます。	
最後まで再生されました。	録画タイトルの最後まで再生したときに表示されます。	☞112
録画時間が短すぎるため再生できません。	録画リスト画面に（0m）と表示されるタイトルは短時間のため再生できません。そのような短時間のタイトルを再生しようとしたときに表示されます。	
HDD動作中のため、この機能は利用できません。	HDDの動作中は操作を制限している機能を行ったときに表示されます。	
2画面では、再生できません。1画面に戻して操作してください。	2画面の状態でHDDの録画タイトルを再生しようとしたときに表示されます。HDDの再生は2画面ではできません。1画面に戻してから操作してください。	
再生中のため、2画面操作はできません。	HDDの再生中に2画面ボタンを押したときに表示されます。HDDの再生は2画面にはできません。	
予約の開始が近づいています。録画はできません。	録画予約が始まる直前に録画ボタンを押したときに表示されます。	
HDDの読み書きができませんでした。	何らかの原因でHDDとのデータのやりとりができなかったときに表示されます。行っていた動作は停止されます。	
最大録画番組数（199番組）より多く録画できません。	最大録画番組数（199番組）をオーバーして録画しようとしたときに表示されます。いらない録画タイトルを消去してください。	
HDDに空きがありません。	HDDの録画領域がいっぱいになった状態で録画しようとしたときに表示されます。いらない録画タイトルを消去して、録画可能な領域を確保してください。	
HDDエラーのため、録画を停止します。	HDDに何らかのエラーが発生したため、録画が停止されたときに表示されます。	
HDDエラーのため、再生を停止します。	HDDに何らかのエラーが発生したため、再生が停止されたときに表示されます。	

スタンドの取り外しかた

本機はスタンドを取り外すと専用の壁掛け金具に設置することができます。
VESA規格準拠（100mm×2箇所×100mm）

＊VESAは、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

図の6つのネジ穴が壁掛け金具取り付け穴です。

推奨壁掛けユニット：KA-TI-VS200
詳しくはカタログをご覧ください。

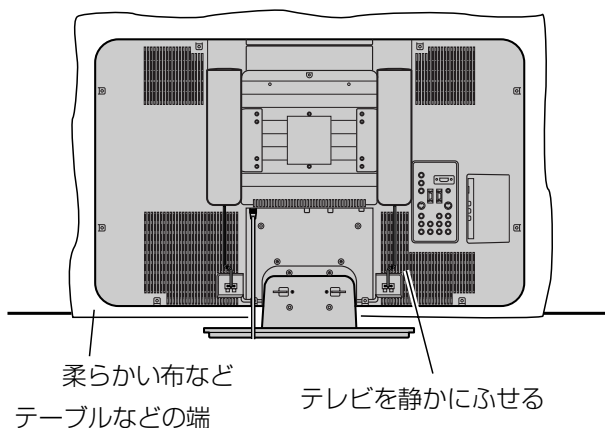
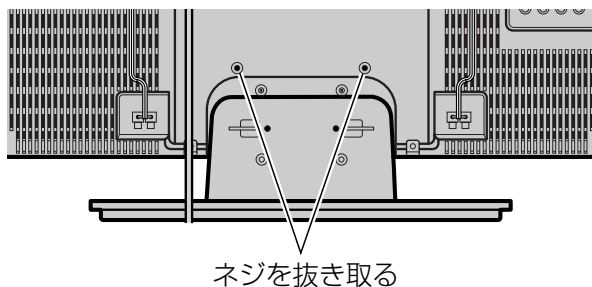
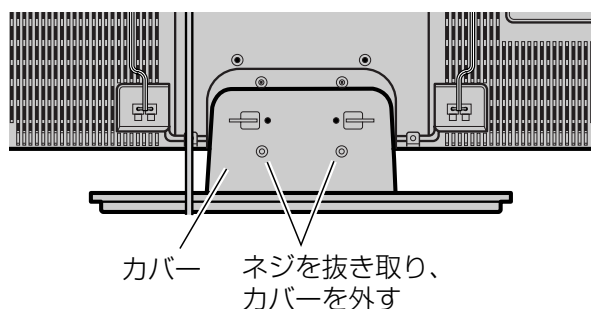
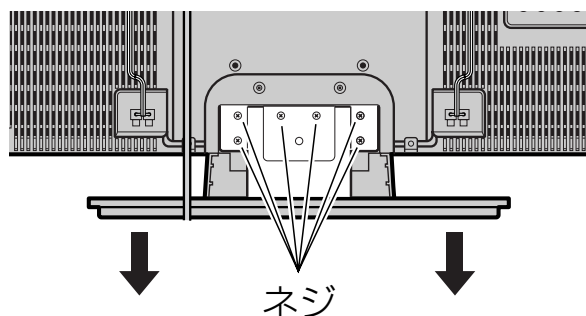
⚠注意

- スタンドを取り外すときは、スタンド内部の金具で指先を傷めないよう十分注意し、必要に応じて手袋をはめるなどの準備をしてください。
- テレビ本体をテーブルの上にふせるときは、指などをはさまないように十分に注意してください。
- 設置に際しては専用壁掛け金具の設置説明書をよくお読みください。
- 設置に当たっては設置場所の強度をご確認ください。

スタンドの取り外しかた

❶ 平らなテーブルに柔らかい布などを敷き、液晶テレビを静かにふせる

下に異物や突起があると液晶パネルが破損したり傷ついたりしますのでご注意ください。

上から見た図

❷ 図のネジ2本を抜き取る

❸ スタンドのカバーを止めているネジを抜き取り、カバーを外す

❹ スタンドの金具を取り付けているネジを抜き取り、スタンドを矢印方向に抜いて取り外す

ご注意ください

- スタンドを抜き取る際に無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 作業中のスタンドの落下にご注意ください。

❺ 後面の穴へ、専用の壁掛け金具を取り付ける

ご注意

- 壁掛け金具の取り付けには規格外のネジを使用しないでください。事故や破損の原因になります。
- 液晶テレビの落下や転倒には十分注意して取り付けてください。

仕　様

品　番（型）		LCD-27HR100　（27V型）	LCD-32HR100　（32V型）
種　類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
液晶パネル	画面寸法	幅 59.6・高さ 33.5・対角 68.4 cm	幅 70.9・高さ 39.9・対角 81.3 cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリックス駆動方式	
	画素数	水平1,366×垂直768ピクセル	
受信チャンネル		地上アナログ放送　VHF　1～12、UHF　13～62、CATV　C13～C63、 BSデジタル放送　000～999、110度CSデジタル放送　000～999、 地上デジタル放送　UHF　13～62（CATVパススルー対応）	
内蔵ハードディスク容量		160 GB（ギガバイト）	
音声実用最大出力		5W+5W（JEITA）	
スピーカー		タイムドメインスピーカー 2個（着脱可能）、定格入力 5W、インピーダンス 8Ω	
アンテナ		地上アンテナ入力：VHF／UHF、75Ω不平衡 地上デジタルアンテナ入力：VHF／UHF、75Ω不平衡 BS・110度CSデジタルアンテナ入力：75Ω不平衡、DC15V重畳	
入出力端子		〔入力端子〕 ●D4映像入力：コンポーネント映像、ベローズタイプ14ピン（3系統、ビデオ2～4入力） ●S2映像入力：セパレートYC信号、DIN4ピン（1系統、ビデオ1入力） Y／1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C／0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス75Ω ●映像入力：コンポジット信号、ピンジャック（ビデオ1～3入力） 1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω ●音声入力：ピンジャック、0.2Vrms、インピーダンス22kΩ以上 （左・右、ビデオ1～3入力は左モノ） ●HDMI入力：（1系統） ●デジカメ：USB 2.0（フルスピードモード対応）、コネクタ4ピン * 〔出力端子〕 ●デジタル放送出力（1系統） S1映像：セパレートYC信号、DIN4ピン（1系統1端子） Y／1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C／0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス75Ω 映　像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω 音　声：ピンジャック、0.2Vrms、インピーダンス1kΩ以下（左・右） ●モニター出力（1系統） 映　像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω 音　声：ピンジャック、0.2Vrms、インピーダンス1kΩ以下（左・右） ●デジタル音声出力（光）：光角型コネクター ●スピーカー出力：定格出力 5W、インピーダンス 8Ω（左・右、付属タイムドメインスピーカー専用） ●ヘッドホン、サブヘッドホン：ミニステレオジャック（3.5φ） 〔その他〕 ●i.LINK（2端子）：4ピン、S400、IEEE1394準拠 ●電話回線：V.22bis（2400bps）、モジュラージャック ●LAN：10BASE-T/100BASE-TX ●ビデオコントロール：付属ビデオコントローラー用、ミニジャック（3.5φ）	
電　源		AC100V　50／60Hz	
消費電力		157 W、節約オン時 96 W リモコン待機時 0.2 W （内蔵HDDによる番組録画時 62 W）	185 W、節約オン時 98 W リモコン待機時 0.2 W （内蔵HDDによる番組録画時 62 W）
年間消費電力量（JEITA基準による）		170 kWh／年	180 kWh／年
外形寸法（スタンド含む）		幅 70.1 ×高さ 50.0 ×奥行 28.0 cm	幅 81.8 ×高さ 56.9 ×奥行 28.0 cm
質量（スタンド含む）		18.8 kg	22.0 kg
使用温度条件		周囲温度：5℃～35℃（結露のないこと）	
付属メインリモコン、電池		RC-501　1個、乾電池（単4形）2本	RC-501　1個、乾電池（単4形）2本
付属サブリモコン、電池		ー	RC-496　1個、乾電池（単4形）2本
高調波電流規格		JIS C 61000-3-2 適合品	

＊デジカメ端子はUSBマスストレージクラス対応のデジタルカメラ以外には対応していません。

その他の付属品	分配器 1個、ビデオコントローラー 1個、B-CASカード(ICカード、台紙付き) 1枚、 放送局パンフレット・加入申込書 1式、転倒防止フック 1個、フック用取付ネジ 1本、 転倒防止バンド 1本、バンド用取付ネジ 2本、ケーブル固定バンド 3本 スピーカースタンド 2セット(スタンド台座、スタンド金具、ネジ、スピーカーコード 2m)

※液晶テレビのV型(32V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※この液晶テレビは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでお使いになれません。
※年間消費電力量とは、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
年間消費電力量の数値は本機の映像メニューが「標準」の状態で算出しています。(JEITA基準による)
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※取扱説明書中の図は、わかりやすくするために誇張や省略をしています。実物とは多少異なります。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質[注1]を含有しておりません[注2]。
(JIS C 0950の電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」および「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
http://www.sanyo-tv.com/

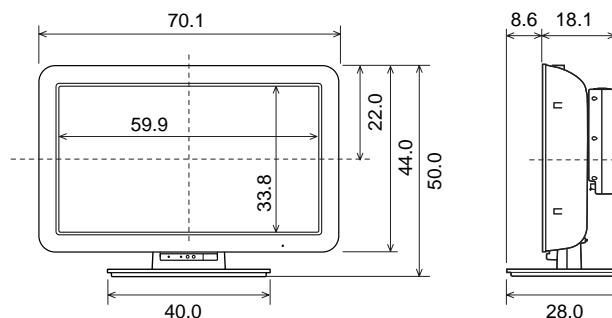
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国の特許技術と知的財産によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の鑑賞用の使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- RSAロゴは、米国RSA Security, Inc の登録商標です。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

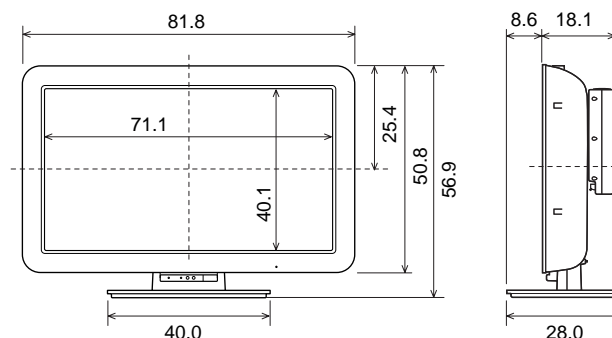
Licensed AAC Patents

Pat.	5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189	5,357,594	5,752,225
	5,394,473	5,583,962	5,274,740	5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671
	07/640,550	5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874	98/03036
	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584	5,781,888	08/039,478	08/211,547
	5,703,999	08/557,046	08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
	5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654	5,548,574	5,717,821

■寸法図(前面・側面) 単位:cm

LCD-27HR100

スタンドを含む質量 : 18.8 kg
ディスプレイ本体のみの質量:16.3 kg

LCD-32HR100

スタンドを含む質量 : 22.0 kg
ディスプレイ本体のみの質量:19.5 kg

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。
お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
（液晶パネルは2年間です）

■保証期間中の修理
保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間が過ぎたあとの修理
お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に
272～279ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと
- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について
この商品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

末長くご愛用いただくために

■本機を末長くお使いいただくために、次のことにご注意ください。

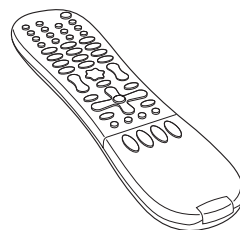
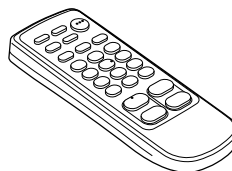
本機では、主な操作をリモコンで行います。リモコンが破損したり紛失したりしますと操作できなくなる機能があります。また、今お読みの取扱説明書を紛失したりしますと、操作方法がわからないために、本機の機能や性能を十分に発揮できなくなります。
リモコンや取扱説明書は大切にお使いください。

■リモコン

RC-501

RC-496

■万一、破損や紛失した場合は
リモコンや取扱説明書は、サービス補修用部品としてご購入いただけます。
詳しくはお買い上げ販売店、または当社お客さまご相談窓口にお問い合わせください。

■環境にやさしい使いかた
- テレビは画面の明るさを暗くすると消費する電力が減ります。お部屋がそれほど明るくない場合は、画面の明るさを少し暗くしても十分に鮮明な映像をご覧いただけます。節約機能や映像メニューのシネマモードを利用してご覧ください。
- ディスプレイの表面にホコリが付着すると画面が暗く見えます。定期的なお手入れをおすすめします。
- 不必要に大きな音量でご覧になることは消費電力を高める原因になります。適度な音量でお楽しみください。
- ご覧にならないときはこまめに電源を切りましょう。長期間ご使用にならないときは、液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本製品は、ご愛用が終了したあとに再資源化の一助となるよう、主なプラスチック部品に材質表示をしています。
- この取扱説明書は再生紙を使用しています。
- この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

正しくお使いいただくために

液晶テレビを末長くお楽しみいただくために、次のことがらをお守りください。

蛍光管（バックライト）について

- 使い始めのとき、蛍光管の特性上、画面のちらつきが起こることがあります。このようなときは、テレビ本体の電源ボタンをいったん切り、再度入れ直してご確認ください。
- 本機に使用している蛍光管には寿命があります。寿命の目安は約60,000時間です。寿命とは、明るさが当初の約半分になるまでの期間を示します。
- 蛍光管には水銀が含まれています。廃棄するときは地方自治体の条例や規則に従ってください。

故障ではありません

- 液晶パネルは非常に高精度の技術で製造されており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が含まれる場合があります。故障ではありません。
- 液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。映す映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。
- 映す映像によっては、画面に縞模様（モアレ、干渉縞）が出る場合があります。

液晶パネルのお取り扱い

- 液晶パネルは薄いガラスの板に液体（液晶）をはさみこんだ構造になっています。衝撃や力を加えますと割れる恐れがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。
- 液晶パネルの表面に固いものやとがったものを当てないでください。また、こすったりしないでください。傷がつく原因になります。
- 液晶パネルの表面や周辺を強く押しますと、画面に縞模様（モアレ、干渉縞）が出る原因となります。
- 直射日光が当たるところや熱器具の近く、晴天時の自動車内など高温になる場所で使用したり、放置しないでください。故障の原因になります。また高温や低温では映りが悪くなることがあります。
  ・使用温度条件：5℃～35℃（結露のないこと）
- 液晶パネルの表面に水滴などがついた状態で放置しないでください。表示面が変色したり、シミになる原因となります。
- 液晶パネルの表面は汚れが目立ちやすいので、ふだんから、できるだけ触らないようにしてください。

上手な見かた

- 本機は広視野角の液晶パネルを搭載していますが、画面の正面が、もっとも美しく見ることができる位置です。また照明光などの当たり具合によって見えかたが変わります。ご覧になる場所に合わせて設置や角度の調節をしてください。
- 見る場所は目の高さよりやや低いほうが疲れません。お部屋が明るすぎたり、暗すぎると目が疲れます。新聞が楽に読める程度の明るさが適当です。
- 音は適度な音量でお楽しみください。特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉める、ヘッドホンを使用するなどご近所への配慮を。ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

本機は屋外で使用できるよう
設計されておりません。
必ず屋内でご使用ください。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ...
家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は ＜総合相談窓口＞ 三洋電機（株）お客さまセンター

受付時間：9：00〜18：30

◆北海道地区　札　幌　☎（011）290－1522
◆東北地区　仙　台　☎（022）714－6137
◆関東地区　東　京　☎（03）3815－1111
◆中部・北陸地区　名古屋　☎（052）533－5245
◆近畿・四国地区　大　阪　☎（06）6994－9570
◆中国地区　広　島　☎（082）297－6067
◆九州・沖縄地区　福　岡　☎（092）461－8022

※郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電機（株）お客さまセンター　〒570－8677　大阪府守口市京阪本通2－5－5
FAX（06）6994－9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は ＜修理相談窓口＞ 三洋コンシューママーケティング（株）

受付時間：月曜日〜金曜日　［9：00〜18：30］
土曜・日曜・祝日　［9：00〜17：30］

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東コールセンター　東京　☎（03）5302－3401
西コールセンター　大阪　☎（06）4250－8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区　札幌　☎（011）833－7888
◆東北地区　仙台　☎（022）382－2213
◆長野地区　長野　☎（0263）26－1772
◆新潟地区　新潟　☎（025）285－2451
◆福島地区　福島　☎（024）945－6811

西コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区　金　沢　☎（076）237－6650
◆東海地区　名古屋　☎（052）979－3456
◆中国地区　広　島　☎（082）293－9333
◆四国地区　高　松　☎（087）844－8321
◆九州地区　福　岡　☎（092）922－9311

◆沖縄地区　沖　縄　☎（098）944－5018
受付時間：月曜日〜土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9:00〜12:00、13:00〜17:30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日〜土曜日（日曜、祝日を除く）9：00〜17：30

北海道地区

北海道
札　幌　☎ (011) 831−9201
〒003-0013 札幌市白石区中央三条4−1−36
函　館　☎ (0138) 48−8301
〒041-0824 函館市西桔梗町589−295
苫小牧　☎ (0144) 57−8707
〒059-1364 苫小牧市沼ノ端230−1034
旭　川　☎ (0166) 22−2421
〒070-0073 旭川市曙北三条7−3−3
北　見　☎ (0157) 23−4871
〒090-0037 北見市山下町4−7−14
釧　路　☎ (0154) 22−1576
〒085-0035 釧路市共栄大通3丁目1番6号
青木ビル

東北地区

宮城県
仙　台　☎ (022) 384−0444
〒981-1225 名取市飯野坂3−4−8

青森県
青　森　☎ (017) 729−3401
〒030-0141 青森市大字上野字山辺29−5
八　戸　☎ (0178) 28−9225
〒039-1121 八戸市卸センター1−6−7

岩手県
盛　岡　☎ (019) 623−1600
〒020-0824 盛岡市東安庭2−12−1
水　沢　☎ (0197) 23−6621
〒023-0003 水沢市佐倉河字羽黒田45

山形県
山　形　☎ (023) 641−1769
〒990-2331 山形市飯田西4−5−35
酒　田　☎ (0234) 23−3817
〒998-0842 酒田市亀ケ崎6−7−16

秋田県
秋　田　☎ (018) 862−6551
〒010-0802 秋田市寺内イサノ93−1

福島県
郡　山　☎ (024) 945−6793
〒963-0107 郡山市安積3−120

関東・甲信越地区

埼玉県
さいたま　☎ (048) 778-3095
〒362-0025 上尾市上尾下780−1
坂　戸　☎ (049) 284−8900
〒350-0214 坂戸市千代田5−3−17

栃木県
栃　木　☎ (028) 614−3883
〒321-0111 宇都宮市川田町字免ノ内765−5

茨城県
茨　城　☎ (0298) 64−4751
〒300-3261 つくば市花畑2−15−3
水　戸　☎ (029) 251−4125
〒311-4152 水戸市河和田3−2386−1

群馬県
群　馬　☎ (027) 362−1151
〒370-0001 高崎市中尾町池の内441
西関東　☎ (0276) 22−7702
〒373-0015 太田市東新町72−2

新潟県
新　潟　☎ (025) 285−2431
〒950-0942 新潟市小張木2−16−43
長　岡　☎ (0258) 46−8065
〒940-2127 長岡市新産2−9−4
上　越　☎ (025) 543−3535
〒942-0081 上越市五智1−11−8　齊藤オフィス

東京都
城　東　☎ (03) 5697−8160
〒120-0005 足立区綾瀬7−22−15 綾瀬7丁目ビル
城　北　☎ (03) 5914−3413
〒174-0051 板橋区小豆沢(アズサワ)1−23−10
城　西　☎ (03) 5347−0761
〒167-0032 杉並区天沼3丁目12番12号テック杉並
武蔵野　☎ (042) 364−7721
〒183-0033 府中市分梅町5−9−1
相模原　☎ (042) 788−2760
〒194-0012 町田市金森851−3

神奈川県
戸　塚　☎ (045) 827−2831
〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃9−14

関東・甲信越地区

京　浜　☎ (044) 740−3530
〒211-0041 川崎市中原区下小田中5−11−21
平　塚　☎ (0463) 55−3926
〒254-0014 平塚市四之宮3−20−60

千葉県
千　葉　☎ (043) 208−3800
〒260-0842 千葉市中央区南町3−7−15
鎌ケ谷　☎ (047) 441−0111
〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

山梨県
山　梨　☎ (055) 226−2561
〒400-0035 甲府市飯田4−8−23

中部・北陸地区

愛知県
名古屋　☎ (052) 979−3455
〒461-0025 名古屋市東区徳川1−901
サンエース徳川ビル1F
名古屋西　☎ (052) 485−3620
〒453-0816 名古屋市中村区京田町2−1
岡　崎　☎ (0564) 23−3418
〒444-0860 岡崎市明大寺本町1−20

岐阜県
岐　阜　☎ (058) 246−3417
〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1−35

静岡県
静　岡　☎ (054) 236-0691
〒422-8034 静岡市駿河区高松2丁目26−10
沼　津　☎ (055) 935−0501
〒410-0822 沼津市下香貫七面1152−2
浜　松　☎ (053) 461−8685
〒430-0812 浜松市本郷町123

長野県
松　本　☎ (0263) 40−3411
〒390-0852 松本市島立1064−1
長　野　☎ (026) 299−9501
〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000−2

石川県
金　沢　☎ (076) 292−2060
〒921-8005 金沢市間明町2−100

富山県
富　山　☎ (076) 422−7020
〒939-8211 富山市二口町1−13−8

福井県
福　井　☎ (0776) 53−7134
〒910-0834 福井市丸山1−1002

三重県
三　重　☎ (059) 236−5195
〒514-0111 津市一身田平野285−2

近畿地区

大阪府
大　阪　☎ (06) 6992−6235
〒570-0086 守口市竹町4−13
大阪南　☎ (06) 6761−4600
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5−1−14
三洋ビル2F
大阪東　☎ (0729) 65−1811
〒578-0903 東大阪市今米2−3−29
阪　和　☎ (072) 221−8571
〒590-0026 堺市向陵西町2−1−24

京都府
京　都　☎ (075) 672−0877
〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41
三　丹　☎ (0773) 24−3405
〒620-0062 福知山市和久市町290番地
和久市岩堀ビル2F

奈良県
奈　良　☎ (0744) 22−7888
〒634-0837 橿原市曲川町 7−1−31

滋賀県
滋　賀　☎ (077) 514−2221
〒524-0021 守山市吉身4丁目1−24
南井産業第3ビルB棟

和歌山県
和歌山　☎ (073) 473−7112
〒640-8301 和歌山市岩橋1636−1
田　辺　☎ (0739) 22−7520
〒646-0051 田辺市稲成町南江原318

兵庫県
神　戸　☎ (078) 641−1251
〒653-0038 神戸市長田区若松町2−1−9
ピアザビル3F

近畿地区

阪　神　☎ (06) 6432−3401
〒661-0026 尼崎市水堂町4−17−6
姫　路　☎ (0792) 82−7892
〒670-0943 姫路市市之郷町1−9
淡　路　☎ (0799) 42-6015
〒656-0478 南あわじ市福永536−1

中国地区

広島県
広　島　☎ (082) 293−6511
〒733-0012 広島市西区中広町2−1−2
福　山　☎ (084) 954−4101
〒721-0952 福山市曙町4−22−10

岡山県
岡　山　☎ (086) 245−1634
〒700-0973 岡山市下中野703−101
津　山　☎ (0868) 22−6133
〒708-0002 津山市上河原239−10

鳥取県
鳥　取　☎ (0857) 24−2930
〒680-0843 鳥取市南吉方3−107

島根県
浜　田　☎ (0855) 22−7883
〒697-0023 浜田市長沢町3049
松　江　☎ (0852) 23−1183
〒690-0044 松江市浜乃木2−15−3

山口県
山　口　☎ (083) 973−3391
〒754-0024 山口市小郡若草町2−6

四国地区

愛媛県
愛　媛　☎ (089) 979−3486
〒799-2655 松山市馬木町274番地
四　国　☎ (0896) 23−3416
〒799-0404 四国中央市三島宮川2丁目732−4

香川県
香　川　☎ (087) 843−1840
〒761-0101 高松市春日町片田1657−1

高知県
高　知　☎ (088) 831−2570
〒780-8007 高知市仲田町6−12

徳島県
徳　島　☎ (088) 699−4131
〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北
開拓189−1

九州地区

福岡県
福　岡　☎ (092) 928−3414
〒818-8534 筑紫野市紫6−1−1
北九州　☎ (093) 521−5286
〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町2−4−7
中九州　☎ (0942) 37−3934
〒830-0038 久留米市西町105−18

長崎県
長　崎　☎ (095) 813−3545
〒851-0101 長崎市古賀町1006−5
佐世保　☎ (0956) 31−7635
〒857-1162 佐世保市卸本町17−1

熊本県
熊　本　☎ (096) 357−1122
〒861-4106 熊本市南高江3−2−88
八　代　☎ (0965) 35−3483
〒866-0871 八代市田中東町12−7

大分県
大　分　☎ (097) 543−3454
〒870-0829 大分市椎迫5−6組

宮崎県
宮　崎　☎ (0985) 29−3441
〒880-0022 宮崎市大橋3−224

鹿児島県
鹿児島　☎ (099) 251−4615
〒890-0068 鹿児島市東郡元町11−10

沖縄地区

沖縄県
沖　縄　☎ (098) 944−5018
〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303
沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。　310106H

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ www.sanyo.co.jp をご覧ください。

索　引

英数字　ページ

あ　行　ページ

か　行　ページ

さ 行　ページ

た 行　ページ

な 行　ページ

は 行　ページ

索　引

ま　行　　ページ

や　行　　ページ

ら　行　　ページ

地上デジタル放送の受信について

地上デジタル放送を受信するとき

受信時にはご確認ください

地上デジタル放送は全国一律にサービスが開始されるわけではなく、また放送が開始された場合でも、放送開始当初は同じ受信地域内でも放送局によって放送開始時期が異なる場合があります。受信に際しては次のことがらにご注意ください。

- お住まいの地域で地上デジタル放送が開始され電波が受信できる状態か、またどの放送局が放送を開始しているかをお確かめください。
- 地上デジタル放送のチャンネル設定を行って受信できるようになった後で、新しい地上デジタル放送局が放送を開始したときは、再スキャンを行って新しいチャンネルを設定してください。226～233ページ
- スキャン後のチャンネル確認画面やチャンネル設定画面に表示されるチャンネル番号で、緑で表示されるものは、チャンネルの割り当てはありますがまだ開局していないチャンネルです。

アンテナや受信設備について

UHFアンテナが必要です

地上デジタル放送はUHFの電波を使って放送されますので、受信にはUHFアンテナが必要です。

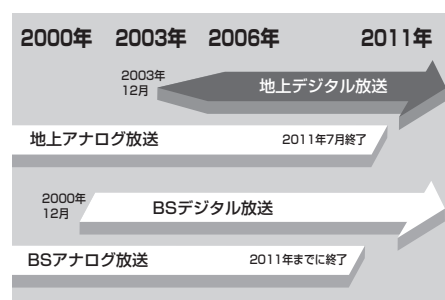
- これまでVHFのみを受信しており、UHFアンテナがないご家庭ではUHFアンテナの新設が必要です。
- 地上デジタル放送の電波が、これまで受信していたUHF放送の電波と別の方向から届く場合は、地上デジタル放送の到達方向に向けたUHFアンテナの新設が必要です。
- UHFアンテナには受信帯域が限定された狭帯域の製品があります（特定放送局受信用など）。今お使いのUHFアンテナが狭帯域のもので、地上デジタル放送の帯域と合わない場合は、UHFアンテナの交換が必要です。またアンテナからの伝送経路（ブースター、混合器、分配器、フィルター、ケーブルなど）の帯域や性能が適さない場合も交換が必要になります。
- 地上デジタル放送はまず小出力の電波で放送を開始し、他の放送への影響を確認しながら電波の出力を上げていく計画といわれています。電波の出力を上げていく過程で地上デジタル放送、地上アナログ放送で受信の状況が変わる場合があります。また伝送経路にブースターやフィルターを使用しているご家庭では、それらの交換や調整が必要になる場合があります。
- ケーブルテレビでの受信は、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

※アンテナや伝送経路の交換・調整についてはお買い上げ販売店や地域の電気店にご相談ください。

共聴・集合住宅施設における地上デジタル放送受信についてのご注意

難視対策、電波障害対策、あるいは集合住宅における共同受信施設では、地上デジタル放送受信のために、アンテナやブースターなどの機器の再調整、追加、あるいは取り替えが必要になる場合があります。詳しくは施設の管理者にお問い合わせください。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

付属のB-CASカードについて

付属のB-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、
下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
お問い合わせ先　カスタマーセンター

電話番号　0570-000-250

受付時間　10：00～20：00（年中無休）

※電話番号はお間違えのないようお願いいたします。
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかかりません。

- B-CASカードの台紙に記載されている「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、本機の取扱説明書や保証書と一緒に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID（識別）番号の告知が必要になる場合があります。下記の便利メモにお客さまのB-CASカードのID番号をひかえておくとお問い合わせのときに役立ちます。
- 有料放送の加入契約や双方向会員の登録、放送サービスの内容についてご不明な点は、それぞれの放送事業者へお問い合わせください。
- B-CASカードのユーザー登録を行う際の個人情報のお取り扱いについては、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのホームページでご確認になるか、同社の窓口へお問い合わせください。
- 放送局のパンフレット類を利用して、加入の申込みや双方向サービスの登録を行う場合の個人情報のお取り扱いについては、それぞれの放送局へお問い合わせください。

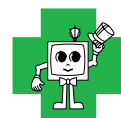
便利メモ

<table>
<tr><td rowspan="2">ID番号のひかえ

241ページに記載の「B-CAS/モデム確認」のB-CASカード情報画面で確認できる番号を記入しておくとお問い合わせのときに役立ちます。</td><td>カード識別</td></tr>
<tr><td>カードID、グループID（B-CASカード番号）</td></tr>
</table>

愛情点検	● 長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	
	● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。

ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番	LCD-27HR100/LCD-32HR100
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社　www.sanyo.co.jp

ホームエレクトロニクスグループ　AVカンパニー
テレビ統括ビジネスユニット
国内テレビビジネスユニット
〒574−8534　大阪府大東市三洋町１−１

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

1AA6P1P5021-A (N3LA)